

平成29年度 全国学力・学習状況調査

岩見沢市における調査結果報告書

平成29年11月
岩見沢市教育委員会
岩見沢市立教育研究所

【目 次】

I 調 査 の 概 要	1 p
1 調査の目的	
2 調査の対象及び教科	
3 調査取組の経過	
4 調査学校数・児童生徒数	
5 調査実施に係る岩見沢市教育委員会の基本的な考え	
II 教 科 調 査 結 果 の 概 要	2 p
1 岩見沢市の各教科の平均正答率	
2 全国平均を100とした場合の全道・岩見沢市平均正答率の推移	
3 岩見沢市の全国の平均正答数を基準とした児童・生徒の分布状況	
4 岩見沢市の各教科別調査結果・指導改善のポイント	
《小 学 校》	
（1）国 語	[6 p]
① 国語 A：主として知識に関する問題	
② 国語 B：主として活用に関する問題	
③ 「国語に関する」質問紙調査結果	
④ 指導改善のポイント	
（2）算 数	[15 p]
① 算数 A：主として知識に関する問題	
② 算数 B：主として活用に関する問題	
③ 「算数に関する」質問紙調査結果	
④ 指導改善のポイント	
《中 学 校》	
（1）国 語 小項目 《小学校》国語と同様	[25 p]
（2）数 学 小項目 《小学校》算数と同様	[36 p]
III 質 問 紙 調 査 結 果 の 概 要	47 p
《児童生徒質問紙》	[47 p]
1 基本的生活習慣	2 挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等
3 塾・家庭・放課後学習等の改善及び学習評価	4 主体的・対話的な学びの視点による学習指導
6 学校生活等	5 学習時間等
	7 地域や社会、外国に対する興味・関心
《学校質問紙》	[76 p]
1 学習態度・主体的な学び	2 ユニバーサルデザイン・規範意識・道徳の時間
3 学力向上に向けた取組	4 指導方法
6 家庭学習	5 小中連携・地域人材等の活用
7 教職員の資質能力の向上	8 マネジメント
IV 調査結果の分析より	117 p
1 学力調査結果の全体的な傾向について	
2 学習状況調査結果（児童生徒質問紙）の特徴的事項について	
3 学力向上に向けたこれまでの取組について	
4 更なる改善に向けて	

I 調 査 の 概 要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の評価の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、その取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象及び教科

小学校第6学年、中学校第3学年。原則として全児童生徒対象。

☐ 教科に関する調査（国語、算数・数学）

○ 主として「知識」に関する問題（国語A、算数・数学A）

○ 主として「活用」に関する問題（国語B、算数・数学B）

☐ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○ 児童生徒に関する調査 ○ 学校に対する調査

《1 調査の目的、2 調査の対象及び教科の内容については、「平成29年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」から転記》

3 調査取組の経過

☐ 平成29年4月18日（火） 全国学力・学習状況調査の実施
8月28日（月） 調査結果発表（文部科学省より）
9月27日（水） 調査結果発表（北海道教育委員会より）
平成29年11月 報告書の完成・配布、教育委員会HPへの掲載

4 調査学校数・児童生徒数

全 国	学校総数（校）	参加学校数（校）	児童生徒数（人）
小 学 校	19,577	19,456	999,723
中 学 校	9,628	9,539	982,811
合 計	29,205	28,995	1,982,534

北 海 道	学校総数（校）	参加学校数（校）	児童生徒数（人）
小 学 校	1,043	971	35,802
中 学 校	598	559	37,265
合 計	1,641	1,530	73,067

岩 見 沢 市	学校総数（校）	参加学校数（校）	児童生徒数（人）
小 学 校	15	15	581
中 学 校	10	10	657
合 計	25	25	1,238

5 調査実施に係る岩見沢市教育委員会の基本的な考え

○本調査は、調査の目的達成のため、市内全小学校（第6学年）及び中学校（第3学年）の児童生徒を対象として実施する。

- ア 各学校が、児童生徒の学力・学習状況を把握し、適切な教育活動を行うとともに、「子どもを大切にする岩見沢の教育づくり」のために積極的に活用するものです。
- イ 調査結果は、学校間の序列化や比較を行うものではなく、教育委員会として全小・中学校の結果の一括公表は行わない。
- ウ 調査結果やその結果から検討された改善策の公表については、有効な活用方法として、あくまでも各学校の判断によるものとする。
- エ 本調査は、これまで各学校がそれぞれの計画に基づいて実施している標準学力検査等と同様、通常の教育活動の一環として実施する。

II 教科調査結果の概要

《小学校》

- ◆ 平均正答率は、国語Bが全道平均と同様で、他は上回っている。また、国語A、算数A、算数Bは全国平均とほぼ同様で、国語Bは全国平均をやや下回っている。
- 経年変化では、国語・算数ともに上昇傾向を見せ、国語A、算数A、算数Bでは全道平均を上回る形で推移している。また、国語Bも全道平均と同様になってきている。

《中学校》

- ◆ 平均正答率は、国語A・国語Bが全道平均と同様で、他は上回っている。また、国語Bは全国平均とほぼ同様で、数学Aは全国平均を上回り、数学Bは全国平均をやや上回っている。
- 経年変化では、国語Aは全国平均並みで推移し、国語Bは若干の上昇傾向が見受けられる。数学Aは全国平均を上回る形で推移している。また、数学Bは過去には全国平均を上下していたが、近年は全国平均を上回る傾向で推移している。

1 岩見沢市の各教科の平均正答率

《小学校》

年度	岩・道・国別	国語A	国語B	算数A	算数B
29	岩見沢市	75	56	79	46
	北海道(公立)	74	56	77	44
	全国(公立)	74.8	57.5	78.6	45.9

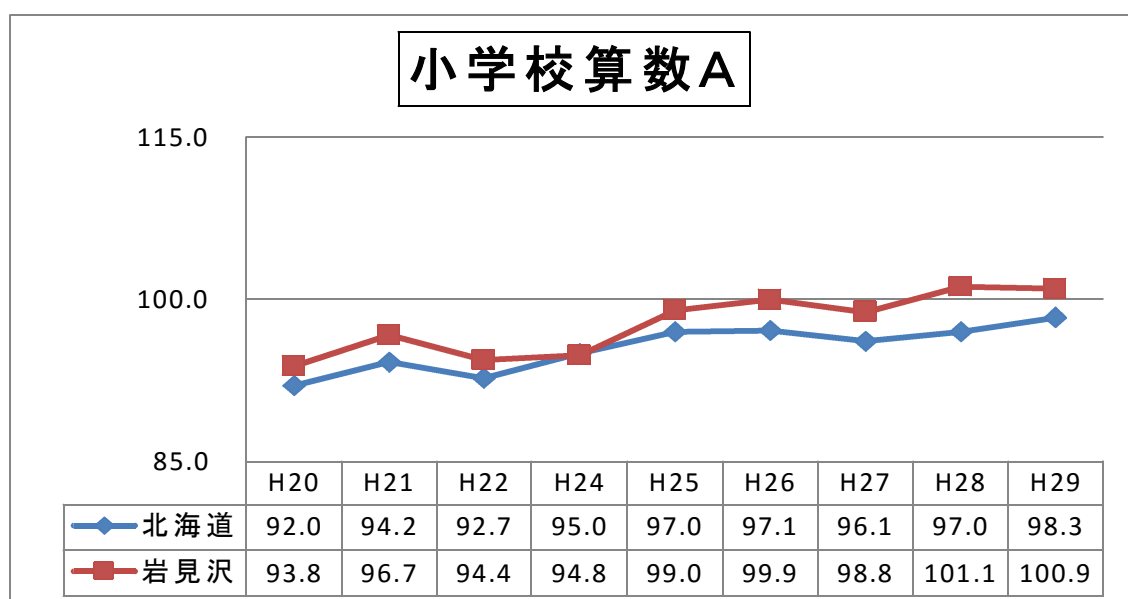
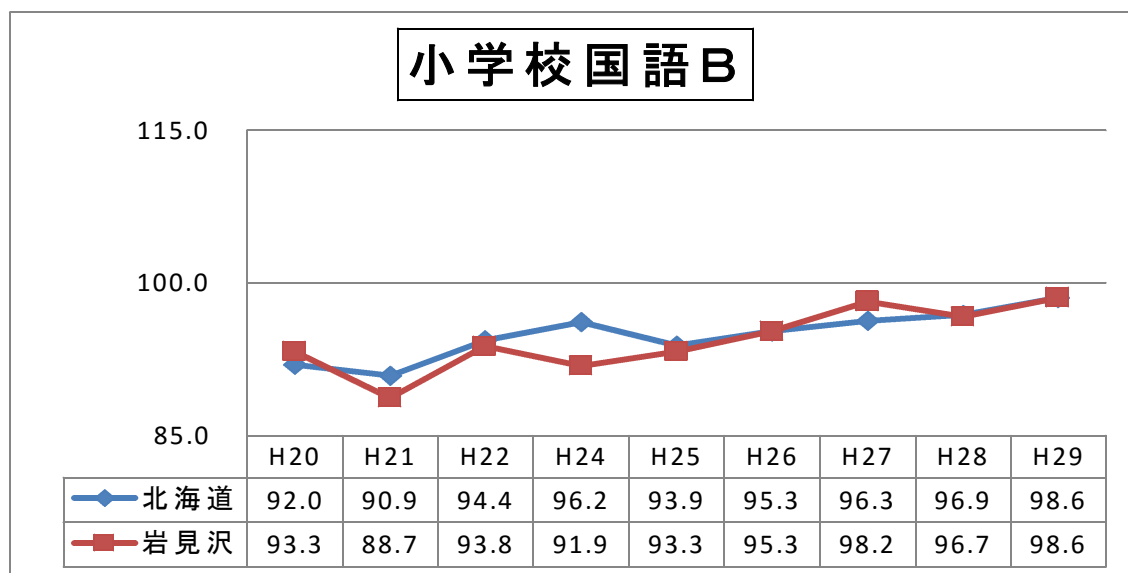
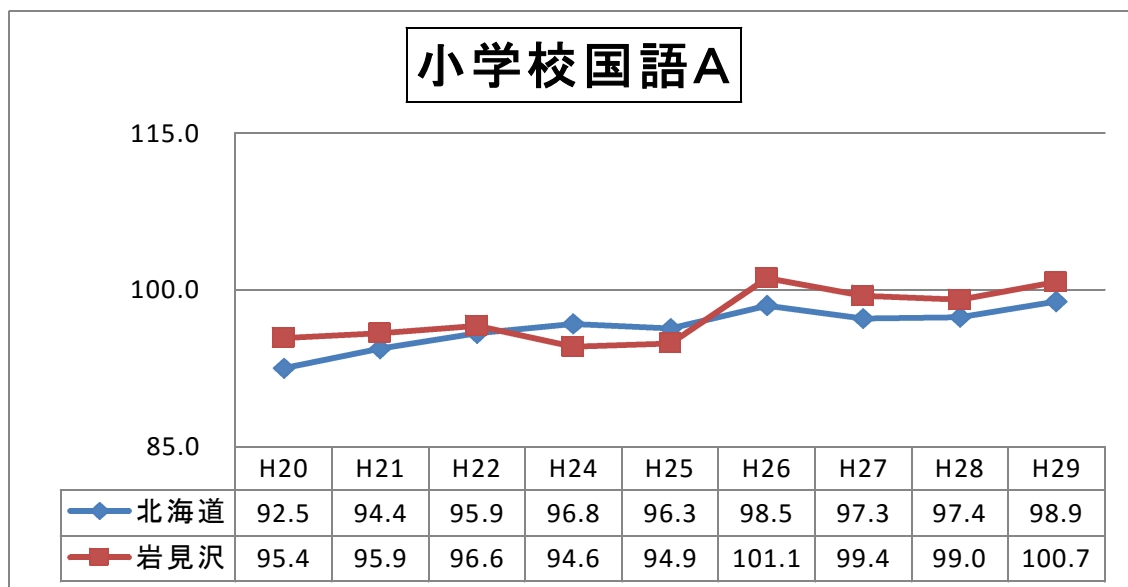
《中学校》

年度	岩・道・国別	国語A	国語B	数学A	数学B
29	岩見沢市	77	72	67	49
	北海道(公立)	77	72	64	47
	全国(公立)	77.4	72.2	64.6	48.1

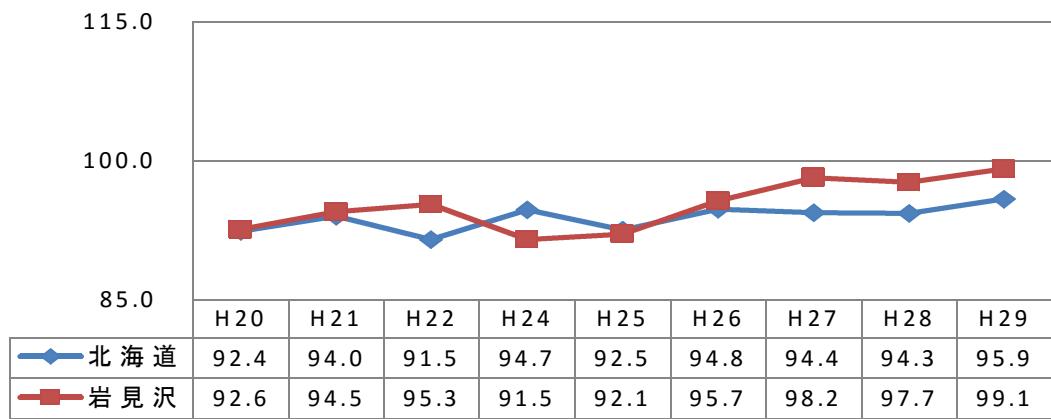
は

は全国平均とほぼ同様、または上回っている教科

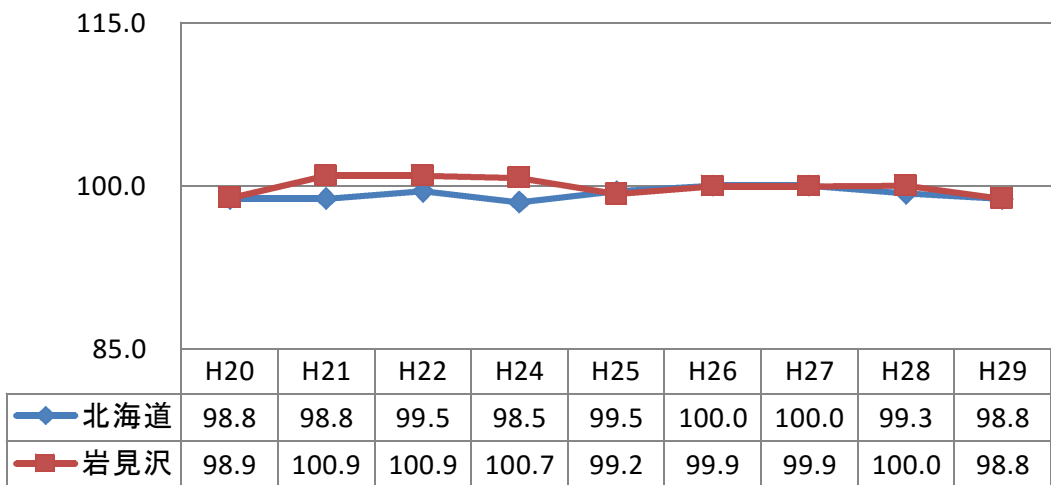
2 全国平均を100とした場合の全道・岩見沢平均正答率の推移



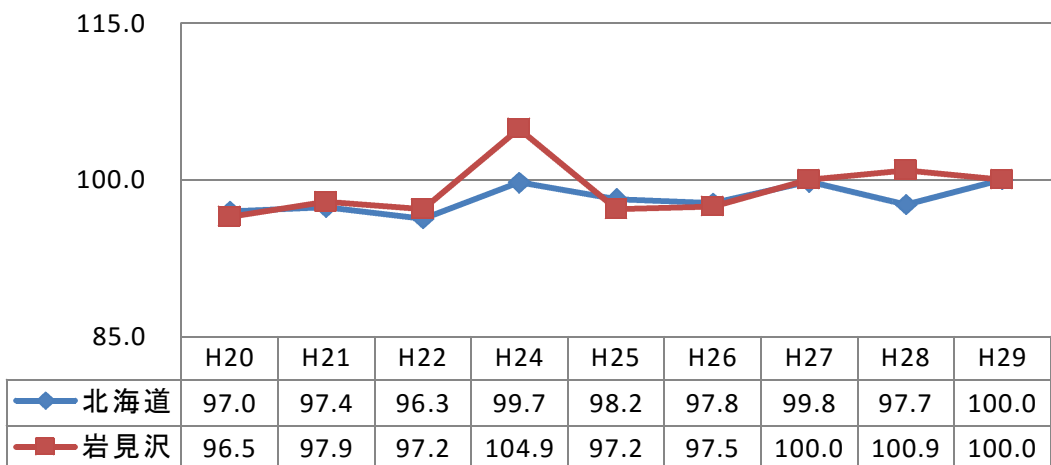
小学校算数B



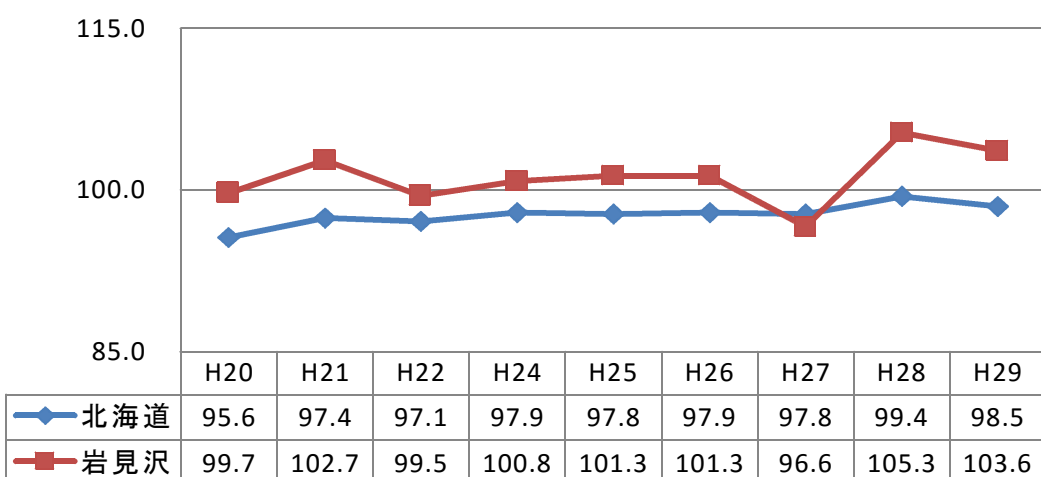
中学校国語A



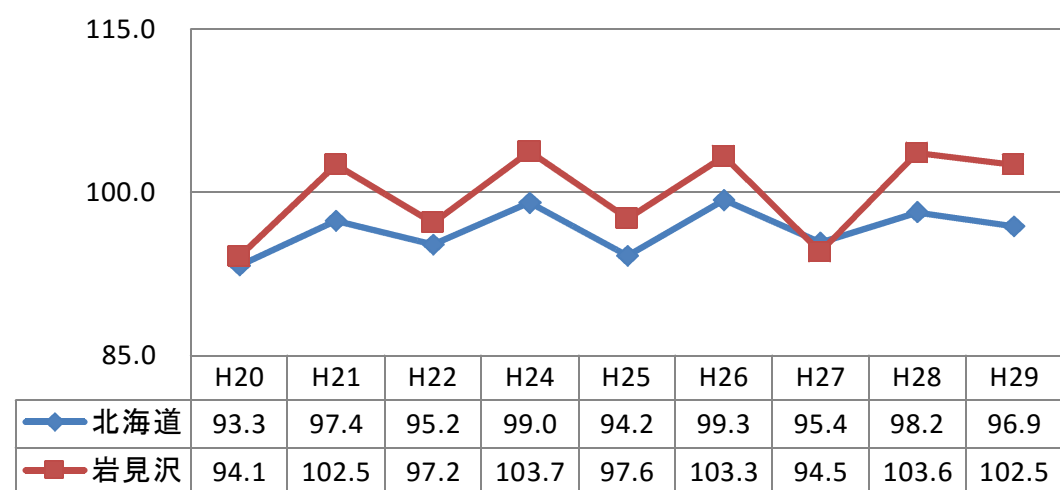
中学校国語B



中学校数学A



中学校数学B



3 岩見沢市の各教科別調査結果・指導改善のポイント

《小学校》

(1) 国語

① 国語A：主として知識に関する問題

＊岩見沢市の平均正答率「75」は、全道平均を上回り、全国平均とほぼ同様である。

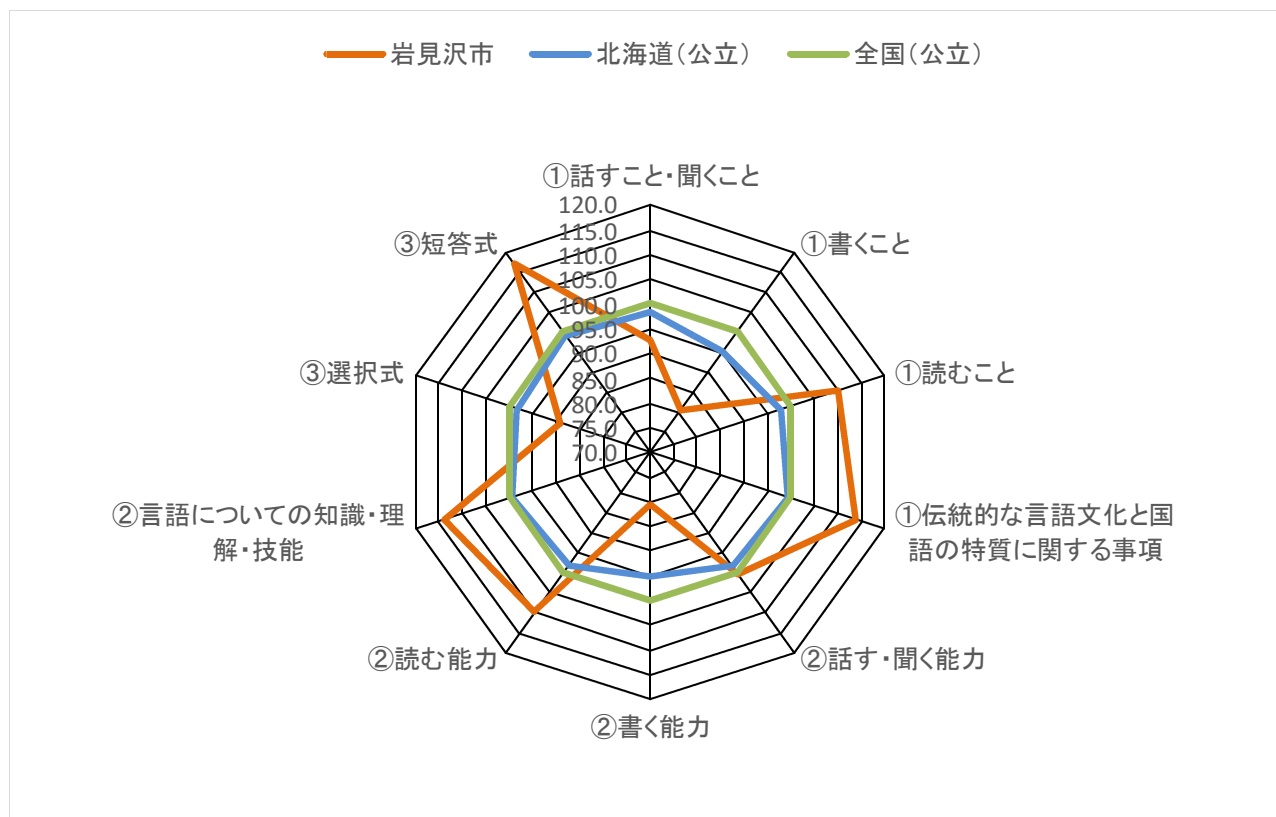
◎「①読むこと」、「①伝統的な言語文化と国語の特徴に関する事項」、「②言語についての知識・理解」、「②話す・聞く能力」、「②読む能力」、「③短答式」については全道・全国平均を上回った。

●「①書くこと」、「①話すこと・聞くこと」、「②書く能力」、「③選択式」については、全道・全国平均を下回った。

＊設問別集計結果では、平均正答率で全国、及び全道平均を15問中9問上回っている。特に「7(1)・(5) 漢字を書く」では全国を8ポイント以上上回った。反対に「2 二手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する」、「4 俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」では6ポイント以下下回った。

ア 分類・区分別チャート図

＊全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。(①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式)



＊「②国語への関心・意欲・態度」、「③記述式」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（国語Ａ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	69.4	68.2	69.2	0.2	0.1	0.1
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	78.5	79.0	79.7	0.0	0.1	0.1
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	33.0	36.2	41.5	0.0	0.2	0.3
3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	72.5	72.8	74.4	0.0	0.5	0.5
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	73.2	77.9	79.4	0.2	0.4	0.5
4二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する	54.5	56.0	57.0	0.2	0.7	0.7
5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する （三度目の正直）	91.4	89.8	90.0	0.3	0.7	0.8
5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する （もちほもち屋）	83.8	83.4	83.6	0.3	0.9	1.0
6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	70.3	70.8	71.1	0.5	1.5	1.6
7（１）	漢字を書く （参加たいしょう）	50.5	39.1	42.0	7.7	12.7	10.6
7（２）	漢字を書く （４年生のきぼう者）	80.2	74.8	80.0	2.6	5.4	4.6
7（３）	漢字を読む （申し込み期限）	96.4	95.4	94.5	1.5	2.4	3.0
7（４）	漢字を読む （事務室前）	91.1	89.0	88.8	1.4	2.4	3.0
7（５）	漢字を書く （箱がおいてあります）	88.1	78.5	76.8	4.1	11.0	11.8
7（６）	漢字を読む （指示）	97.1	95.0	94.5	1.2	2.4	2.9

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合

② 国語B：主として知識に関する問題

＊岩見沢市の平均正答率「56」は、全道平均と同様であり、全国平均をやや下回っている。

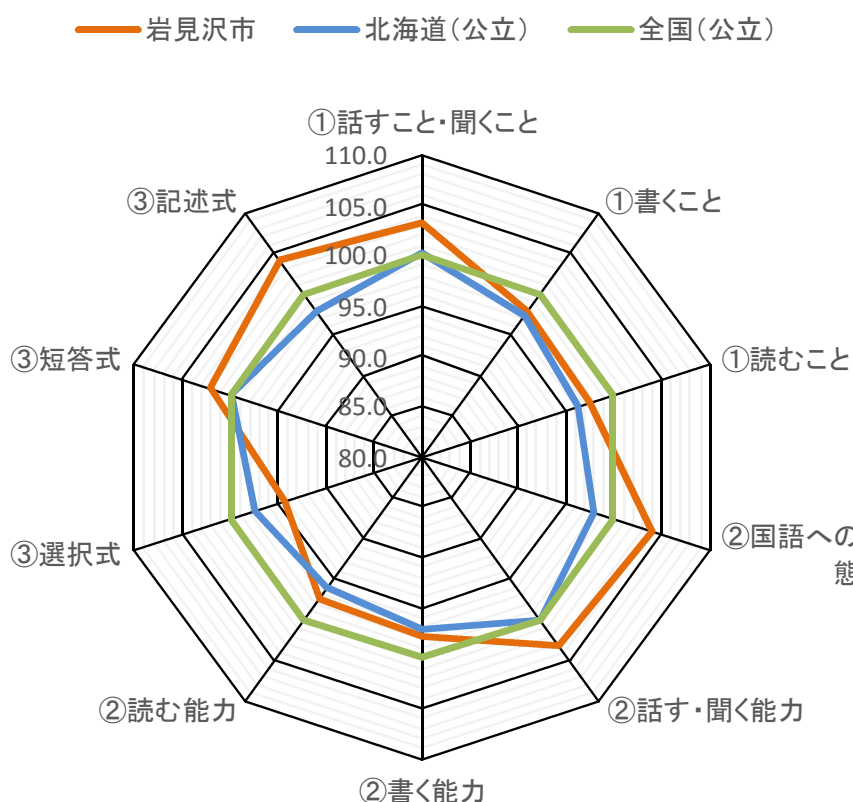
◎「①話すこと・聞くこと」、「②国語への関心・意欲・態度」、「②話す・聞く能力」、「③短答式」、「③記述式」では、全国平均を上回った。

●「①書くこと」、「①読むこと」、「②書く能力」、「②読む能力」、「③選択式」については、全国平均を下回った。特に「③選択式」は全道平均をも下回った。

＊設問別集計結果では、平均正答率で全国平均を9問中3問上回り、全道平均を9問中4問上回った。特に「1 三折り紙のみりょくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く」では全国平均を「6ポイント以上」上回っているが、「2ー【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する」では「6ポイント以上」下回った。

ア 分類・区分別チャート図

＊全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。（①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式）



＊「①伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「②国語への関心・意欲・態度」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（国語Ｂ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
1ー	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	75.6	77.9	77.2	0.2	0.4	0.5
1二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	70.6	69.1	69.2	2.2	4.3	3.8
1三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く	54.6	48.1	48.4	1.9	3.0	2.6
2ー	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	64.4	68.2	70.8	0.3	0.6	0.7
2二	【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を，【『緑のカーテンを始めよう』の一部】から選択する	66.3	68.7	70.9	2.9	3.6	3.2
2三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の[イ]に入る内容を，中学生からの【アドバイス】を基に書く	30.8	32.8	33.0	2.1	3.3	2.8
3ー	「きつねの写真」を読み，登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え，[A]に当てはまる言葉として適切なものを選択する	71.0	72.8	75.9	1.0	2.7	2.6
3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として，適切なものをそれぞれ選択する	27.8	27.7	28.0	1.2	3.4	3.2
3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に，松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	44.8	41.6	43.7	15.8	23.0	19.4

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

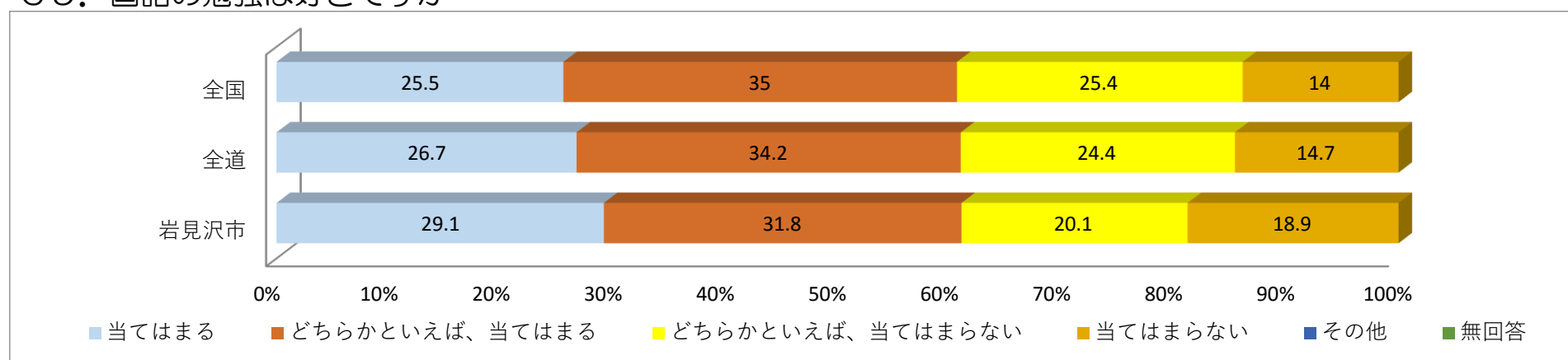


※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合



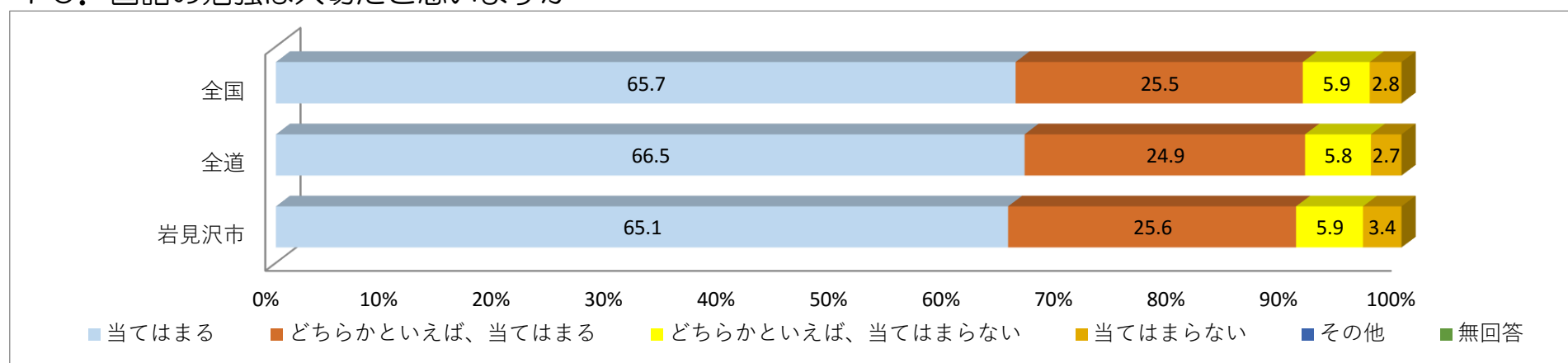
③「国語に関する」質問紙調査結果

69. 国語の勉強は好きですか



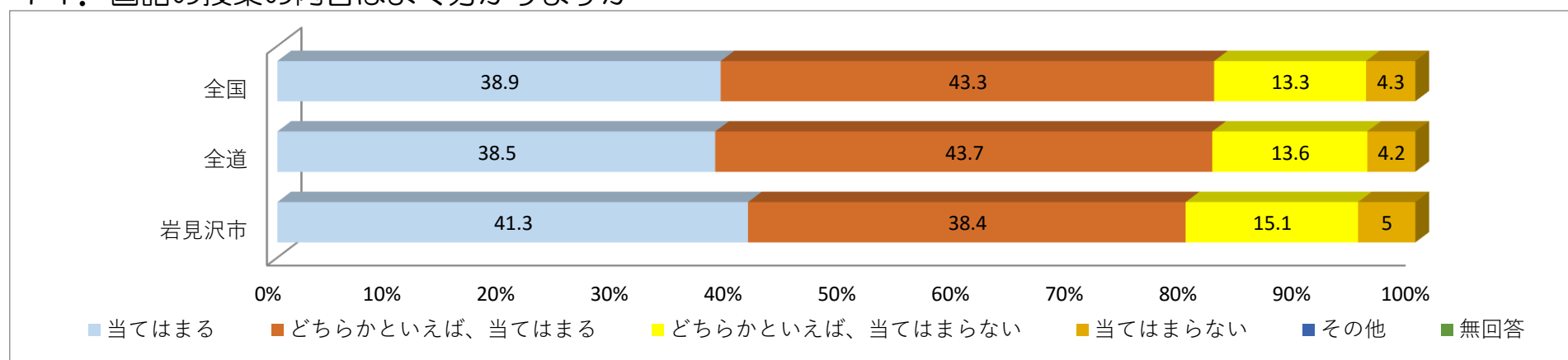
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は60.9%で、全国より0.4ポイント上回り、全道とは同様である。

70. 国語の勉強は大切だと思いますか



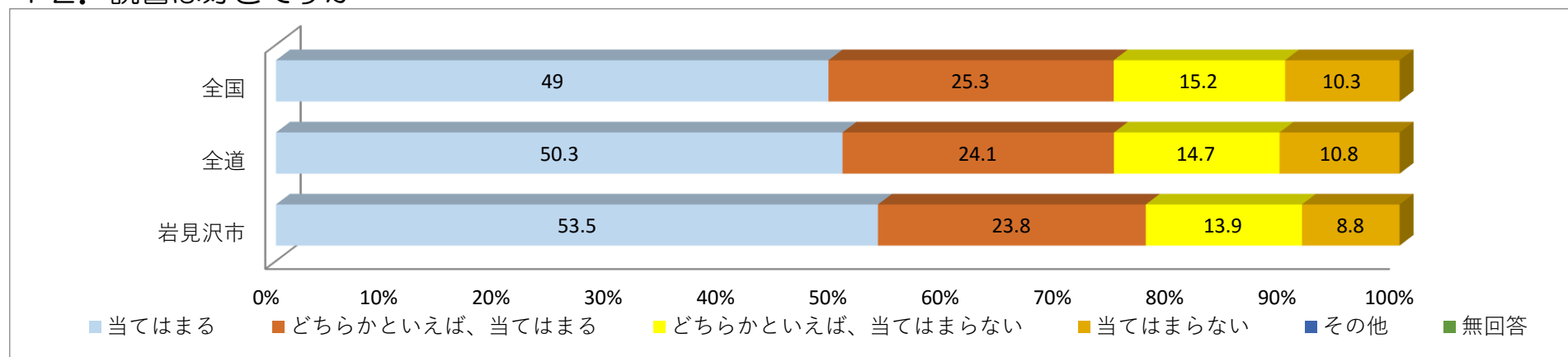
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は90.7%で、全国より0.5ポイント、全道より0.7ポイント下回っている。

71. 国語の授業の内容はよく分かりますか



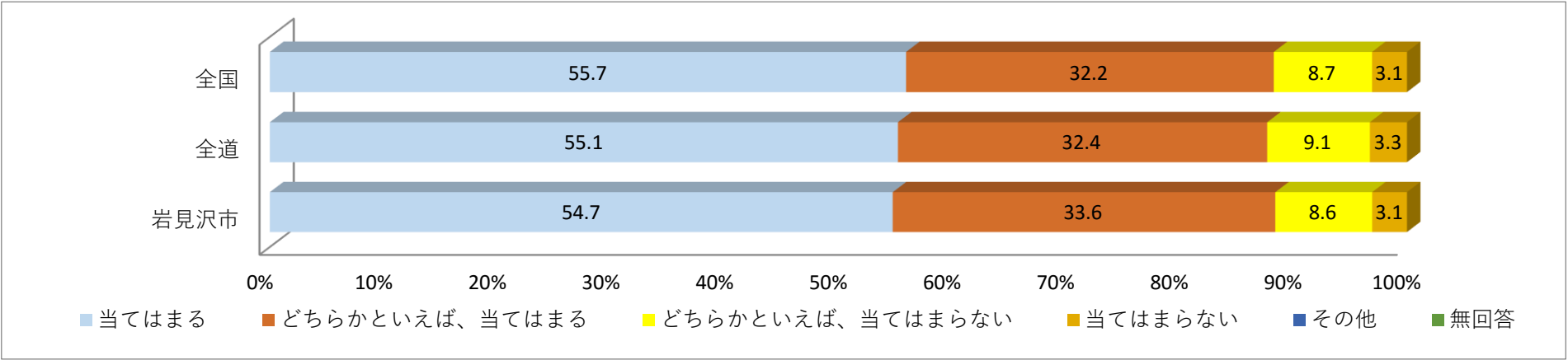
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は79.7%で、全国・全道より2.5ポイント下回っている。

72. 読書は好きですか



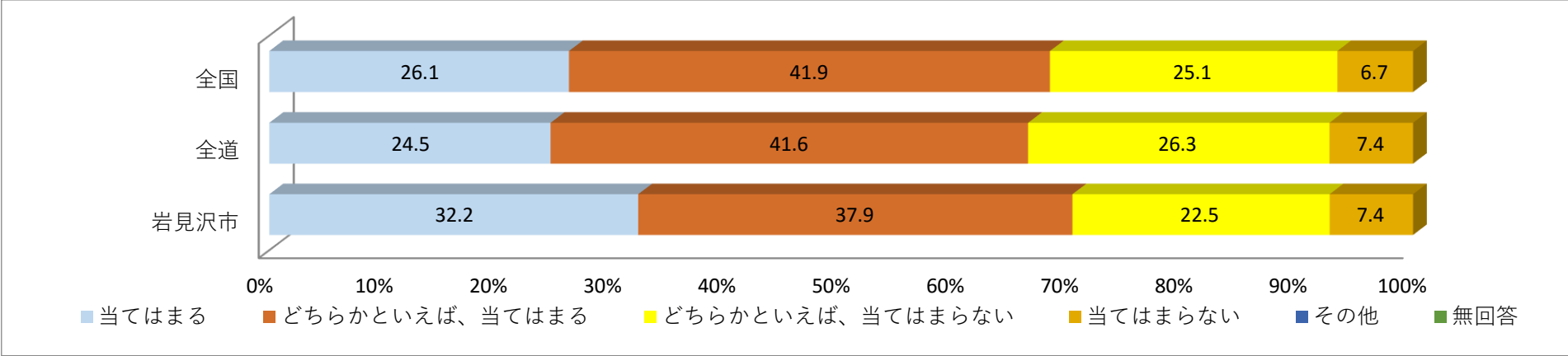
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は77.3%で、全国より3ポイント、全道より2.9ポイント上回っている。

73. 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



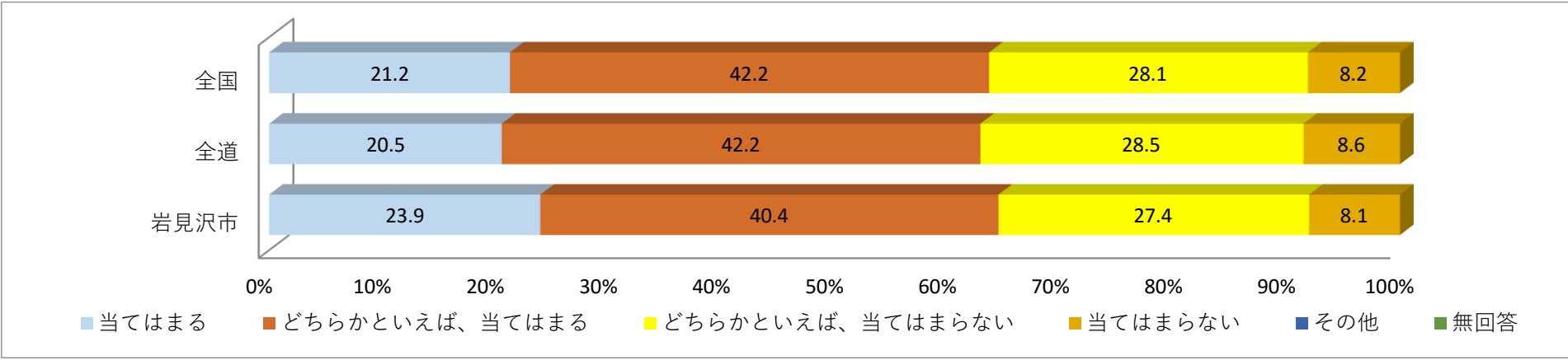
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は88.3％で、全国より0.4ポイント、全道より0.8ポイント上回っている。

74. 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



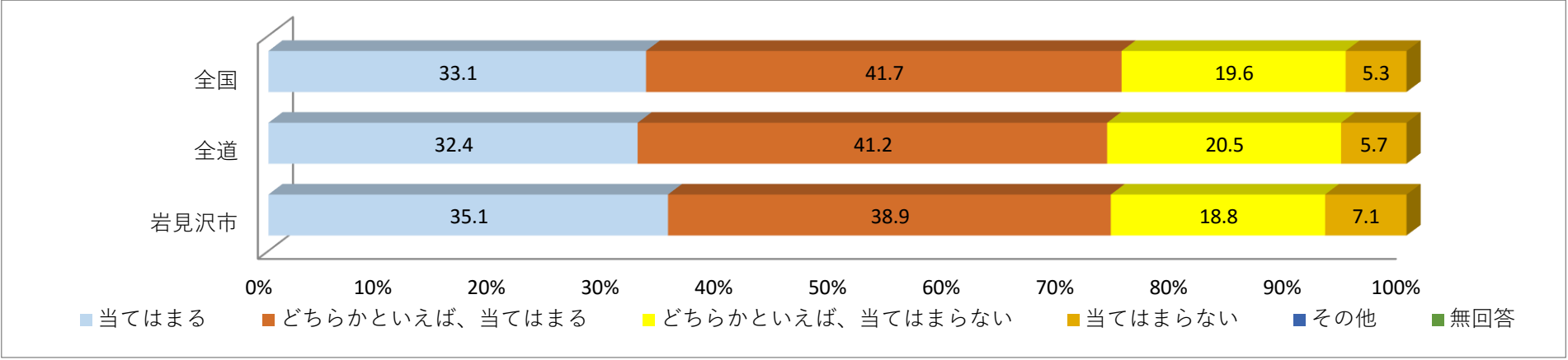
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は70.1％で、全国より2.1ポイント、全道より4ポイント上回っている。

75. 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



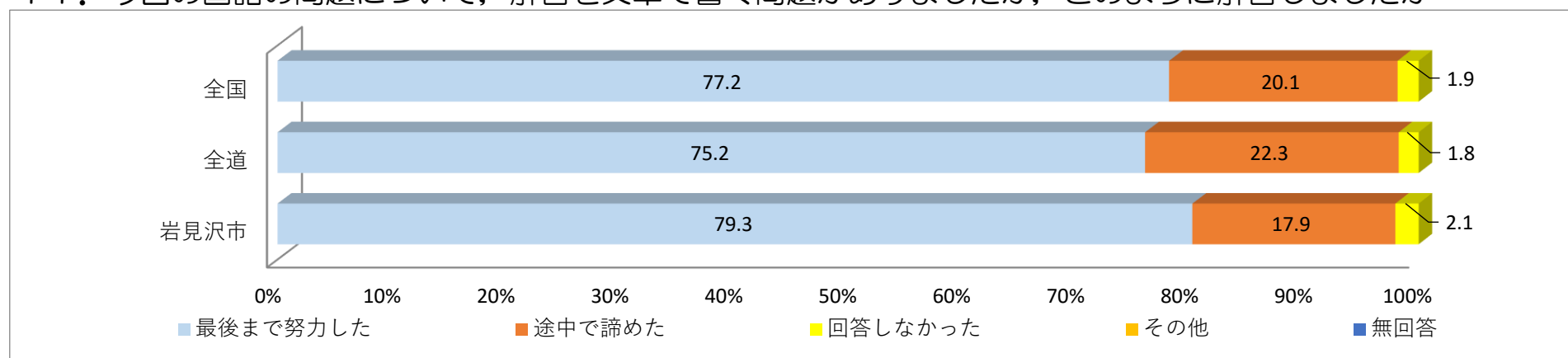
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は64.3％で、全国より0.9ポイント、全道より1.6ポイント上回っている。

76. 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



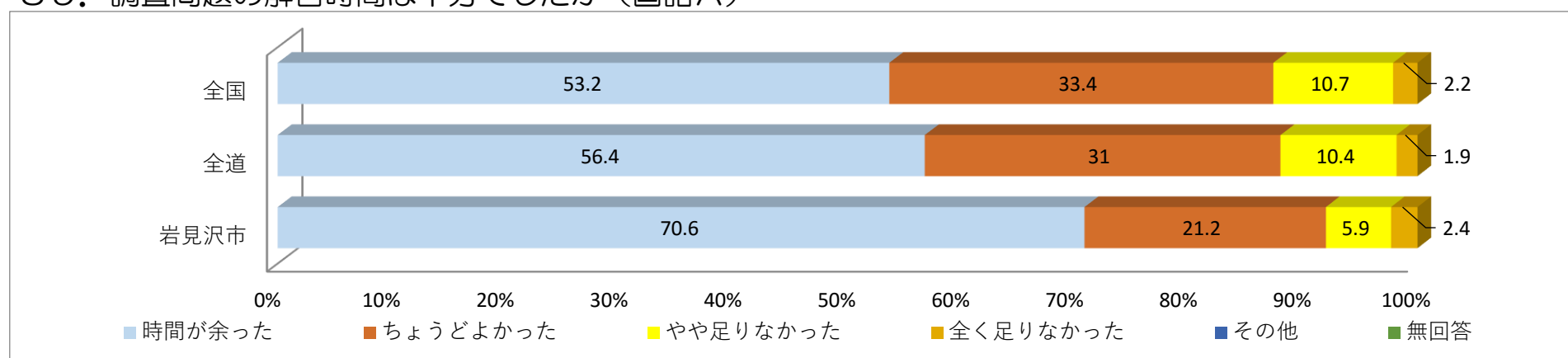
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は74％で、全国より0.8ポイント下回り、全道より0.4ポイント上回っている。

77. 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

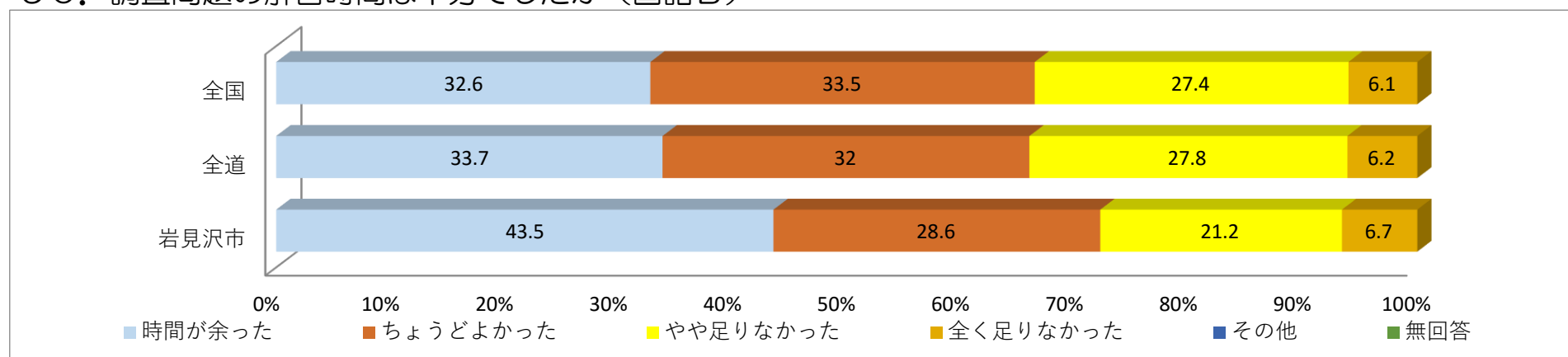


「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答している児童の割合は79.3%で、全国より2.1ポイント上回り、全道より4.1ポイント上回っている。

89. 調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）



90. 調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）



④ 指導改善のポイント(文部科学省、国立教育政策研究所の報告書より)

話すこと・聞くこと

○ 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話す指導の充実

目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話すためには、話の構成や内容を工夫し場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようにする必要がある。話の構成や内容を工夫するためには、自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることなどについて指導することが大切である。また、場に応じた適切な言葉遣いで話すためには、声量や速度、抑揚や間の取り方、改まった言葉や丁寧な言葉、敬体と常体との使い分けなど、その場に応じた最も適切な表現の仕方について指導することが大切である。

話し言葉には、発せられた途端に消えていくという特質や、聞き手の反応やその場の状況などの影響を強く受けながら理解されたり表現されたりするという特質がある。こうした特質を踏まえた上で、自分の考えが伝わるように話すことができていたか振り返ることができるように指導することが大切である。また、相手の反応に応じて、思考を働かせながら話すことができるように指導することが大切である。

書くこと

○ 実用的な文章としての手紙を書く指導の充実

実生活においては、依頼状や案内状、礼状などの実用的な文章としての手紙を書くことが求められる。手紙を書く相手や目的を明確にしながら、書く事柄を整理し、構成することができるよう指導することが大切である。その際、手紙の基本的な形式とともに手紙の形式がもつ意味について指導することが大切である。

○ 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く指導の充実

読み手に自分の伝えたいことが分かるようにするため、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係付けたりして必要な内容を整理して書くことは重要である。目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫し、書く事柄を収集した上で、その中から、具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導することが大切である。

読むこと

○ 物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする指導の充実

物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにすることは重要である。そのために、自分の考えが、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう結び付いているのかを明らかにしながら伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるように指導することが大切である。さらに、互いの考えの共通点や相違点を明らかにしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが大切である。

○ 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる指導の充実

叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめるためには、一つの場面の叙述だけを対象とするにとどまらず、複数の場面の叙述を相互に関係付けながら読むことが重要である。さらに、高学年においては、場面の展開に沿って読みながら、登場人物の相互関係や心

情、場面についての描写などを捉え、優れた叙述について自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○ 漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で適切に漢字を使う指導の充実

各教科等や日常生活で使用する文や文章の中で適切に使うことができるようにするためには、漢字を字形に注意しながら繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが大切である。また、同音異義語に注意するなど、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが重要である。

(2) 算数

① 算数A：主として知識に関する問題

＊岩見沢市の平均正答率「79」は、全道平均を上回り、全国平均とほぼ同様である。

◎「①量と測定」、「②数量や図形についての知識・理解」以外において、全国、及び全道平均を上回った。

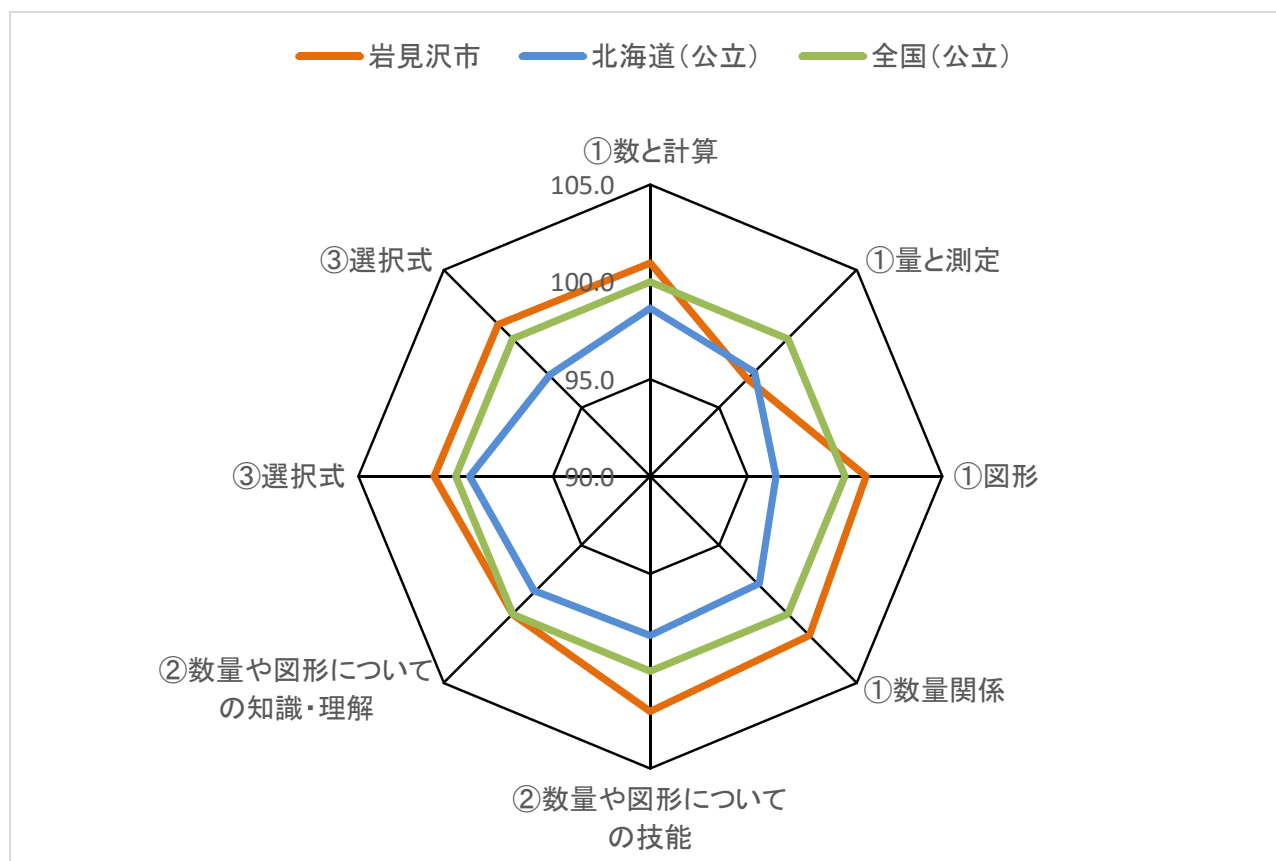
△「②数量や図形についての知識・理解」は全国平均と同様である。

●「①量と測定」では、全道・全国平均を下回った。

＊設問別集計結果では、平均正答率で全国平均を上回るのは、15問中9問、全道平均を上回るのは13問となっている。特に「9(1) 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ」、「9(2) 二次元表の合計欄に入る数を書く」では、全国平均を「3ポイント以上」上回った。

ア 分類・区分別チャート図

＊全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。(①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式)



＊「②算数への関心・意欲・態度」、「②数学的な考え方」、「③記述式」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（算数Ａ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
1（１）	リボンを２ｍ買ったときの代金と３ｍ買ったときの代金を書く	96.9	96.9	96.9	0.2	0.5	0.4
1（２）	買ったリボンの長さとして、１ｍ当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	72.7	71.9	69.9	0.9	1.7	1.8
1（３）	60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ	90.9	89.8	91.0	0.5	0.7	0.7
2（１）	123×52を計算する	86.8	84.9	85.2	0.0	0.4	0.5
2（２）	10.3+4を計算する	82.5	79.3	79.7	0.2	0.4	0.4
2（３）	6+0.5×2を計算する	64.3	60.0	66.6	0.3	0.6	0.6
2（４）	5÷9の商を分数で表す	70.4	67.1	69.2	2.2	4.2	3.9
3	8と12の最小公倍数を求める	87.1	86.5	86.2	0.2	1.4	1.2
4	重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	69.2	68.8	70.7	0.0	0.6	0.6
5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	64.3	65.5	67.0	0.0	1.2	1.3
6	円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	75.1	70.4	75.5	0.9	2.9	2.3
7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	88.8	85.9	86.7	0.0	1.0	1.0
8	はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	85.9	83.3	83.6	0.0	1.5	1.4
9（１）	出席番号１番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	91.6	88.2	88.0	0.9	2.6	2.6
9（２）	二次元表の合計欄に入る数を書く	66.0	60.9	62.8	1.7	5.3	5.1

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合



※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合



(2) 算数

② 算数B：主として活用に関する問題

＊岩見沢市の平均正答率「46」は、全道平均を上回り、全国平均とほぼ同様である。

◎「①数と計算」、「①図形」、「①数量関係」、「③記述式」において、全国平均をやや上回った。

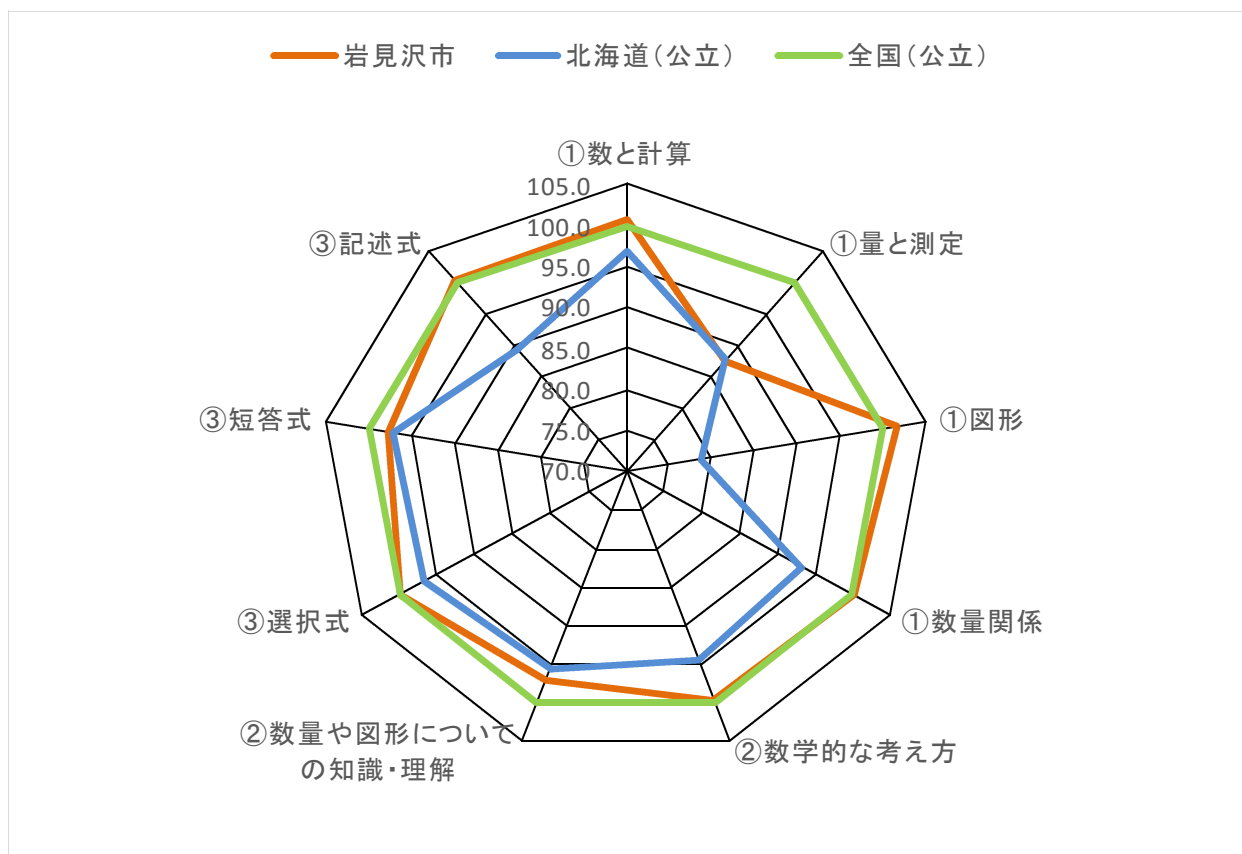
△「③選択式」は全国平均と同様である。

●「①量と測定」、「②数学的な考え方」、「②数量や図形についての知識・理解」、「③短答式」では、全国平均を下回った。「①量と測定」については、全道平均も下回っている。

＊設問別集計結果では、平均正答率で全国平均を上回るのは、11問中7問、全道平均を上回るのは9問となっている。特に「2（1）小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く」では、全国平均を「5.1ポイント」、全道平均を「7.6ポイント」上回った。反対に「3（2）仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める」では、全国平均を「8.1ポイント」、全道平均を「0.4ポイント」下回った。また、この設問での無回答率は「13.2％」と高く、全道平均の「15.9％」よりは低いものの、全国平均の「12.7％」より高くなっている。

ア 分類・区分別チャート図

＊全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。（①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式）



＊「②算数への関心・意欲・態度」、「②数量や図形についての技能」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（算数Ｂ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
1（１）	カードの差が４の場合の、２けたのひき算の式と答えを書く	76.8	75.6	76.0	1.4	2.1	2.0
1（２）	示された考えを基に、 $54-45$ の場合で残る部分を図に表す	78.5	79.4	81.8	2.9	4.9	3.9
1（３）	２けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	39.9	37.6	38.6	11.0	17.1	14.9
2（１）	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く	45.5	37.9	40.4	4.6	7.5	6.4
2（２）	１３本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を３等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	25.4	25.0	27.4	3.8	6.6	6.0
3（１）	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	64.4	64.3	67.9	0.5	1.1	1.1
3（２）	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	18.0	18.4	26.1	13.2	15.9	12.7
4（１）	示された式の中の数が表示する意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ	41.8	37.1	39.8	3.6	5.6	4.8
4（２）	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	29.9	28.4	29.3	3.1	5.4	4.6
5（１）	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	67.9	64.4	65.0	3.8	6.5	5.5
5（２）	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	13.4	10.4	13.2	7.4	10.7	8.7

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

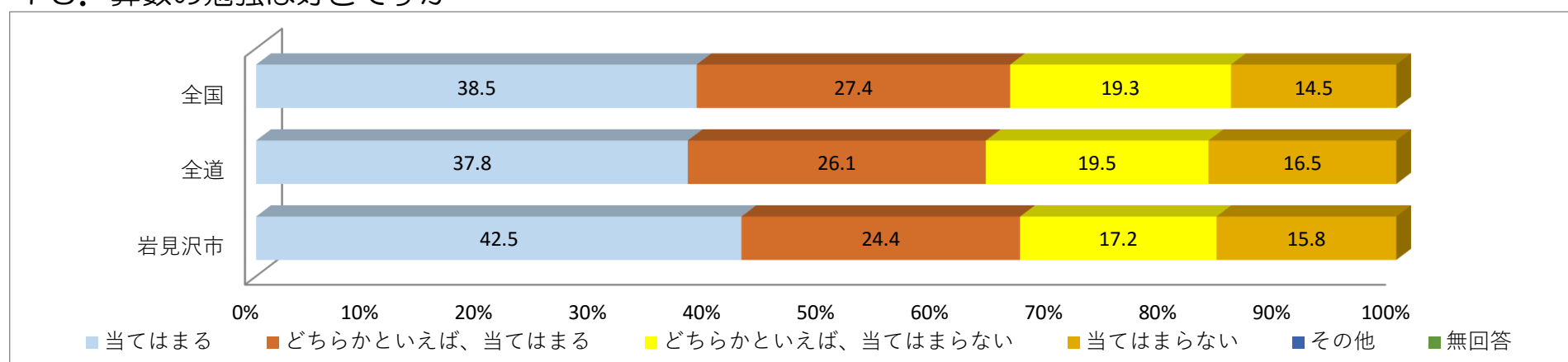


※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合



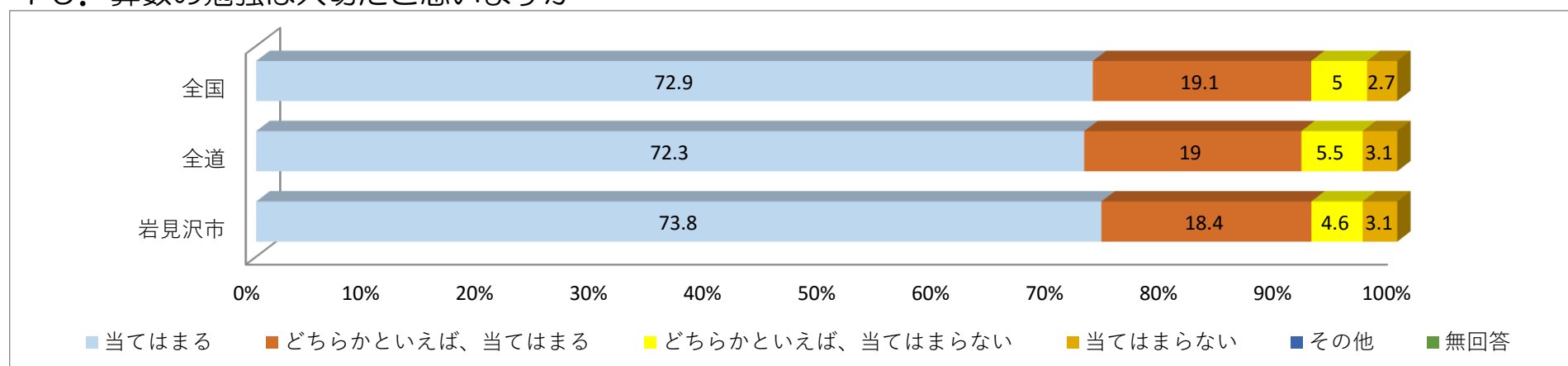
③「算数に関する」質問紙調査結果

78. 算数の勉強は好きですか



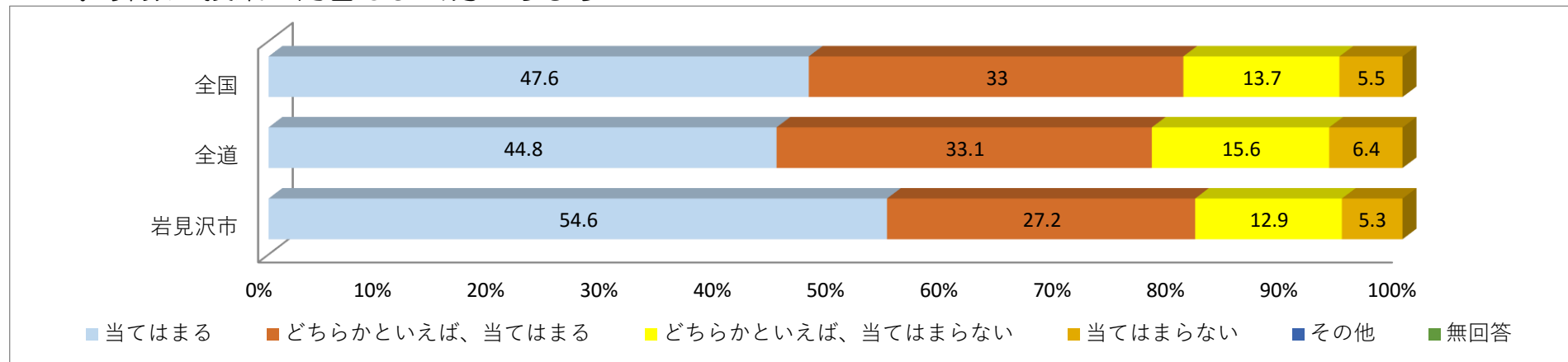
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は66.9%で、全国より1ポイント、全道より3ポイント上回っている。

79. 算数の勉強は大切だと思いますか



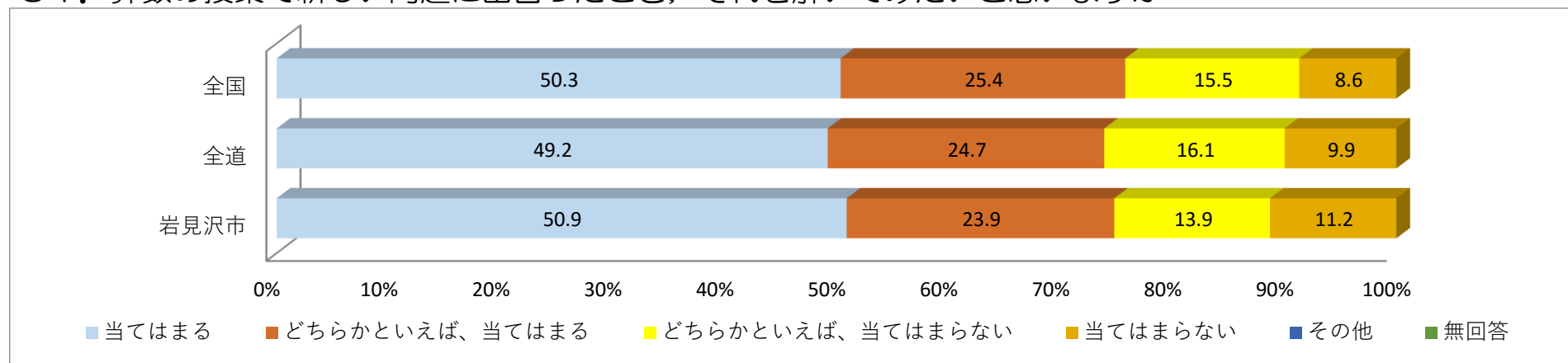
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は92.2%で、全国より0.2ポイント、全道より0.9ポイント上回っている。

80. 算数の授業の内容はよく分かりますか



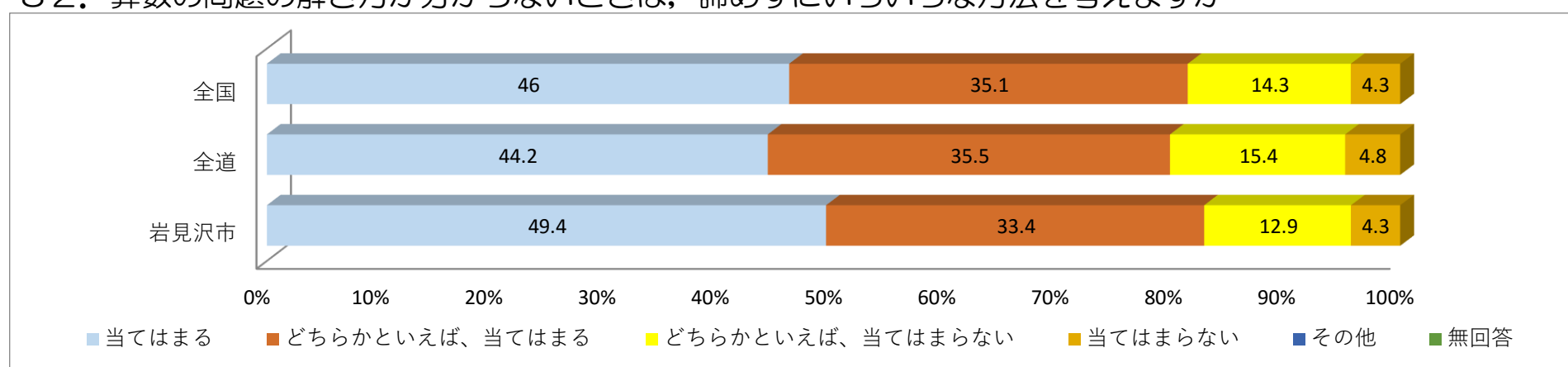
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は81.8%で、全国より1.2ポイント、全道より3.9ポイント上回っている。

81. 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか



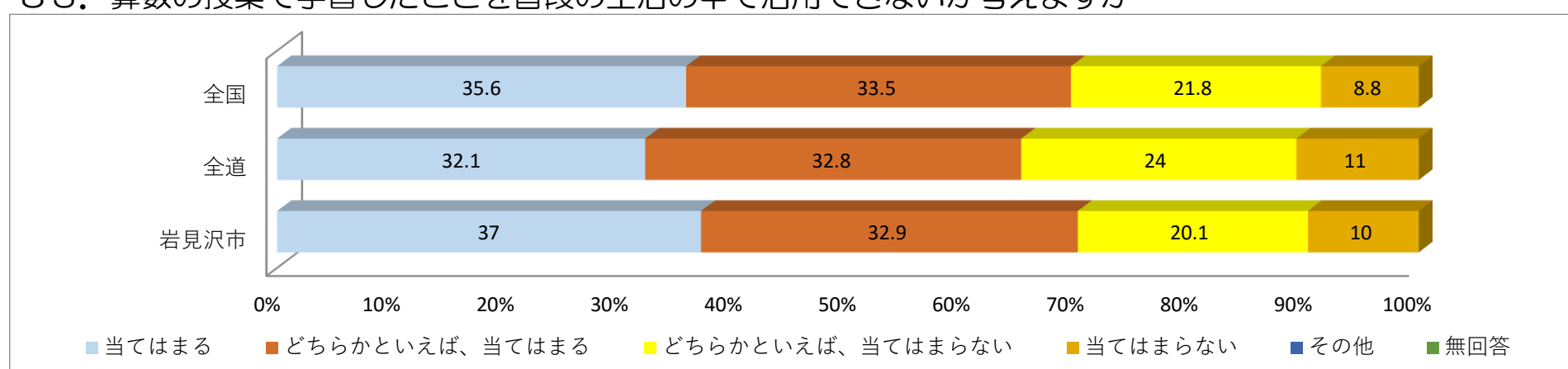
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は74.8%で、全国より0.9ポイント下回り、全道より0.9ポイント上回っている。

8 2. 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



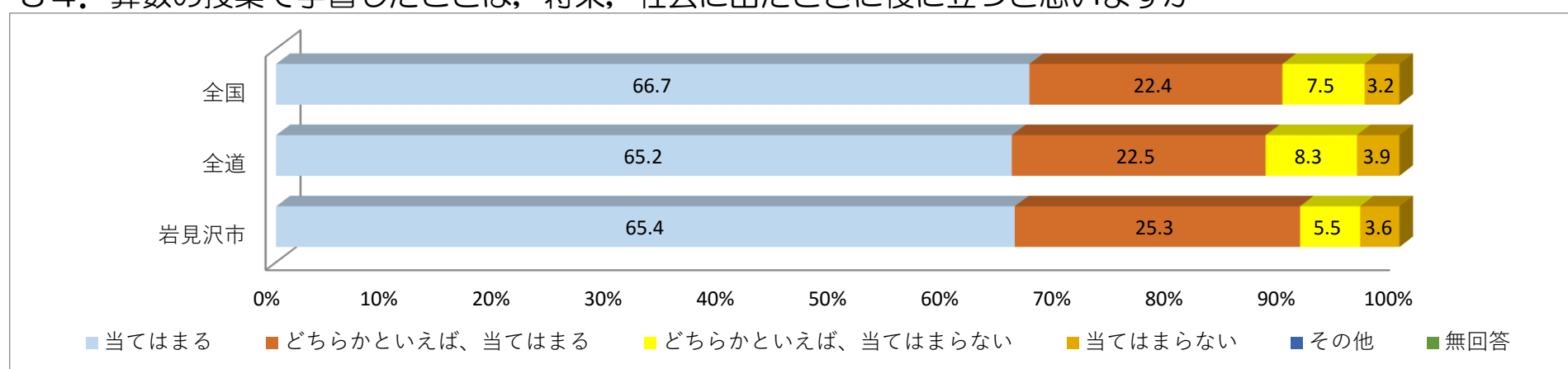
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は8 2. 8 %で、全国より1. 7 ポイント、全道より3. 1 ポイント上回っている。

8 3. 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



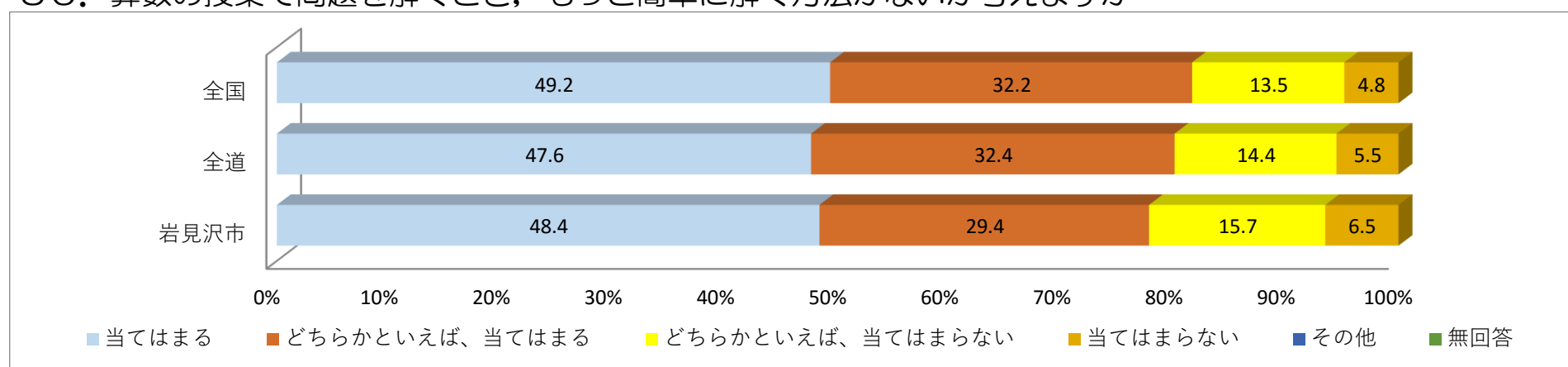
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は6 9. 9 %で、全国より0. 8 ポイント、全道より5 ポイント上回っている。

8 4. 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



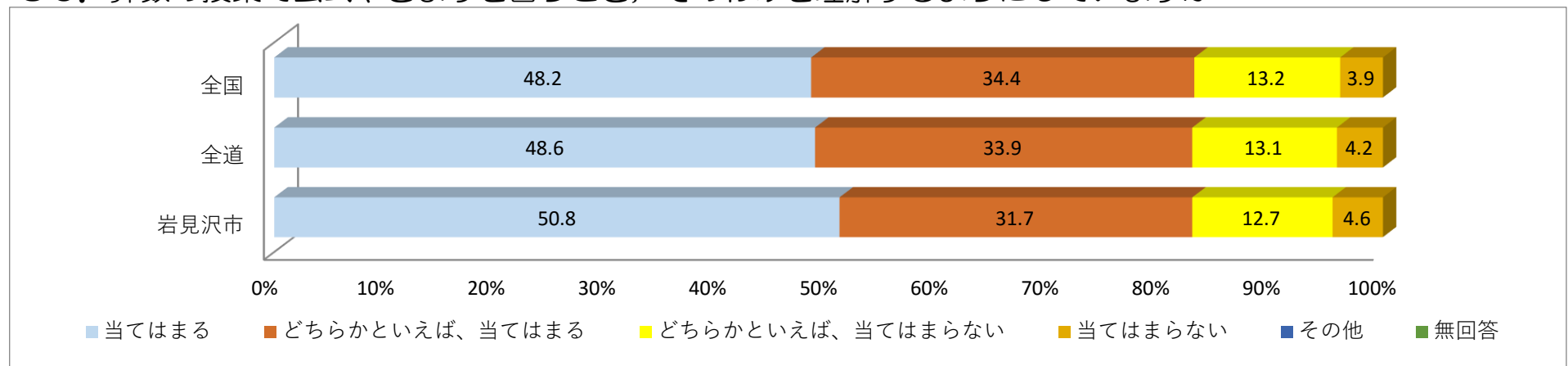
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は9 0. 7 %で、全国より1. 6 ポイント、全道より3 ポイント上回っている。

8 5. 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



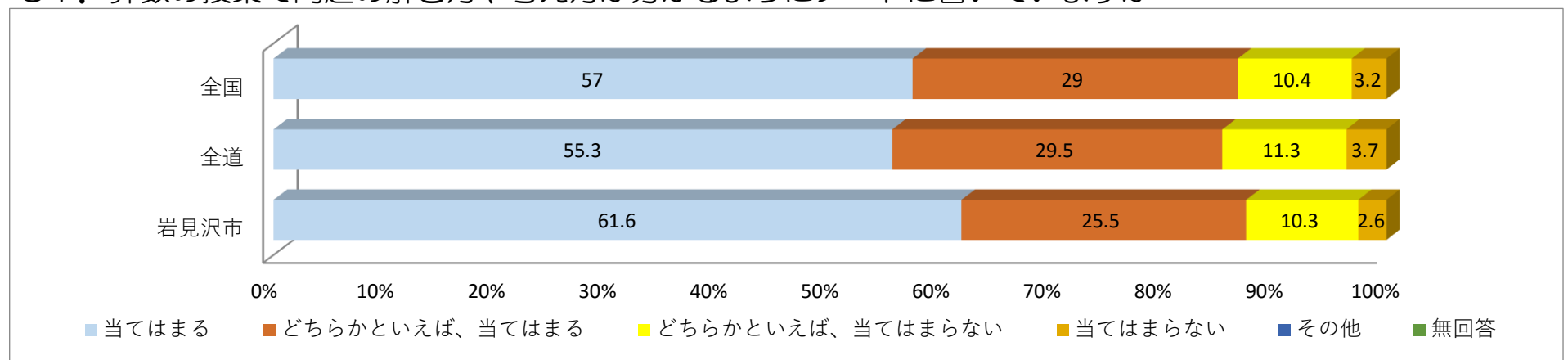
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は7 7. 8 %で、全国より3. 6 ポイント、全道より2. 2 ポイント下回っている。

86. 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



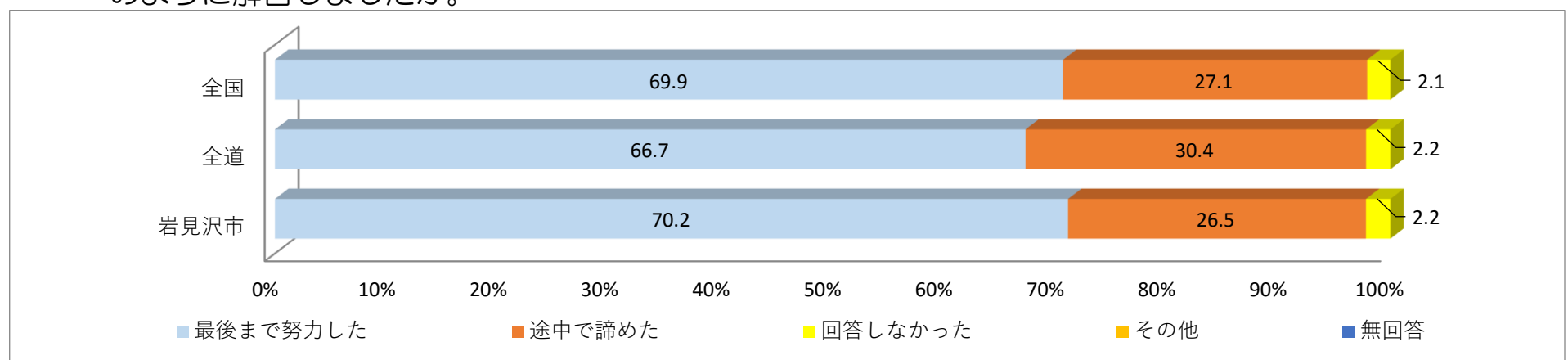
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は82.5%で、全国より0.1ポイント下回り、全道と同様である。

87. 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

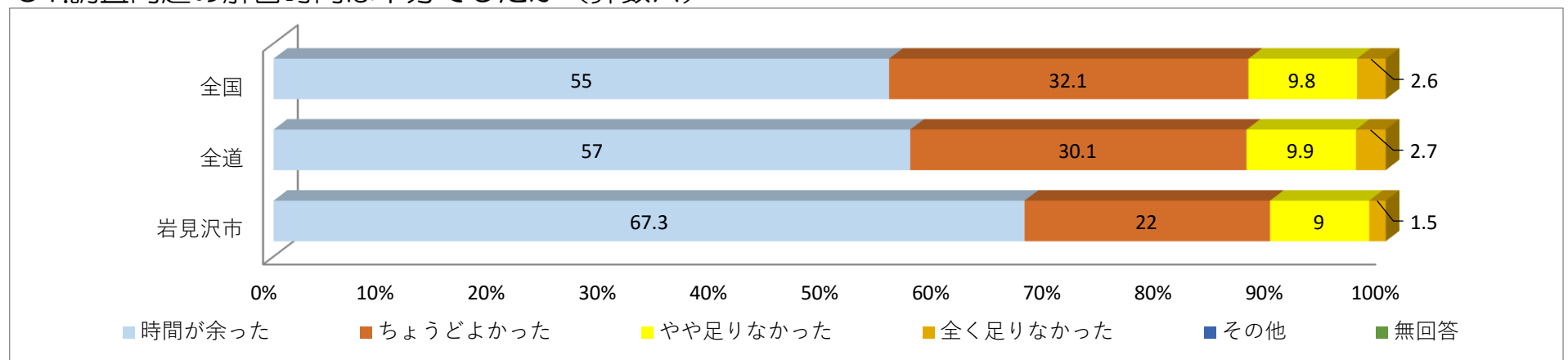


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している児童の割合は87.1%で、全国より1.1ポイント、全道より2.3ポイント上回る。

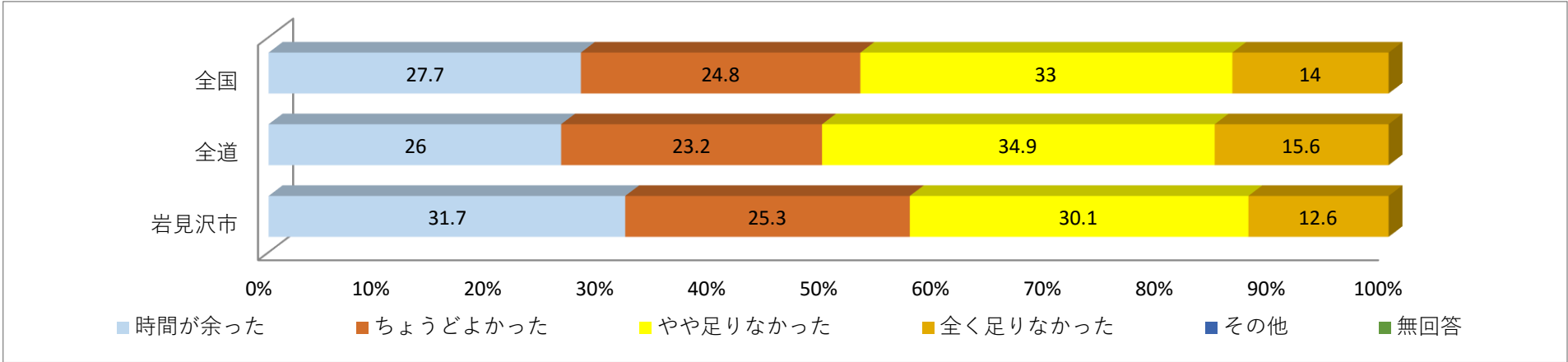
88. 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。



91. 調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）



92.調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）



④ 指導改善のポイント(文部科学省、国立教育政策研究所の報告書より)

数と計算

- 問題を解決する過程で、「計算の意味」と「計算の仕方」を関連付けて、計算の能力を身に付けることができるようにする指導の充実

整数、小数及び分数の計算においては、計算の意味と計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考察し、説明できるようにすることが大切である。また、日常生活の事象と関連付けた場面を設定できるように単元の計画を工夫し、計算に習熟したり生活や学習に活用したりすることができるようにすることも大切である。

- 日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択したり、示された方法を数学的に解釈し、問題場面に適用できるか考察し判断したりする指導の充実

日常生活の問題の解決のために、必要な情報を収集した上で条件に合うものを選択したり、示された方法を数理的に捉えて数学的な意味を見いだし、問題場面に適用できるか考察し判断したりすることができるようにすることが大切である。また、問題の解決のために用いた方法を、日常生活の場面に戻って振り返ることで、算数が役立っていることを実感できるようにすることも大切である。

量と測定

- 異なる量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられていることを実感的に理解できるようにする指導の充実

量の比較や測定においては、比較や測定の方法のよさを理解し、新たに学習する量の比較や測定に活用できるようにすることが大切である。また、異なる種類の量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられていることを実感的に理解できるようにすることも大切である。

- 日常生活の問題の解決のために、データを処理する方法を適切に用いて判断したり、工夫してデータを処理するよさを実感したりすることができるようにする指導の充実

実験結果の測定値としていくつかの数量があったとき、それらの数量の平均を求めることでより妥当な数値が得られる場合がある。その際、飛び離れた数値や予想外の数値があった場合に、場面や状況によっては、それらの数値を除き、目的に応じた平均を求めることができるようにすることが大切である。また、平均がおよそどのくらいになるのかを見積もったり、基準を変えて計算することで、測定値の平均を工夫して求めるよさを実感したりすることができるようにすることも大切である。

図形

- 図形の構成・分解の活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるようにする指導の充実

図形の学習においては、図形の性質を実感的に理解できるようにすることが大切である。そのために、単なる知識として図形の性質を指導するのではなく、構成・分解などの活動を通して、図形の性質を見いだしたり振り返ったりすることで、その性質の理解を深めることができるようにすることが大切である。

○ 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察する指導の充実

立体図形と見取図、展開図を関連付け、構成要素やそれらの位置関係に着目して、立体図形の構成の仕方を適切に捉えることができるようにすることが大切である。立方体や直方体などの立体図形の学習では、向かい合う面が平行になることや、隣り合う面が垂直になることを、具体物の観察や操作を通して実感的に理解できるようにすることが大切である。

数量関係

○ 数量の関係を一般化して捉え、言葉や式を用いて表現する指導の充実

算数の学習では、児童自らがどのような数量の関係が成り立つのかを予想したり、数値や場面を変えても同じように関係が成り立つかどうかについて考えたり、なぜそのような関係が成り立つのかを図を用いて説明したりすることができるようにすることが大切である。さらに、見いだした数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現できるようにすることが大切である。

○ 日常生活の事象を、割合や表、グラフなどを活用して考察する指導の充実

日常生活の中には、算数で学習した内容を基に数理的に処理し合理的に判断できる場面がある。日常生活の事象を、児童にとってより身近なものなどに置き換え、割合を活用して考察したり、表や図、グラフに表して捉え、そこから見いだすことができる特徴や傾向を基に考察したりすることができるようにすることが大切である。

《中学校》

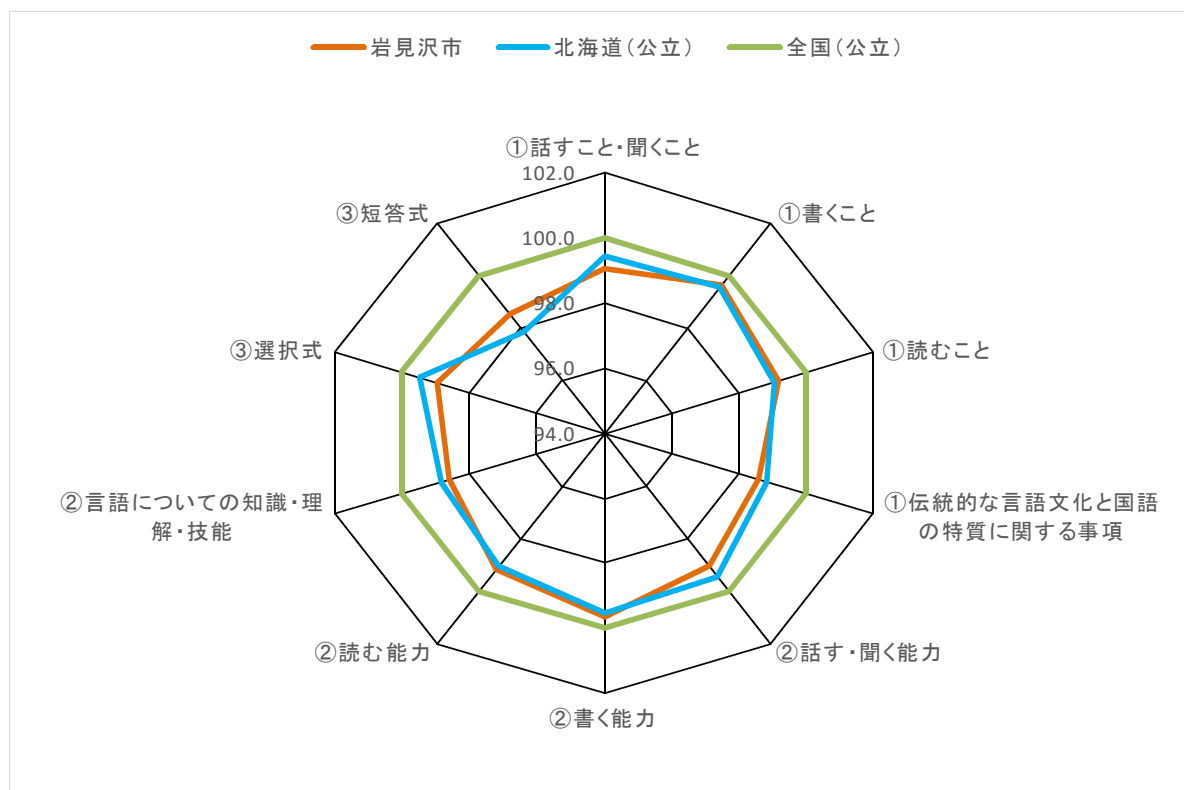
(1) 国語

① 国語A：主として知識に関する問題

- * 岩見沢市の平均正答率「77」は、全道平均と同様であり、全国平均とほぼ同様である。
- ◎ 「①書くこと」、「①読むこと」、「②書く能力」、「②読む能力」、「③短答式」において全道平均を上回った。
- 全て全国平均を下回っている。また、「①話すこと・聞くこと」、「①伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「②話す・聞く能力」、「②言語についての知識・理解・技能」、「選択式」についても全道平均を下回った。
- * 設問別集計結果では、平均正答率で全国平均を上回ったのは、32問中11問、全道平均を上回ったのは15問となっている。特に、「8ー詩について説明したものとして適切なものを選択する」では、全国・全道平均を「3.8ポイント」、「9五話合いの記録として適切な言葉を考える」では、全国平均を「4.1ポイント」、全道平均を「3.4ポイント」上回った。また、「9七2『徒然草』の作品の種類として適切なものを選択する」では、全国平均を「7ポイント」、全道平均を「4.1ポイント」上回った。反対に「9六1楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する」では、全国平均を「13.4ポイント」、全道平均を「16.8ポイント」下回った。

ア 分類・区分別チャート図

- * 全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。(①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式)



- * 「②国語への関心・意欲・態度」、「③記述式」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（国語Ａ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
1	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	83.4	81.6	81.4	0.0	0.1	0.1
2－	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	86.0	85.9	87.8	0.0	0.1	0.1
2 二	スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する	78.7	78.7	79.6	0.2	0.2	0.3
3－	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	86.0	84.9	86.0	3.2	3.6	3.3
3 二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	84.6	83.9	84.3	0.2	0.2	0.2
4－	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	79.6	80.3	81.0	0.0	0.1	0.2
4 二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	71.1	72.4	72.9	0.0	0.2	0.3
5－	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	78.8	79.7	79.8	0.0	0.2	0.2
5 二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	92.1	92.7	92.7	0.0	0.1	0.2
6－	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	73.8	73.1	74.8	0.0	0.4	0.5
6 二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する	56.5	58.3	60.1	0.2	0.4	0.5
7－	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	53.3	54.8	54.0	4.4	5.1	5.1
7 二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	81.0	80.7	80.4	0.2	0.3	0.4
8－	詩について説明したものとして適切なものを選択する	85.7	81.9	81.9	0.2	0.5	0.6
8 二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	72.5	72.5	72.3	0.3	0.6	0.8
9－ 1	漢字を書く（組織の <u>主</u> を大きくする）	49.9	53.1	62.8	17.8	19.5	15.8
9－ 2	漢字を書く（雨で運動会が <u>エ</u> ンキになる）	57.7	58.0	62.3	10.8	13.1	13.5
9－ 3	漢字を書く（店を <u>イ</u> トナむ）	87.4	84.2	85.4	4.9	9.1	8.3

9 二 2	漢字を読む（鮭やかな色合い）	93.6	93.9	94.5	0.3	0.5	0.8
9 二 3	漢字を読む（水が垂れる）	96.3	95.1	94.3	0.0	0.7	1.1
9 三 ア	適切な語句を選択する（ <u>えり</u> を正して話を聞く）	74.9	74.9	76.9	0.3	0.5	0.7
9 三 イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したときは、 <u>急がば回れ</u> といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）	58.6	59.1	61.4	0.0	0.6	0.7
9 三 ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよく <u>ご利用になる</u> のですね）	83.3	82.7	85.7	0.2	0.5	0.7
9 三 エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。 <u>ただし</u> 、映画なら何でも見るわけではありません）	97.9	95.7	95.5	0.0	0.4	0.6
9 三 オ	適切な語句を選択する（チームの勝利を <u>確信</u> する）	95.1	94.9	94.2	0.0	0.5	0.6
9 四	言い直した意図として適切なものを選択する	91.2	91.5	91.6	0.3	0.5	0.7
9 五	話合いの記録として適切な言葉を考える	39.9	36.5	35.8	10.2	13.4	13.1
9 六 1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	36.2	53.0	49.6	0.5	0.8	1.0
9 六 2	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	62.1	63.1	63.7	0.5	0.9	1.1
9 七 1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	76.6	75.5	77.2	1.8	3.5	3.9
9 七 2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	85.5	81.4	78.5	0.9	1.2	1.3

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合



※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合

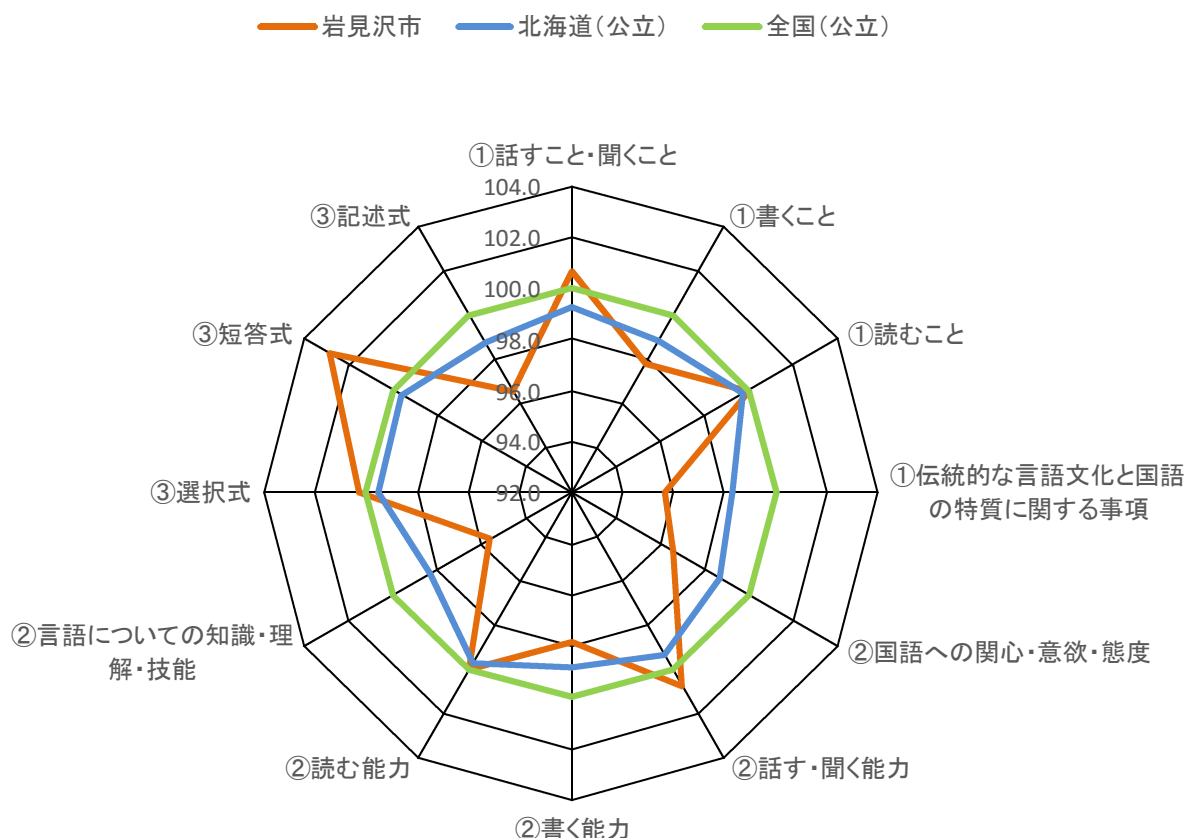


② 国語B：主として活用に関する問題

- * 岩見沢市の平均正答率「72」は、全道平均と同様、全国平均とほぼ同様である。
- ◎ 「①話すこと・聞くこと」、「①読むこと」、「②話す・聞く能力」、「②読む能力」
「③選択式」、「③短答式」において全国平均と同様またはそれ以上であり、全道平均を上回った。
- 「①書くこと」、「①伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「②国語への関心・意欲・態度」、「②書く能力②言語についての知識・理解・技能」、「③記述式」においては、全国・全道平均を下回った。
- * 設問別集計結果では、平均正答率で全国・全道平均を上回ったのは、9問中6問となっている。特に、「1 2地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す」では、全国平均より「2.4ポイント」、全道平均より「2.7ポイント」上回った。反対に「3 アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く」では、全国平均を「4ポイント」、全道平均を「2.4ポイント」下回った。

ア 分類・区分別チャート図

* 全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。(①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式)



イ 設問別集計結果（国語Ｂ）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	北海道（公立）	全国（公立）
１－	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	85.7	84.6	84.1	0.2	0.1	0.1
１二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	86.5	83.8	84.1	3.7	5.0	5.3
１三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	39.6	40.7	41.4	18.1	18.1	14.3
２－	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	86.1	84.9	85.4	0.0	0.2	0.2
２二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	74.9	73.2	74.2	0.0	0.2	0.3
２三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	57.7	57.5	57.6	6.7	7.2	5.8
３－	下書きについての説明として適切なものを選択する	75.8	75.1	75.3	0.0	0.2	0.3
３二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する	76.7	78.3	78.7	0.3	0.3	0.5
３三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえたと考えた理由を書く	64.8	67.2	68.8	7.5	8.8	7.4

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

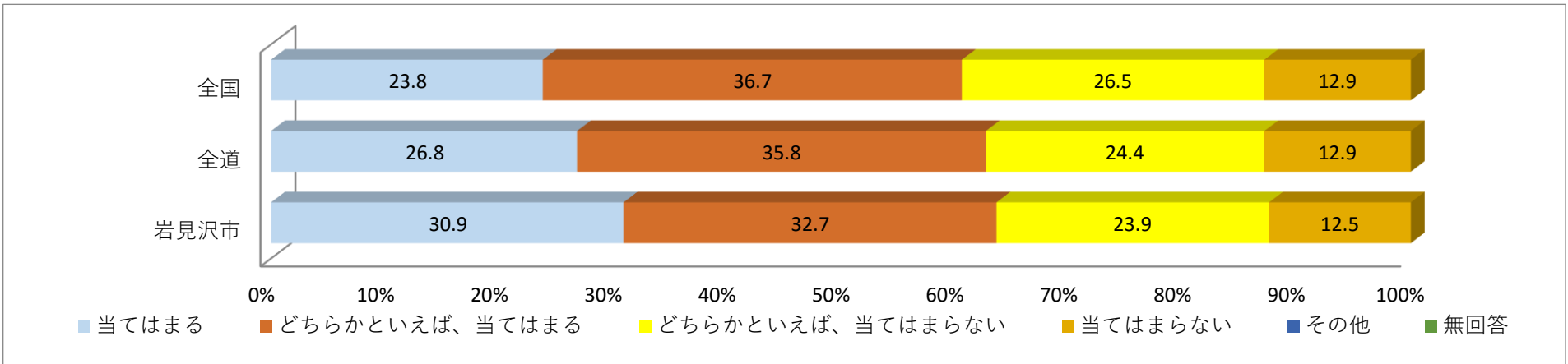


※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合



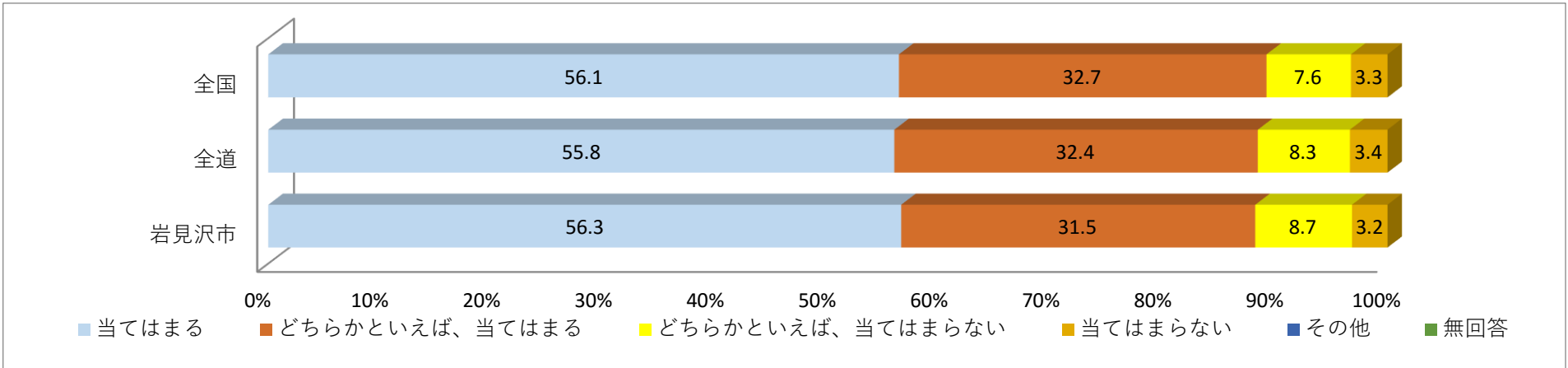
③「国語に関する」質問紙調査結果

7 1. 国語の勉強は好きですか



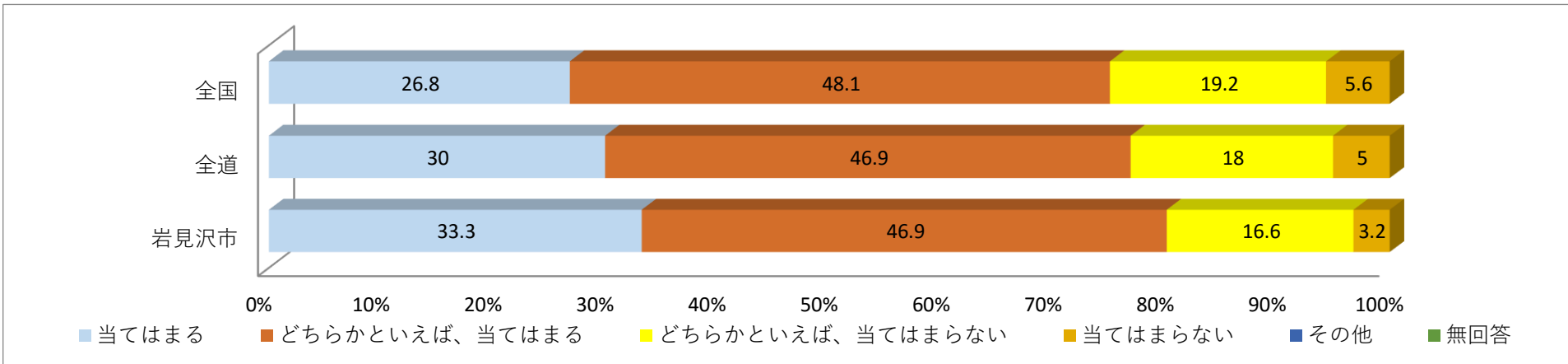
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は63.6%で、全国より3.1ポイント、全道より1ポイント上回る。

7 2. 国語の勉強は大切だと思いますか



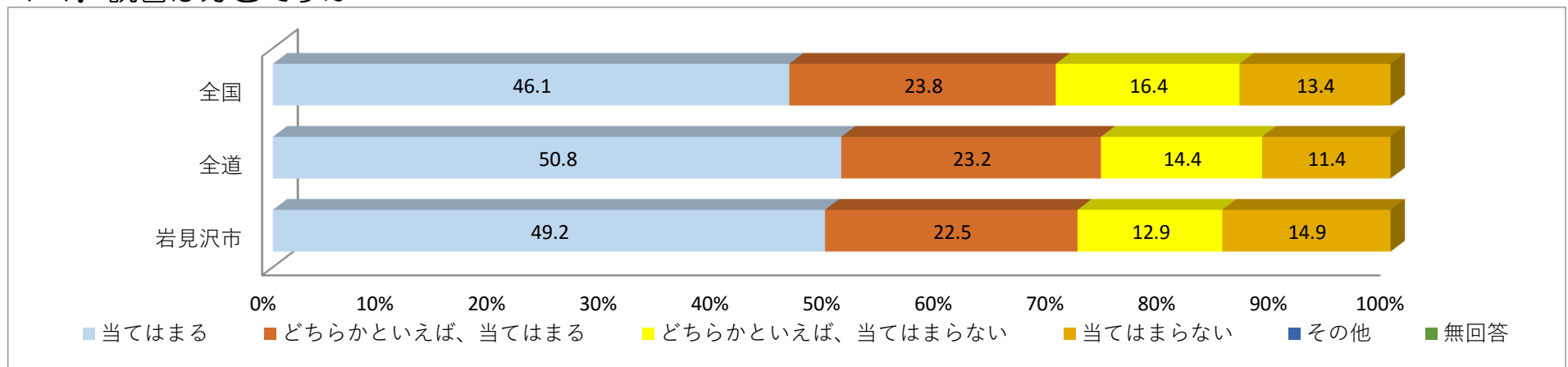
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は87.8%で、全国より1ポイント、全道より0.4ポイント下回る。

7 3. 国語の授業の内容はよく分かりますか



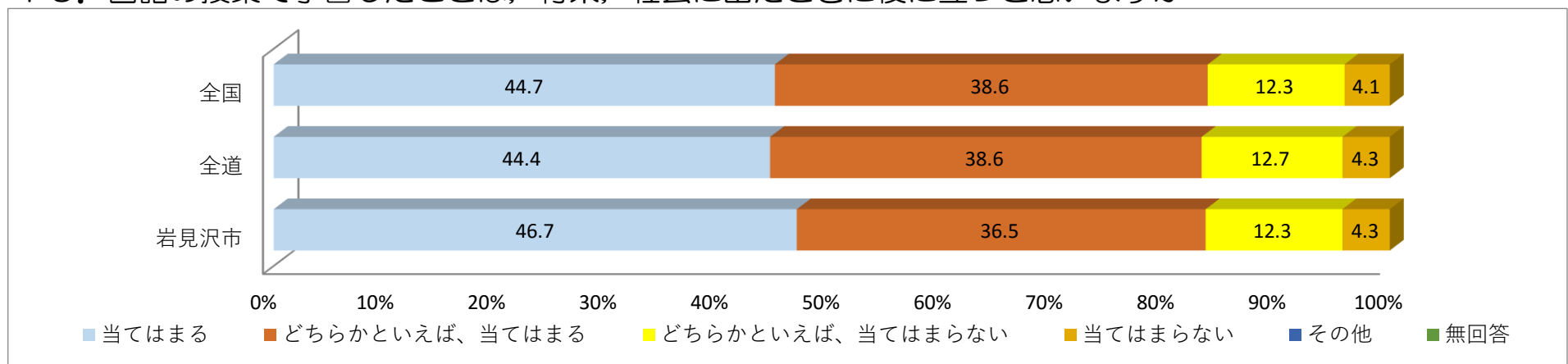
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は80.2%で、全国より5.3ポイント、全道より3.3ポイント上回る。

74. 読書は好きですか



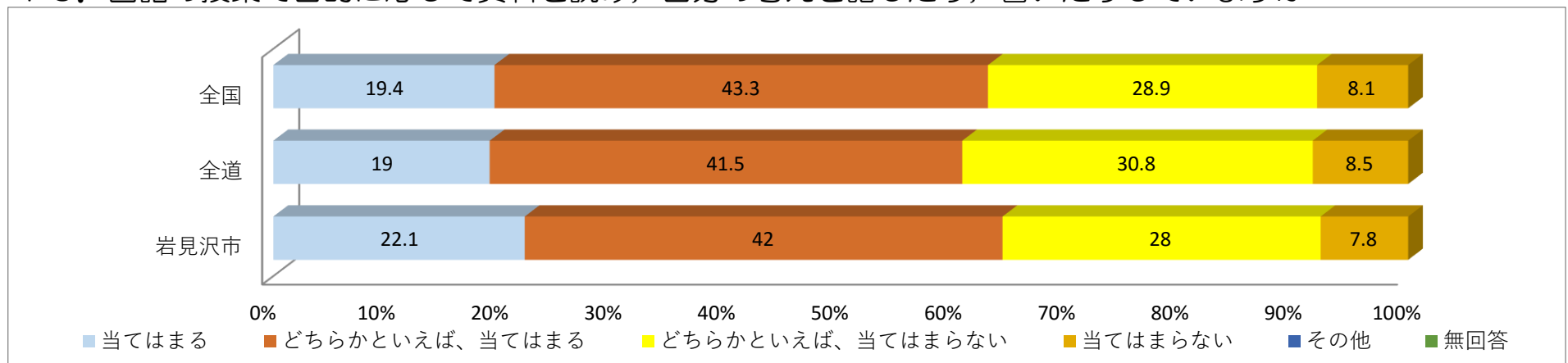
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は71.7%で、全国より1.8ポイント上回り、全道より2.3ポイント下回る。

75. 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



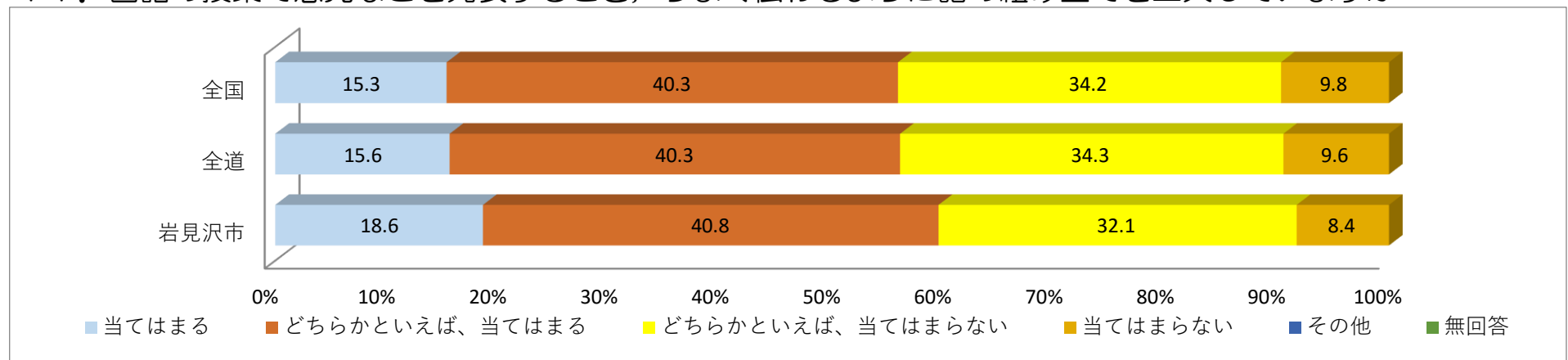
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は83.2%で、全国より0.1ポイント下回り、全道より0.2ポイント上回る。

76. 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



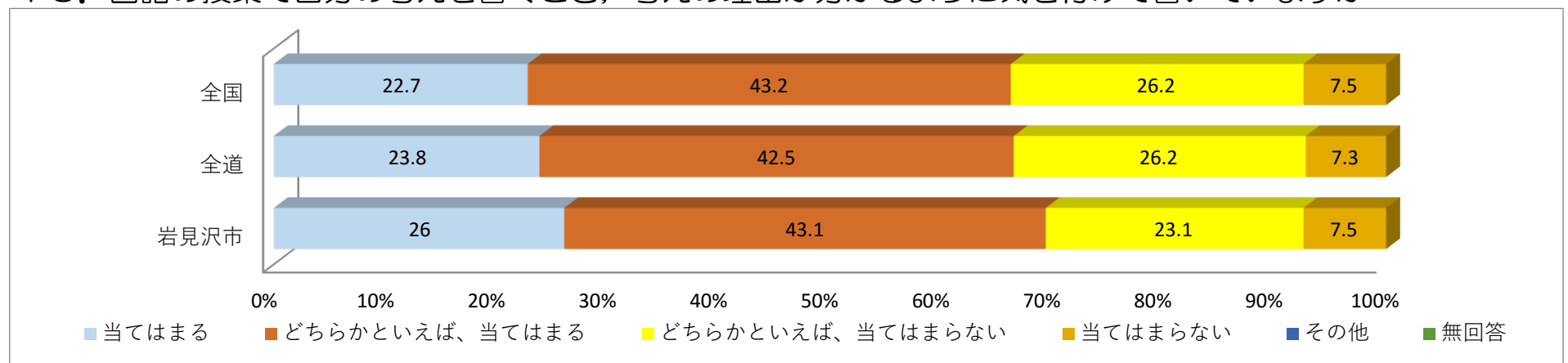
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は64.1%で、全国より1.4ポイント、全道より3.6ポイント上回る。

77. 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



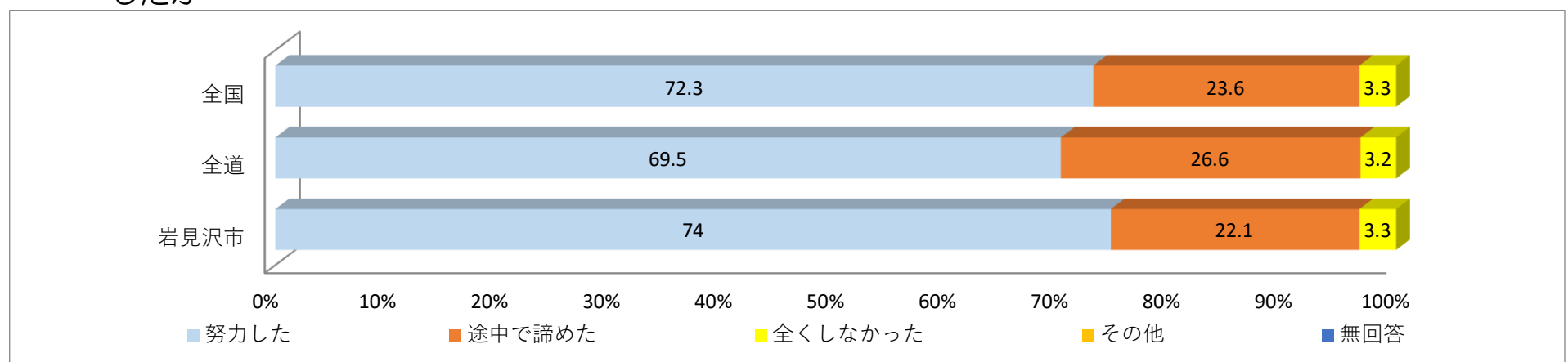
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は59.4%で、全国より3.8ポイント、全道より3.5ポイント上回る。

78. 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



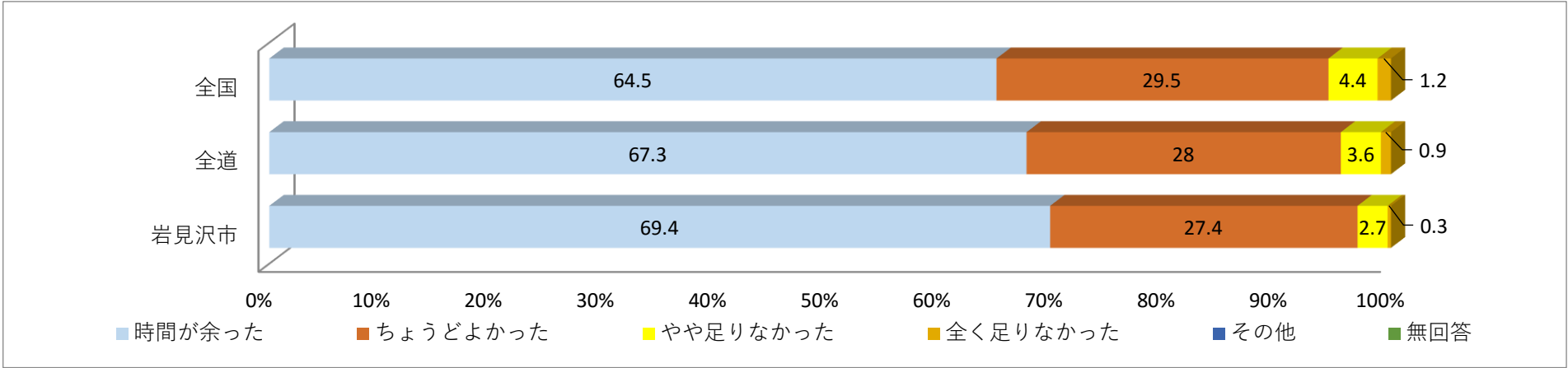
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は69.1%で、全国より3.2ポイント、全道より2.8ポイント上回る。

79. 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

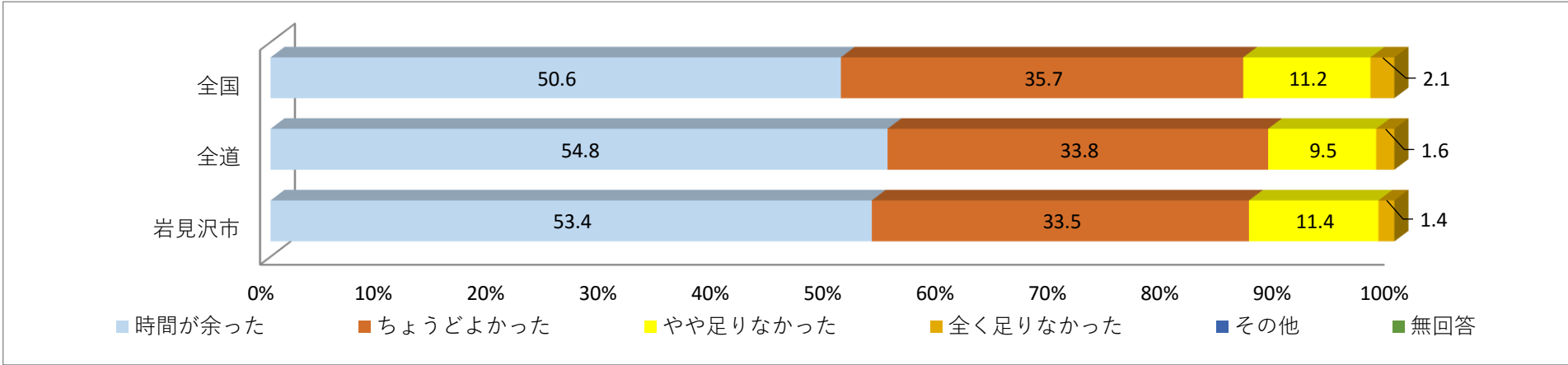


「全ての書く最後まで解答を書こうと努力した」と回答している生徒の割合は74%で、全国より1.7ポイント、全道より4.5ポイント上回る。

9 1．調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）



9 2．調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）



④ 指導改善のポイント(文部科学省、国立教育政策研究所の報告書より)

話すこと・聞くこと

○ 相手や場を意識して話す指導の工夫

相手や場を意識して話す力を身に付けるために、第1学年では相手の反応を踏まえながら話すこと、第2学年では異なる立場や考えを想定して話すこと、第3学年では場の状況や相手の様子に応じて話すことなどについて指導するとともに、相手に分かりやすい語句を選択して話すように指導する必要がある。その際、事前に想定した話し方や内容だけでなく、うなずきや表情などという相手の反応から、話の受け止め方や理解の状況を捉えて話すように指導することが大切である。また、相手に自分の意図が十分に伝わっていないと感じられた時には、分かりやすい語句に言い換えたり補足したりするように指導することも重要である。話した後は、話し方や内容が適切であったかどうかについて相手に尋ねたり、記録した動画を見たりして話し手と聞き手の両方の立場から振り返ることも効果的である。

書くこと

○ 根拠として取り上げる内容が適切かどうかを吟味して書く指導の工夫

自分の考えや意見を根拠を明確にして書く力を身に付けるために、根拠として取り上げる内容が、目的や意図に合っているかどうかや、自分の考えや意見を述べるためにふさわしいものであるかどうかについて常に吟味するように指導する必要がある。その際、書いた文章を推敲したり交流したりする際の観点の一つとして取り上げることが大切である。

○ 書く目的を意識し、見通しをもって必要な情報を集める指導の工夫

書く目的を意識し、見通しをもって必要な情報を集める力を身に付けるために、自ら課題を決めて文章を書く言語活動を構想するとともに、情報の提示の仕方やその効果について考えながら情報を集めるように指導する必要がある。その際、何のために文章を書くのかという目的を踏まえるように指導することが重要である。

読むこと

○ 話の展開を踏まえて一つ一つの叙述の意味を捉える指導の工夫

目的に応じて一つ一つの叙述の意味を捉える力を身に付けるために、着目した語句や文が含まれる部分を読んで考えるだけでなく、文章の中の時間的、空間的な場面の展開の実態に応じて、話の展開に注意して読むとはどういうことなのかについて、文章の具体的な内容を取り上げながら説明することも大切である。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○ 多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする指導の工夫

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるために、それぞれの語句が話や文章の中でどのように関連付けて使用されているか、自分が表現するときどのように活用すればよいかについて辞書等を用いながら考える機会を意図的に設ける必要がある。

○ 行書の特徴を理解する指導の工夫

行書の特徴を理解して書く力を身に付けるために、「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」などの行書の特徴を表す言葉に留意し、それぞれどのような書き方なのかを理解した上で文字を書くように指導する必要がある。

(2) 数学

① 数学A：主として知識に関する問題

* 岩見沢市の平均正答率「67」は、全道・全国平均を上回っている。

◎ 各領域・評価の観点・問題形式の全てにおいて全国・全道平均を上回った。

* 設問別集計結果では、全国平均を上回ったのは36問中26問、全道平均を上回ったのは33問であった。特に、「1(2)aとbが負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ」をはじめ、17の設問で「3ポイント以上」上回っている。

ア 分類・区分別チャート図

* 全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。(①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式)



* 「②数学への関心・意欲・態度」、「②数学的な見方や考え方」、「③記述式」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（数学A）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴 教 育 委 員 会	北 海 道 （ 公 立 ）	全 国 （ 公 立 ）	貴 教 育 委 員 会	北 海 道 （ 公 立 ）	全 国 （ 公 立 ）
1（1）	$\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する	86.6	82.0	87.1	1.4	1.7	1.3
1（2）	a と b が負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	72.8	67.0	69.3	0.2	0.1	0.2
1（3）	$10 - 6 \div (-2)$ を計算する	78.0	70.2	75.6	0.5	1.2	1.1
1（4）	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	90.6	87.6	89.4	2.4	3.0	2.8
2（1）	5mの重さが a gの針金の1mの重さを、 a を用いた式で表す	53.3	53.1	56.3	8.2	10.0	8.1
2（2）	$100 - 20a = b$ の式が表される場面を選ぶ	73.3	72.4	75.4	0.3	0.2	0.3
2（3）	$(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算する	83.6	77.5	78.5	0.9	1.6	1.7
2（4）	等式 $x + 4y = 1$ を y について解く	58.2	53.5	56.1	7.0	10.8	8.8
3（1）	一元一次方程式 $4x = 7x + 15$ を解く	88.3	82.0	82.7	3.5	6.7	6.4
3（2）	数量の関係を一元一次方程式で表す	56.5	52.2	52.8	12.5	17.0	16.6
3（3）	$x + y = 2$ の解の意味について選ぶ	61.4	60.9	59.6	0.9	0.8	1.0
3（4）	連立二元一次方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$ を解く	64.1	59.0	62.2	12.9	16.3	14.9
4（1）	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	66.0	66.8	67.4	0.9	0.8	1.0
4（2）	$\triangle ABC$ を、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく	93.9	90.6	90.6	1.4	2.1	2.5
4（3）	半径が5cm、中心角が 120° の扇形の弧の長さを求める	38.4	31.4	30.7	12.9	20.0	19.7
5（1）	直方体において、与えられた辺に平行な面を書く	71.3	66.6	67.0	1.8	3.1	2.9
5（2）	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	91.8	89.2	90.1	0.5	0.3	0.4

5 (3)	立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ	82.1	77.5	80.2	0.3	0.5	0.6
5 (4)	円柱の体積を求める	51.8	50.0	51.8	6.8	11.2	9.7
6 (1)	錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	37.5	47.7	43.1	0.5	0.5	0.6
6 (2)	n 角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を選ぶ	77.1	73.1	69.4	0.9	0.7	0.9
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	79.5	79.2	78.6	3.8	4.9	4.9
7 (2)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	48.5	47.3	49.1	0.6	0.7	0.9
8	事柄「 $\angle ABD = \angle CBD$, $\angle ADB = \angle CDB$ ならば, $AB = CB$ である。」の仮定をすべて書く	78.6	76.8	74.3	7.6	10.1	10.1
9	長方形の縦の長さとの面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	22.8	20.1	20.6	16.7	22.1	20.6
10 (1)	比例 $y = 4x$ について、 x の値が3のときの y の値を求める	89.4	82.8	84.6	4.9	8.3	7.3
10 (2)	比例のグラフから式を求める	63.8	54.9	57.1	4.7	10.6	9.6
10 (3)	反比例の表から比例定数を求める	41.8	34.4	34.4	14.6	21.2	20.8
11 (1)	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる	83.7	75.2	75.9	6.5	11.0	10.1
11 (2)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	60.8	58.0	56.0	1.4	1.5	1.7
12	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフを基に、2cm燃えるときの時間を選ぶ	67.2	66.9	67.6	0.9	0.9	1.1
13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	66.3	63.1	63.0	1.2	2.0	2.2
14 (1)	反復横とびの記録の範囲を求める	25.5	25.7	28.6	7.4	11.3	9.6
14 (2)	6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	45.0	43.2	45.5	13.4	18.2	15.0
15 (1)	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ことについての正しい記述を選ぶ	81.9	78.6	78.0	1.2	1.5	1.8
15 (2)	赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	81.5	76.4	78.3	5.8	8.9	7.9

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合

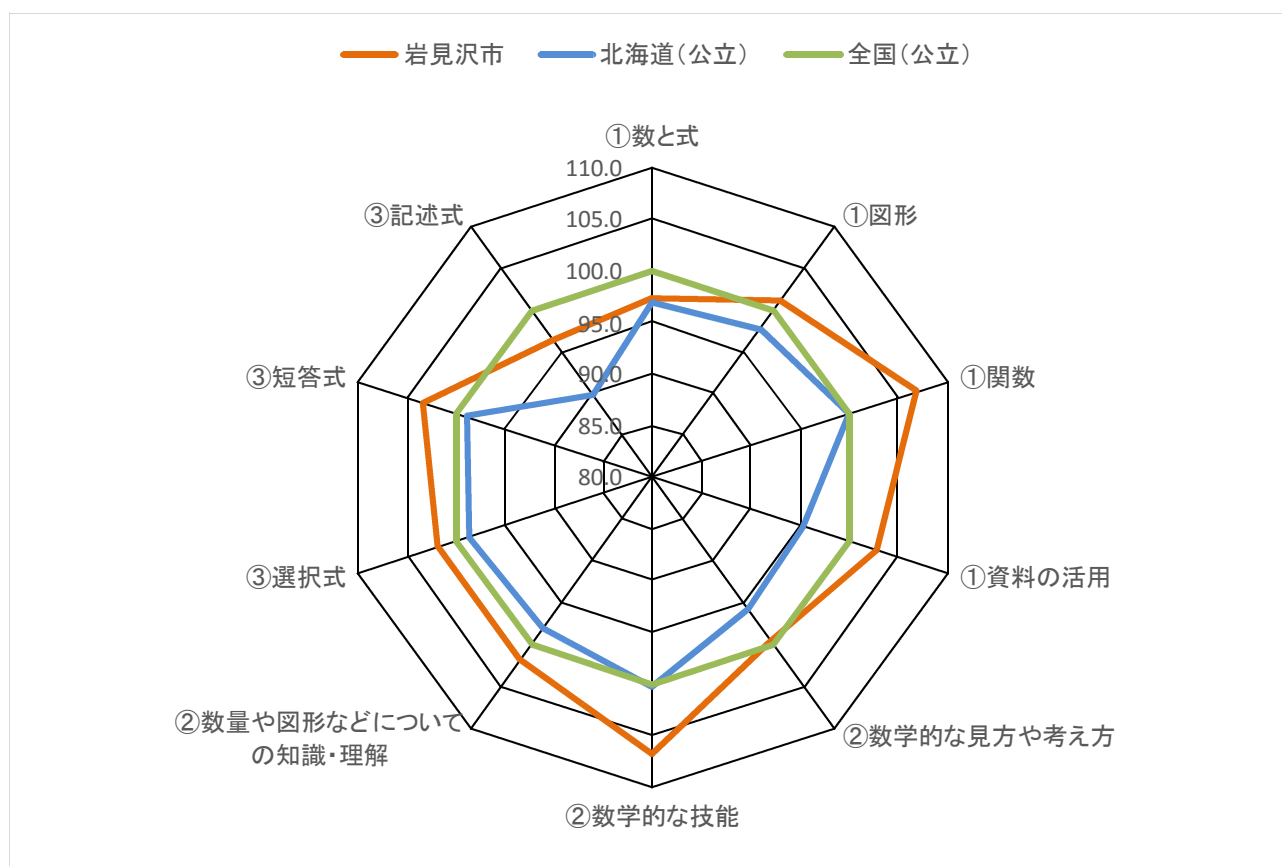


② 数学B：主として活用に関する問題

- * 岩見沢市の平均正答率「49」は、全道平均を上回り、全国平均をやや上回っている。
- ◎ 「①数と式」、「②数学的な見方や考え方」、「③記述式」以外の各領域・評価の観点・問題形式において全国平均を上回り、全道平均との関係では、全て上回っている。
- 「①数と式」では「2. 6ポイント」、「③記述式」では「3. 7ポイント」下回った。
- * 設問別集計結果では、全国平均を上回ったのは15問中8問、全道平均を上回ったのは12問であった。特に、「3（3）与えられた式から、 a の変域に対応する b の変域を求める」では、全国平均を「11. 6ポイント」、全道平均を「7. 8ポイント」上回った。

ア 分類・区分別チャート図

- * 全国平均正答率を100とした時の北海道並びに岩見沢市の平均正答率の割合を図にしている。（①は学習指導要領の領域等、②は評価の観点、③は問題形式）



- * 「②数学への関心・意欲・態度」については、対象設問がないため表示していない。

イ 設問別集計結果（数学B）

問題番号	問題の概要	正答率(%)			無解答率(%)		
		貴 教 育 委 員 会	北 海 道 （ 公 立 ）	全 国 （ 公 立 ）	貴 教 育 委 員 会	北 海 道 （ 公 立 ）	全 国 （ 公 立 ）
1（1）	隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ	69.7	67.5	67.5	0.0	0.1	0.2
1（2）	四角形A B C Dの模様が1回の回転移動によって四角形B E F Gの模様に重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する	14.0	13.1	14.0	15.1	19.9	17.7
1（3）	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ	52.1	51.4	52.8	0.0	0.2	0.3
2（1）	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	80.5	79.3	80.4	0.8	1.3	1.3
2（2）	六角形を n 個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローを n を用いた式で表す	42.2	42.5	44.1	5.5	8.9	8.3
2（3）	六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する	12.5	13.0	14.5	23.6	28.1	23.4
3（1）	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 m^3 であったことを表す点を求める	92.4	90.0	90.8	2.9	3.7	3.5
3（2）	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万 m^3 になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	15.7	15.3	18.4	31.7	37.3	33.4
3（3）	与えられた式から、 a の変域に対応する b の変域を求める	54.8	47.0	43.2	13.9	18.5	17.5
4（1）	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	46.1	42.3	44.1	19.3	23.1	20.3
4（2）	$\angle B A D$ と $\angle C B E$ が 20° のとき、 $\angle B E A$ の大きさを求める	60.9	58.0	60.0	10.7	11.9	10.9
4（3）	点Dと点Eを $B D=C E$ の関係を保ったまま動かしたとき、 $\angle B F D$ の大きさについて、正しい記述を選ぶ	42.8	43.7	44.5	0.2	0.8	0.9
5（1）	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	81.0	76.8	79.3	5.8	7.4	5.9
5（2）	全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ	54.6	49.7	50.3	0.3	0.6	0.8
5（3）	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	16.0	13.9	17.6	30.4	36.0	31.2

※岩見沢市の平均正答率が全国より「上回る」、無回答が「下回る」場合

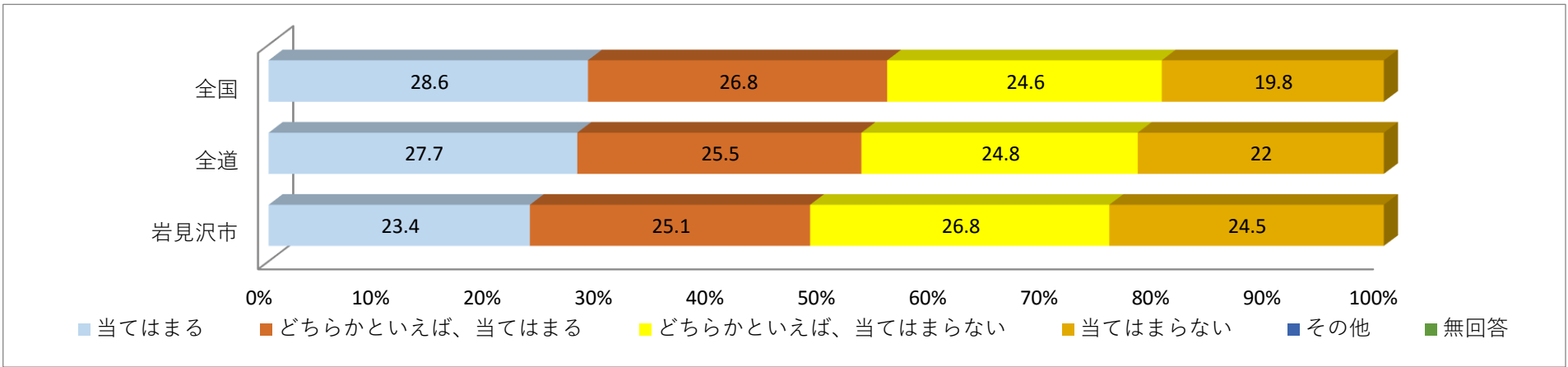


※岩見沢市の平均正答率が全国より「下回る」、無回答が「上回る」場合



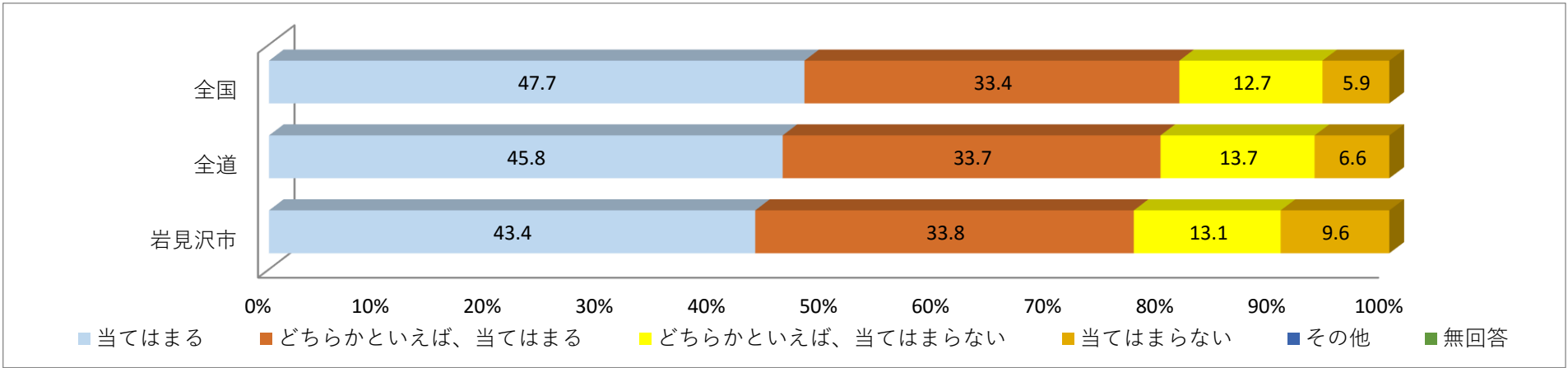
③「数学に関する」質問紙調査結果

８０．数学の勉強は好きですか



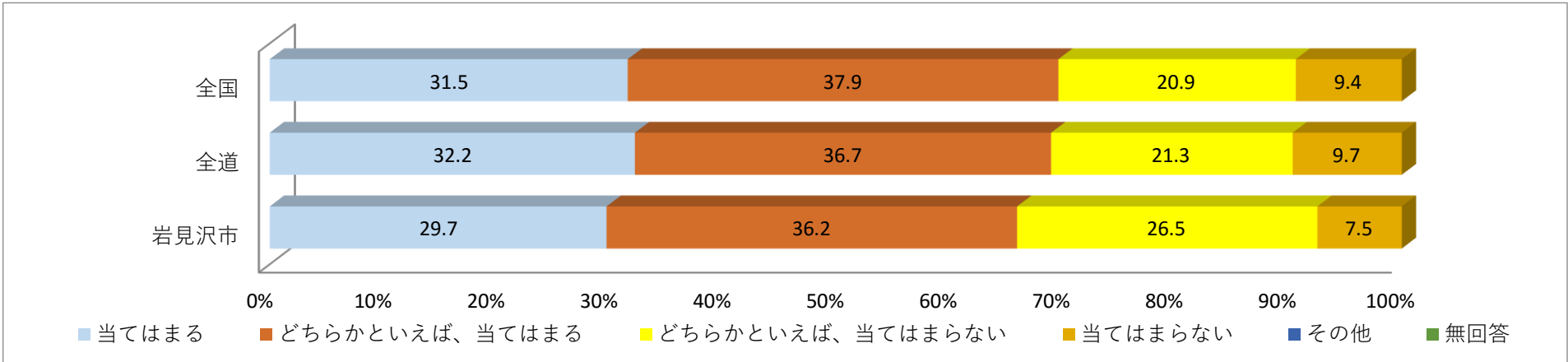
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は４８．５％で、全国より６．９ポイント、全道より４．７ポイント下回る。

８１．数学の勉強は大切だと思いますか



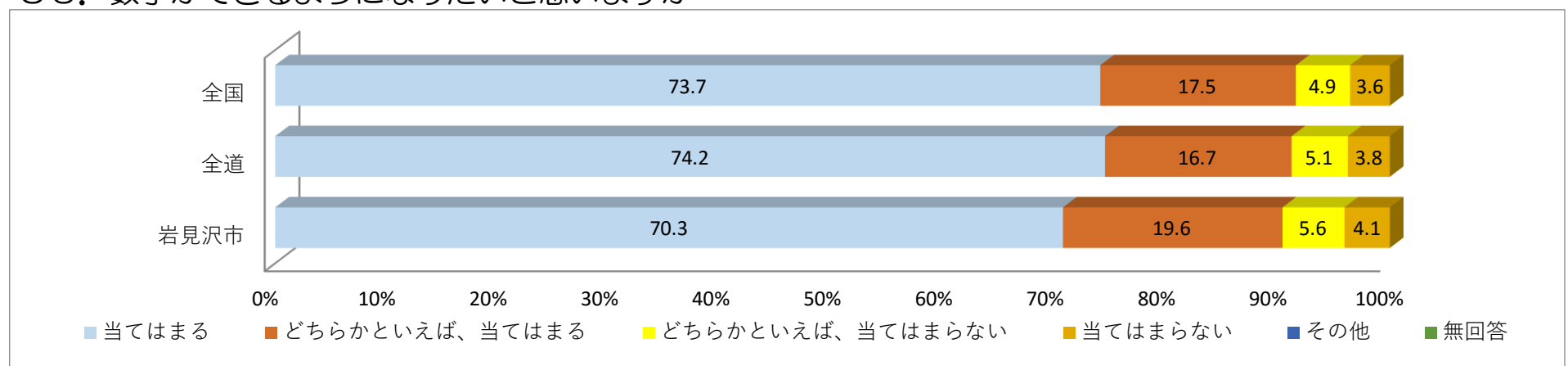
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は７７．２％で、全国より３．９ポイント、全道より２．３ポイント下回る。

８２．数学の授業の内容はよく分かりますか



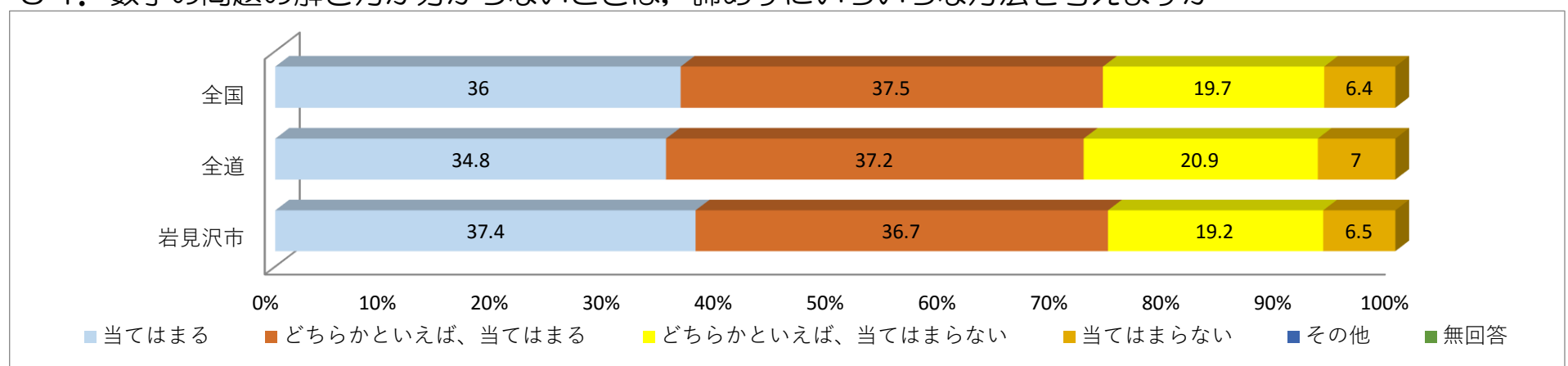
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は６５．９％で、全国より３．５ポイント、全道より３ポイント下回る。

83. 数学ができるようになりたいと思いますか



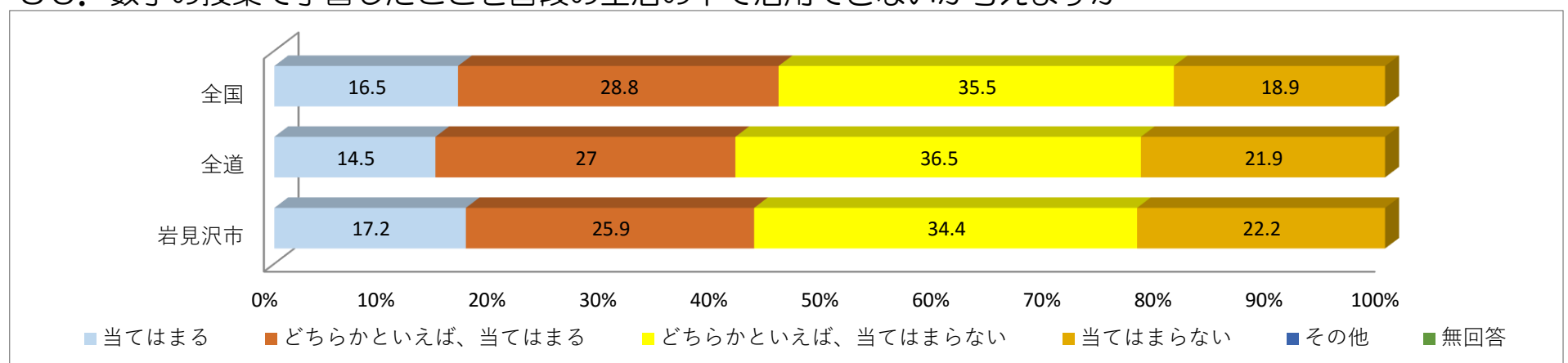
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は89.9%で、全国より1.3ポイント、全道より1ポイント下回る。

84. 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



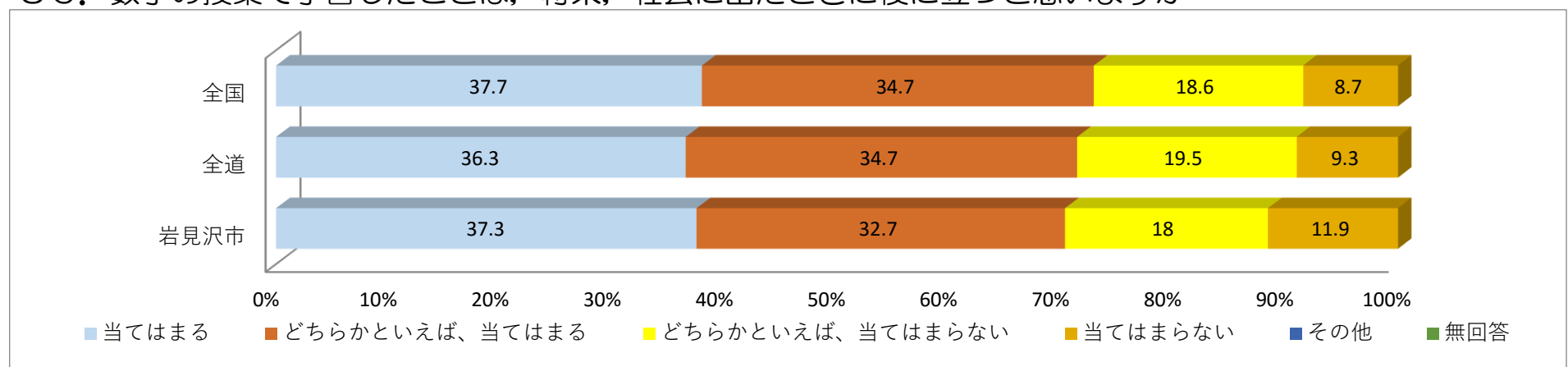
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は74.1%で、全国より0.6ポイント、全道より2.1ポイント上回る。

85. 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



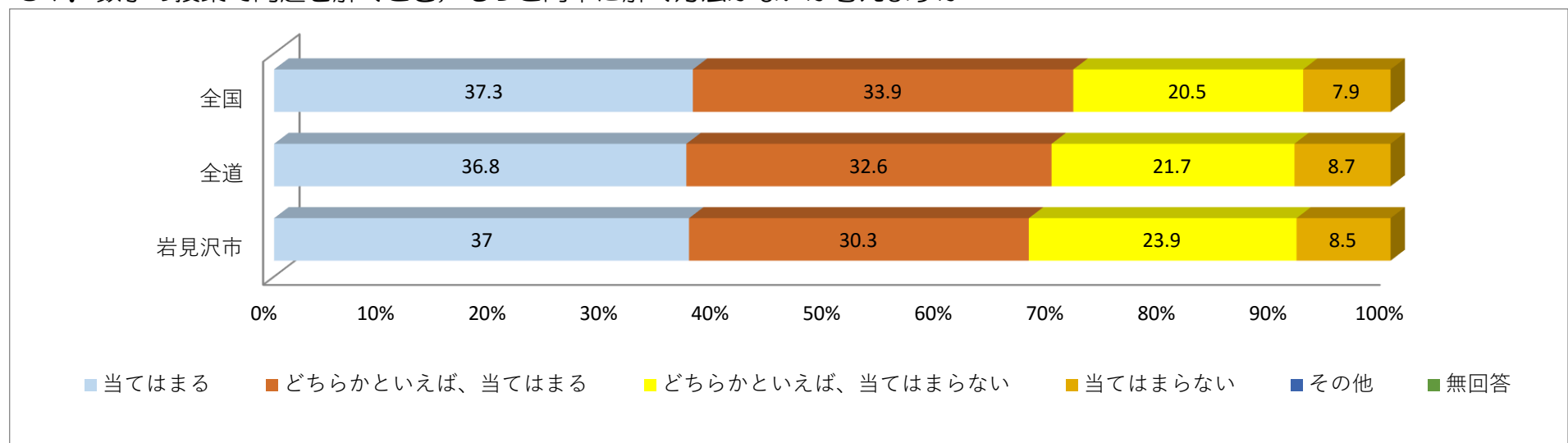
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は43.1%で、全国より2.2ポイント下回り、全道より1.6ポイント上回る。

86. 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



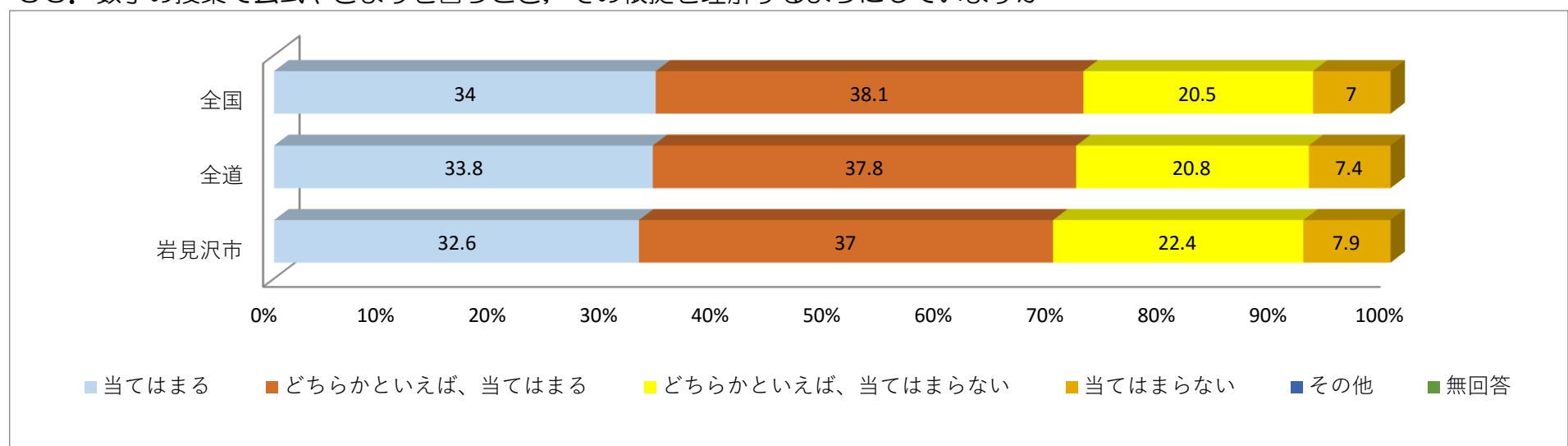
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は70%で、全国より2.4ポイント、全道より1ポイント下回る。

87. 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



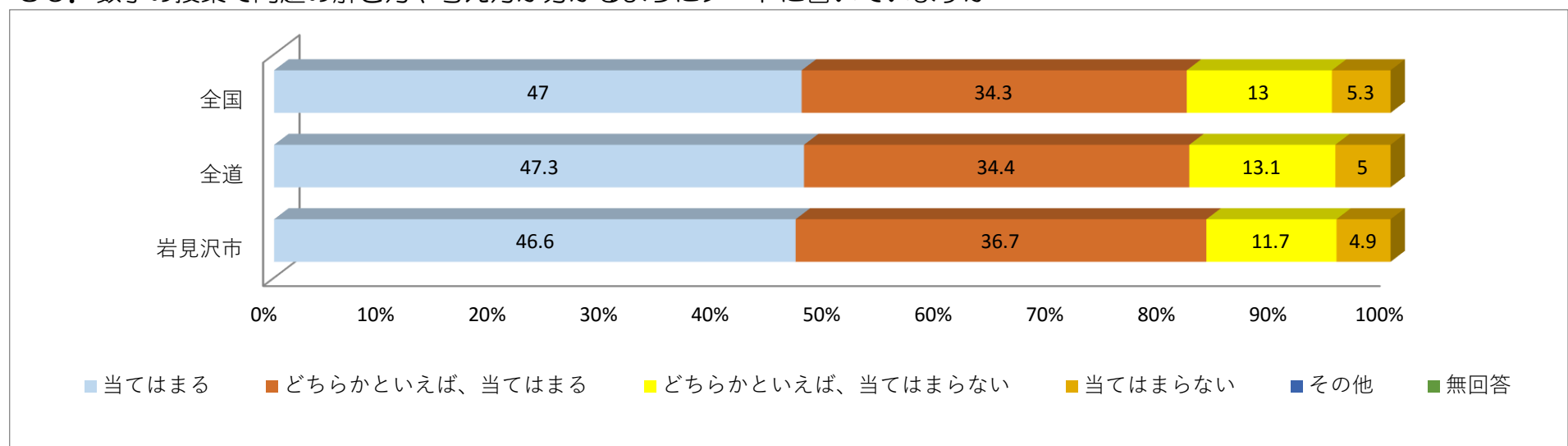
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は67.3%で、全国より3.9ポイント、全道より2.1ポイント下回る。

88. 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか



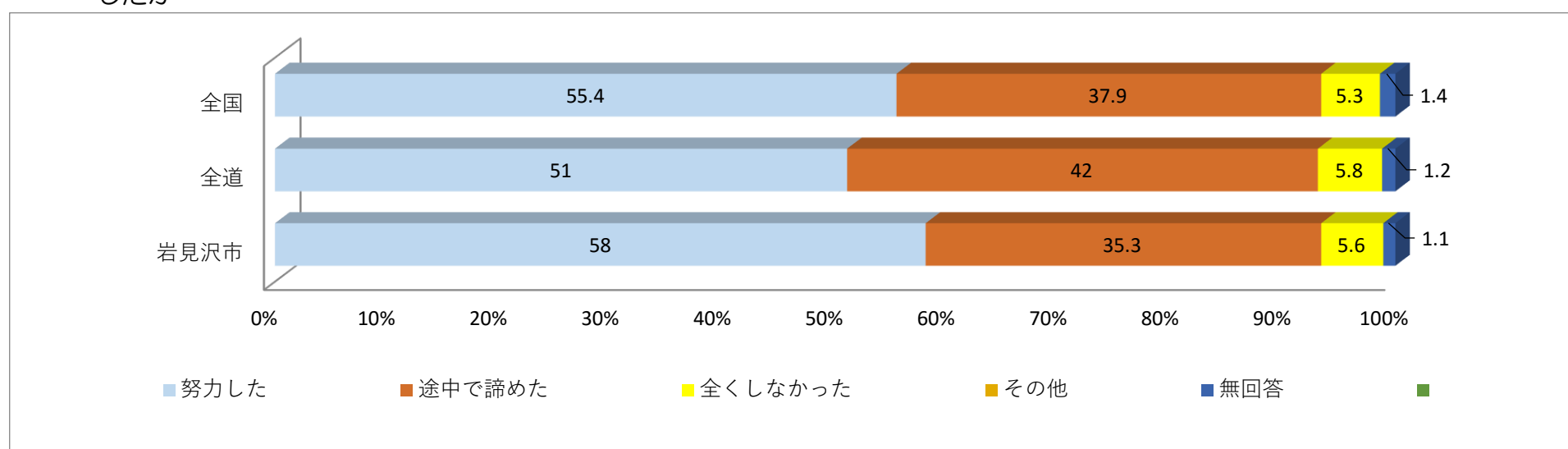
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は69.6%で、全国より2.5ポイント、全道より2ポイント下回る。

89. 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



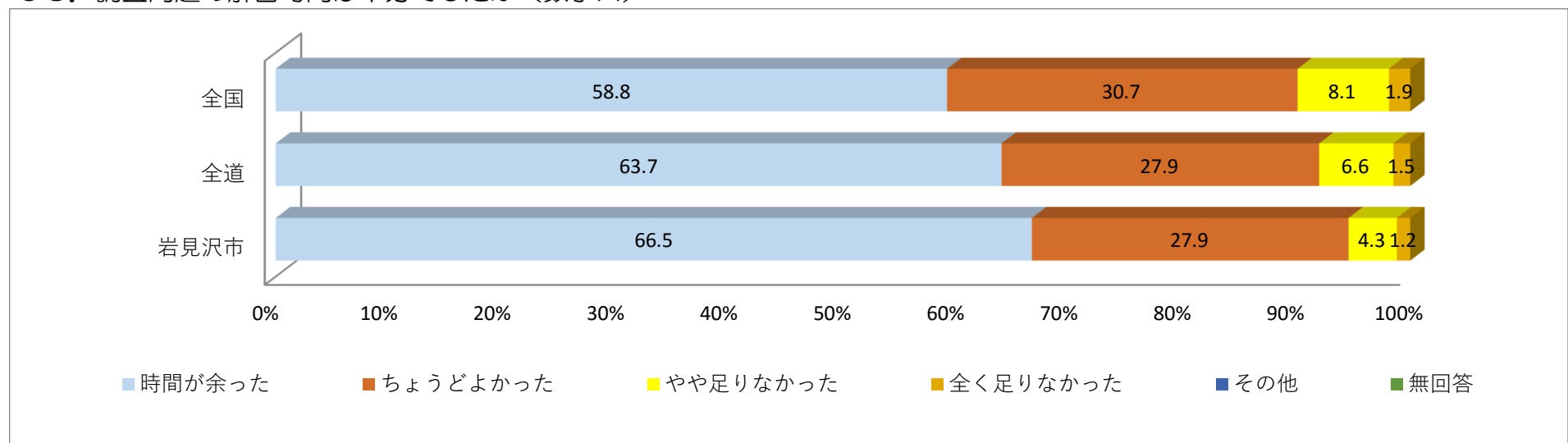
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は83.3%で、全国より2ポイント、全道より1.6ポイント上回る。

90. 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

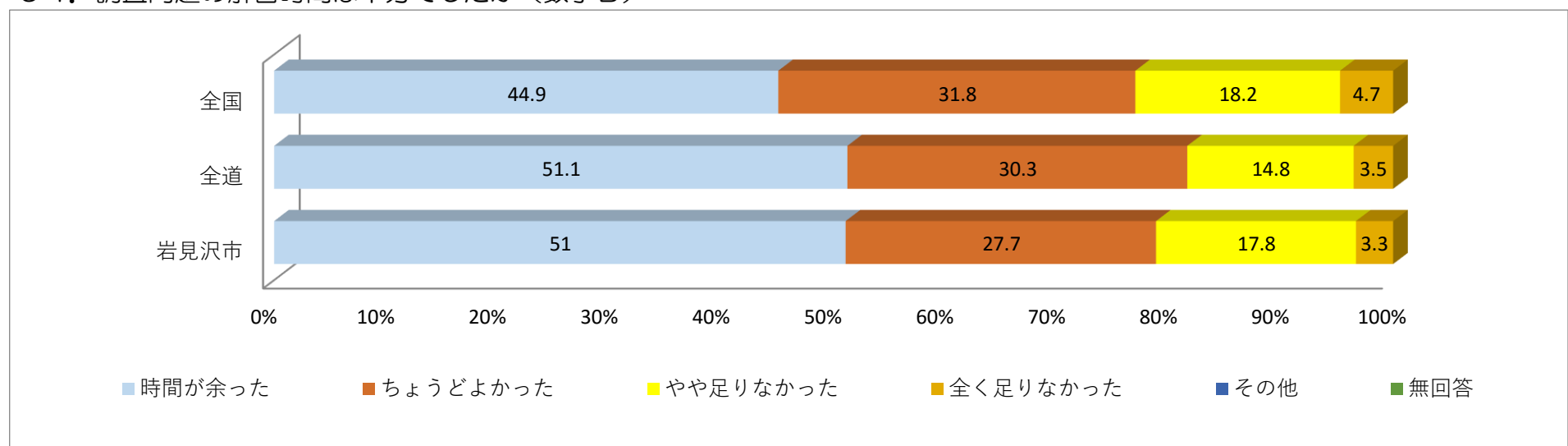


「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答している生徒の割合は93.3%で、全国と同様、全道より0.3ポイント上回る。

93. 調査問題の解答時間は十分でしたか（数学A）



94. 調査問題の解答時間は十分でしたか（数学B）



④ 指導改善のポイント(文部科学省、国立教育政策研究所の報告書より)

数と式

○ 数量の関係や法則などを文字式で表すことやその文字式から関係を読み取る活動の重視

数量の関係や法則について文字式で表すことができるようにするために、具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係を捉え、その関係を文字式で表したり、文字式から数量の関係を捉えたりして、数量の関係や法則を文字式で表すことについて確認する活動を重視することが大切である。

○ 事象と式の対応を捉え、事柄が成り立つ理由を説明する活動の充実

事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明する活動を充実することが大切である。さらに、事象を数学的に考察し直し、様々な式を見いだすとともに、見いだした式を基に事象について振り返る活動を取り入れることも大切である。

図 形

○ 図形の考察を通して、辺や角についての位置関係を捉える活動の重視

図形における辺や角などの位置関係についての理解を深められるようにするために、実際に平面上に図形をかいたり、コンピュータを利用して示したりしながら視覚的に捉え、辺や角の位置関係について確認したり、検討したりする活動を重視することが大切である。

○ 見いだした事柄や事実について数学的に表現すべき部分を明確にして説明する活動の充実

図形に着目して見いだした事象の特徴を数学的に表現できるようにするために、前提とそれによって説明される結論の両方を数学的に表現する場面を設定することが大切である。その際、説明される結論が正しいものとなるようにするためには、前提となる条件が不足していないかどうかについて検討したり、振り返ったりする活動を重視することが大切である。

関 数

○ 2つの数量の関係に関数関係を見だし、変化や対応の様子を表現する活動の重視

2つの数量の関係から関数関係を見いだすことができるようにするために、具体的な事象における2つの数量について一方の値を決めれば他方の値がただ1つ決まる関係を確認する活動を重視することが大切である。さらに、その2つの数量について変化や対応の様子を表・式・グラフを用いて捉え、それらを相互に関連付けて考察することを通して、どのような関数になりそうか検討し、関数関係を判断する活動も大切である。

○ 事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実

様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実することが大切である。その際に、問題解決のために表した表・式・グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実させることが大切である。

資料の活用

○ 代表値の必要性や意味を理解するために資料を整理した表などから代表値を求める活動の重視

代表値の必要性や意味を理解するために、目的に応じてデータを収集し整理した表などから代表値を求め、それを根拠にして資料の傾向を捉える活動を重視することが大切である。

○ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する活動の充実

日常生活や社会における問題に対して、資料を用いて傾向を的確に捉え問題を解決できるようにするために、収集したデータを整理したグラフの形から分布の特徴を視覚的に捉えたり、代表値を求めて比較したりするなど、数学的な表現を用いて判断の理由を説明する活動を充実することが大切である。

Ⅲ 質問紙調査結果の概要

《児童生徒質問紙》

1. 基本的生活習慣

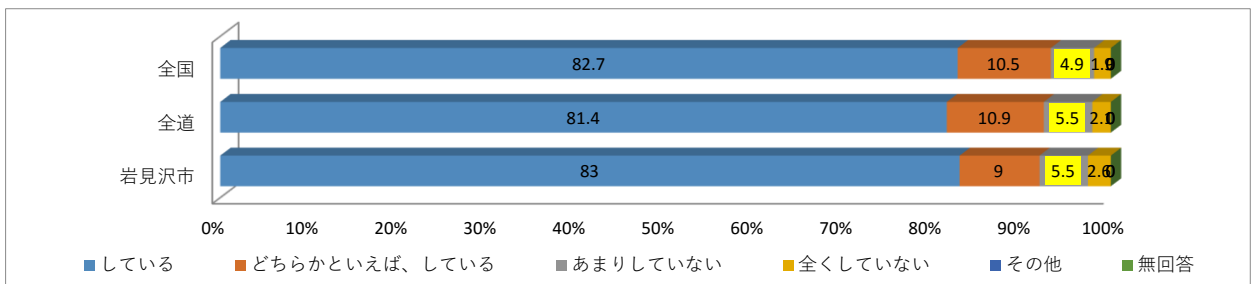
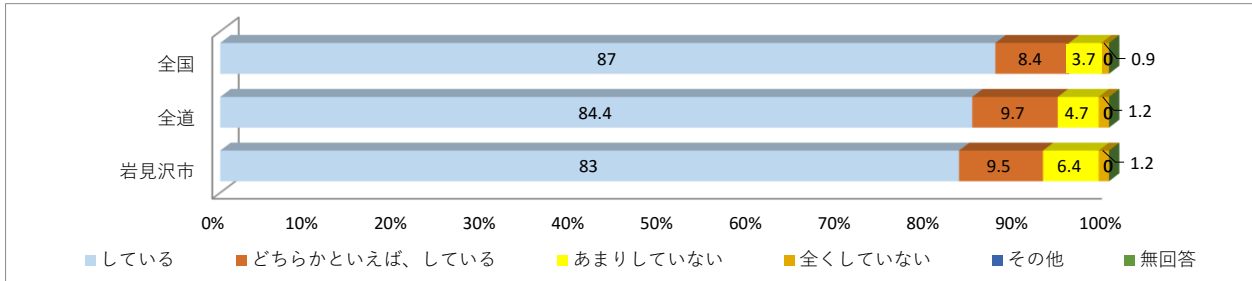
「朝食を毎日食べていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.9ポイント、中学校は1.2ポイント下回っている。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.1ポイント上回り、中学校では2.4ポイント下回る。

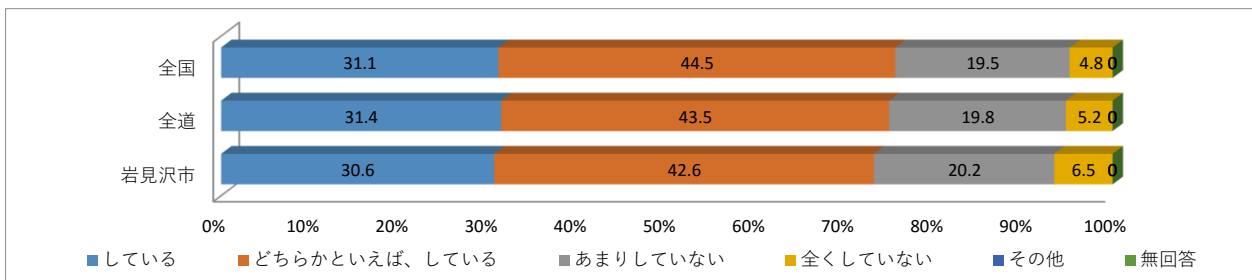
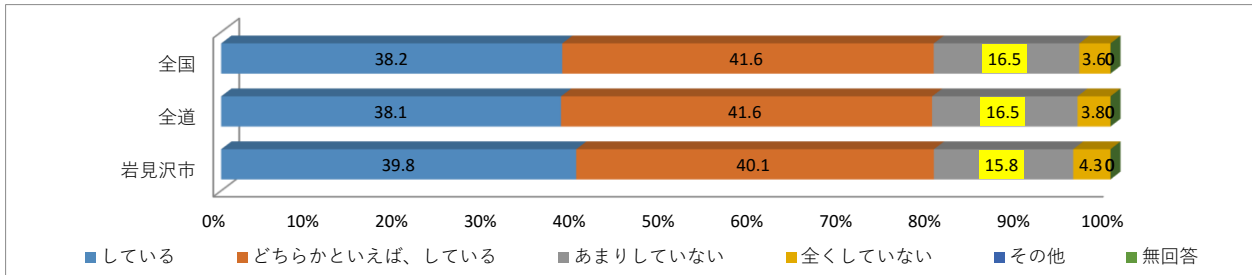
「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.7ポイント、中学校は0.6ポイント下回る。

※上段は「小学校」、下段は「中学校」のグラフ

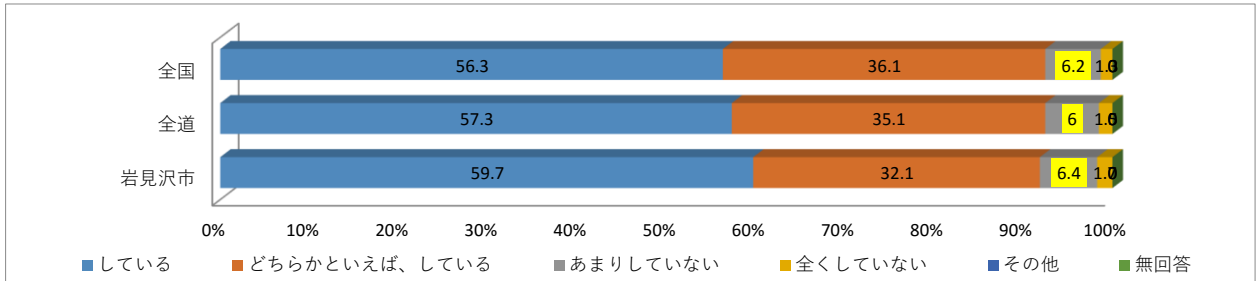
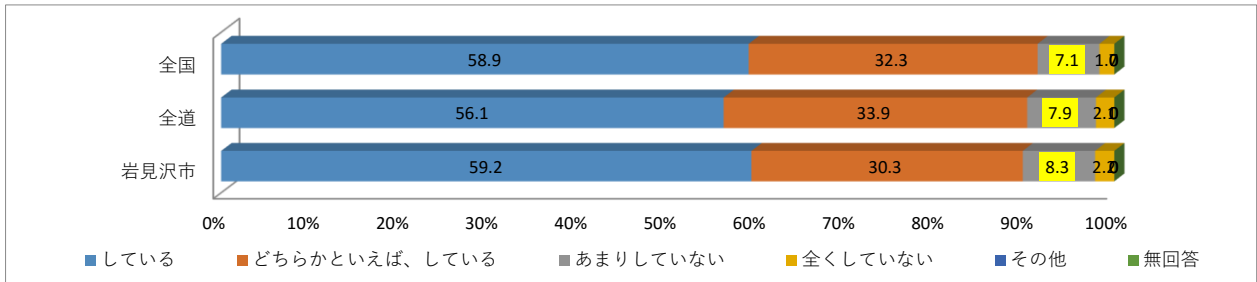
1. 朝食を毎日食べていますか



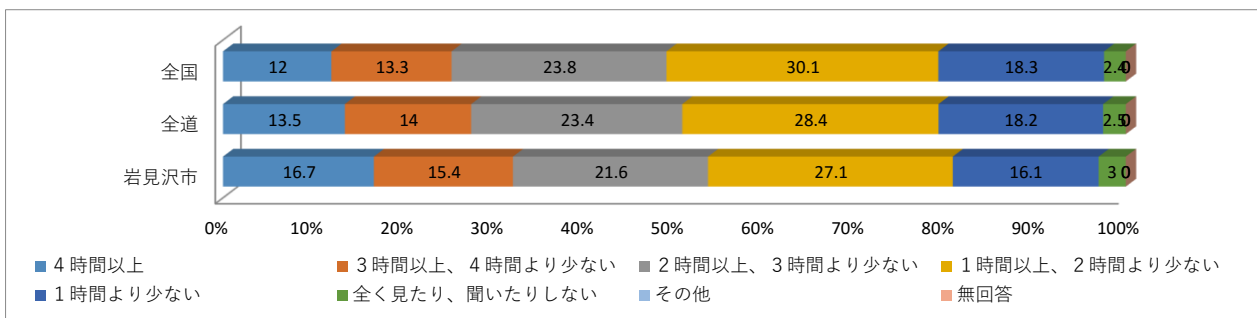
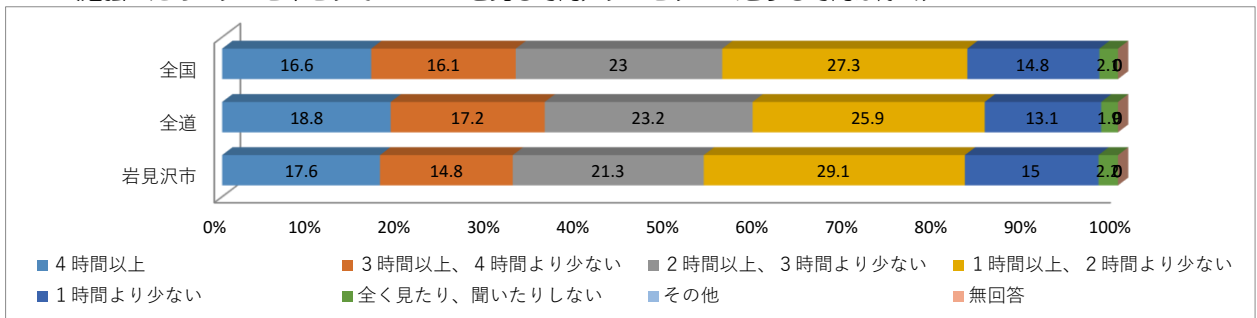
2. 毎日、同じくらいの時刻に寝ている



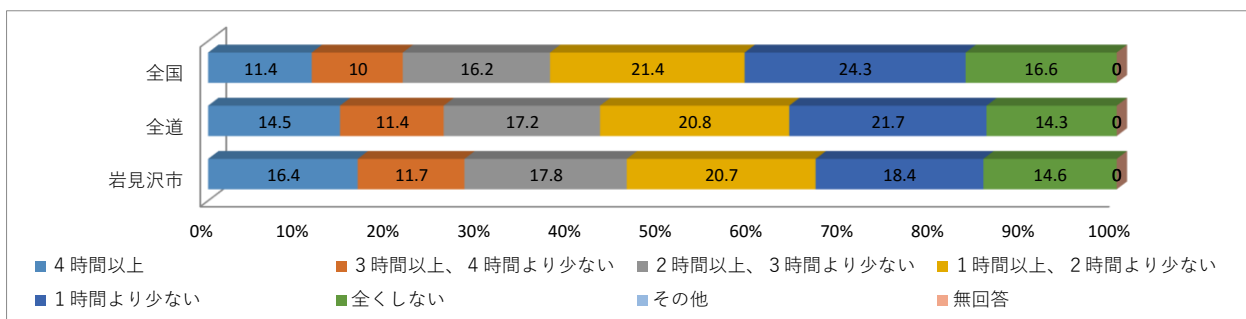
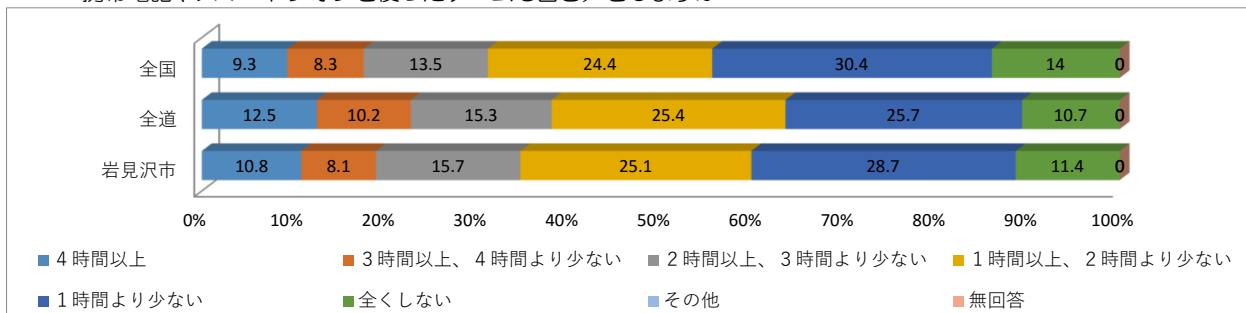
3. 毎日、同じくらいの時刻に起きている



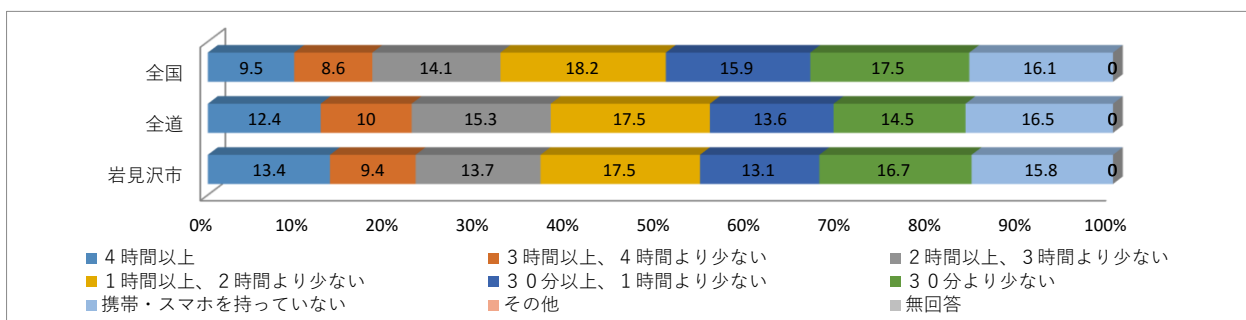
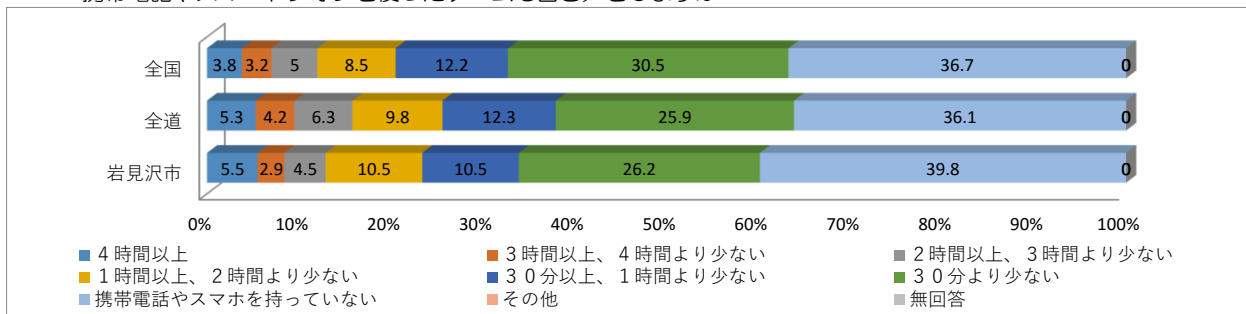
1 2. 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）



1 3. 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



1 4. 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか



2. 挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感等

「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.2ポイント、中学校は0.8ポイント下回る。

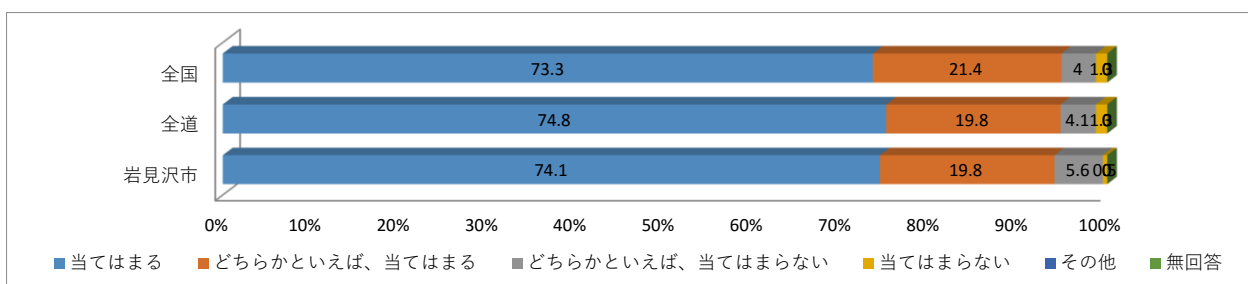
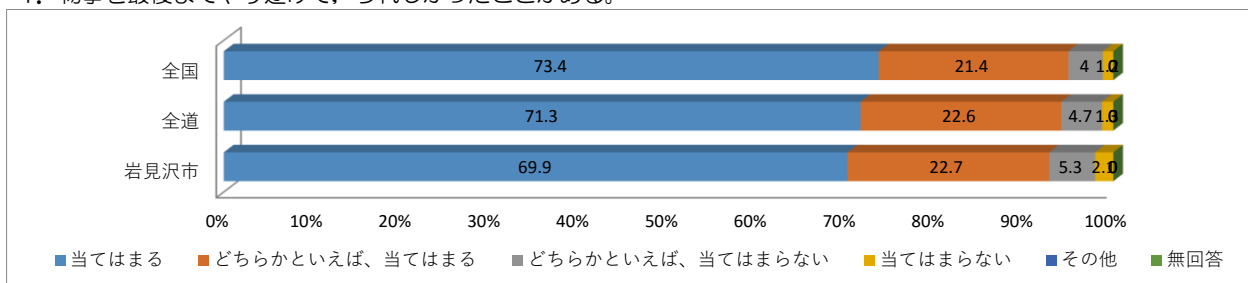
「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.8ポイント下回り、中学校は0.1ポイント上回る。

「自分には、良いところがあると思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国に比べて、小学校は2.1ポイント、中学校では2.0ポイント下回る。

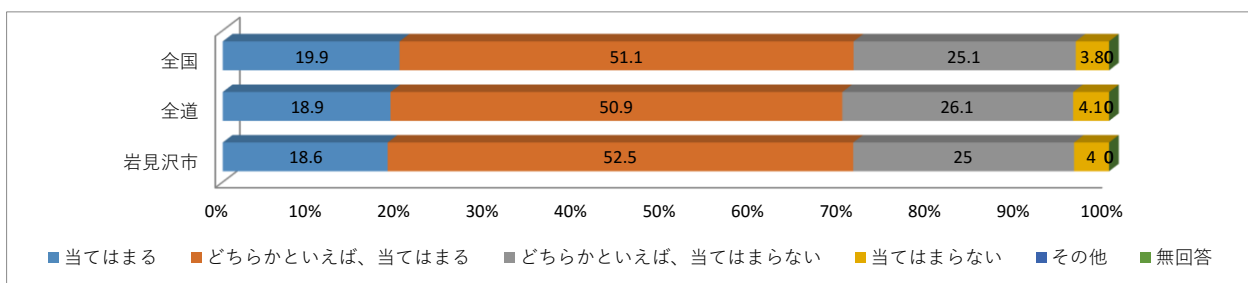
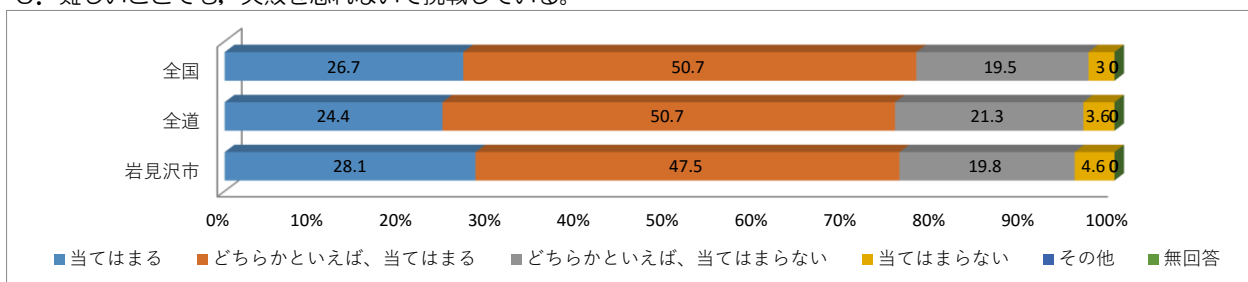
「学校の規則を守っていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.2ポイント、中学校は0.3ポイント下回る。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.4ポイント下回り、中学校では1.4ポイント上回る。

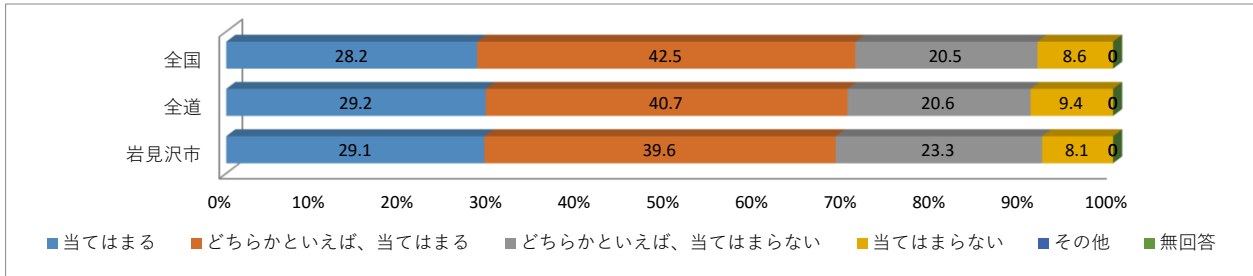
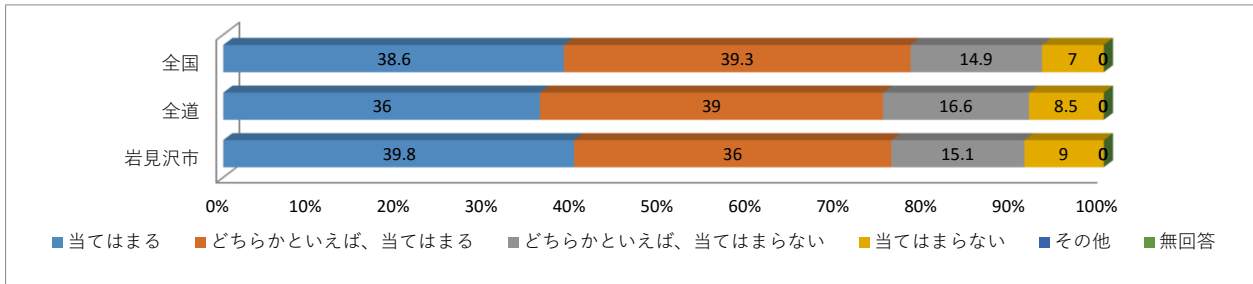
4. 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。



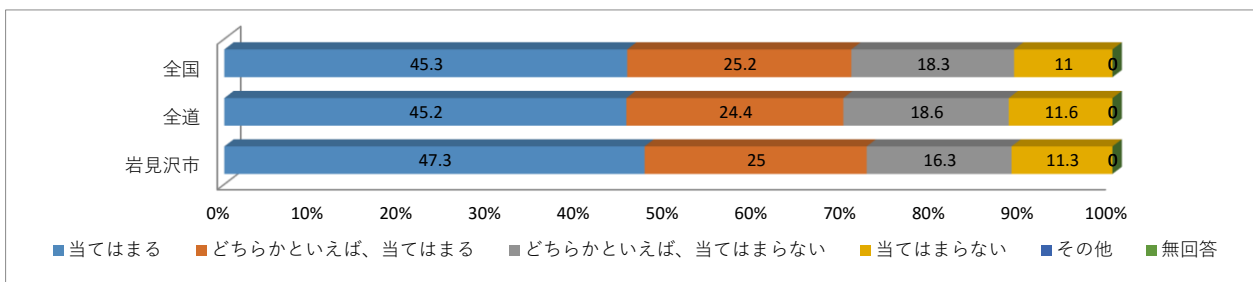
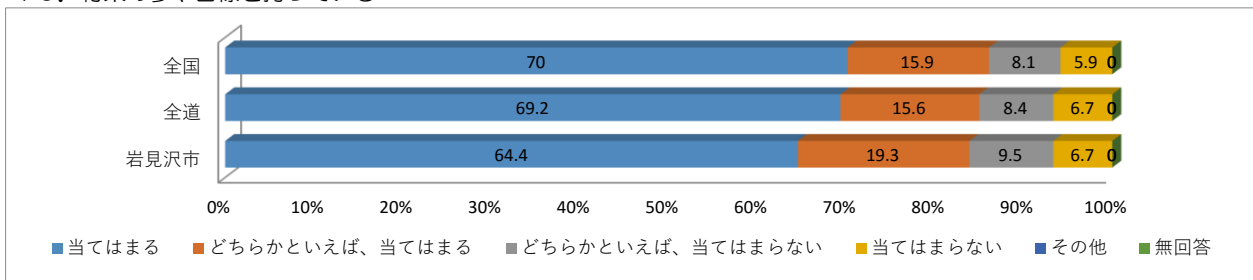
5. 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



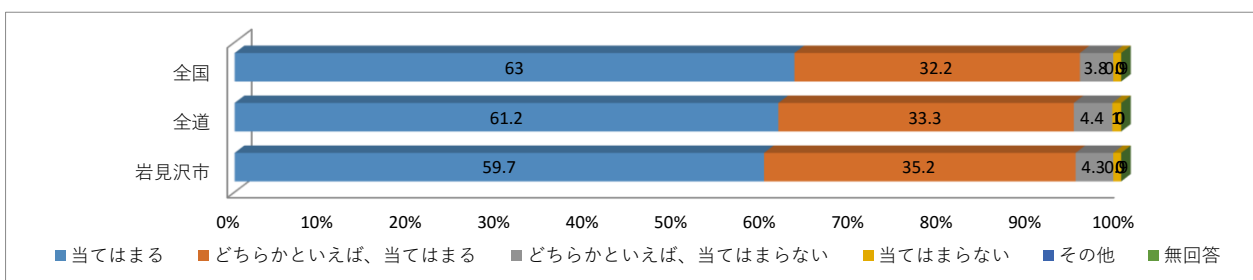
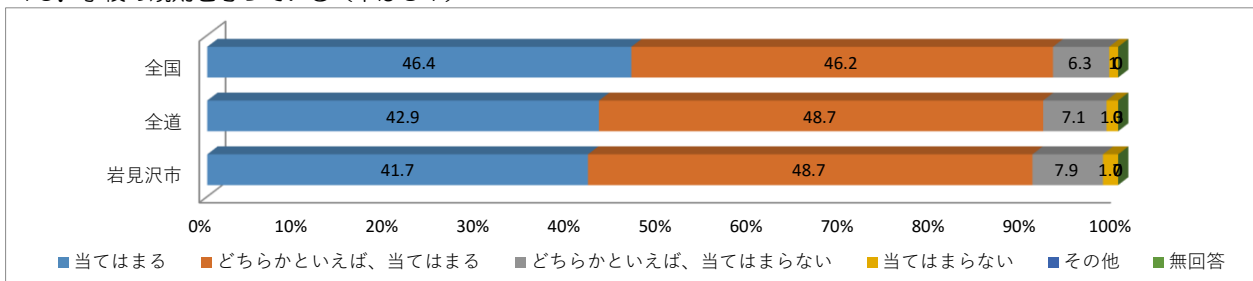
6. 自分には、良いところがあると思う。



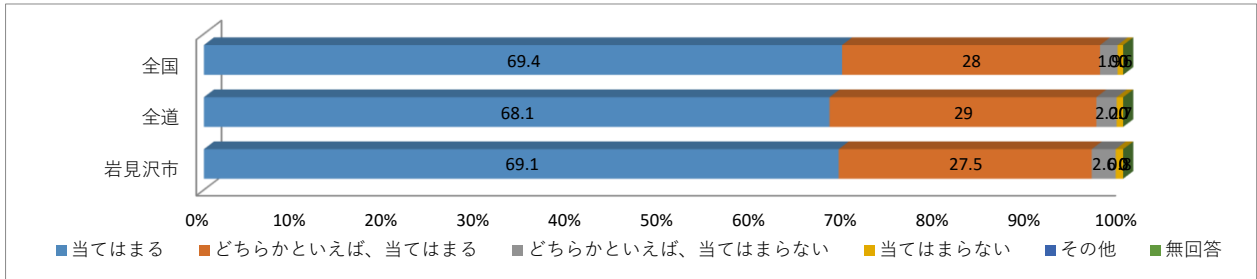
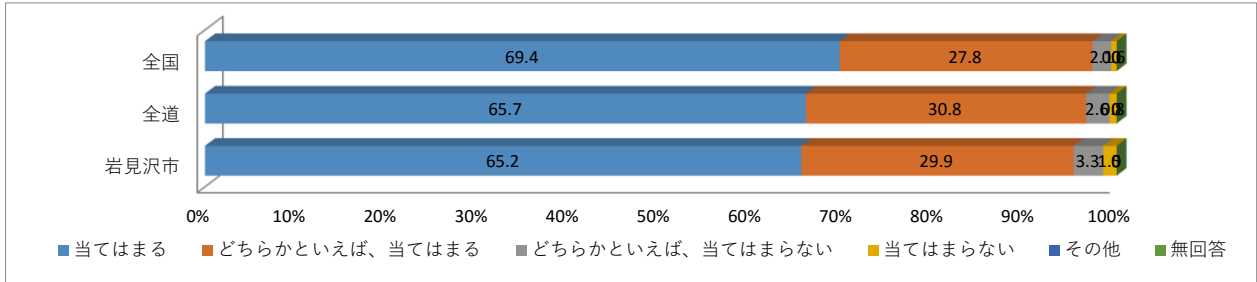
10. 将来の夢や目標を持っている



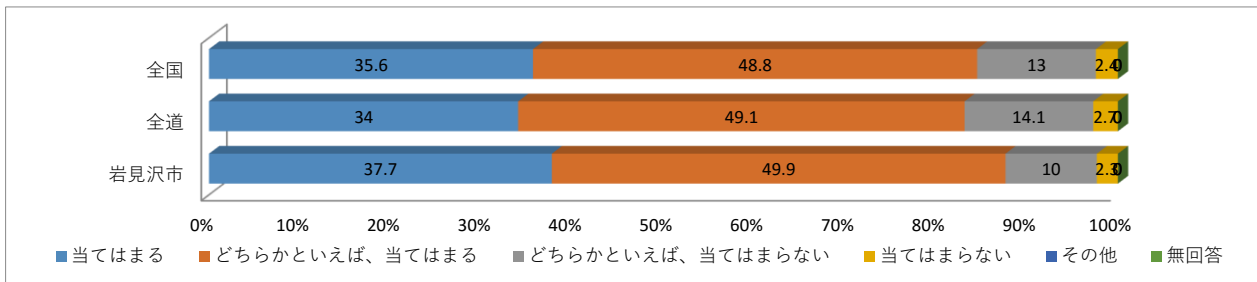
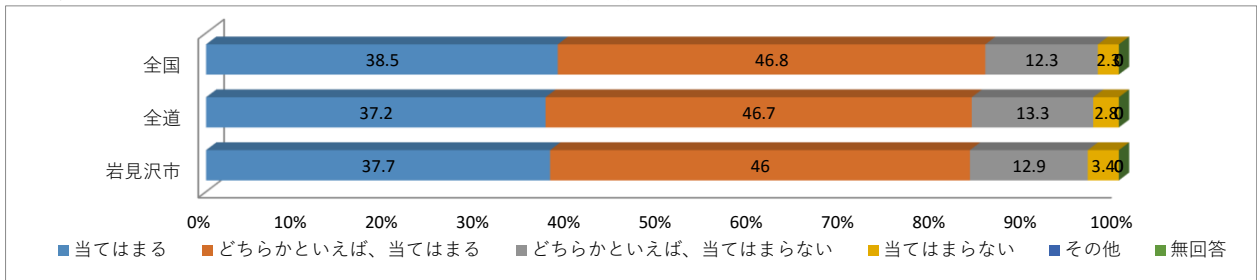
49. 学校の規則を守っている（中は51）



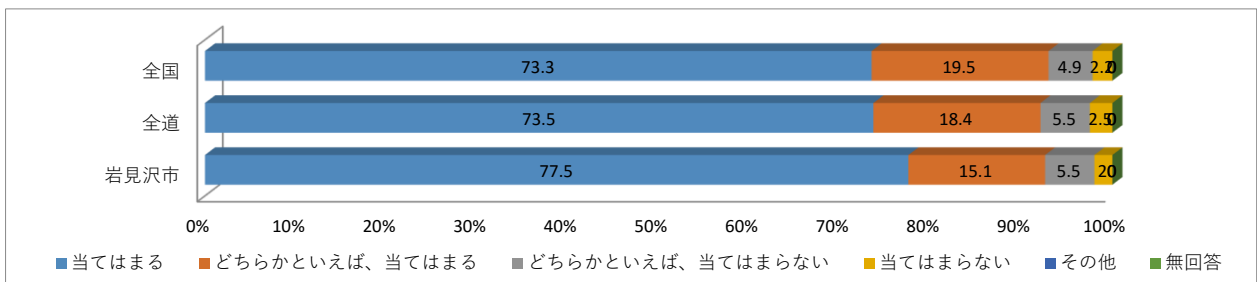
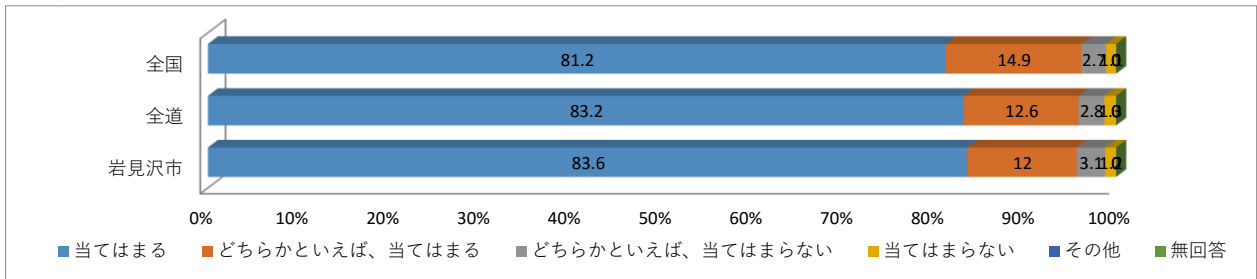
50. 友達との約束を守っている（中は52）



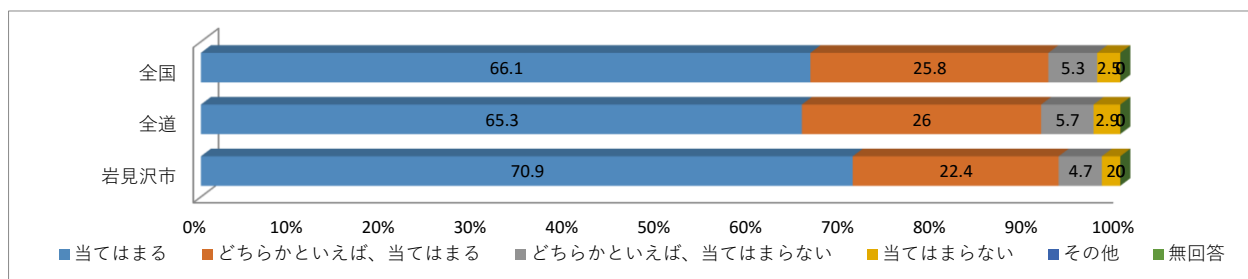
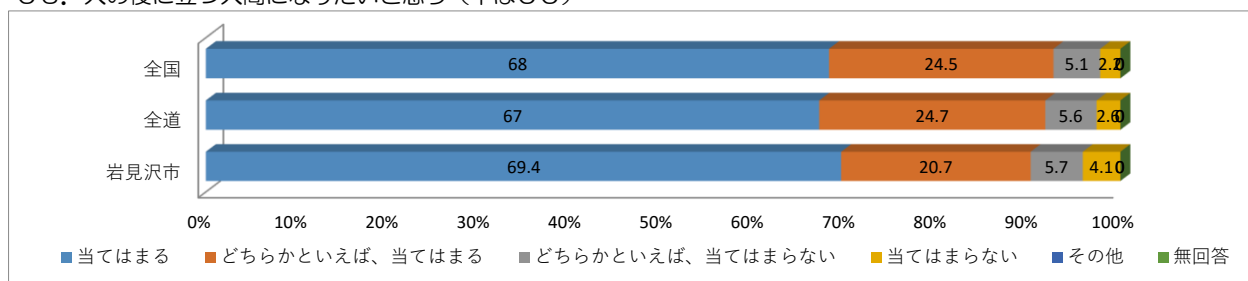
51. 人が困っているときは、進んで助けている（中は53）



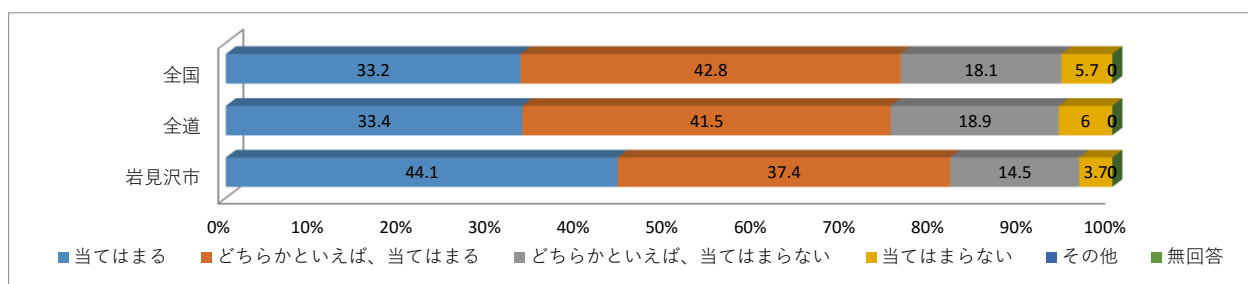
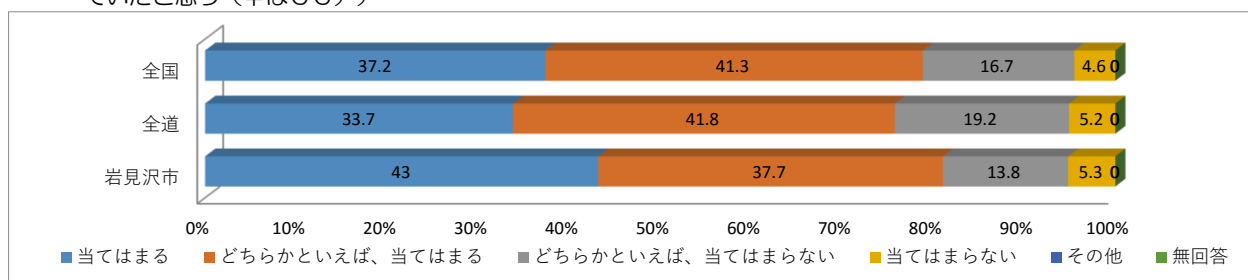
52. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う（中は54）



53. 人の役に立つ人間になりたいと思う（中は55）



64. 前年度までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う（中は66）



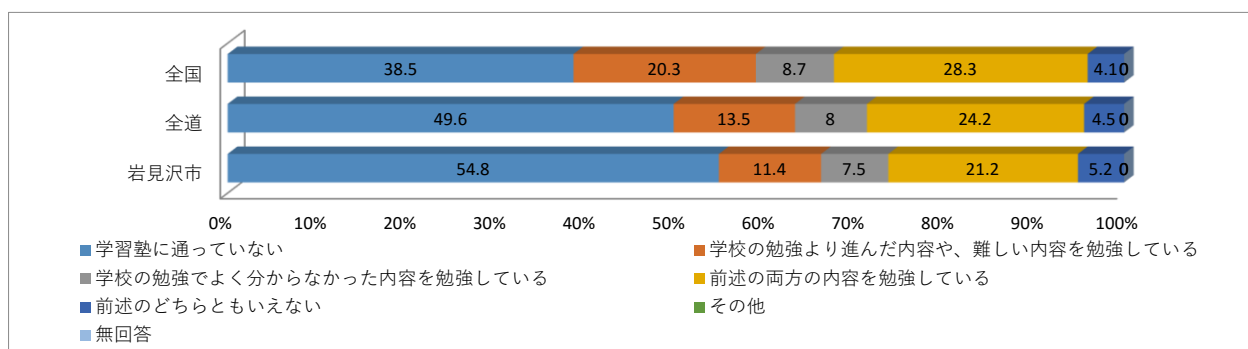
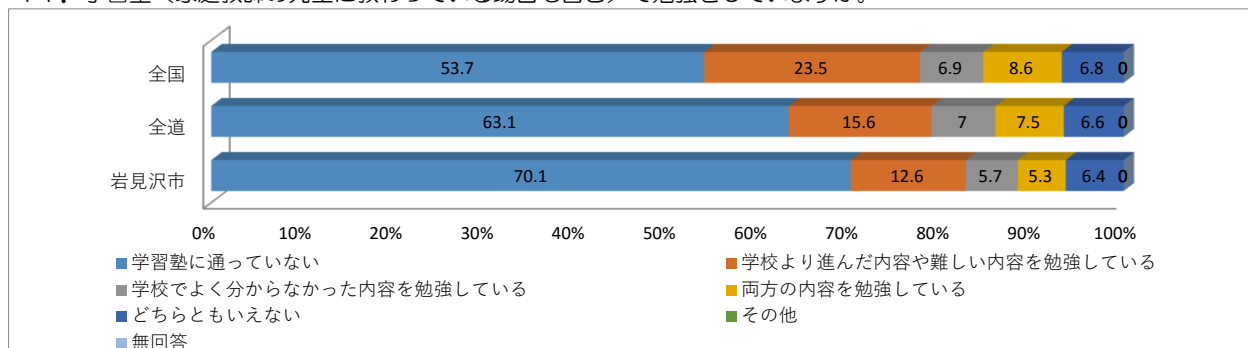
3. 塾・家庭・放課後学習等

「学習塾で勉強をしていますか」という設問に対し、「学習塾に通っていない」と回答した児童生徒は全国と比べて、小学校は16.4ポイント、中学校は16.3ポイント上回る。

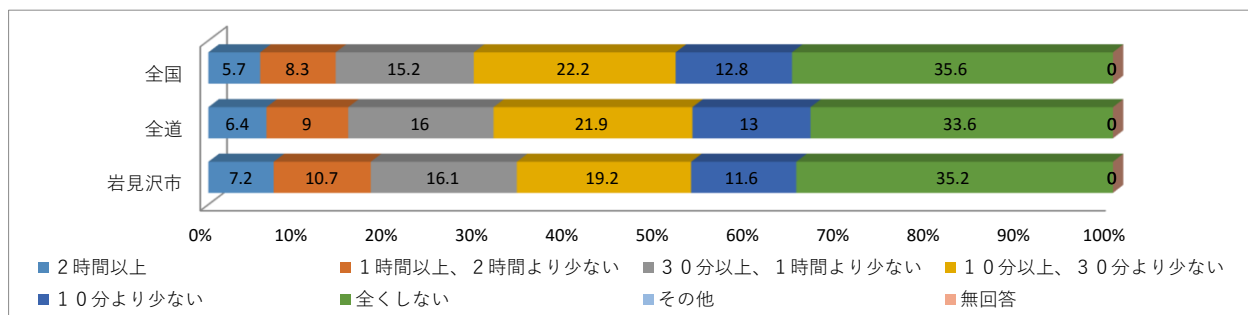
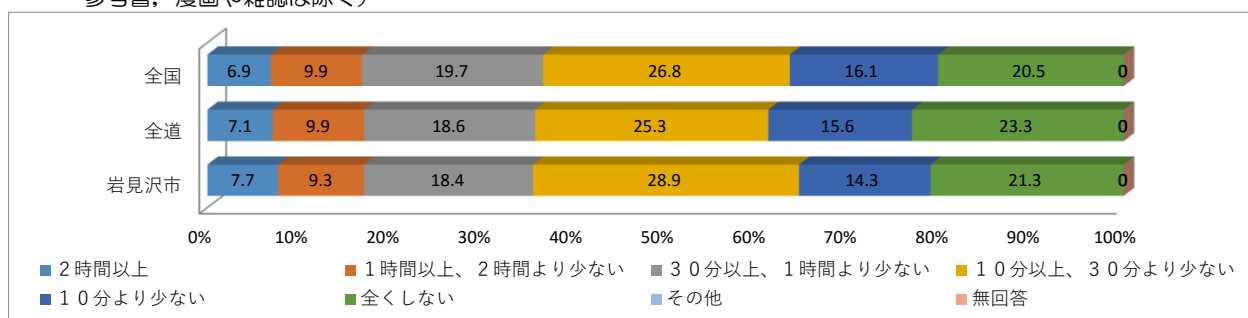
「家の（兄弟姉妹を除く）人と学校での出来事について話しますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.8ポイント下回り、中学校は0.9ポイント上回る。同じく、「家の人と将来のことについて話することができますか」という設問に対し、小学校は1.5ポイント下回り、中学校では2.3ポイント上回る。

「家の人は授業参観や運動会などの学校行事に来ますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.3ポイント、中学校は15.7ポイント下回る。

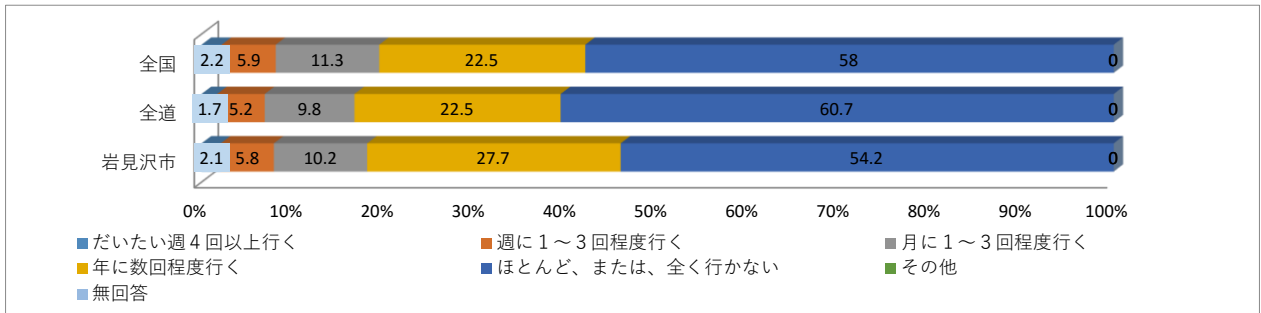
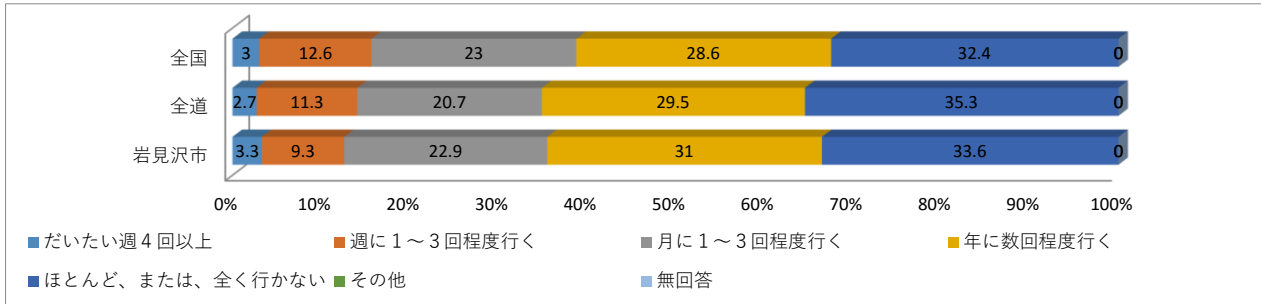
17. 学習塾（家庭教師の先生に教わっている場合も含む）で勉強をしていますか。



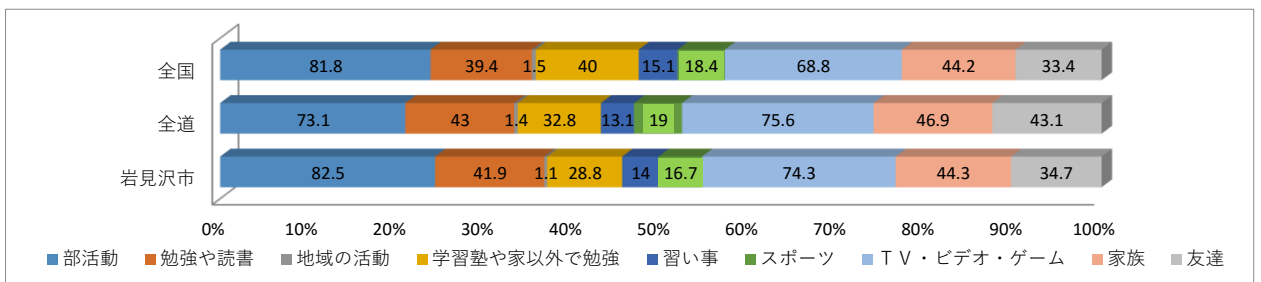
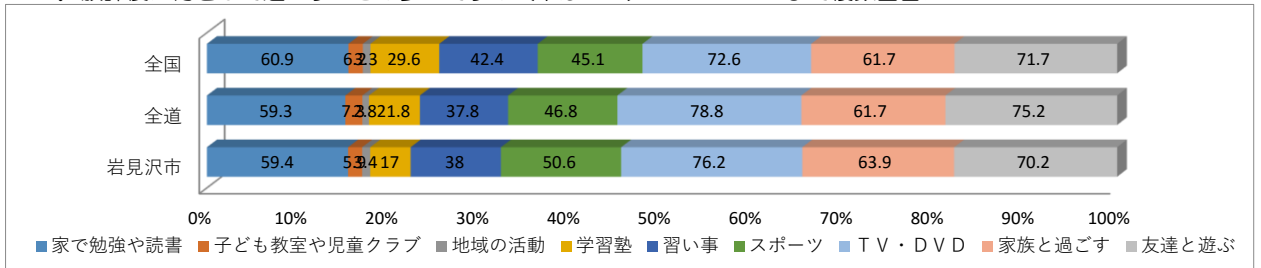
18. 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



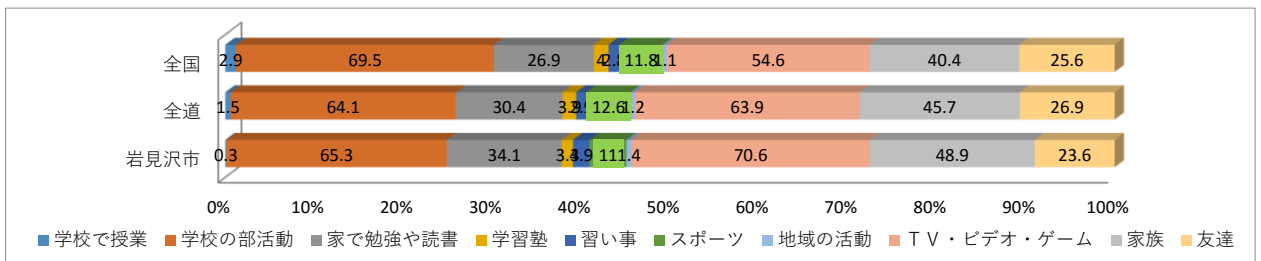
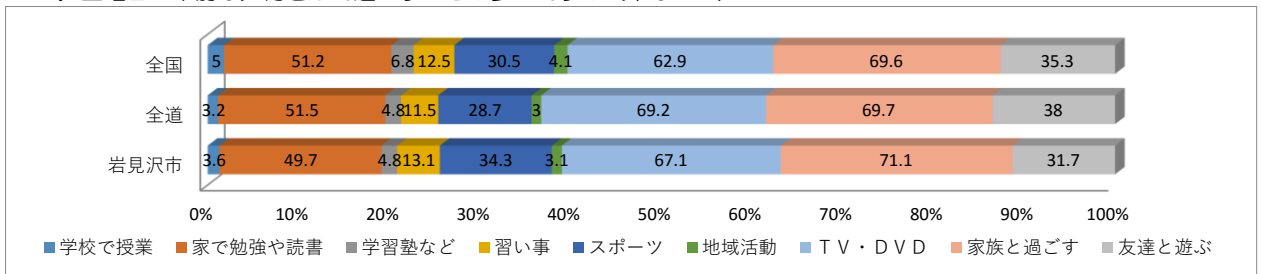
19. 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



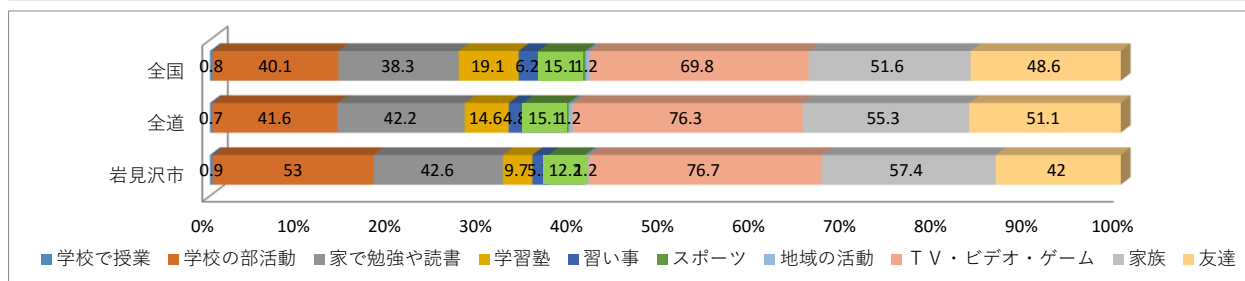
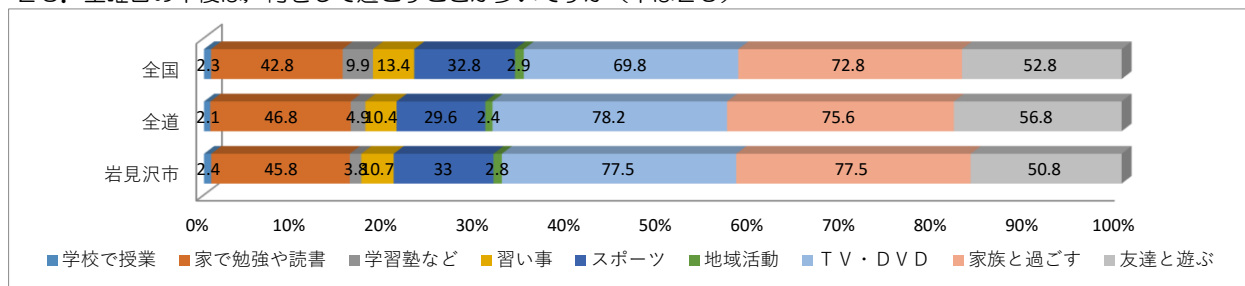
21. 放課後に何をして過ごすことが多いですか（中は23）＜21～23まで複数回答＞



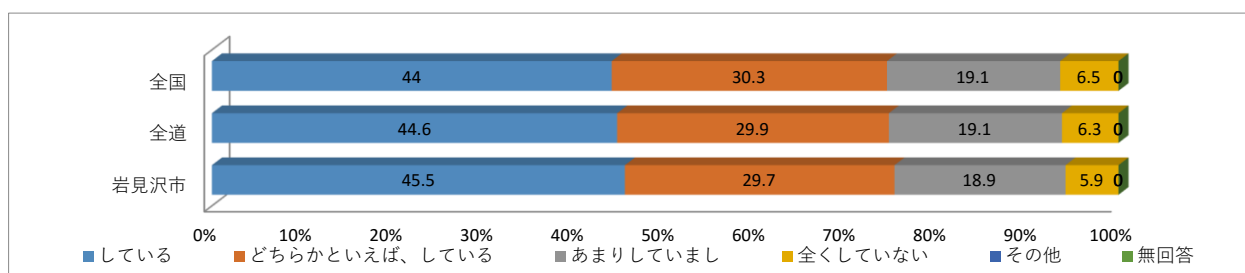
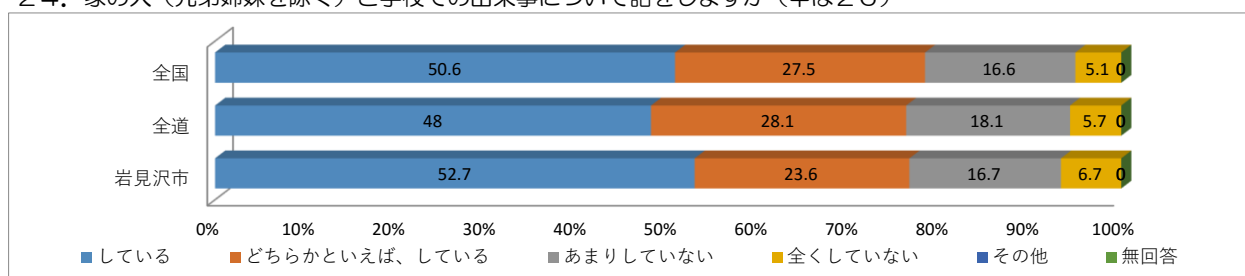
22. 土曜日の午前は、何をして過ごすことが多いですか（中は24）



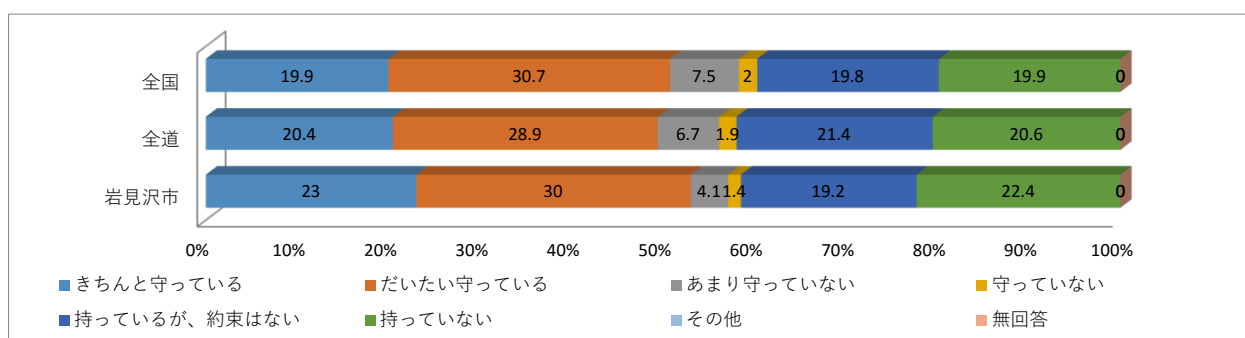
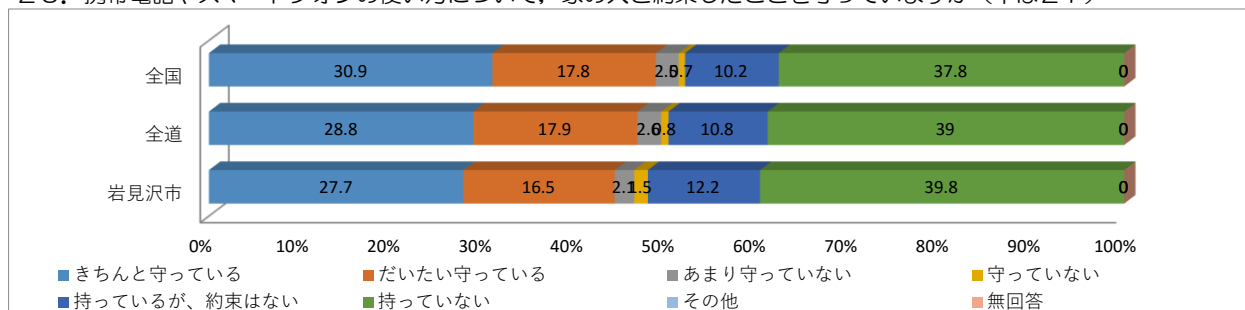
2.3. 土曜日の午後は、何をして過ごすことが多いですか（中は25）



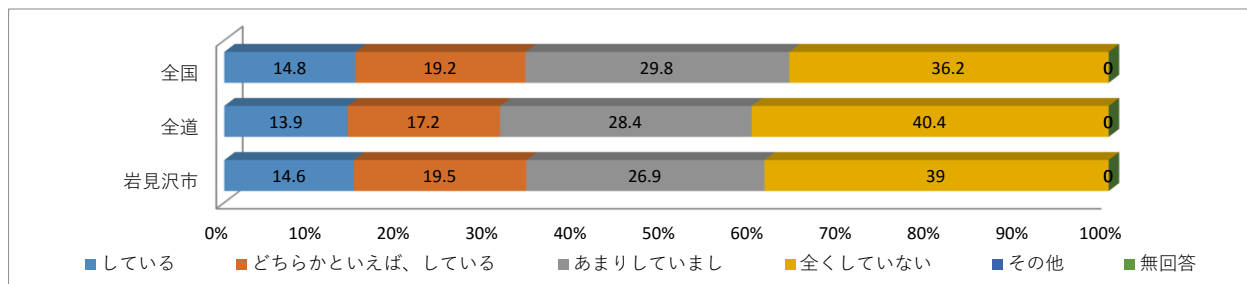
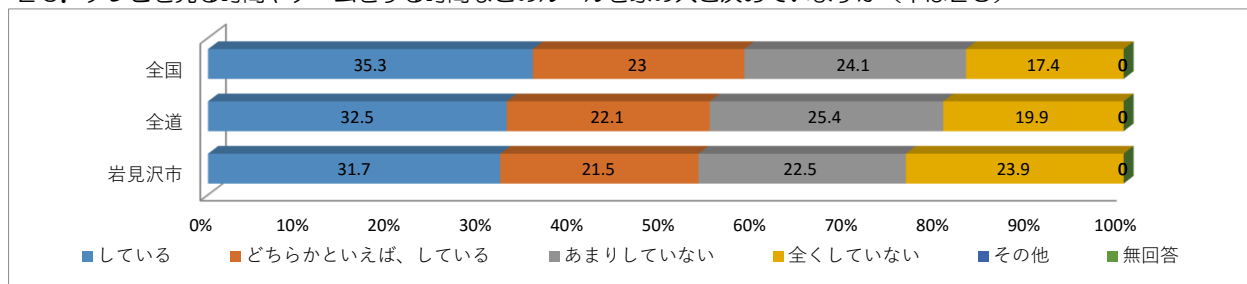
2.4. 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか（中は26）



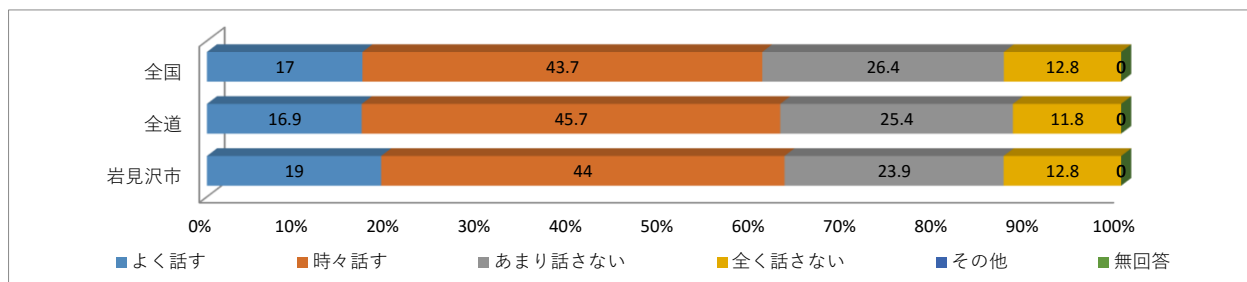
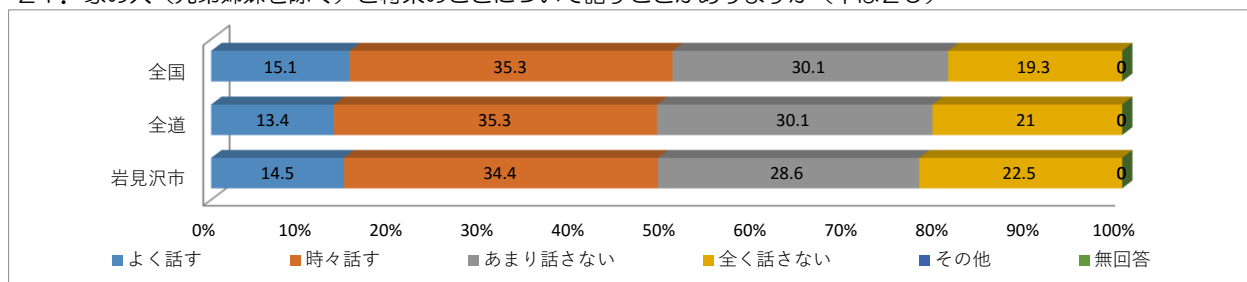
2.5. 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（中は27）



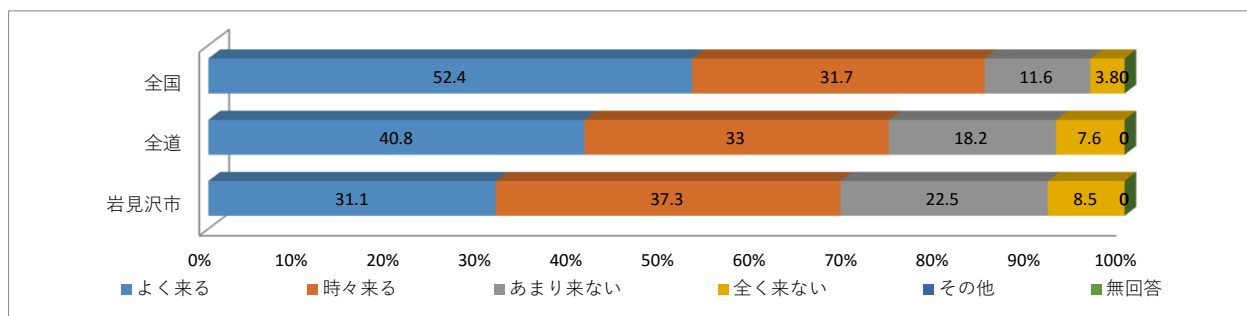
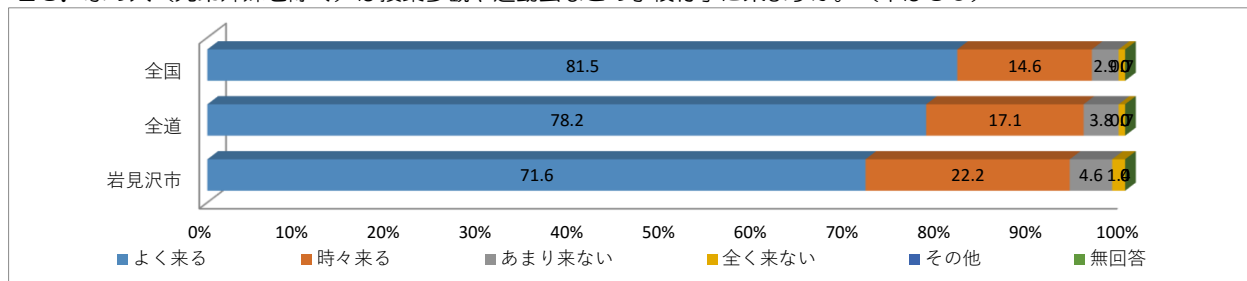
26. テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか（中は28）



27. 家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか（中は29）



28. 家の人（兄弟姉妹を除く）は授業参観や運動会などの学校行事に来ますか。（中は30）



4. 主体的・対話的な学びの視点による学習指導の改善及び学習評価

「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意ですか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は4.1ポイント、中学校は5.8ポイント上回る。

「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.6ポイント下回り、中学校では0.4ポイント上回る。

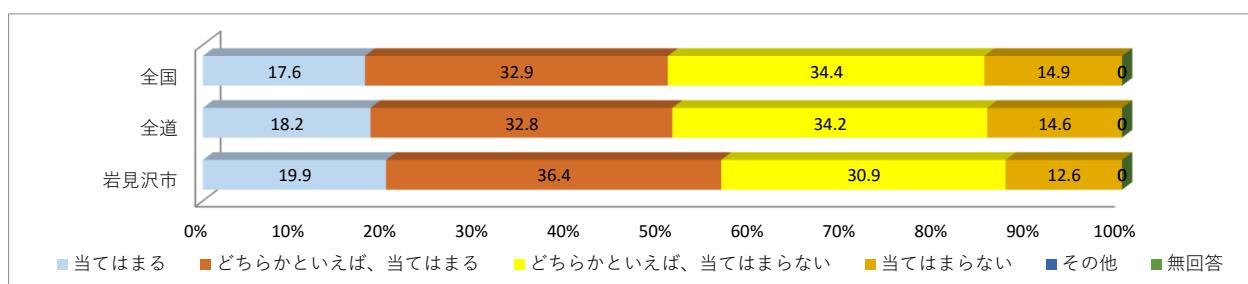
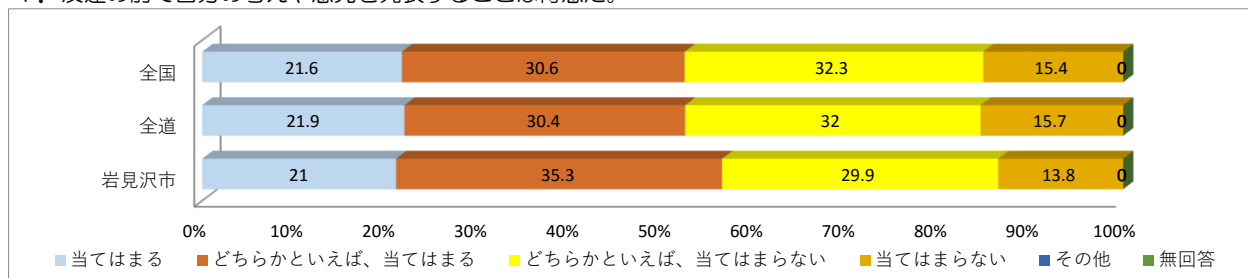
「先生はあなたの良いところを認めてくれますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は同じで、中学校では1ポイント上回る。

『総合的な学習の時間』では、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.3ポイント、中学校は11.8ポイント上回る。

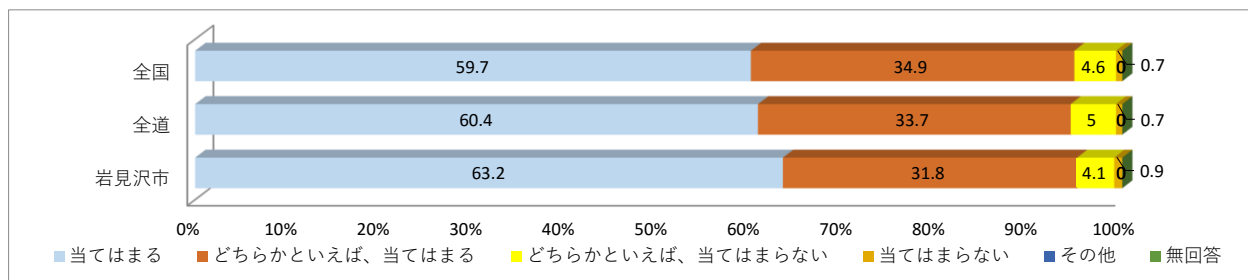
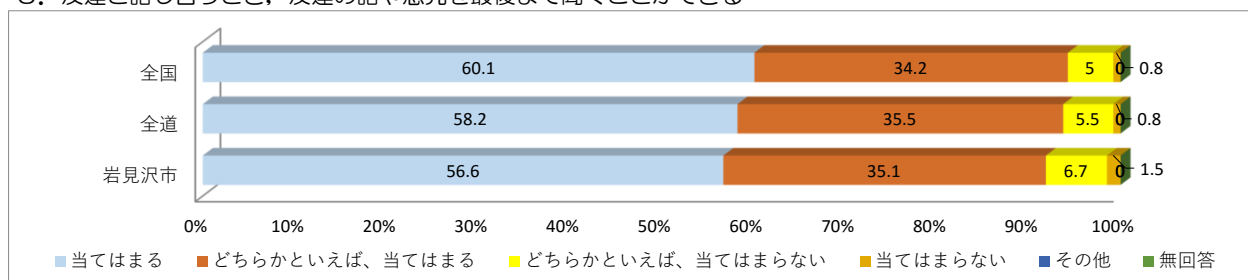
「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は6.5ポイント下回り、中学校では、同様である。

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は5ポイント、中学校は2.9ポイント下回る。

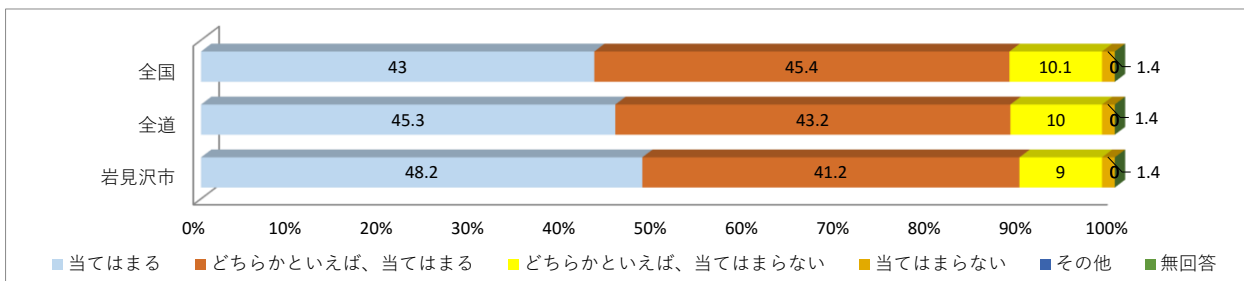
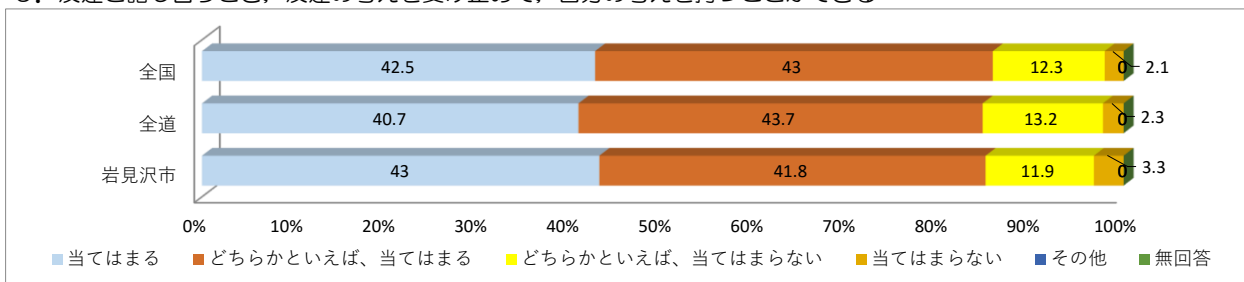
7. 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。



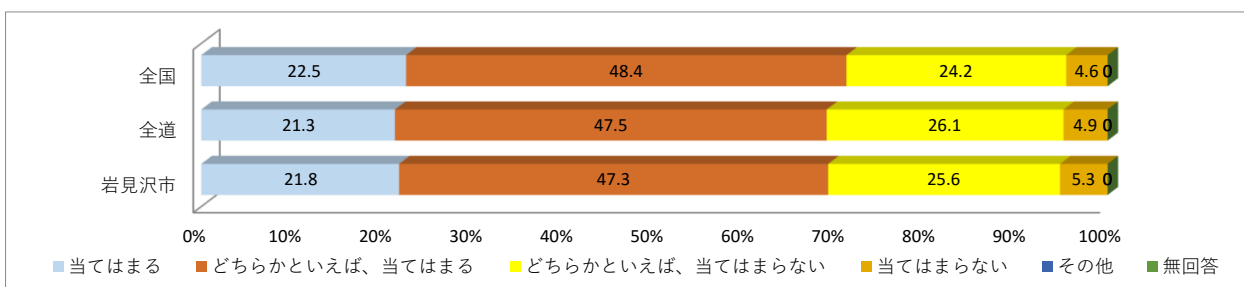
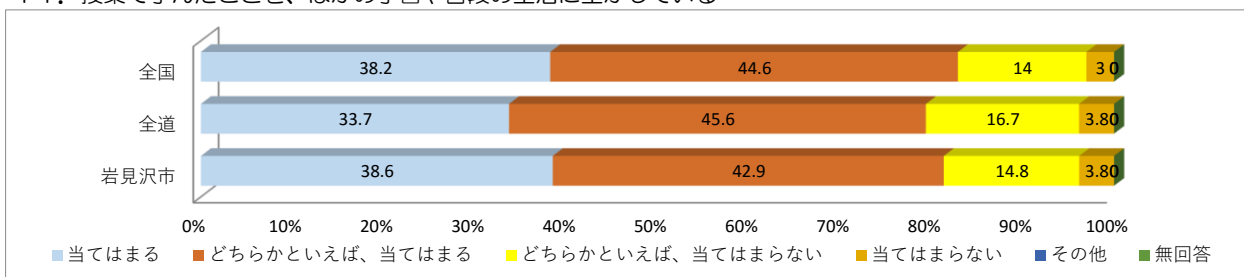
8. 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる



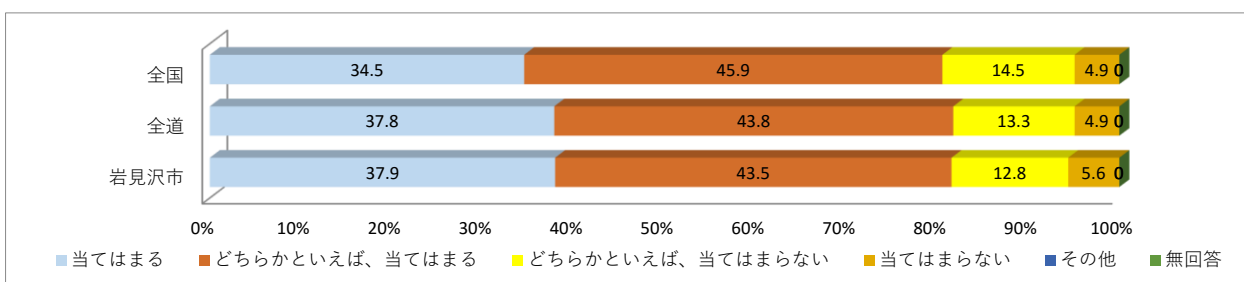
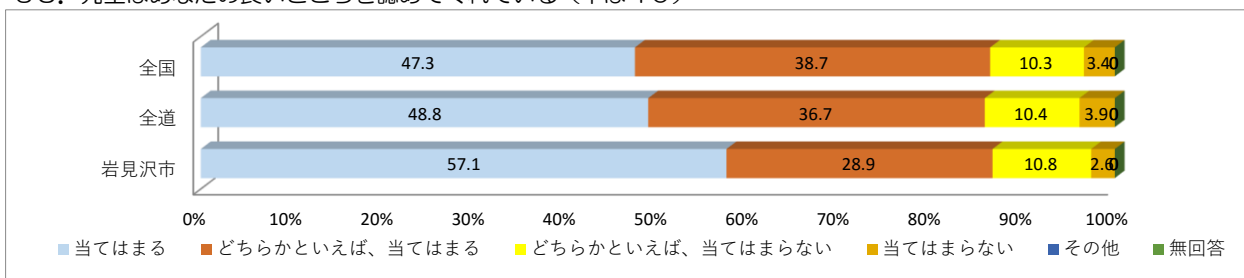
9. 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる



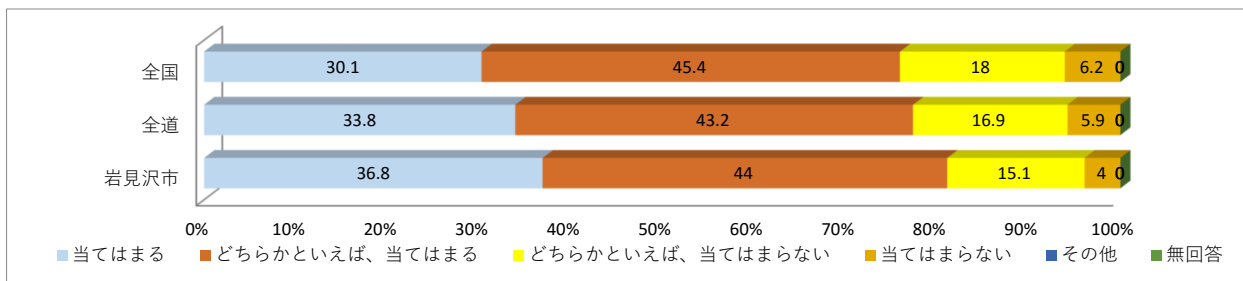
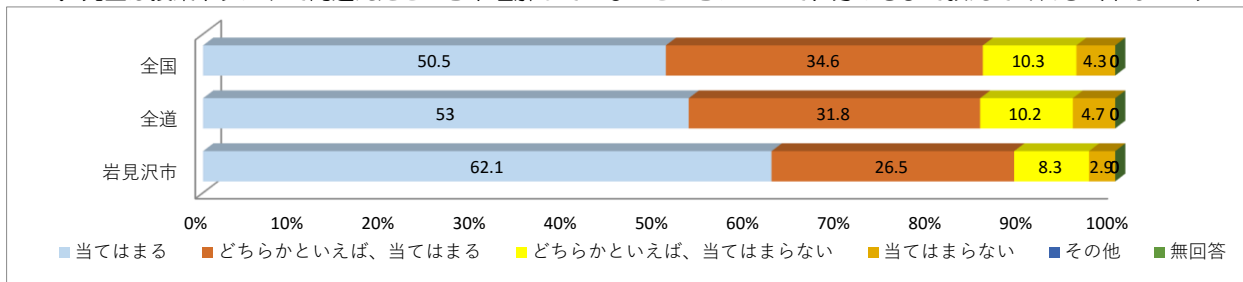
11. 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている



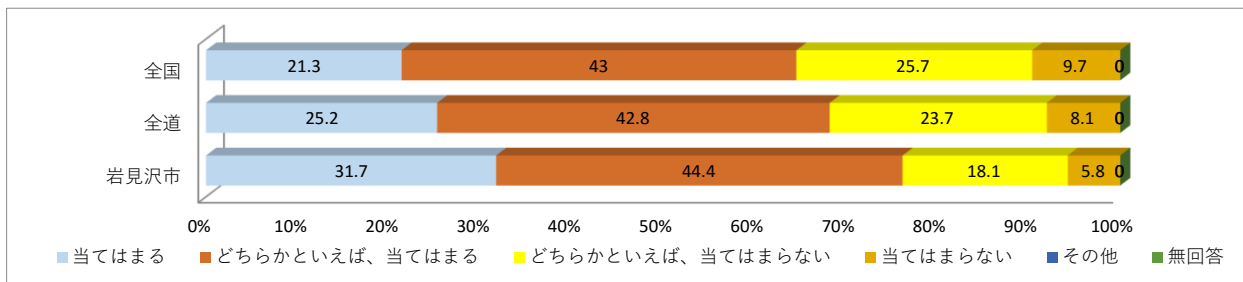
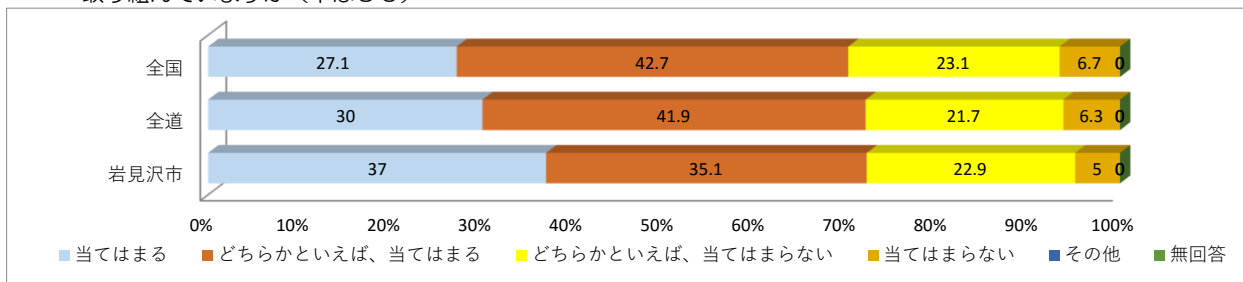
38. 先生はあなたの良いところを認めてくれている（中は40）



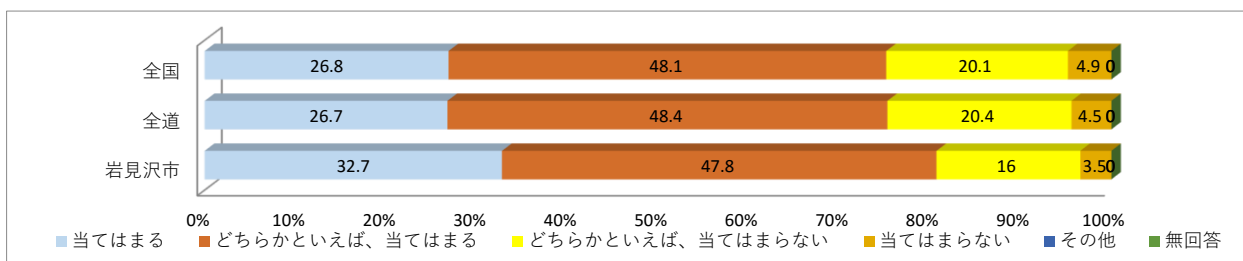
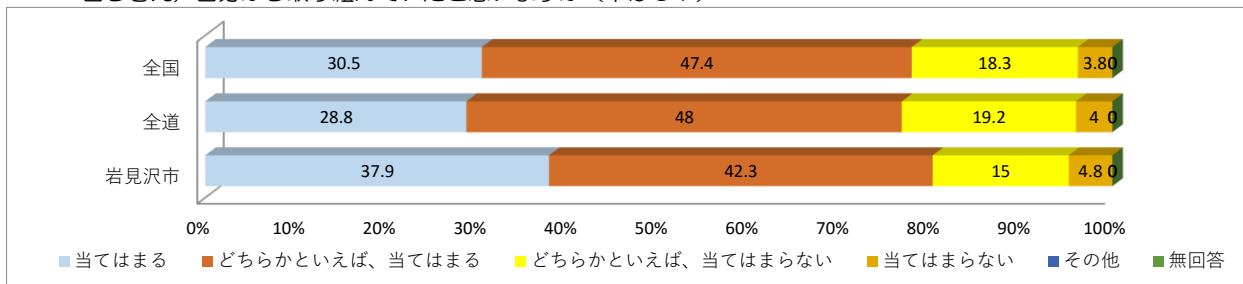
39. 先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる（中は41）



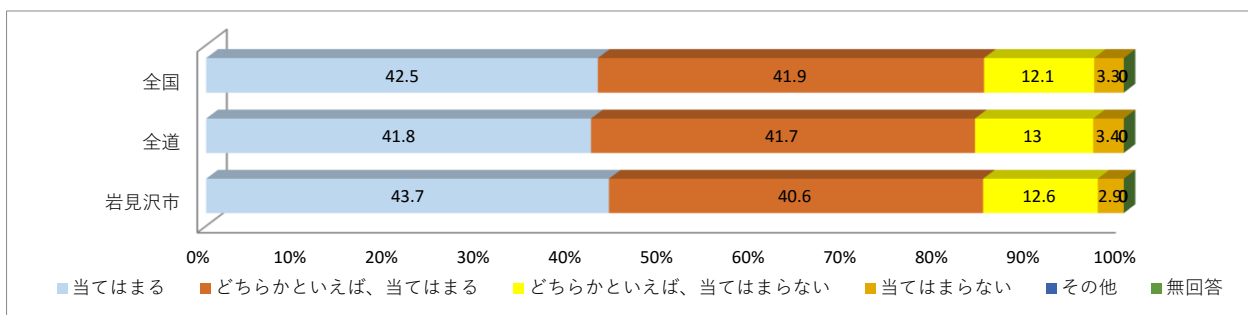
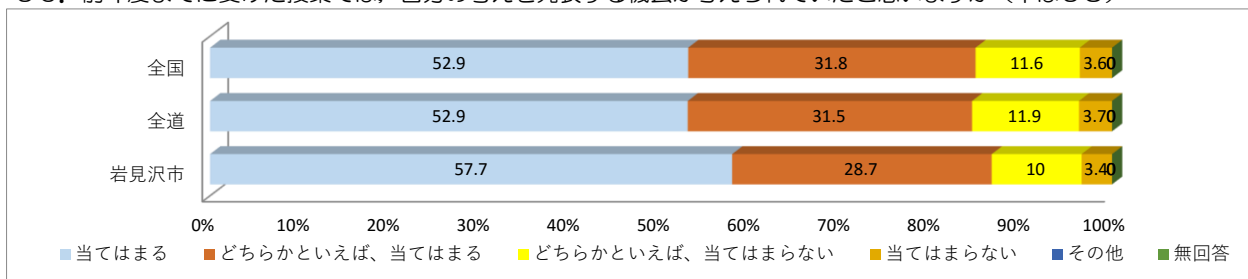
54. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか（中は56）



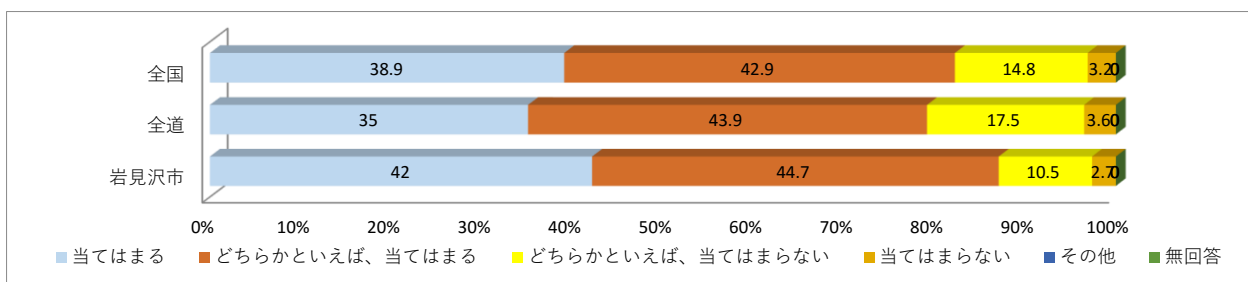
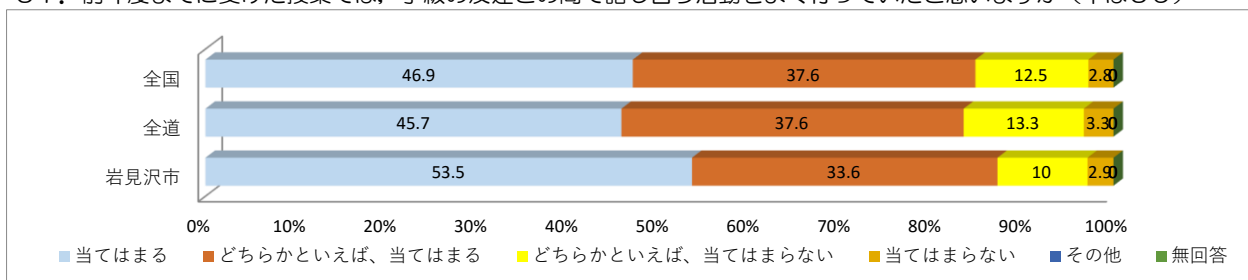
55. 前年度までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか（中は57）



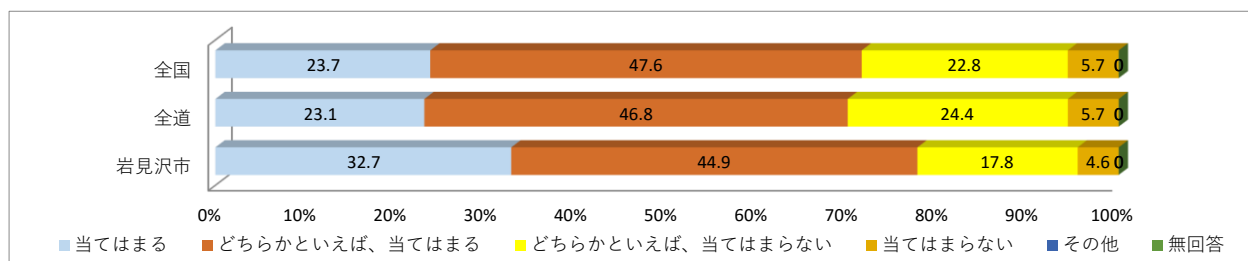
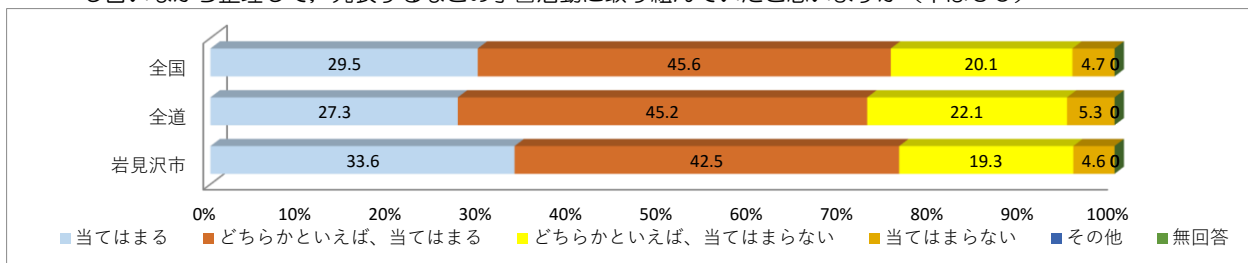
56. 前年度までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか（中は58）



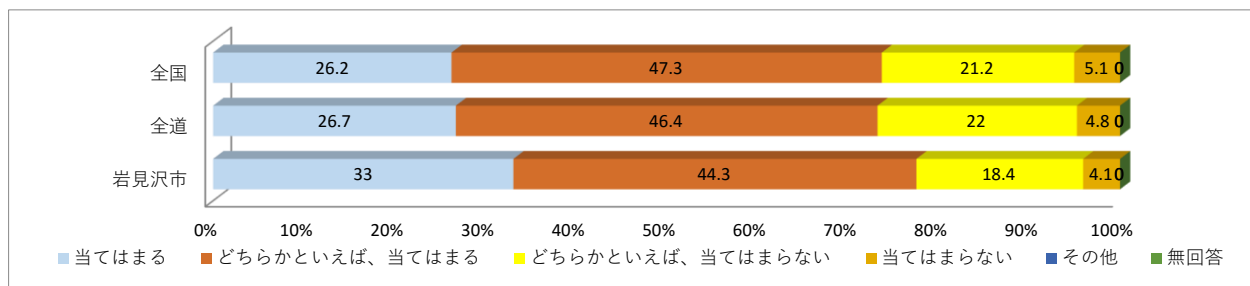
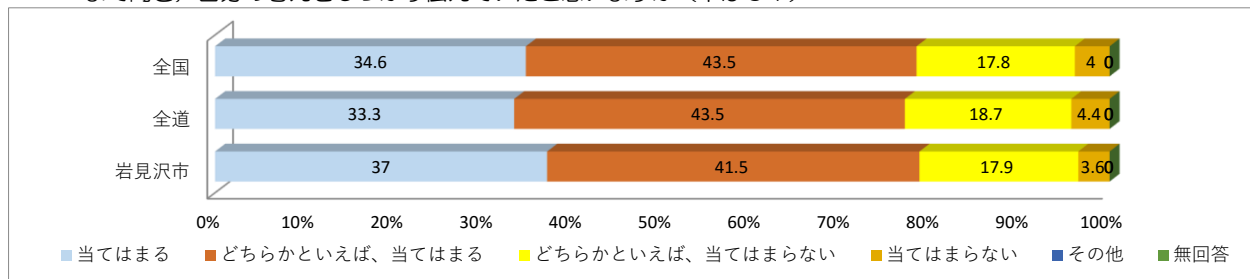
57. 前年度までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか（中は59）



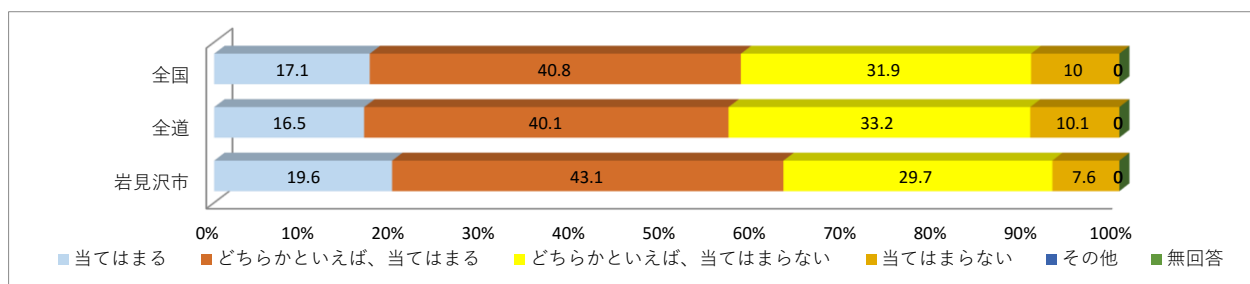
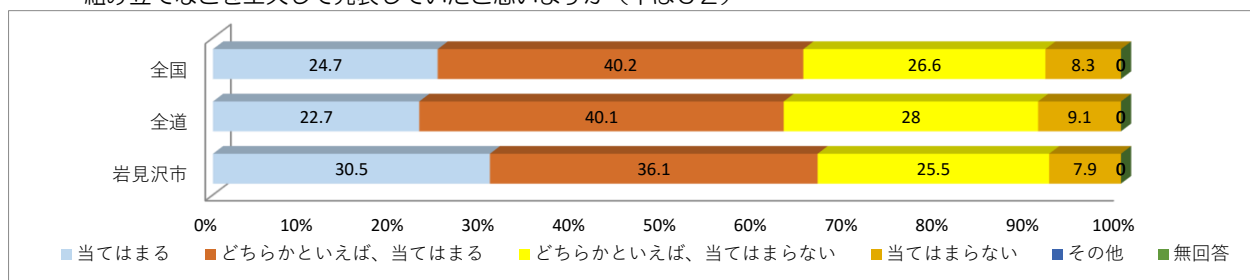
58. 前年度までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか（中は60）



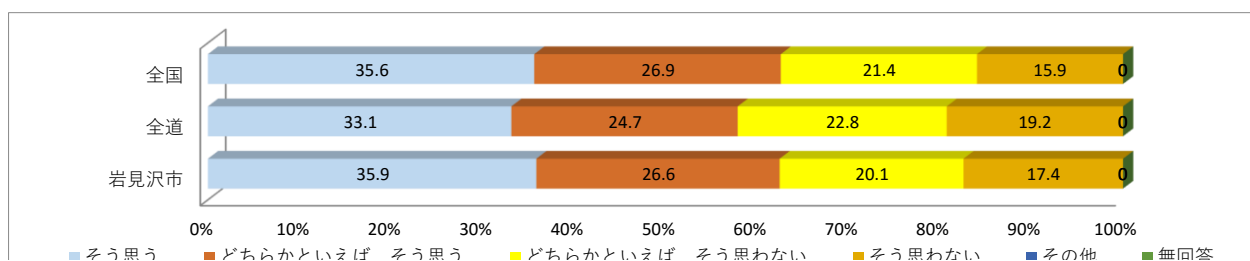
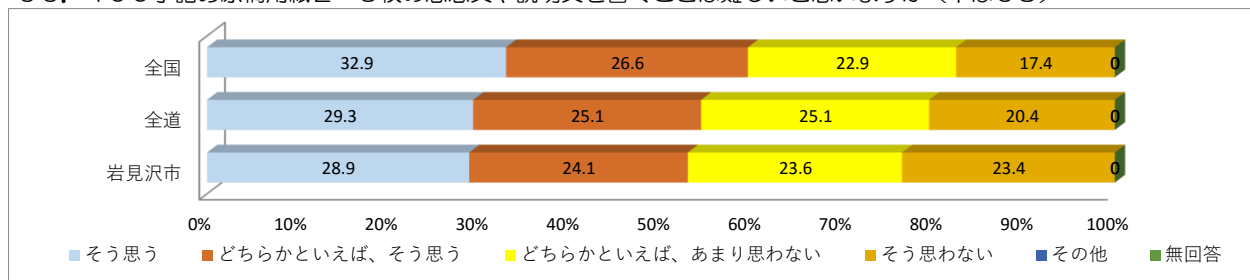
59. 前年度までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか（中は61）



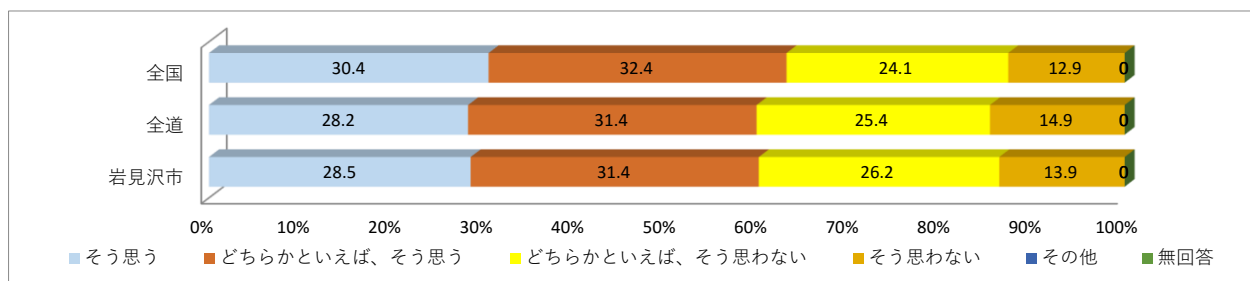
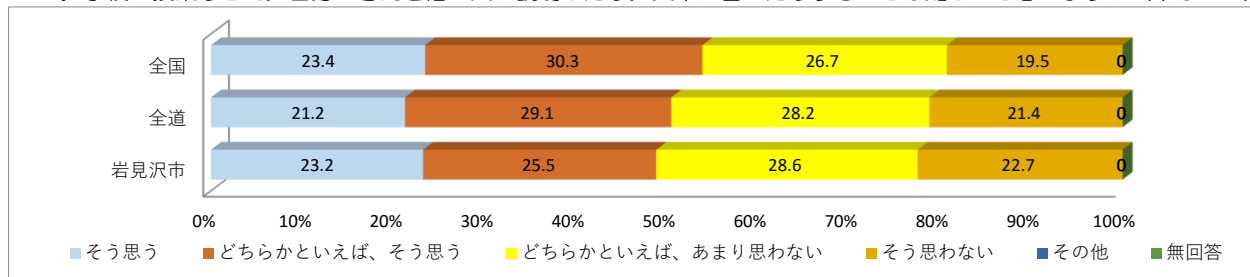
60. 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか（中は62）



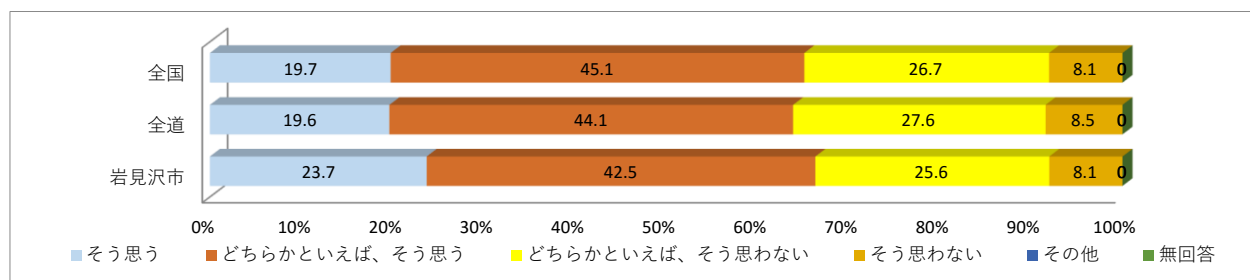
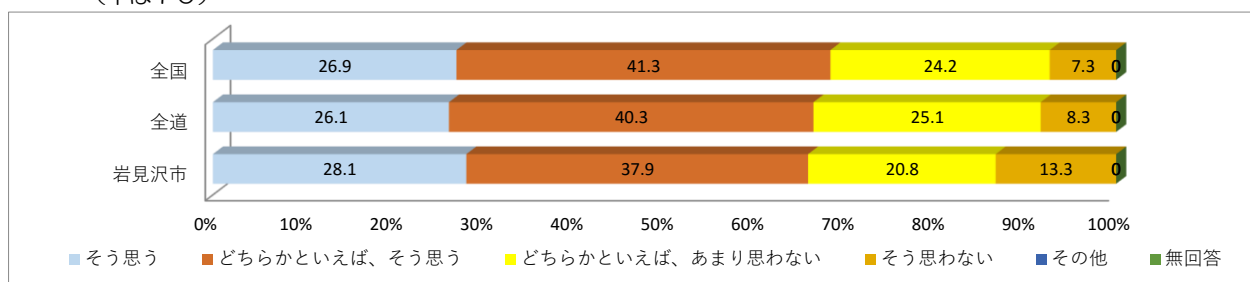
66. 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか（中は68）



67. 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか（中は69）



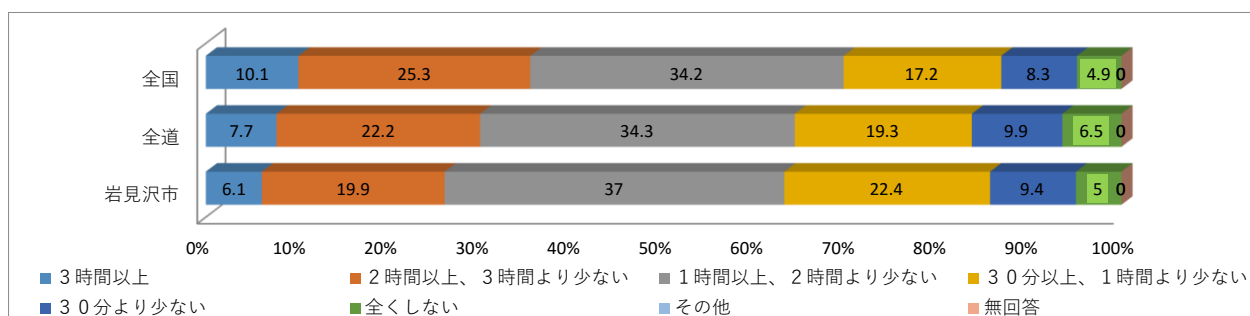
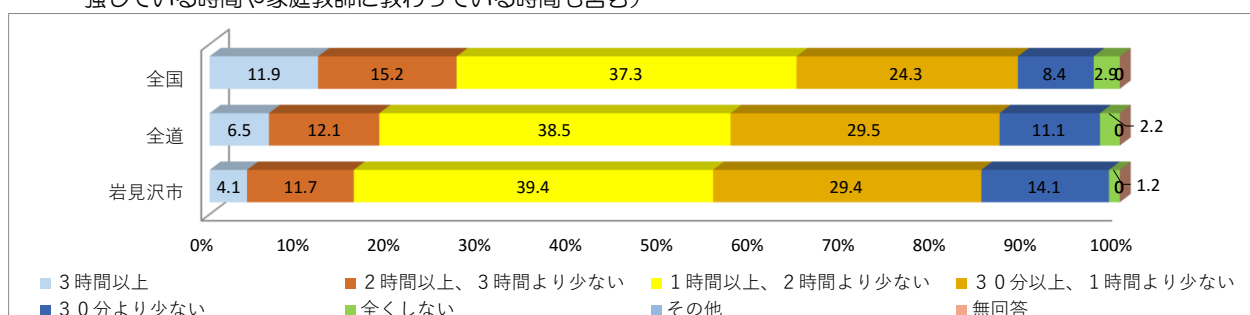
68. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（中は70）



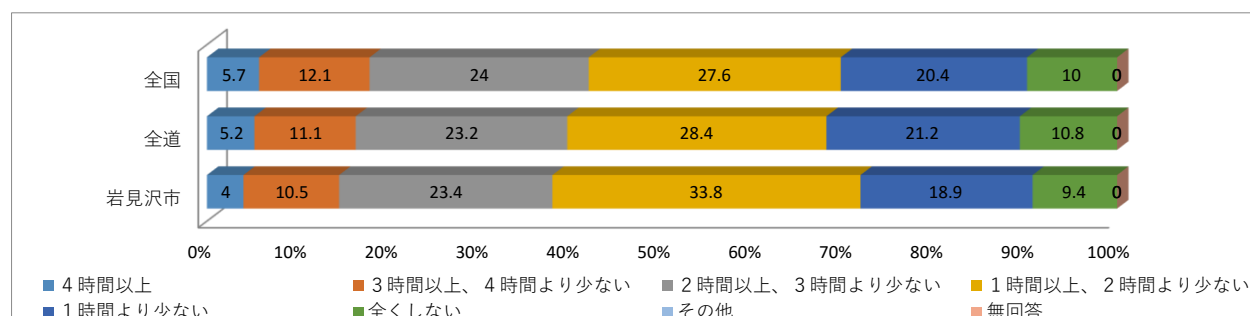
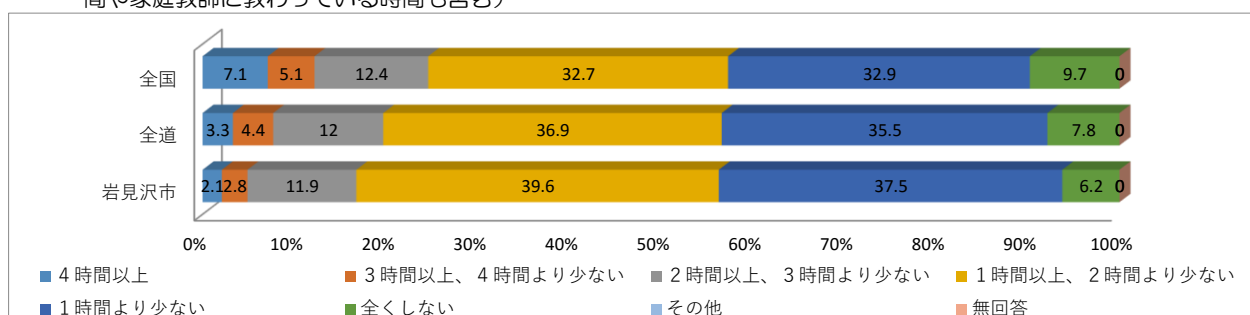
5. 学習時間等

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という設問に1時間以上と回答した児童生徒は全国と比べて、小学校は9.2ポイント、中学校は6.6ポイント下回る。
「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という設問に対し、「2時間以上」と回答した児童生徒は全国と比べて、小学校は7.8ポイント、中学校は3.9ポイント下回る。
「家で、自分で計画を立てて勉強しますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.6ポイント、中学校は1ポイント上回る。また、「家で、学校の授業の予習をしていますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は11.1ポイント上回り、中学校では2.2ポイント下回る。同じように、復習についての設問の回答では、小学校は14ポイント、中学校は7.9ポイント上回る。

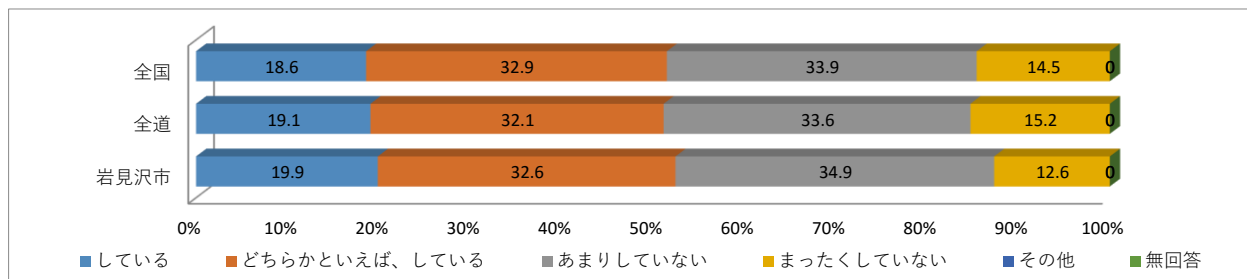
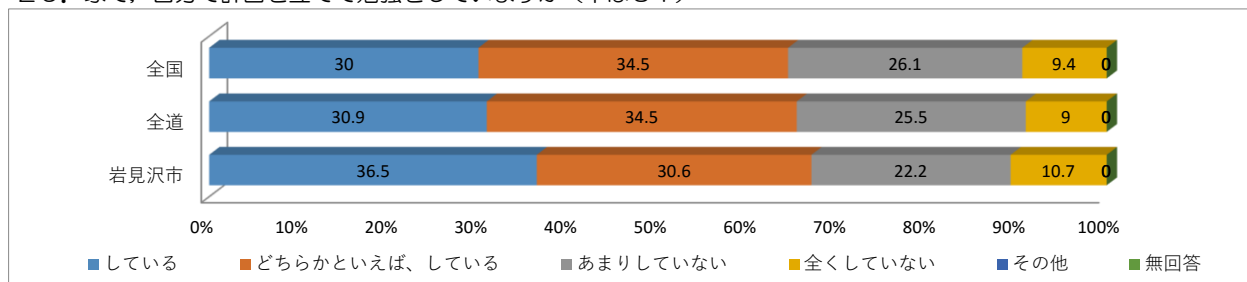
1 5. 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



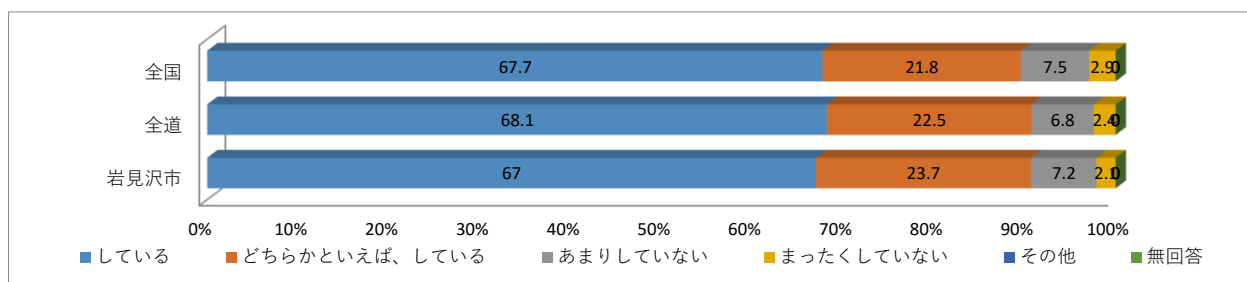
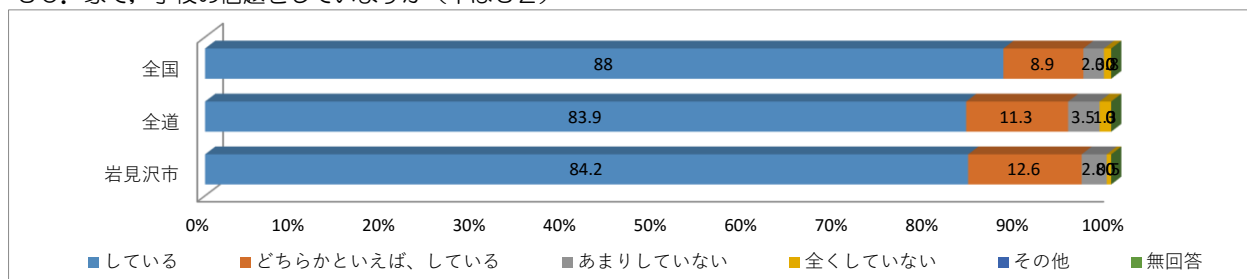
1 6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



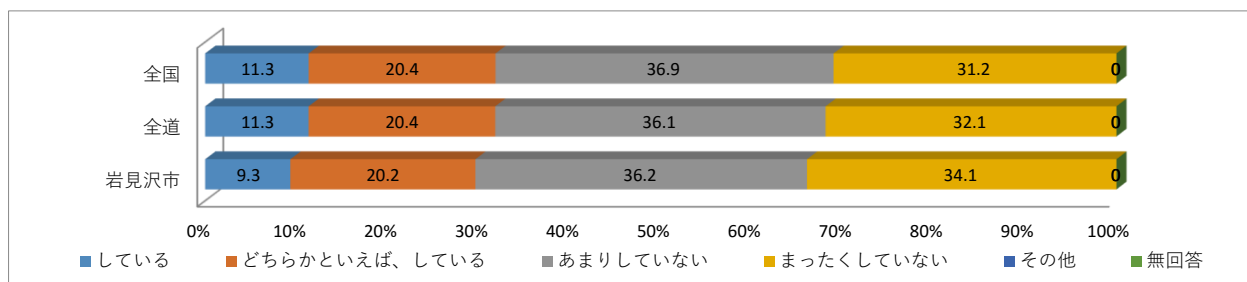
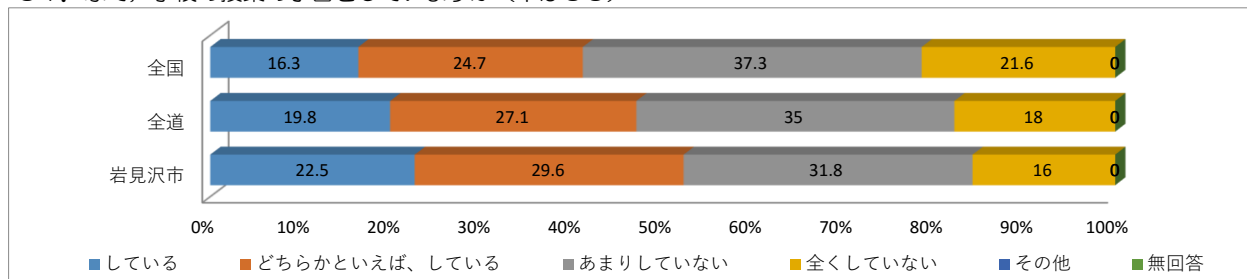
29. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（中は31）



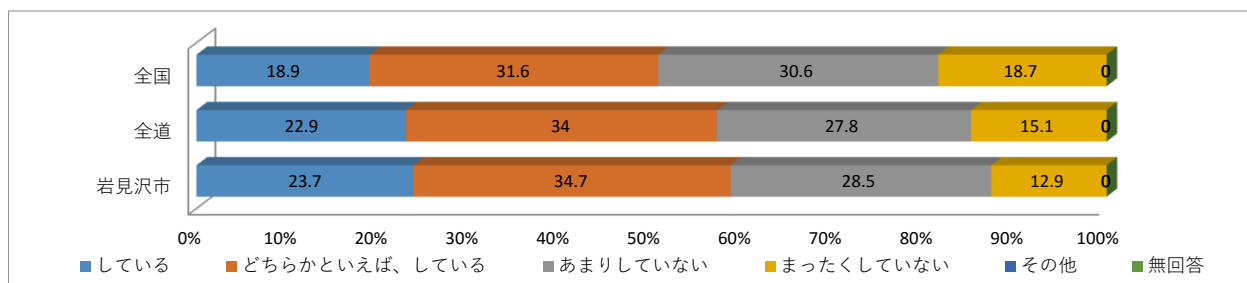
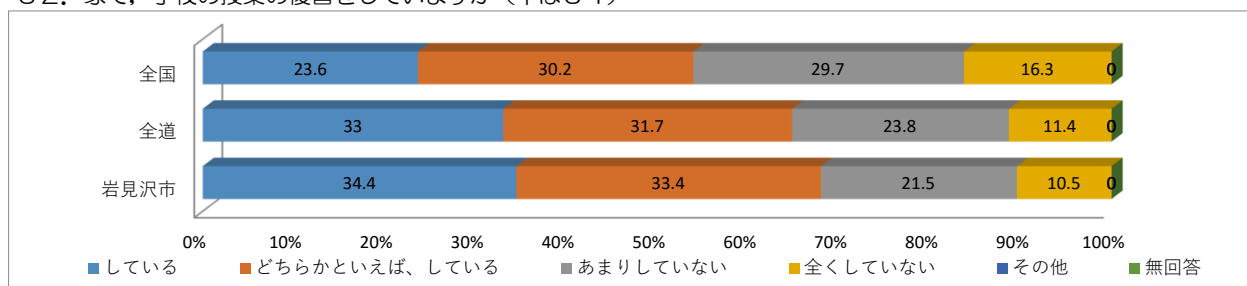
30. 家で、学校の宿題をしていますか（中は32）



31. 家で、学校の授業の予習をしていますか（中は33）



32. 家で、学校の授業の復習をしていますか（中は34）

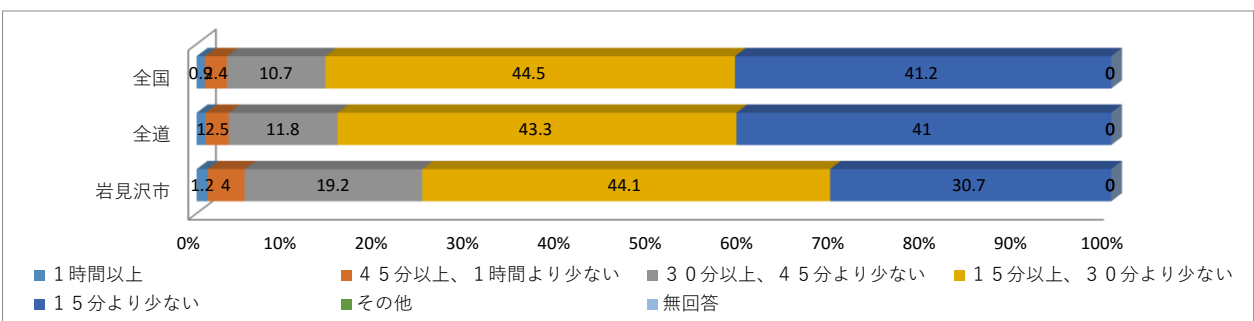
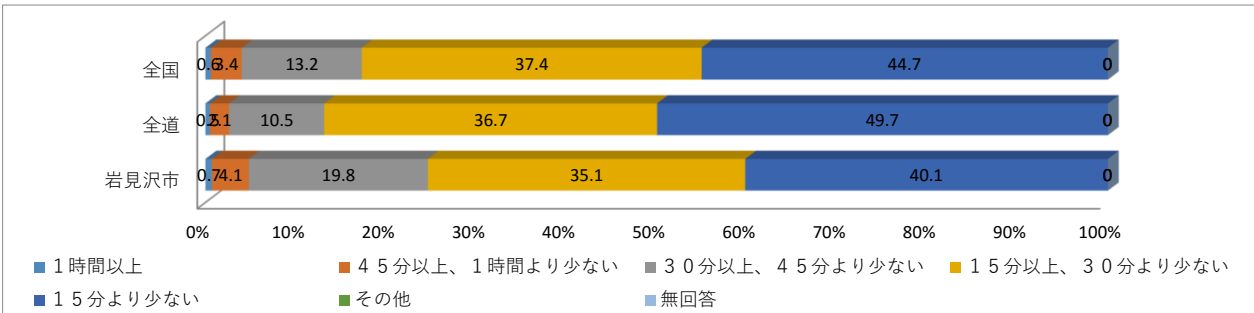


6. 学校生活等

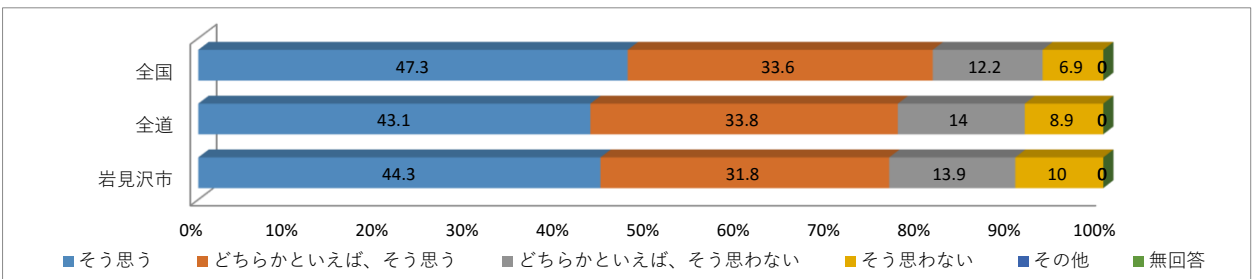
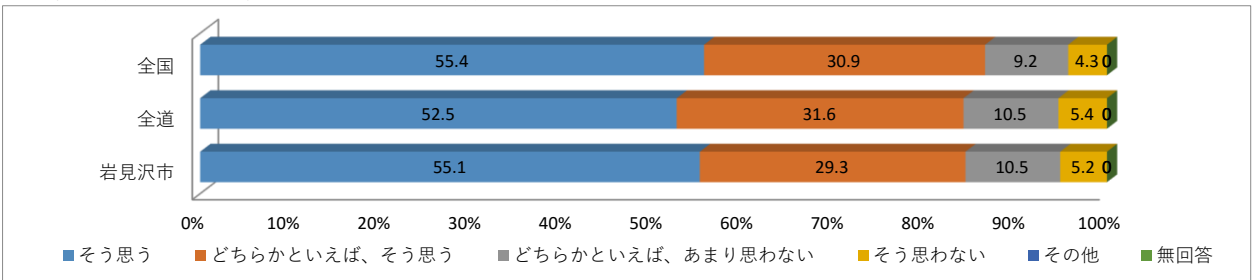
「学校に行くのは楽しいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.9ポイント、中学校は4.8ポイント下回る。

「学校で、好きな授業がありますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.2ポイント、中学校では2.5ポイント上回る。「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.5ポイント、中学校は0.2ポイント下回る。

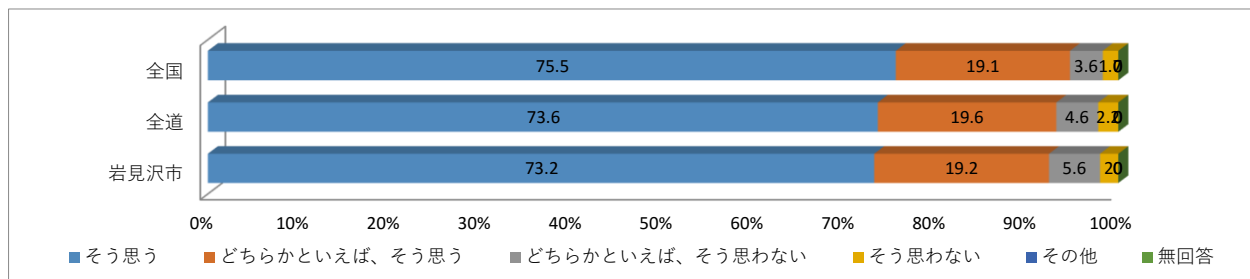
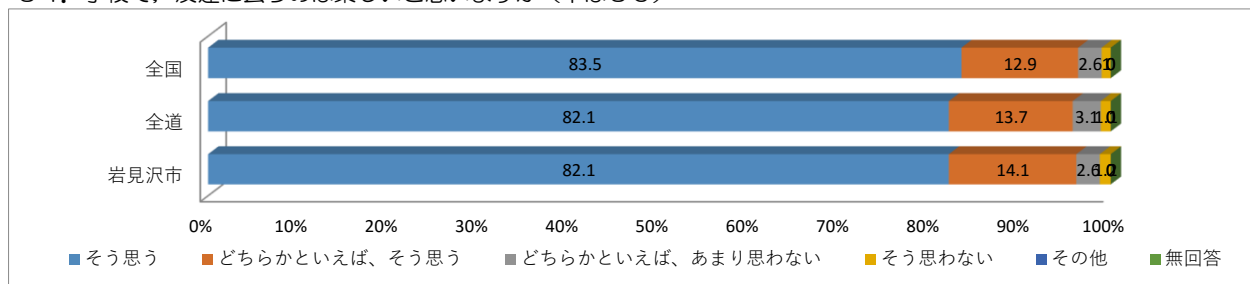
20. 普段、家を出発してから学校に着くまでどれくらいの時間がかかりますか（中は22）



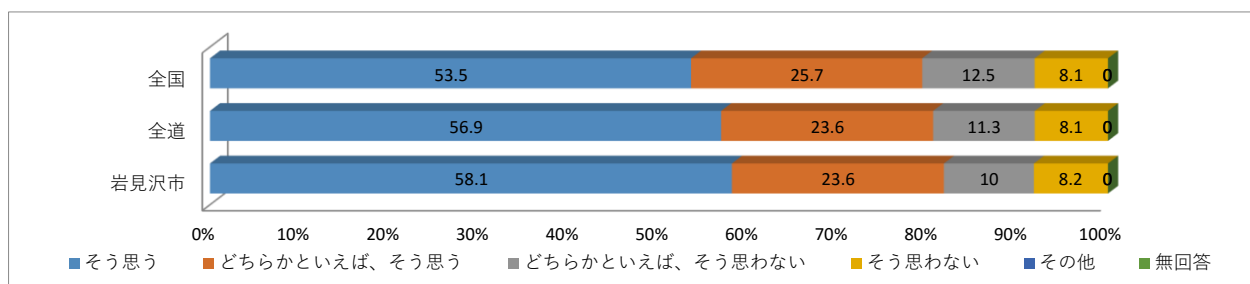
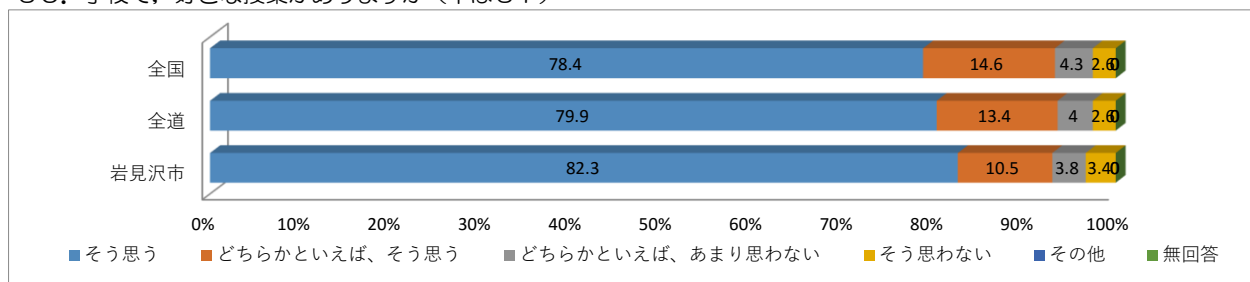
33. 学校に行くのは楽しいと思いますか（中は35）



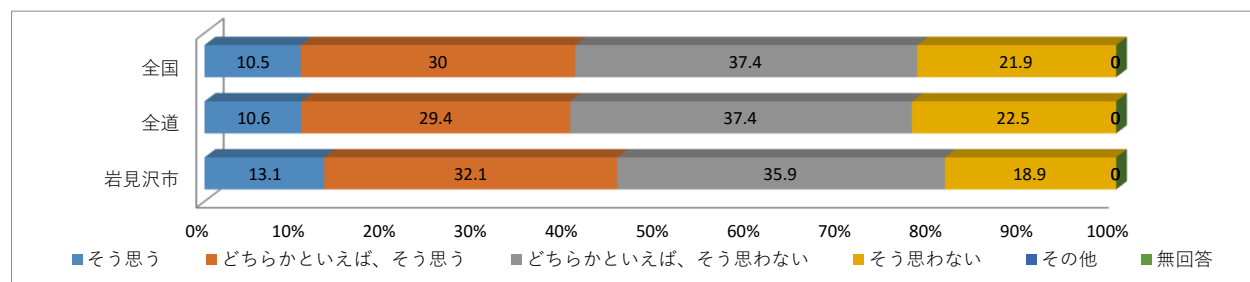
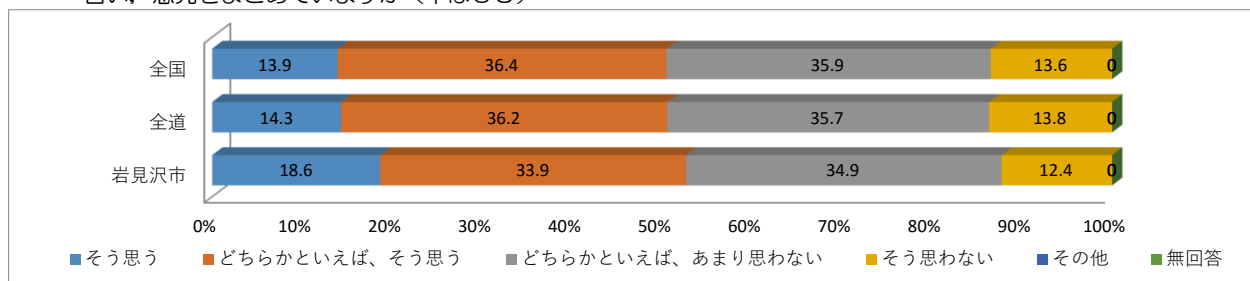
34. 学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか（中は36）



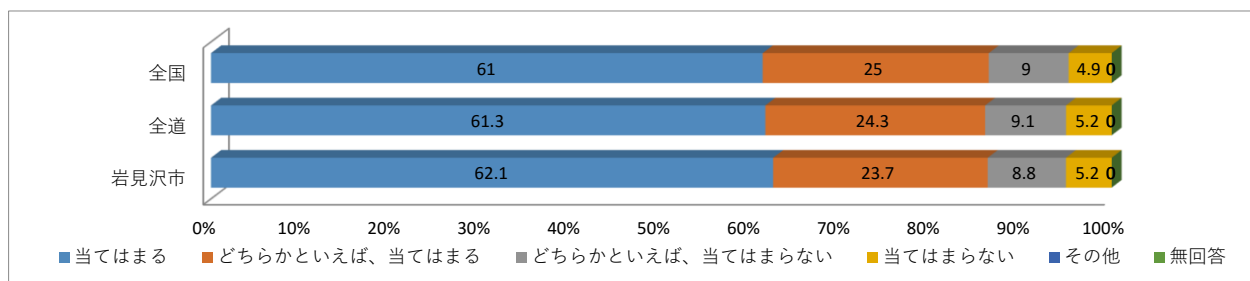
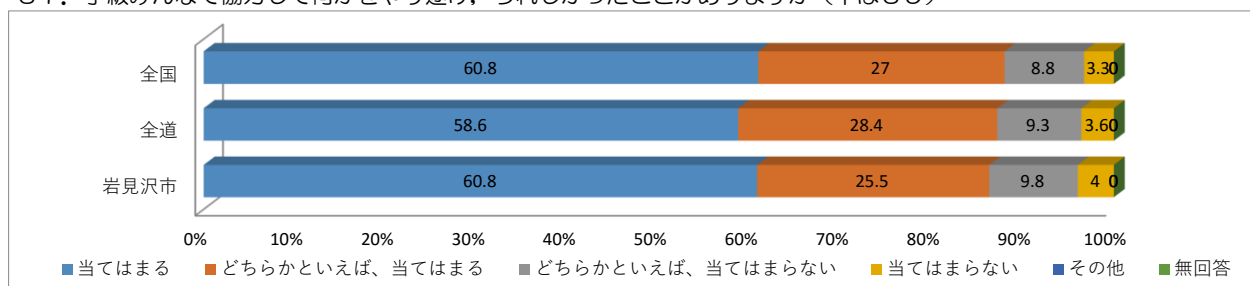
35. 学校で、好きな授業がありますか（中は37）



36. 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか（中は38）



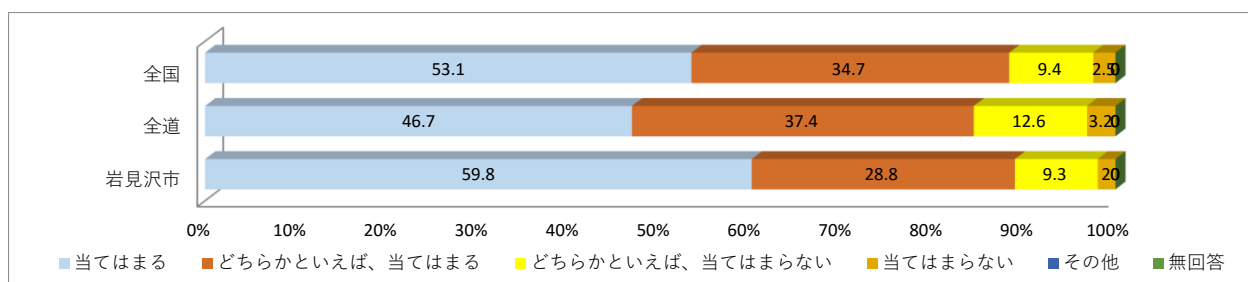
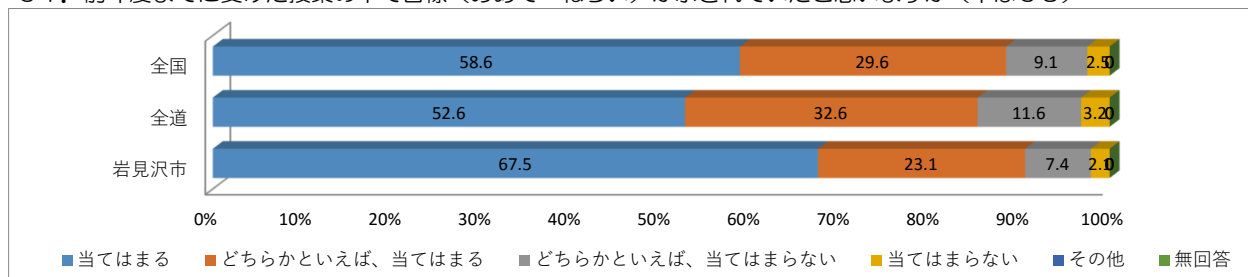
３７．学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか（中は３９）



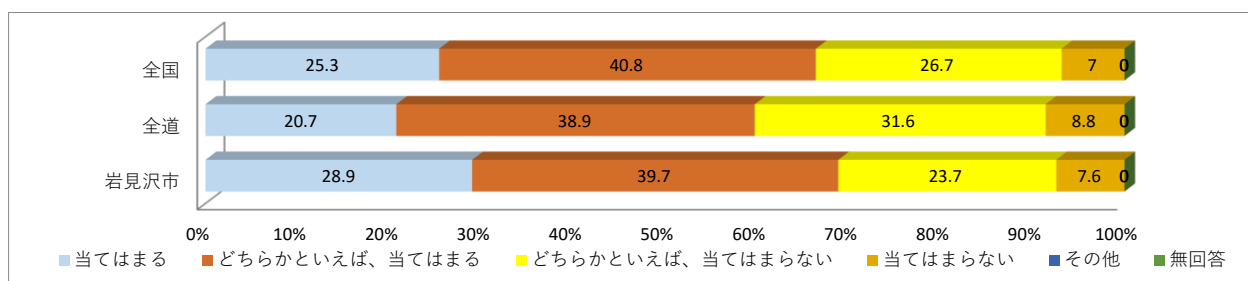
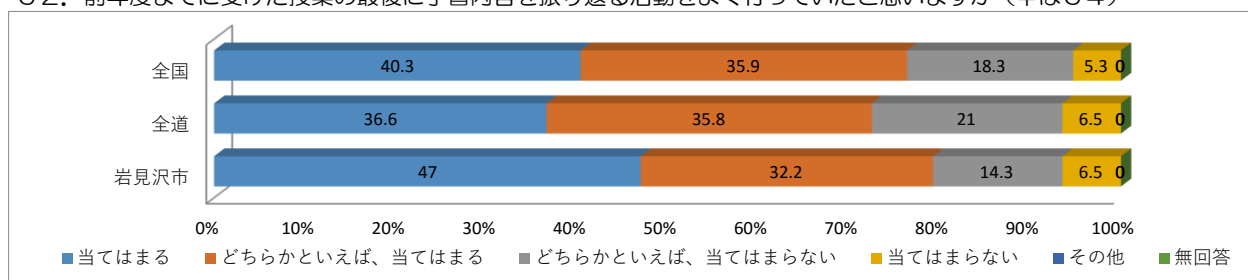
7. 学習状況（指導状況）

「前年度までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は2.4ポイント、中学校は0.8ポイント上回る。同じく、「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という設問に対しては、小学校は3ポイント、中学校は2.5ポイント上回る。
「前年度までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は0.4ポイント、中学校は7.9ポイント上回る。

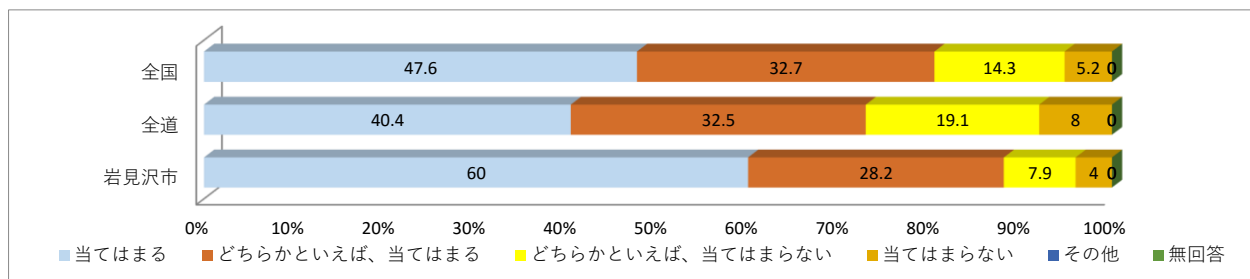
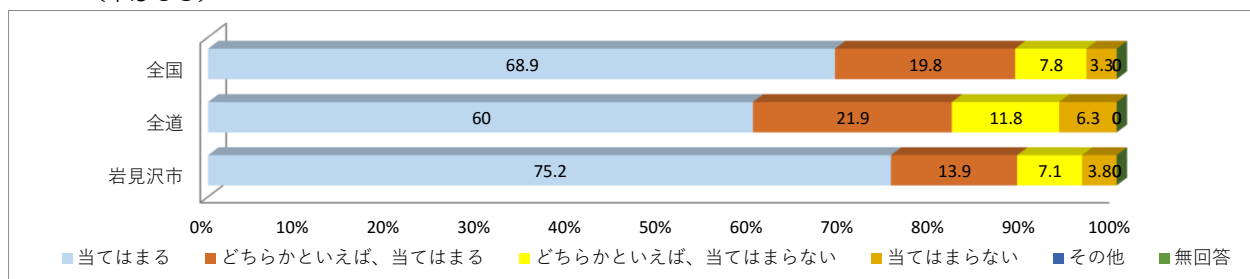
6 1. 前年度までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか（中は6 3）



6 2. 前年度までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか（中は6 4）



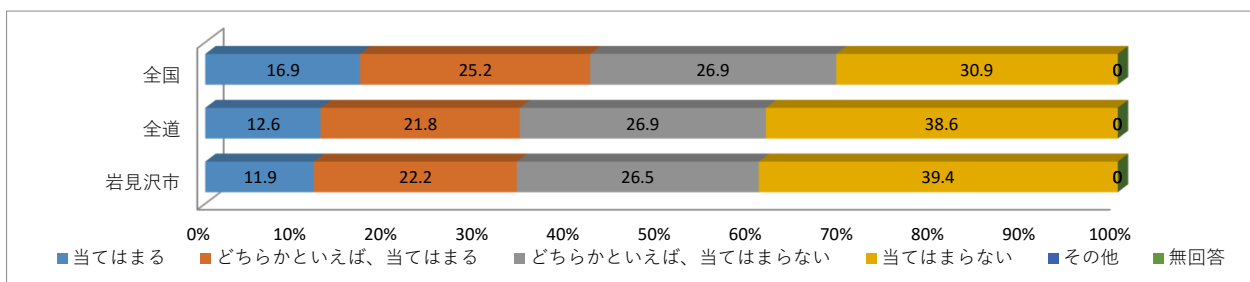
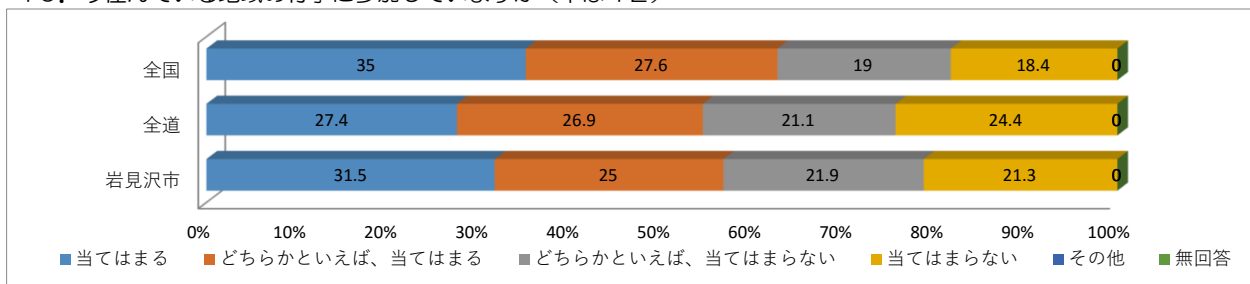
63. 前年度までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか
（中は65）



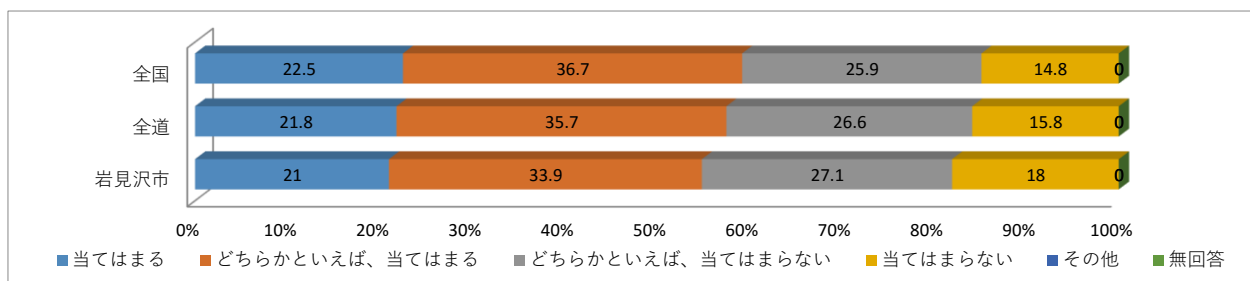
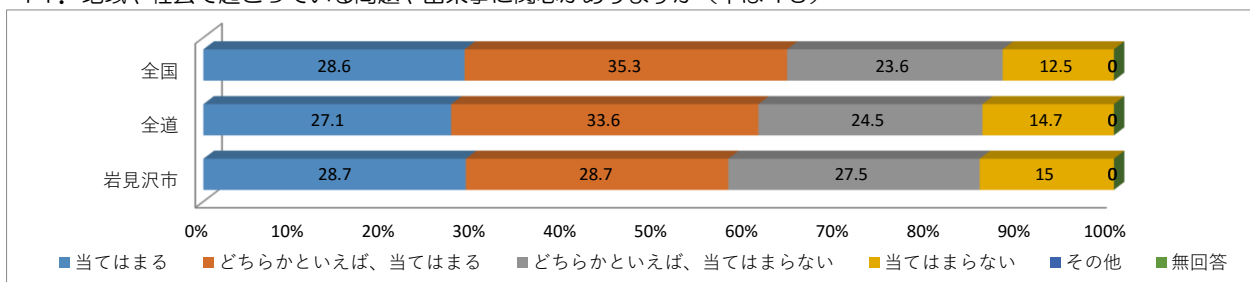
8. 地域や社会、外国に対する興味・関心

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は6.1ポイント、中学校は8ポイント下回る。「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は6.5ポイント、中学校は4.3ポイント下回る。
 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は4.9ポイント、中学校は6.5ポイント上回る。
 「新聞を（週1回以上）読んでいますか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は1.9ポイント、中学校は0.3ポイント上回る。
 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いませんか」という設問に対する肯定的な回答は全国と比べて、小学校は9.1、中学校は2.2ポイント下回る。

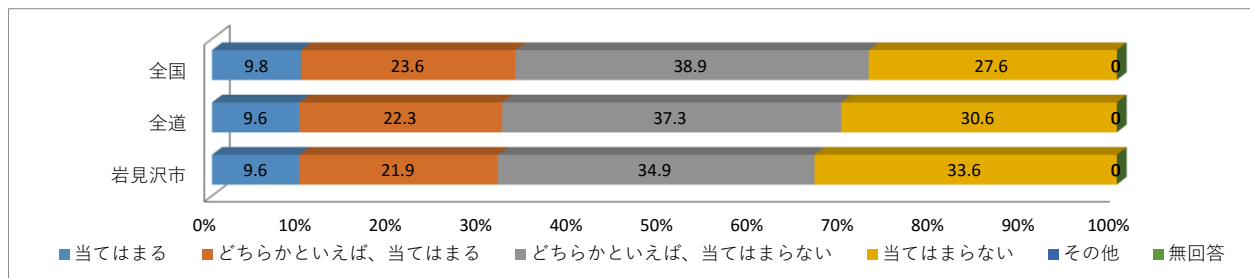
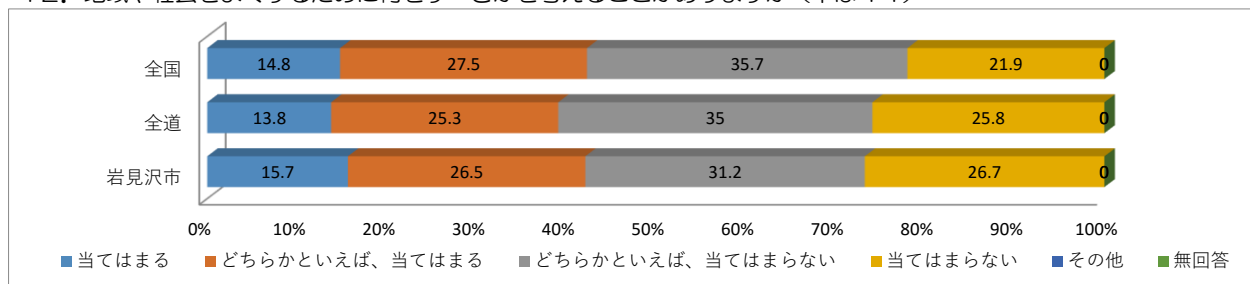
40. 今住んでいる地域の行事に参加していますか（中は42）



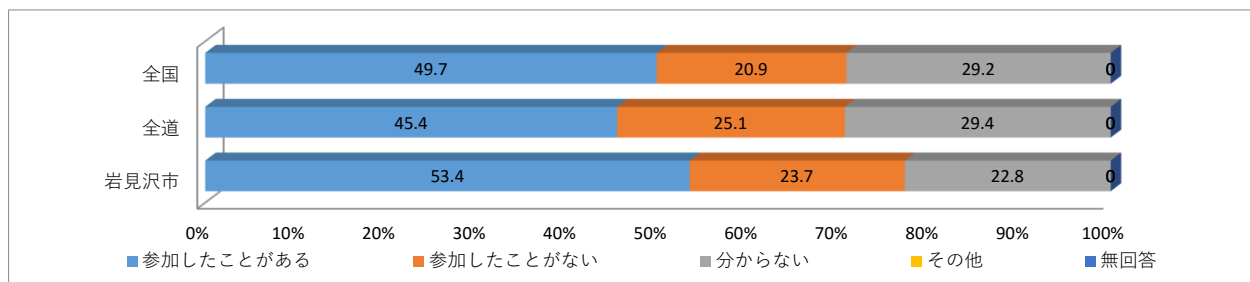
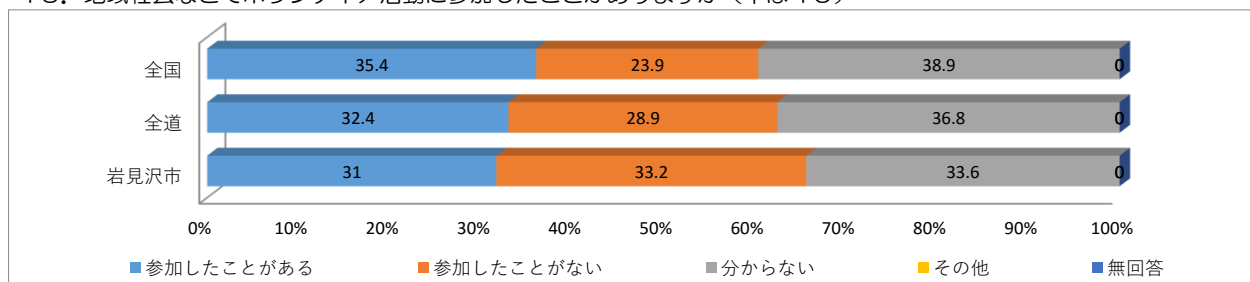
41. 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか（中は43）



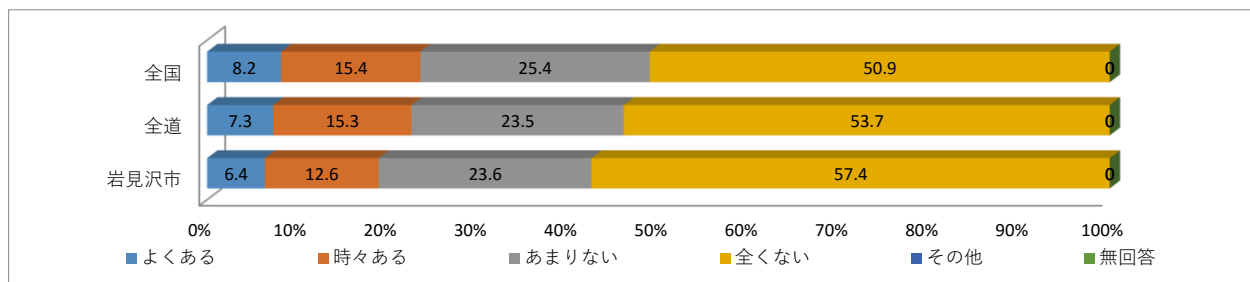
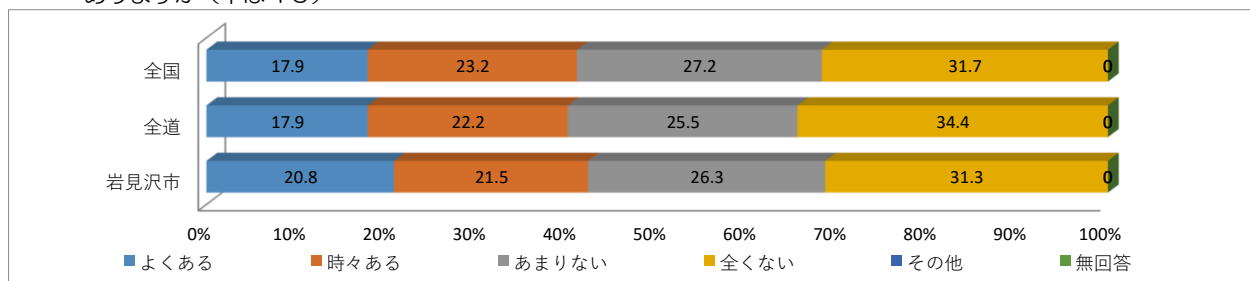
4 2. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（中は4 4）



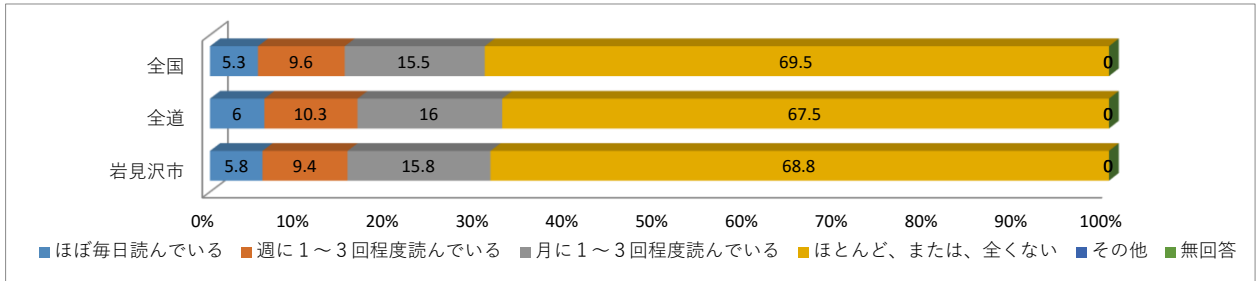
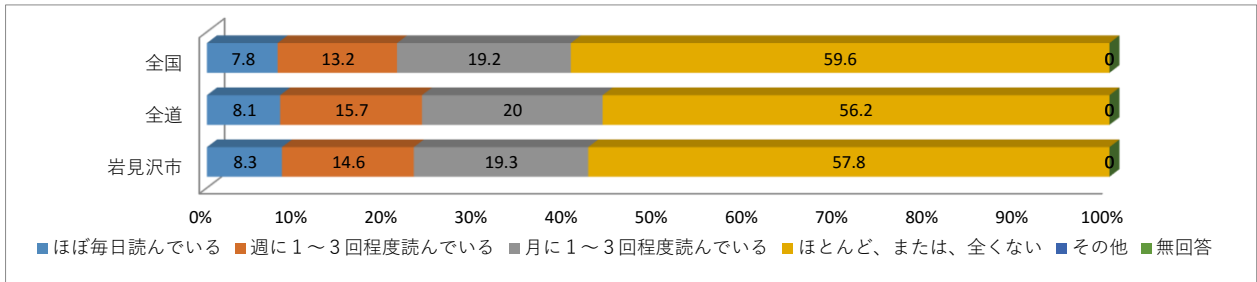
4 3. 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか（中は4 5）



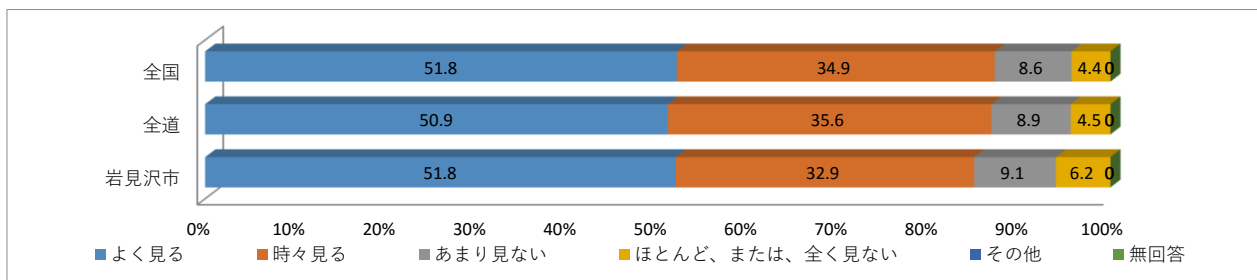
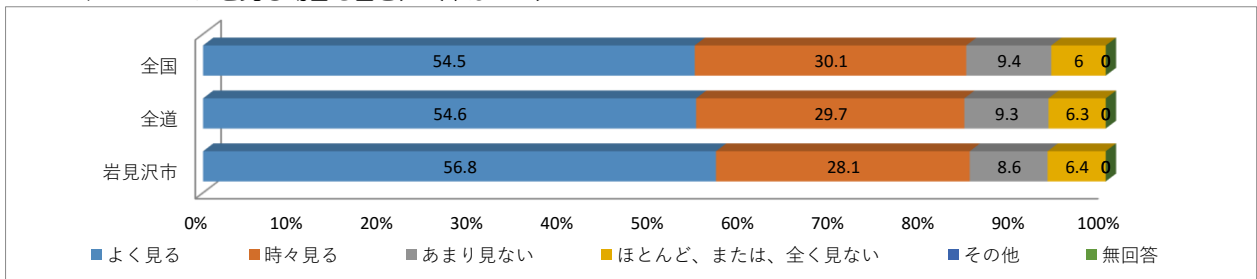
4 4. 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか（中は4 6）



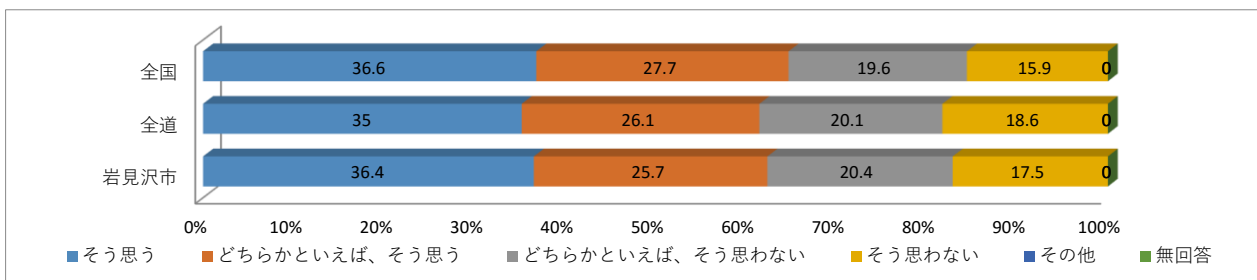
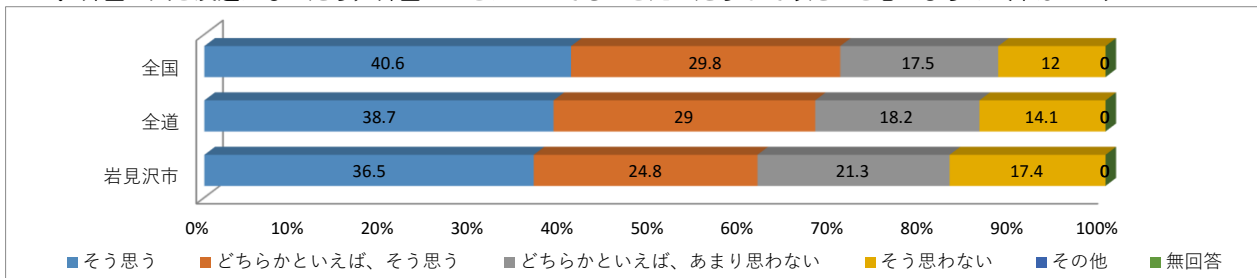
45. 新聞を読んでいますか（中は47）



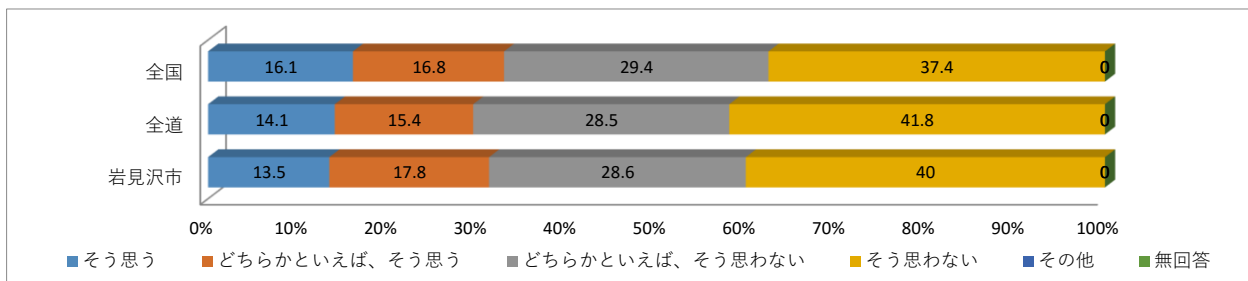
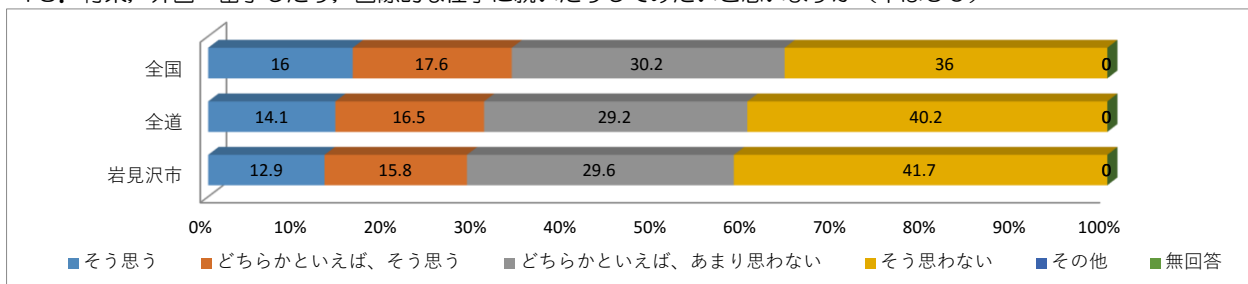
46. テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）（中は48）



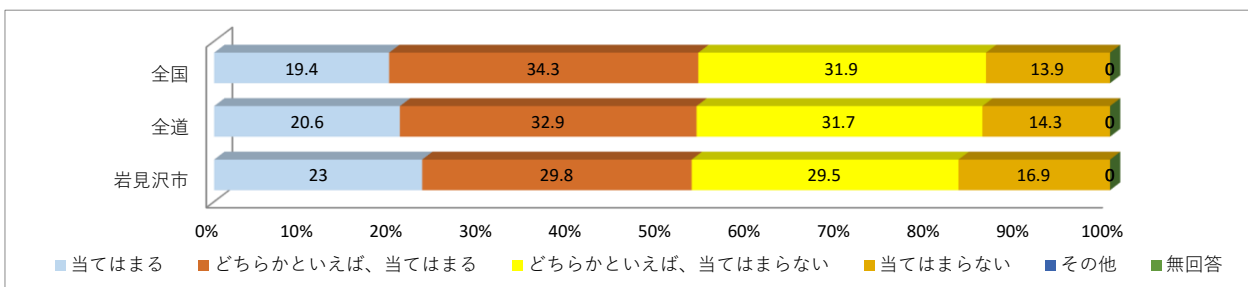
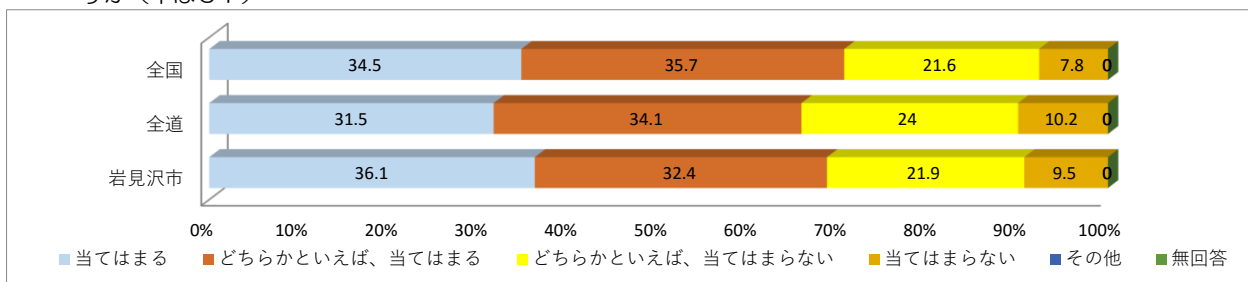
47. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか（中は49）



48. 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか（中は50）



65. 前年度までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか（中は67）

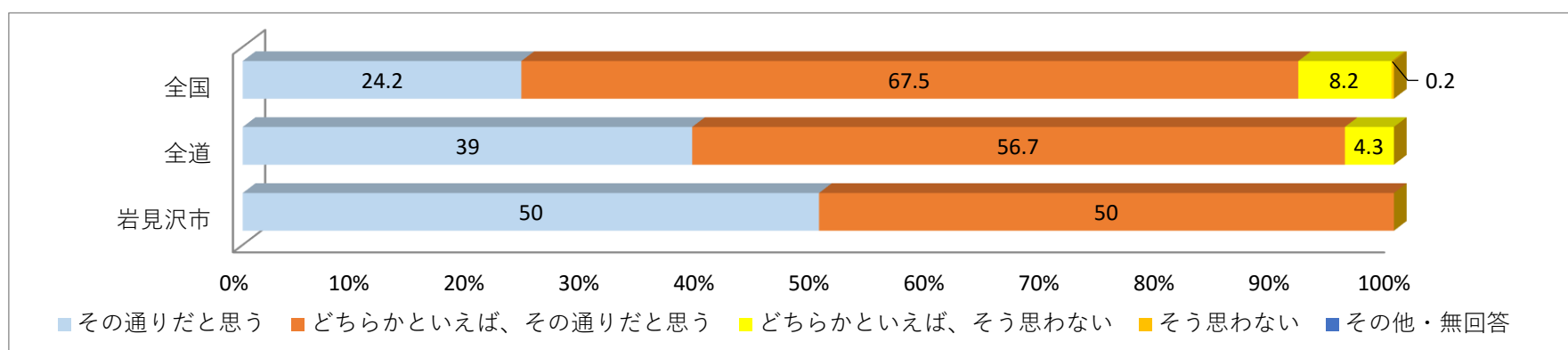
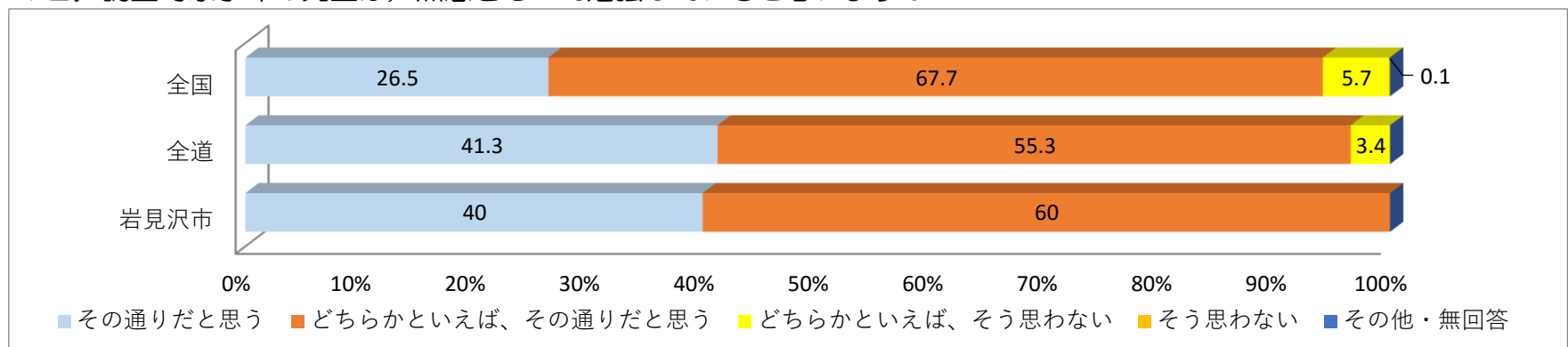


《学校質問紙》

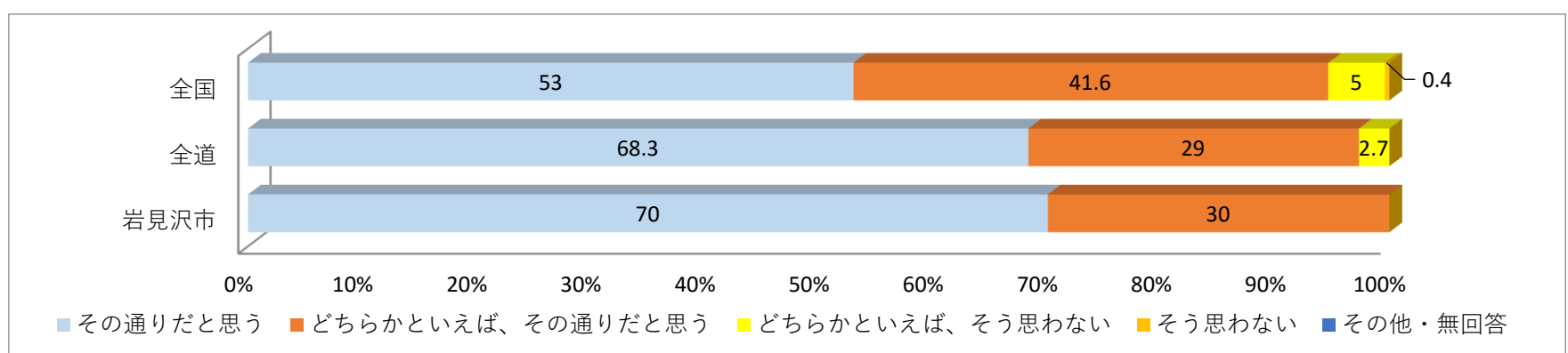
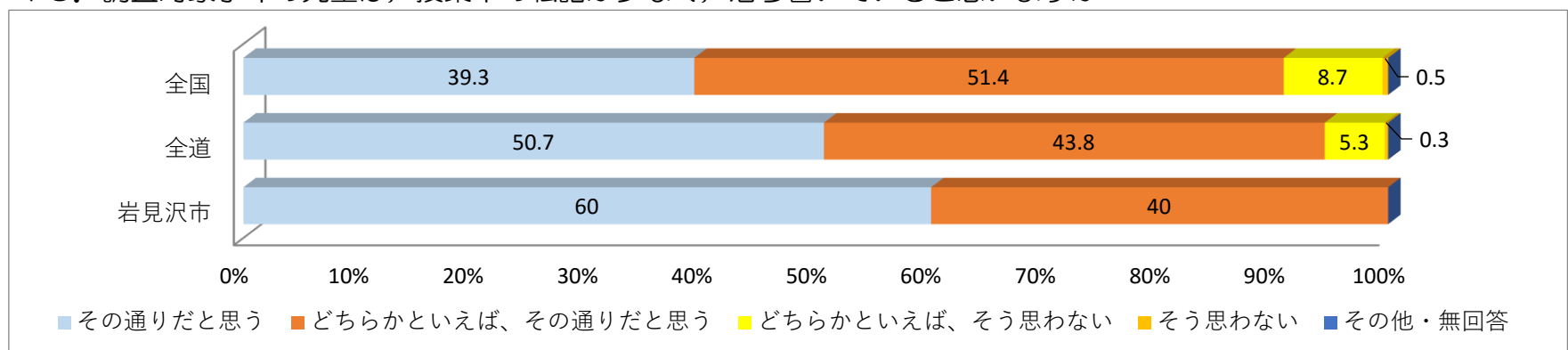
1. 学習態度・主体的な学び

※上段は「小学校」、下段は「中学校」のグラフ

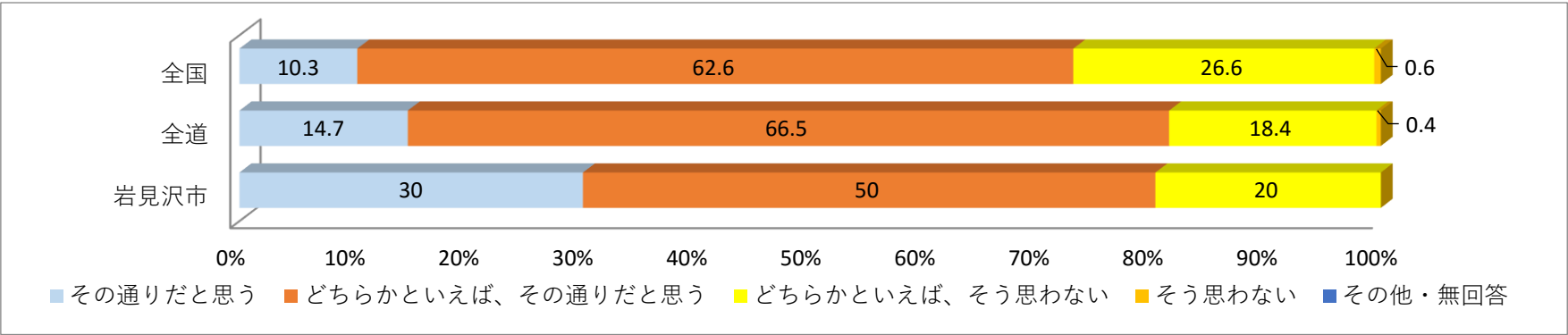
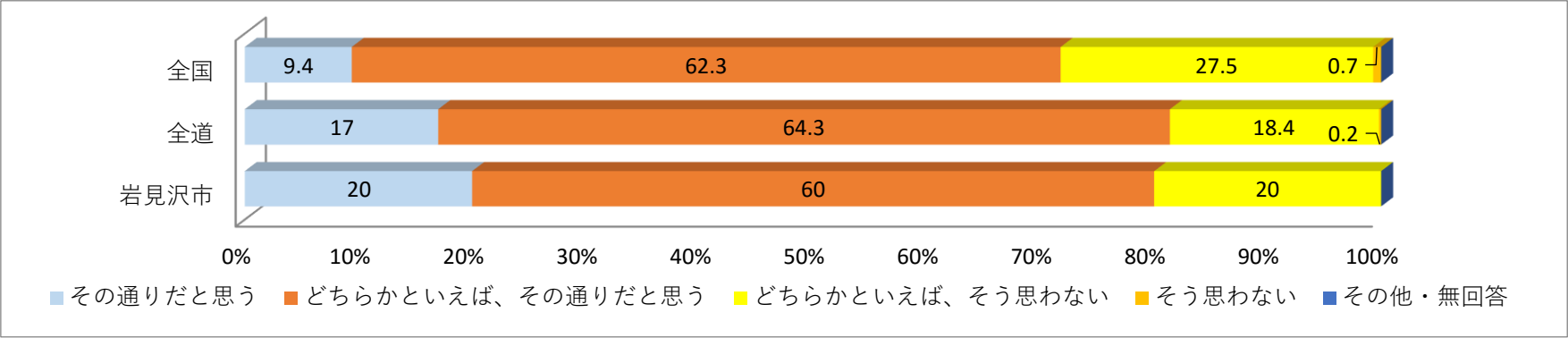
1 2. 調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか



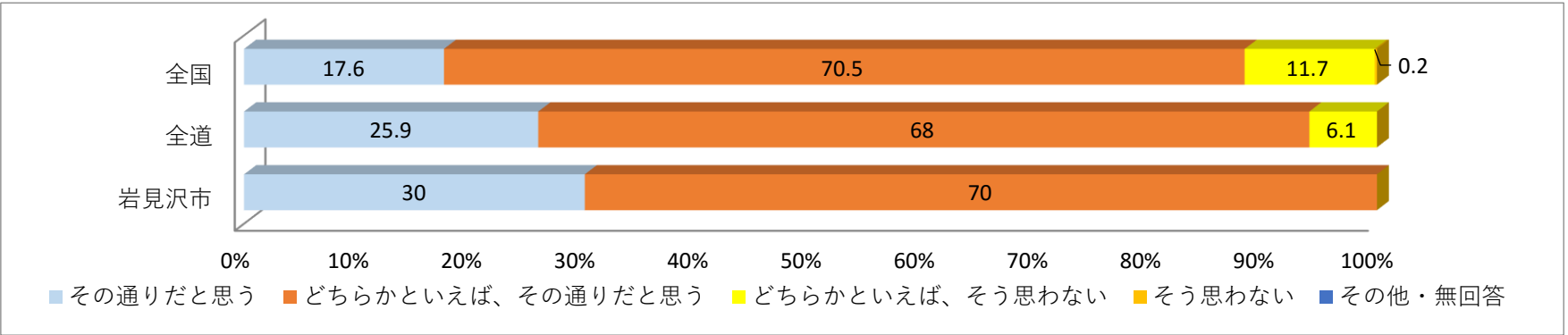
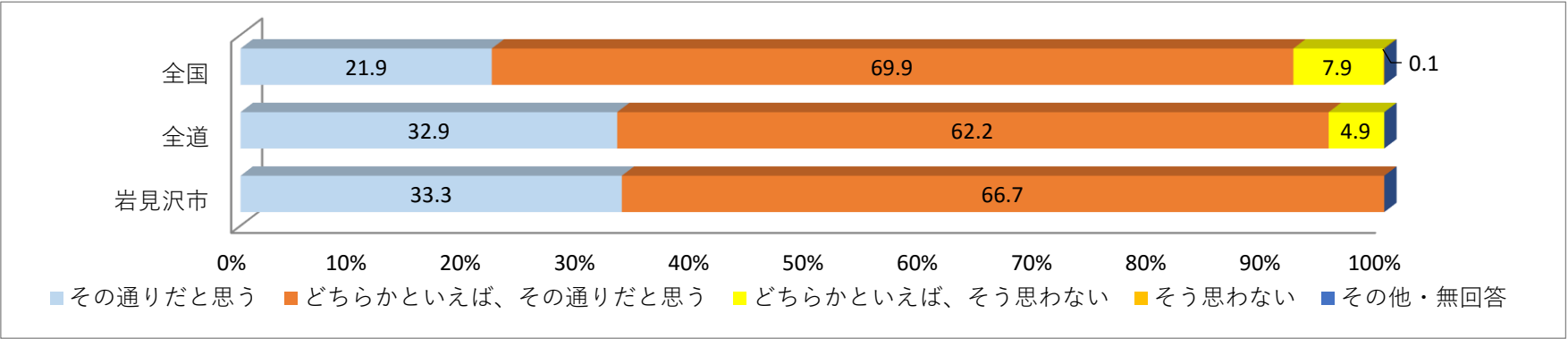
1 3. 調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



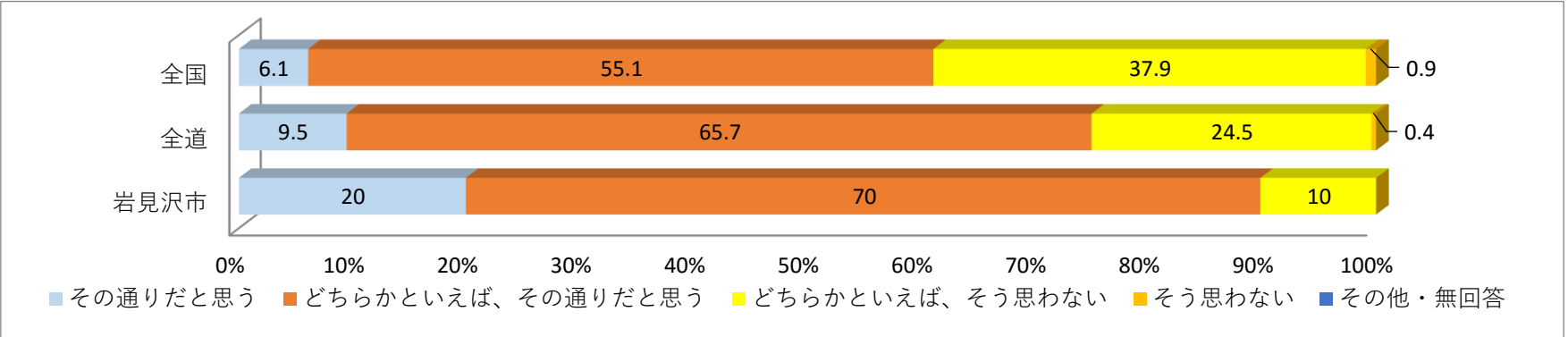
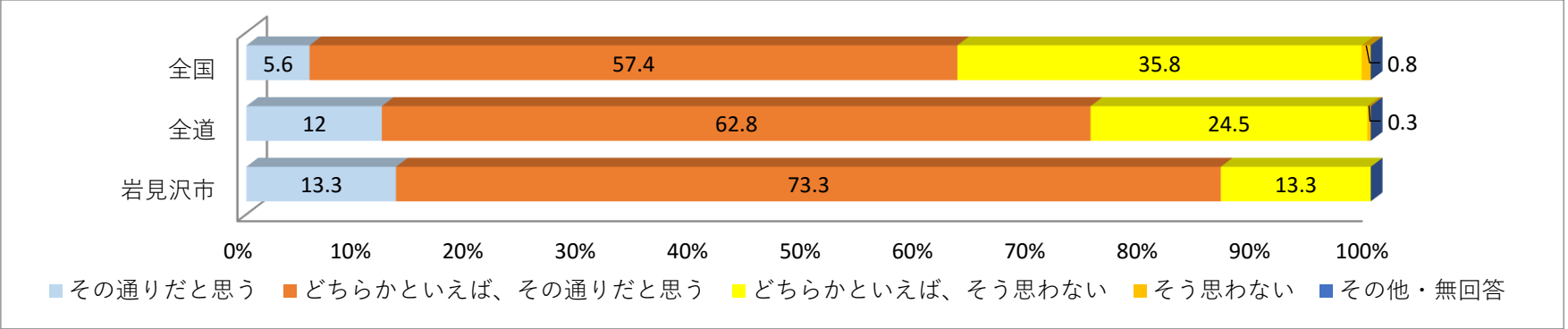
17. 調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



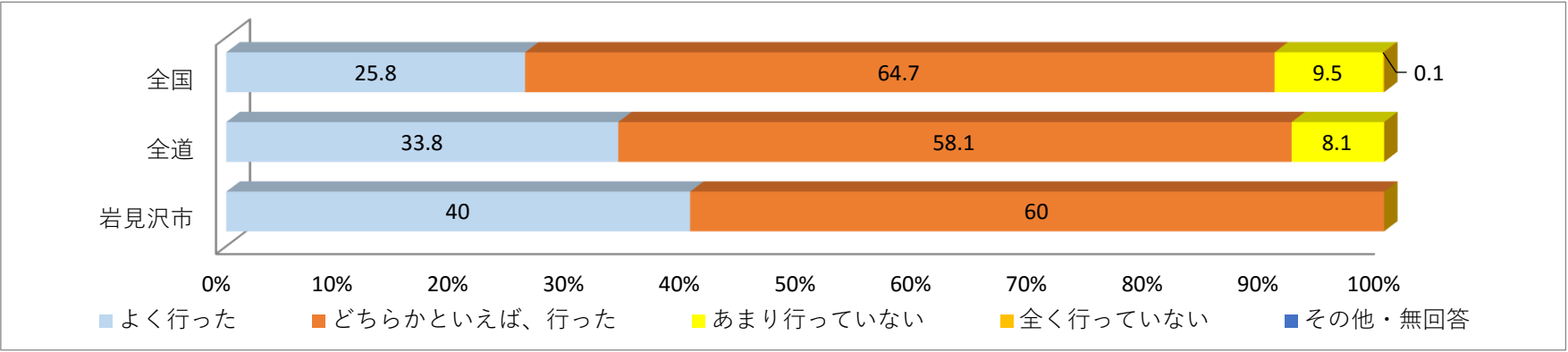
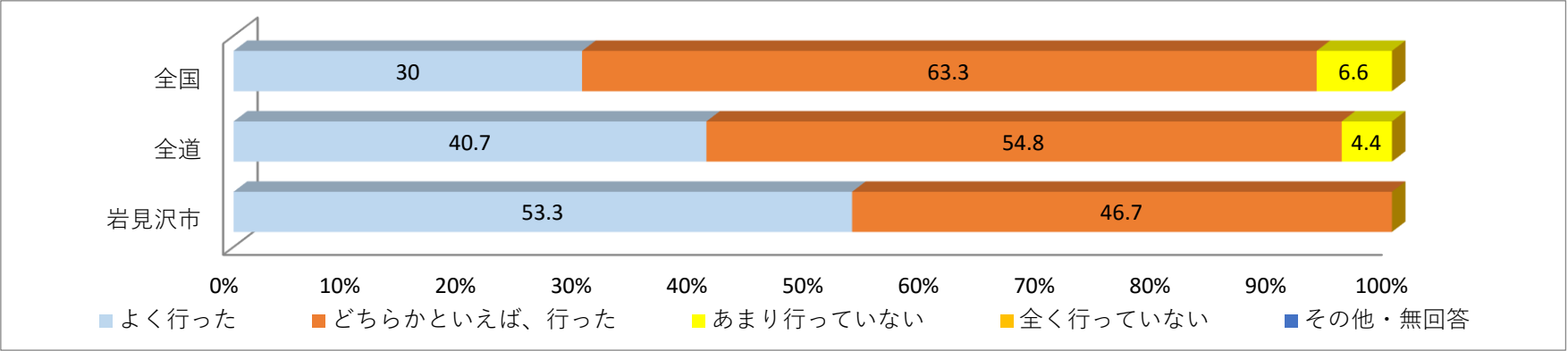
18. 調査対象学年の児童（生徒）は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか



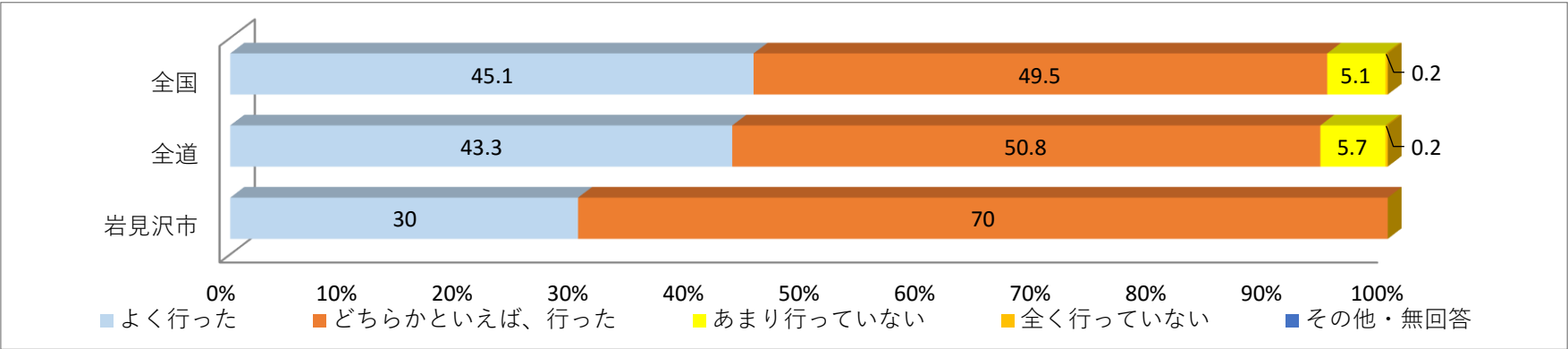
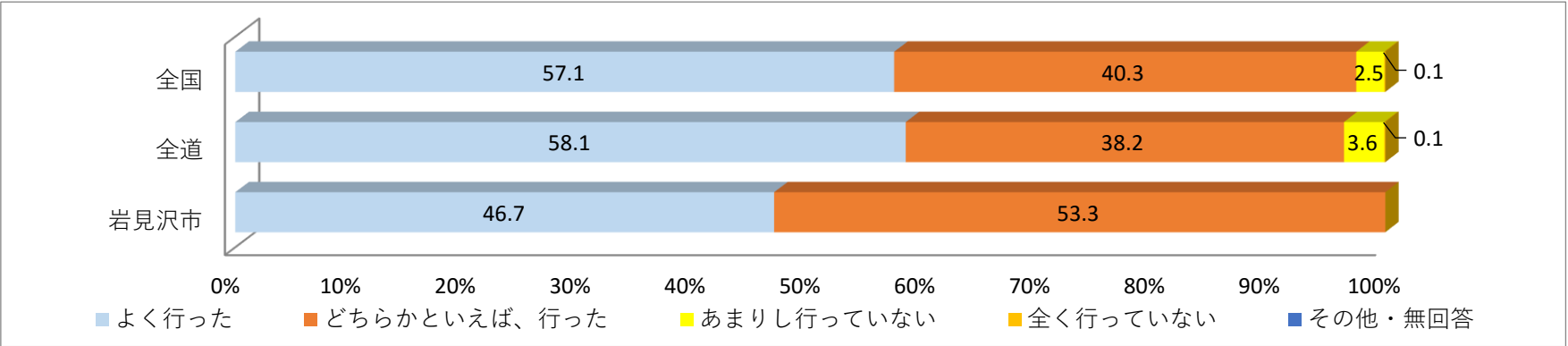
19. 調査対象学年の児童（生徒）は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



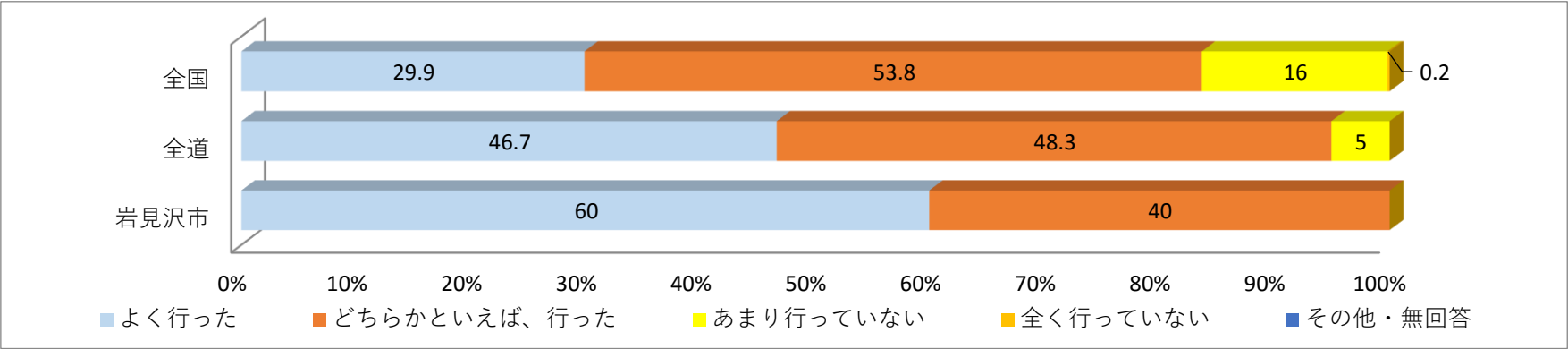
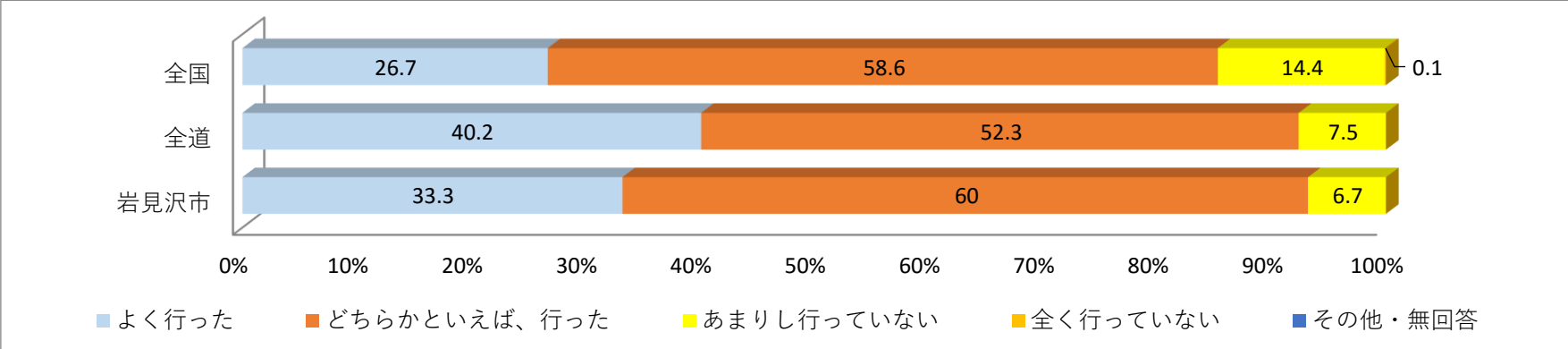
35. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



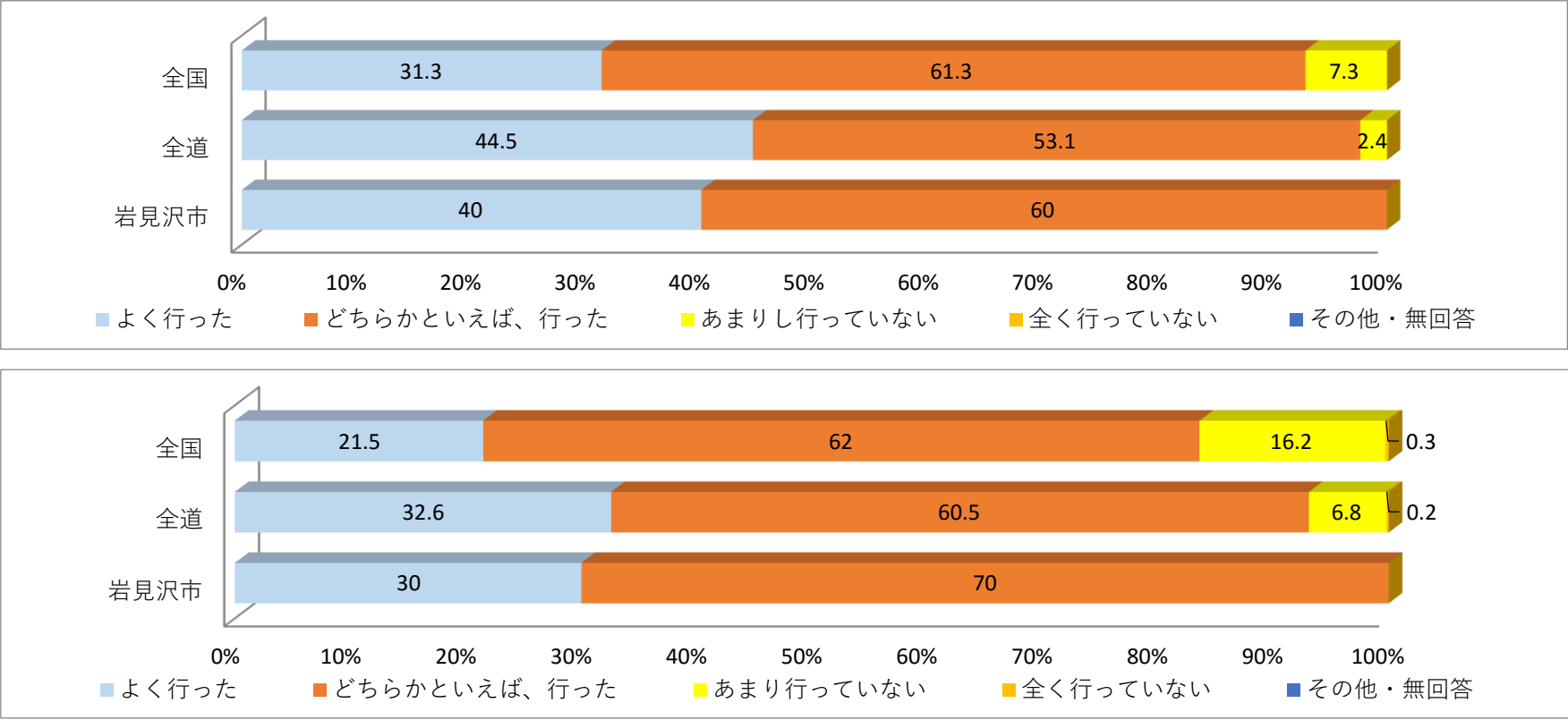
39. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか



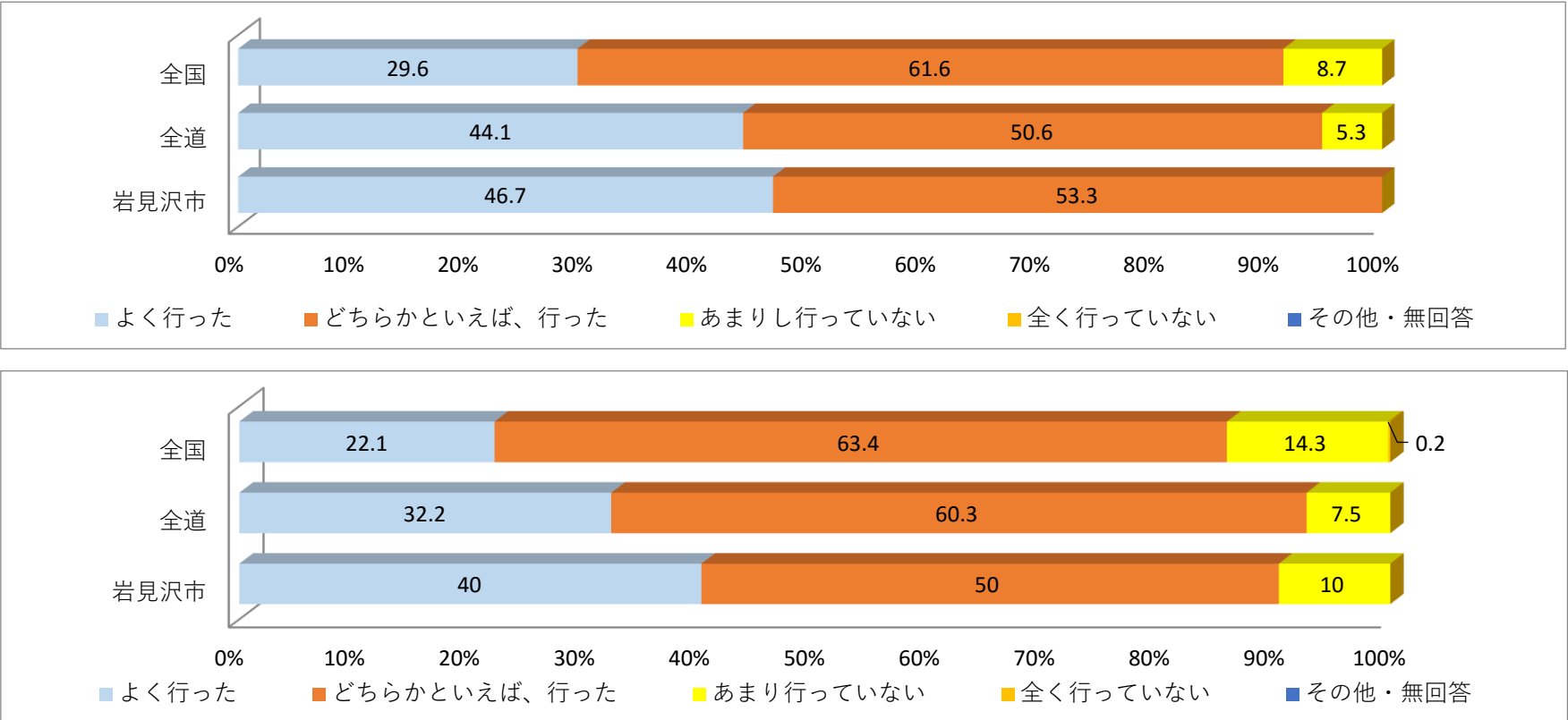
40. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



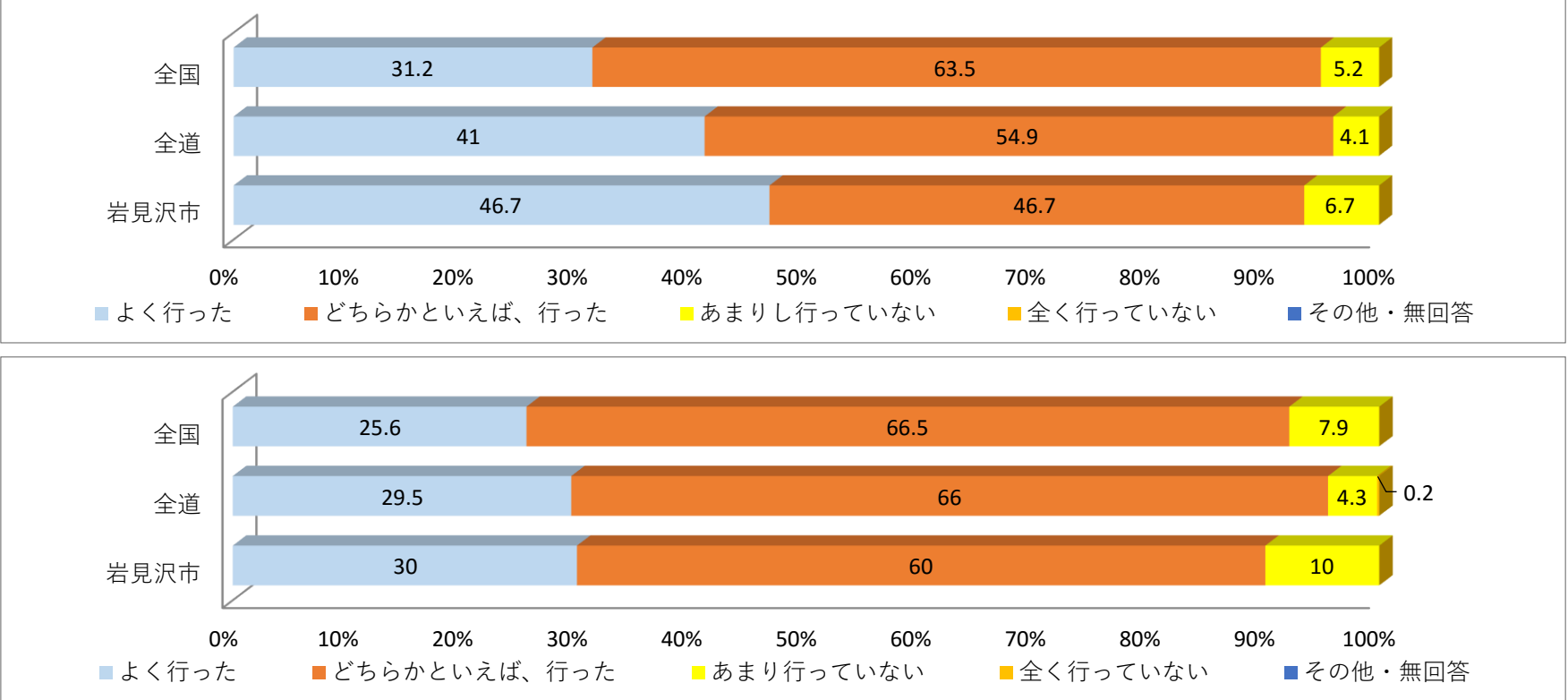
4 2. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか



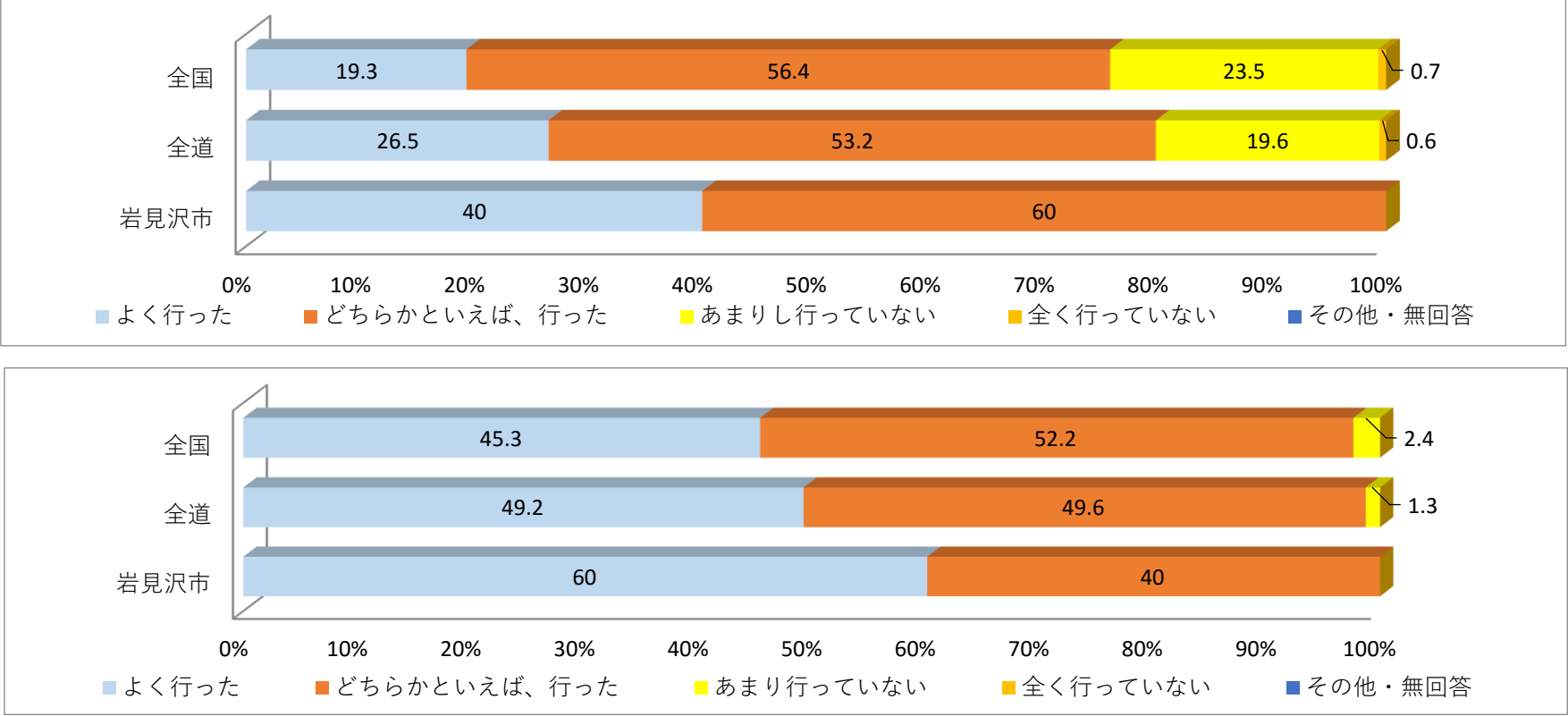
4 3. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか



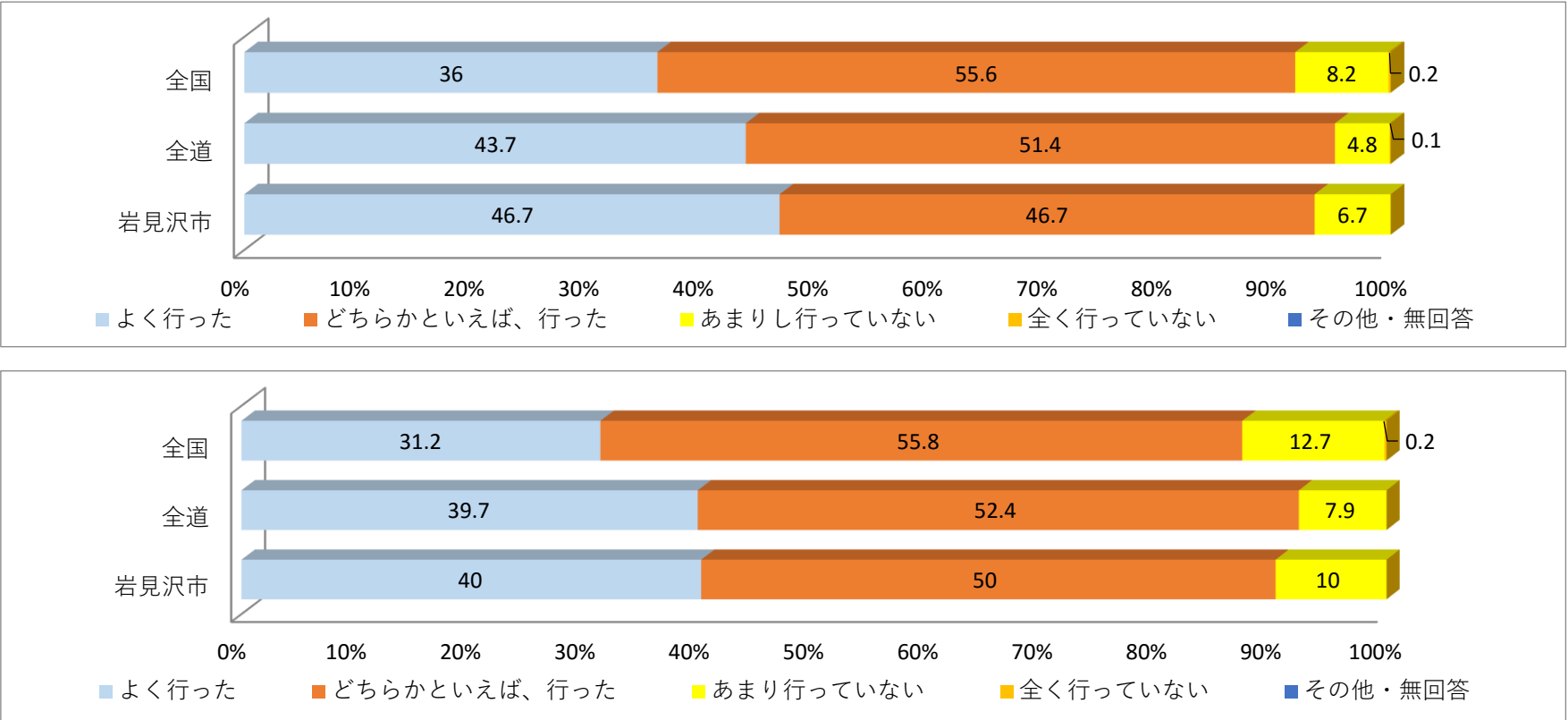
4 4. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



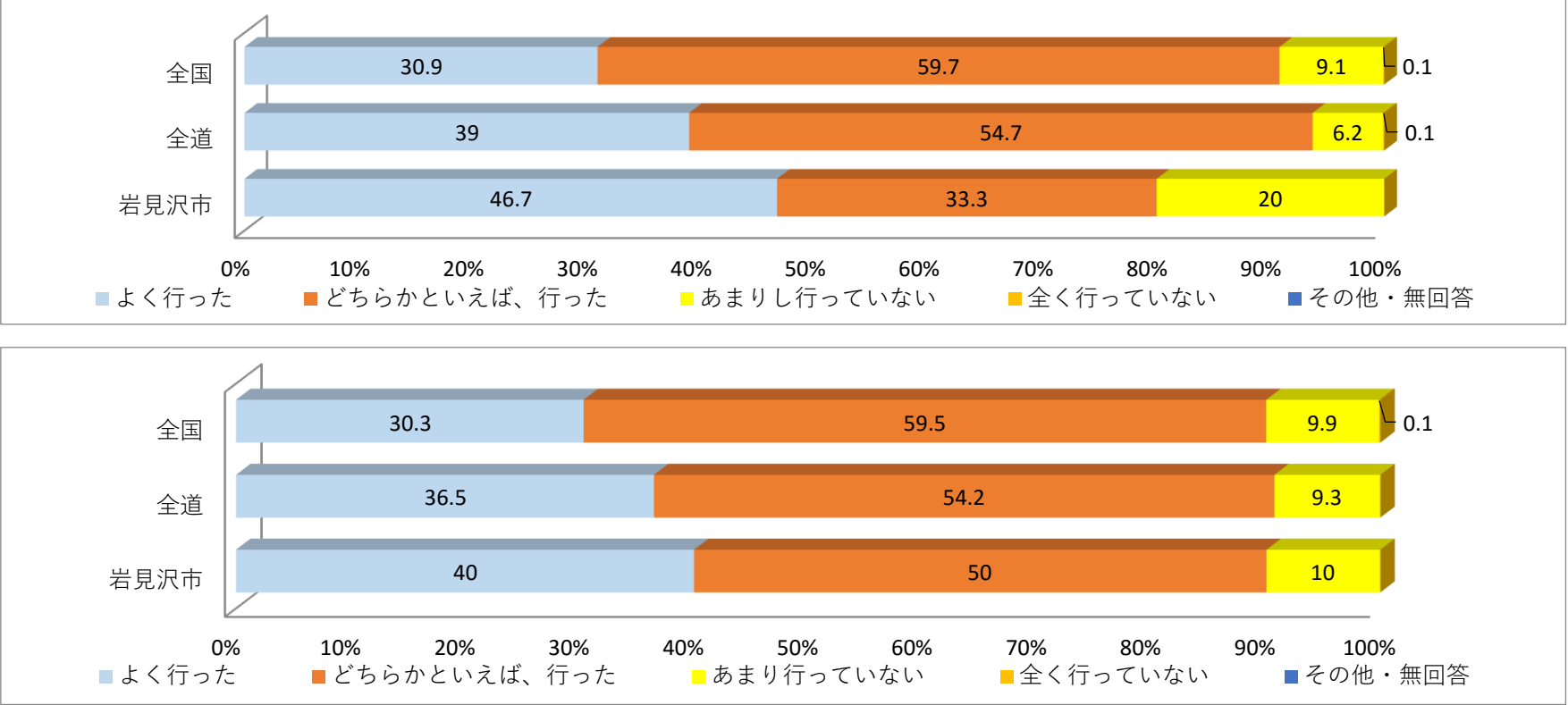
45. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



46. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

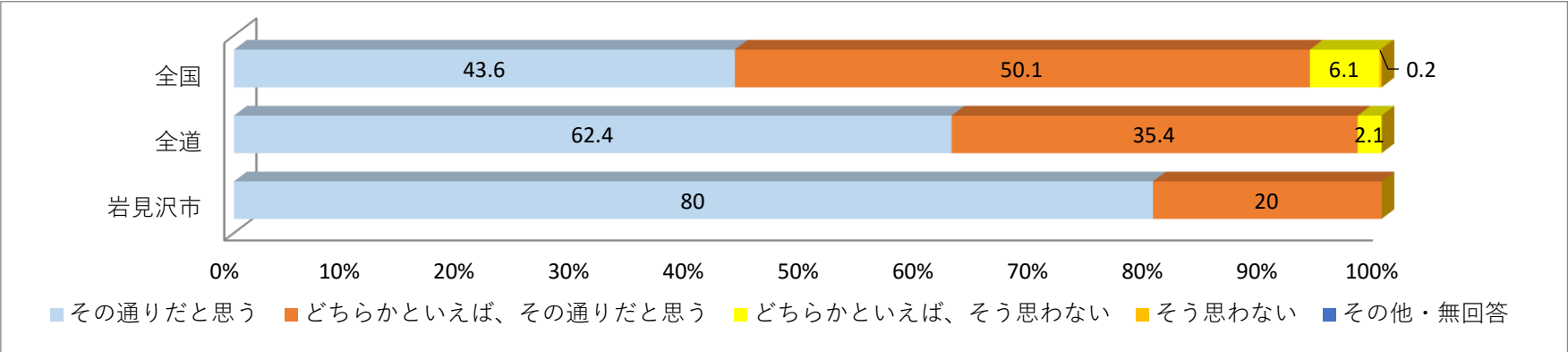
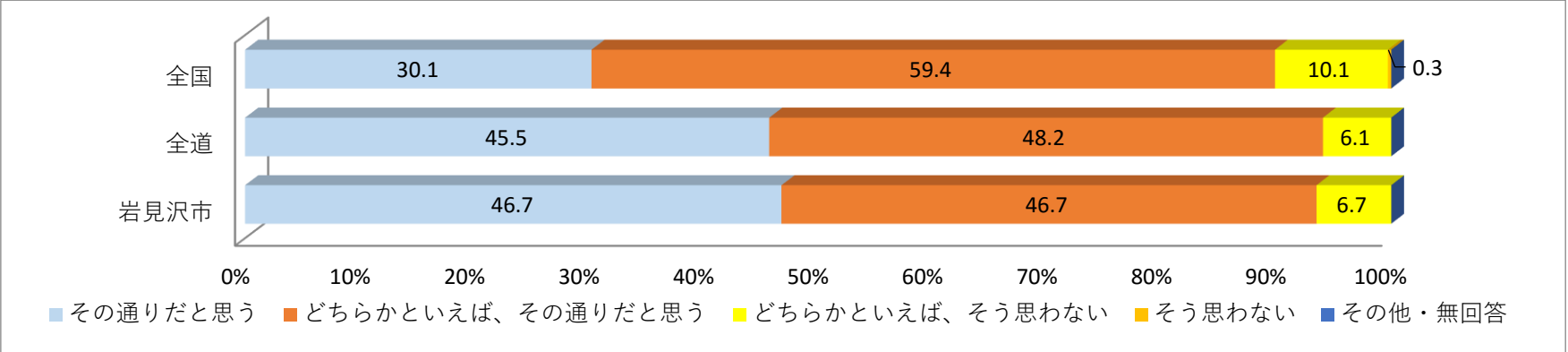


47. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、道徳の時間において、児童（生徒）自らが考え、話し合う指導をしましたか

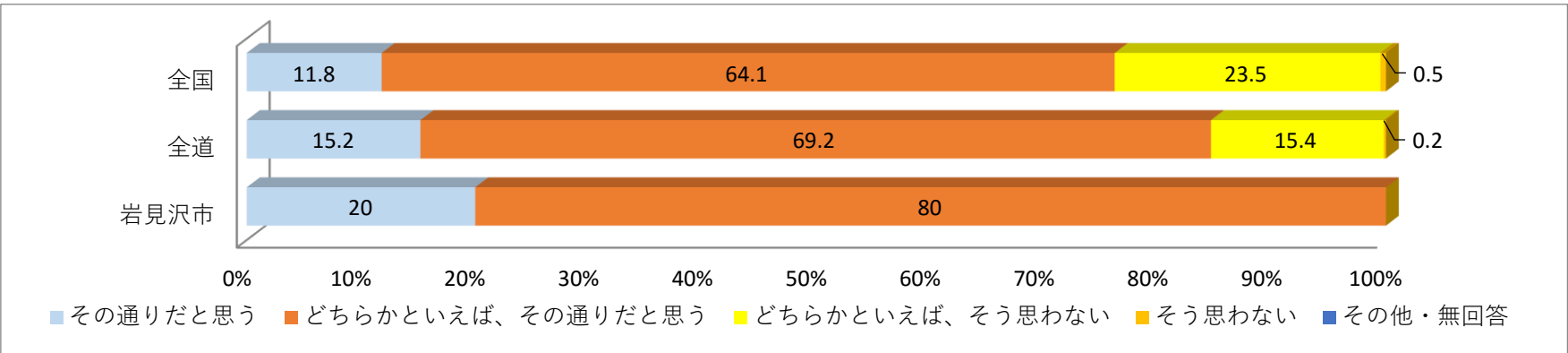
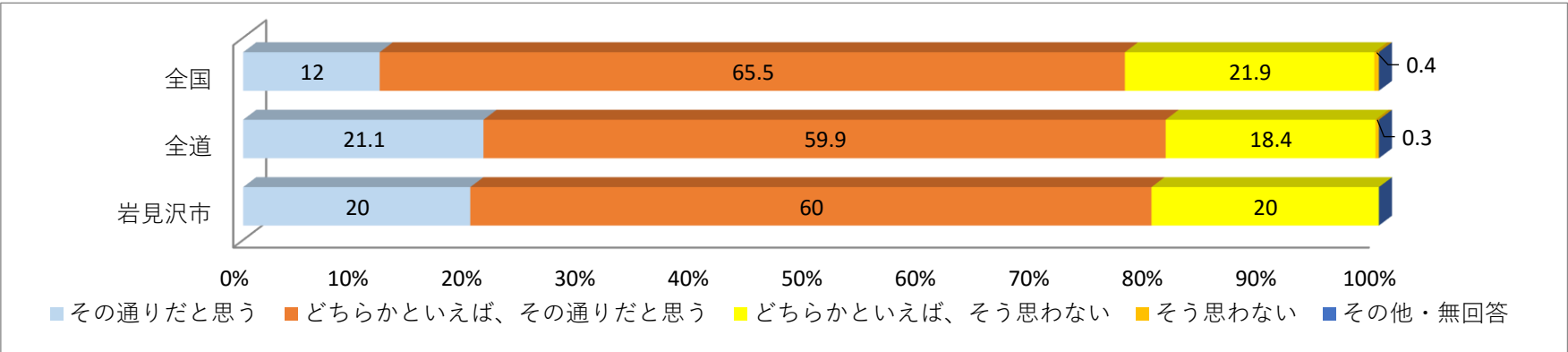


2. ユニバーサルデザイン・規範意識・道德の時間

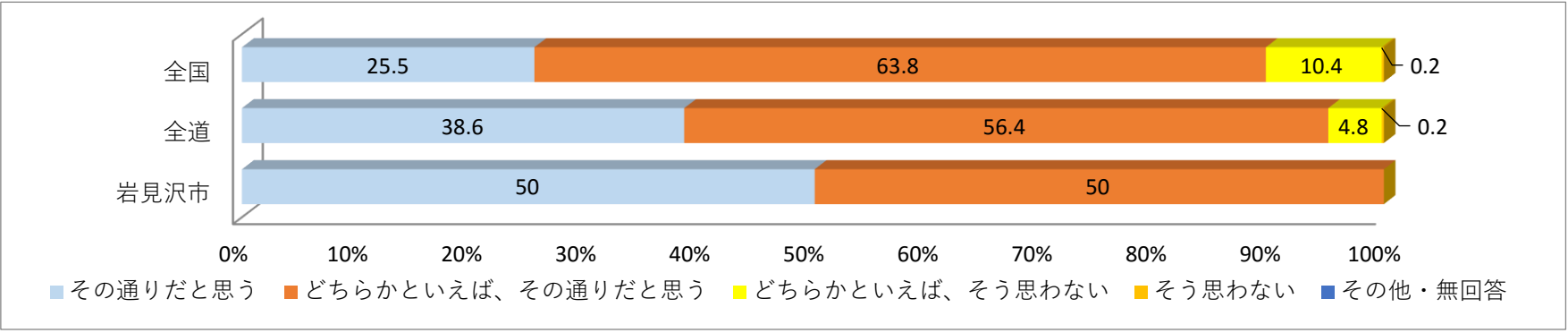
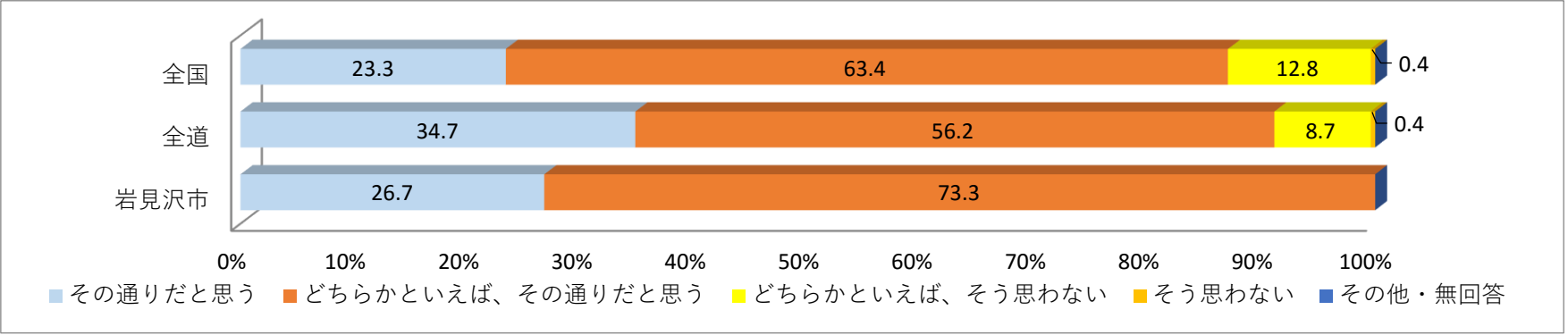
1 4. 調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか



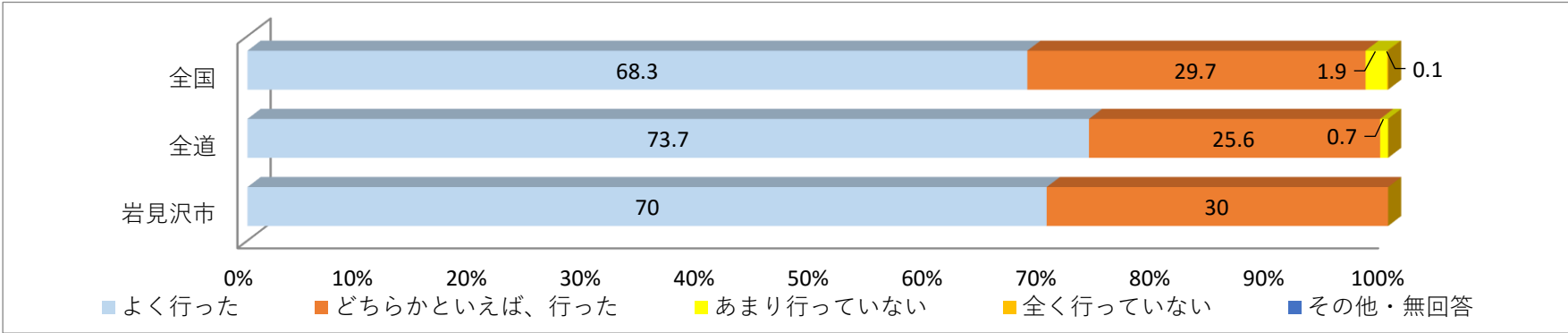
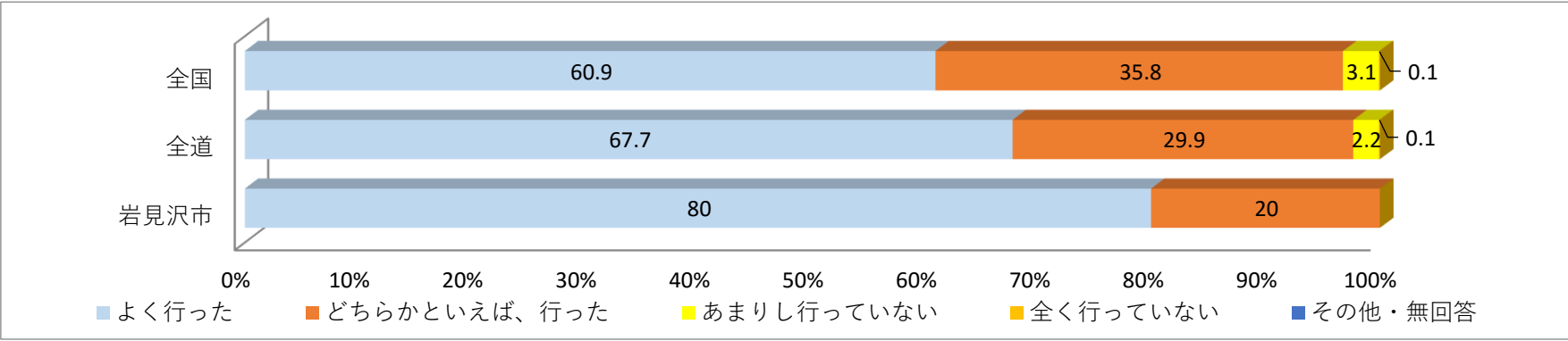
1 5. 調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



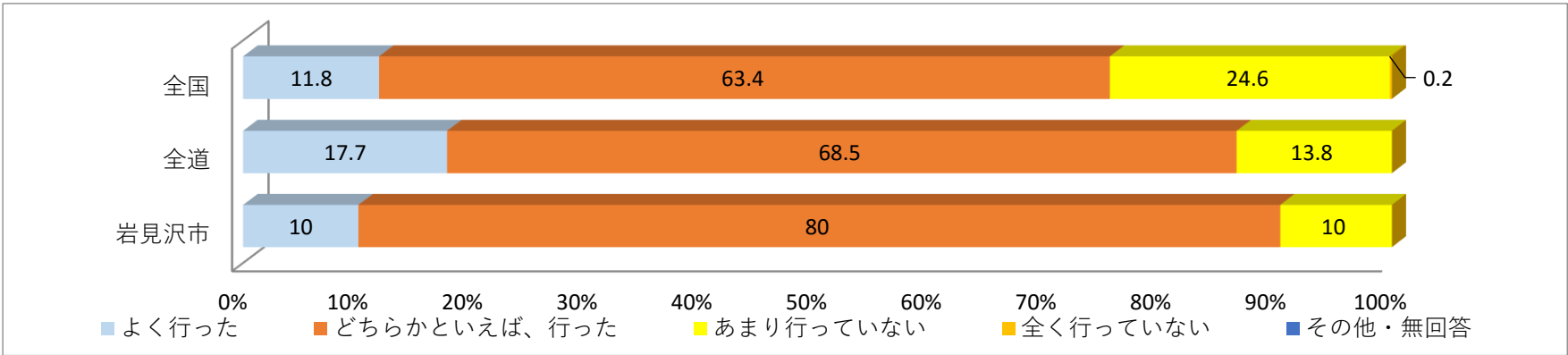
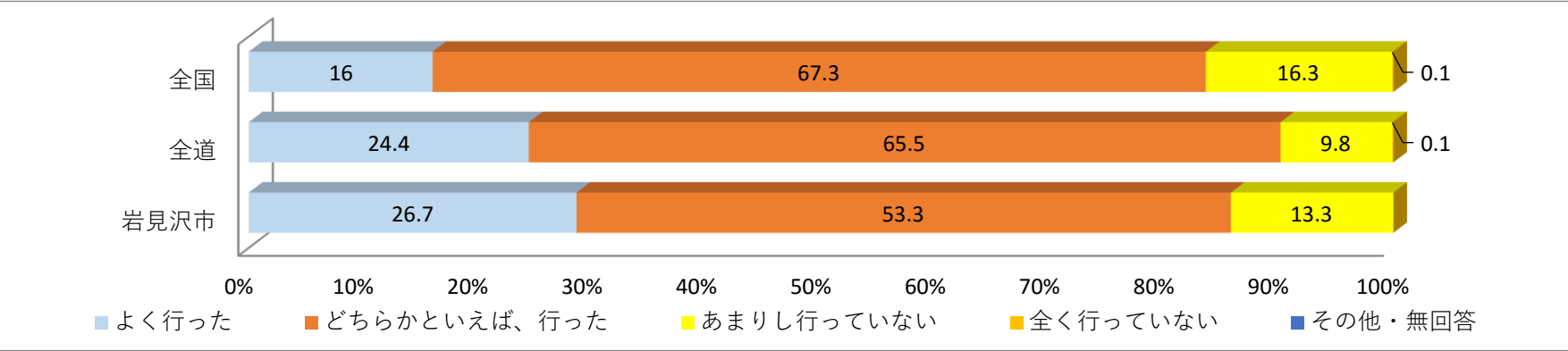
16. 調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



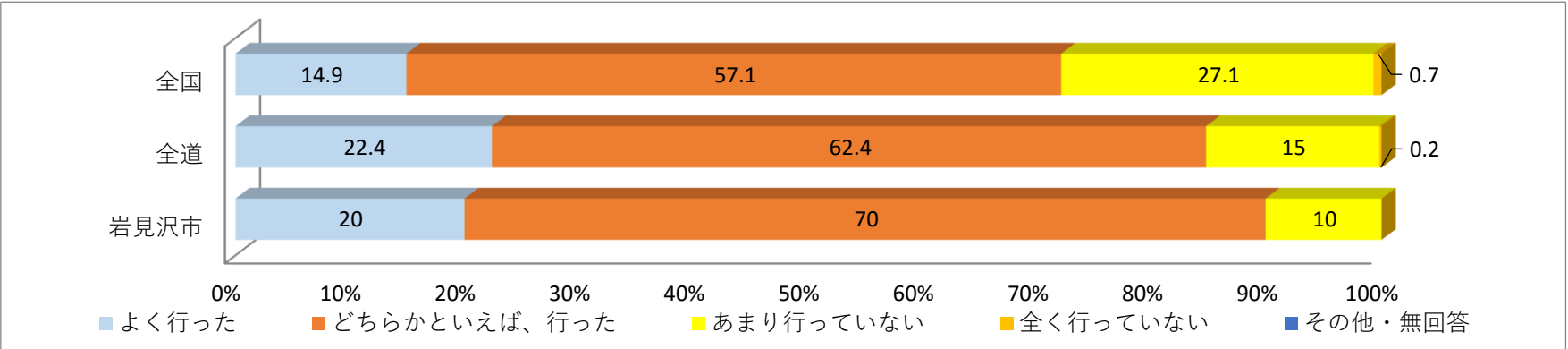
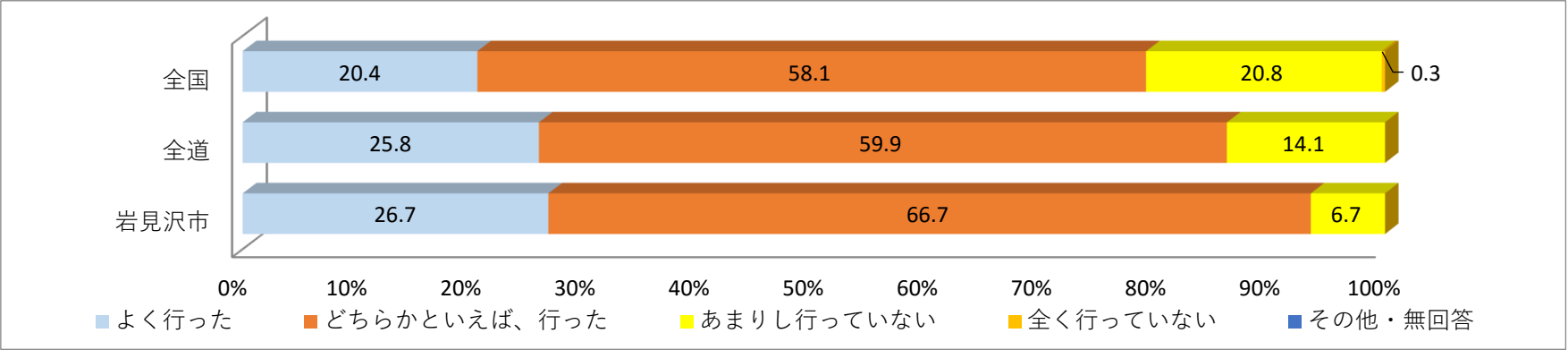
48. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか



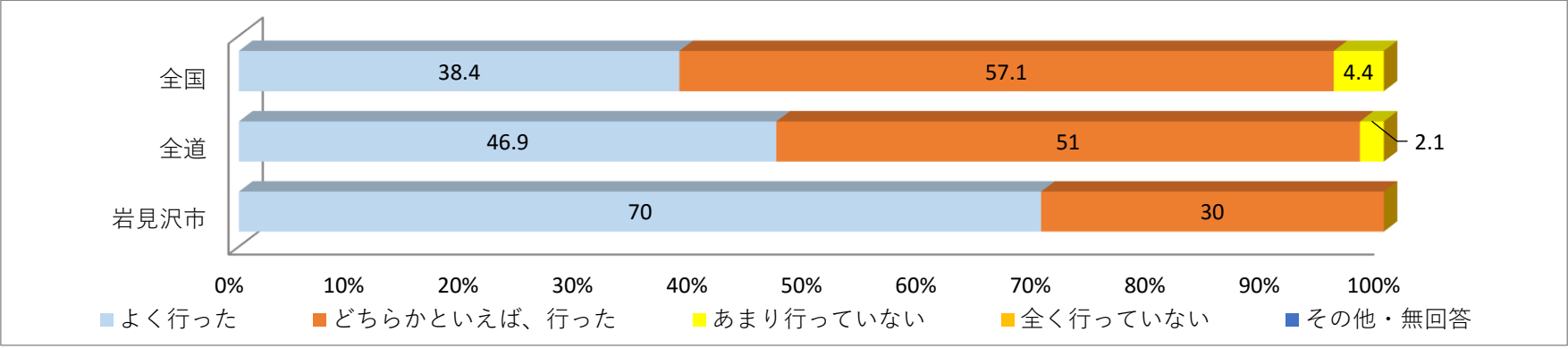
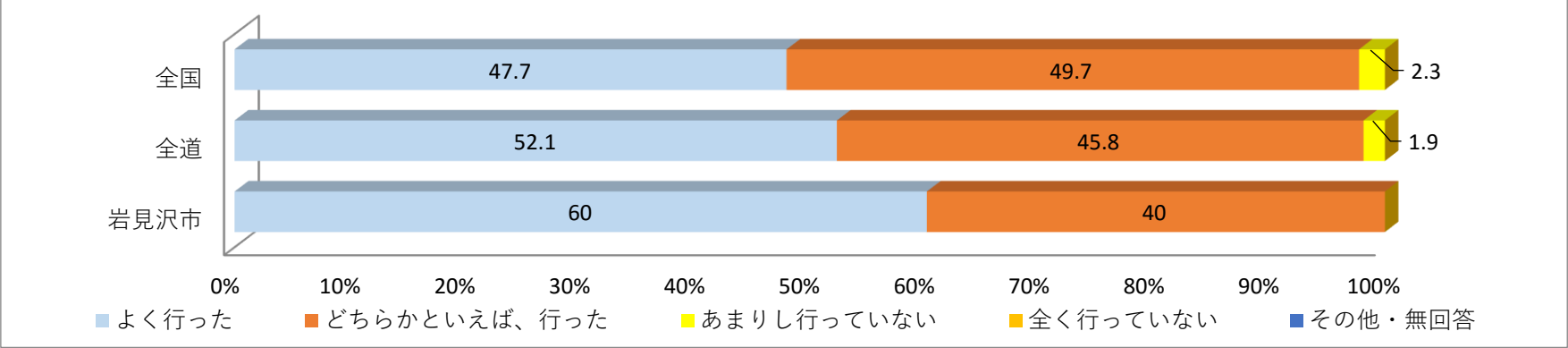
49. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



50. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか

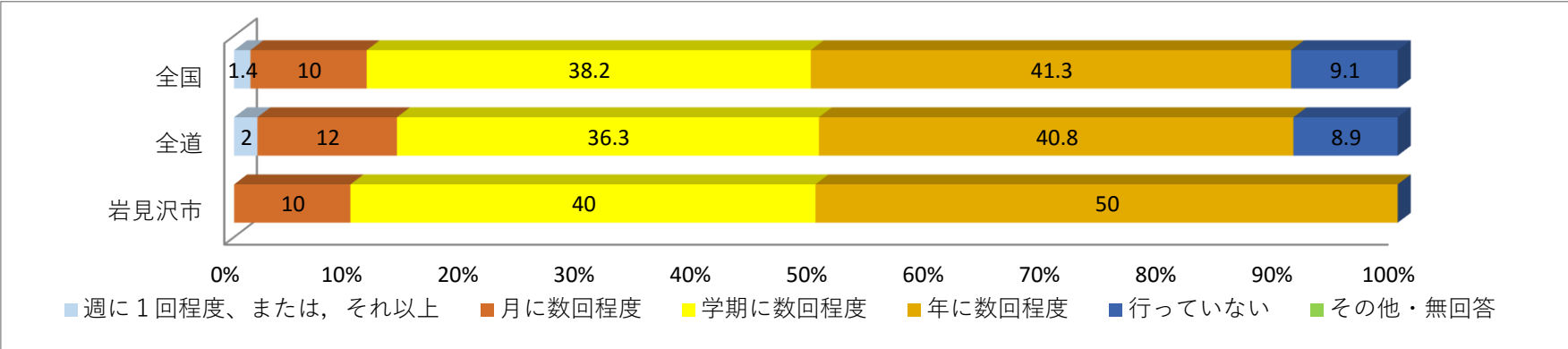
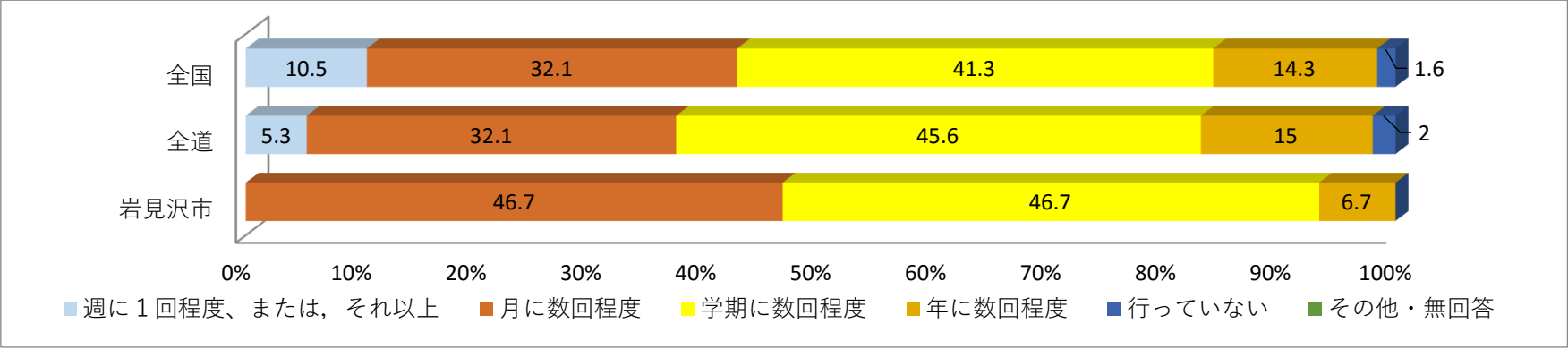


51. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け、児童（生徒）に伝えるなど積極的に評価しましたか

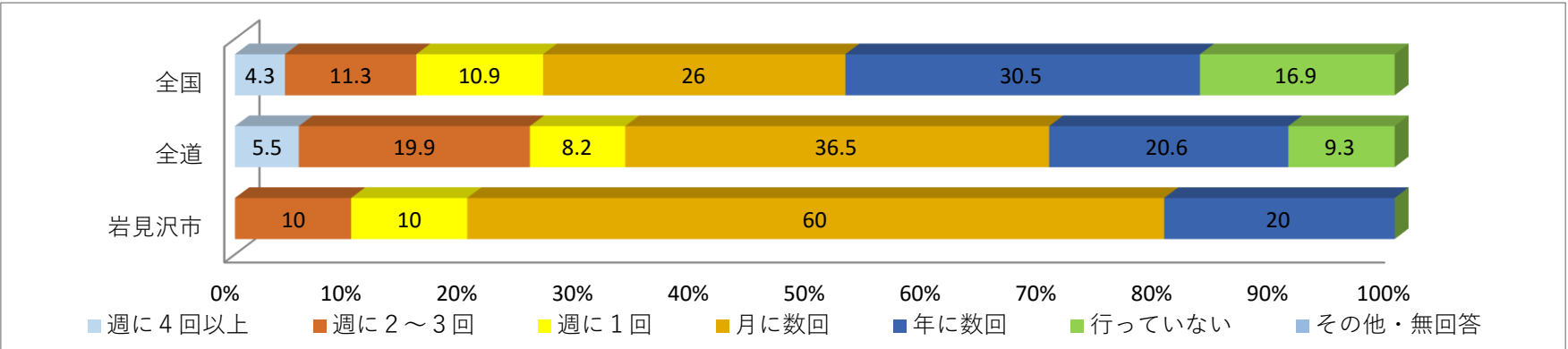
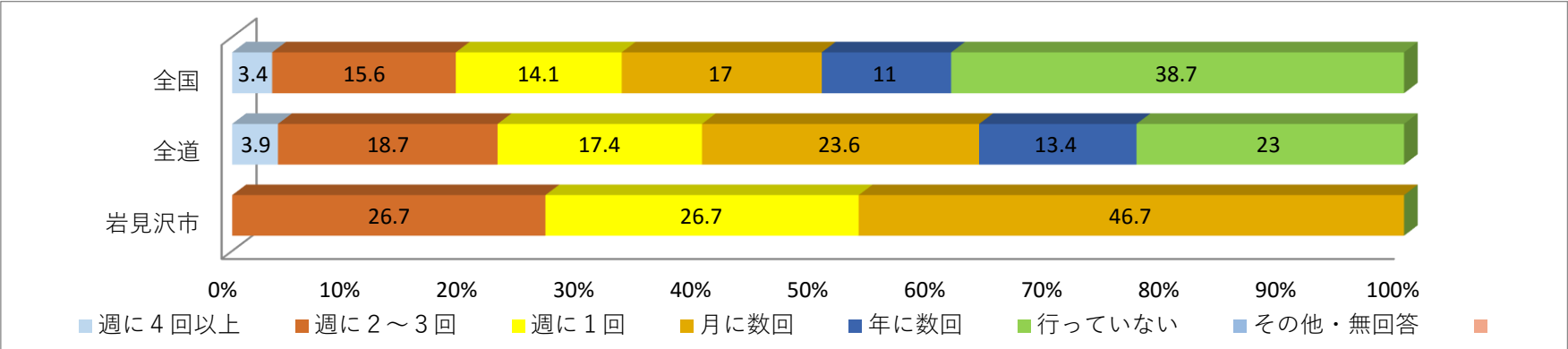


3. 学力向上に向けた取組

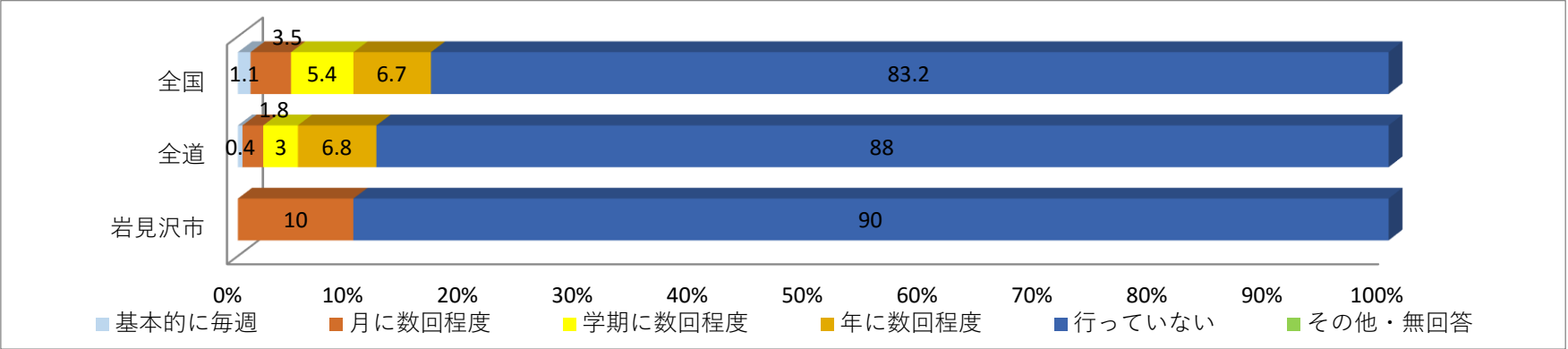
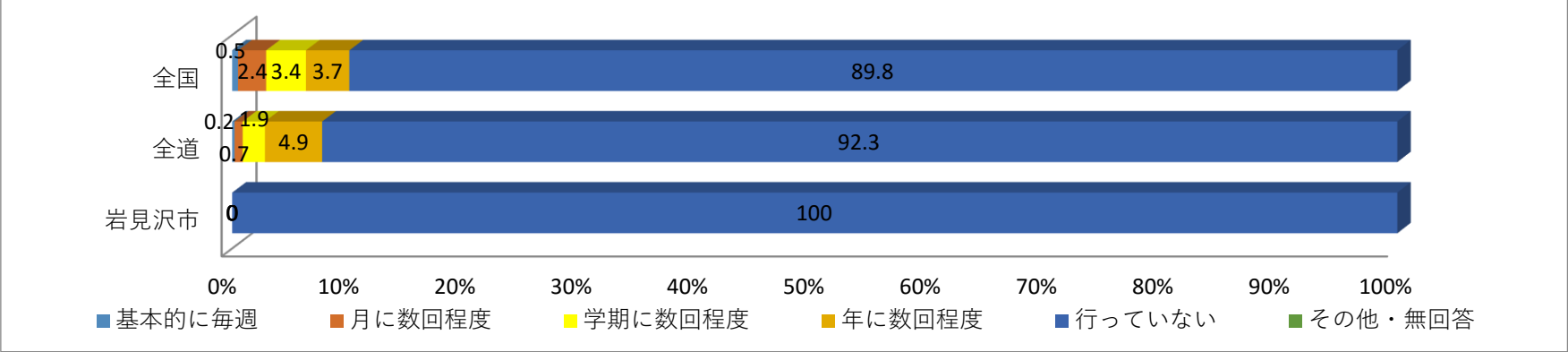
2 2. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか



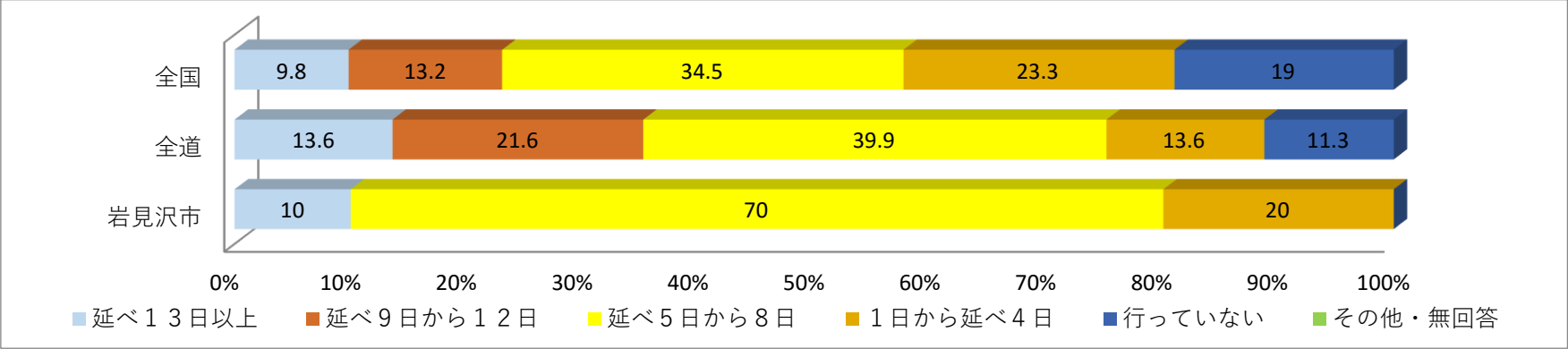
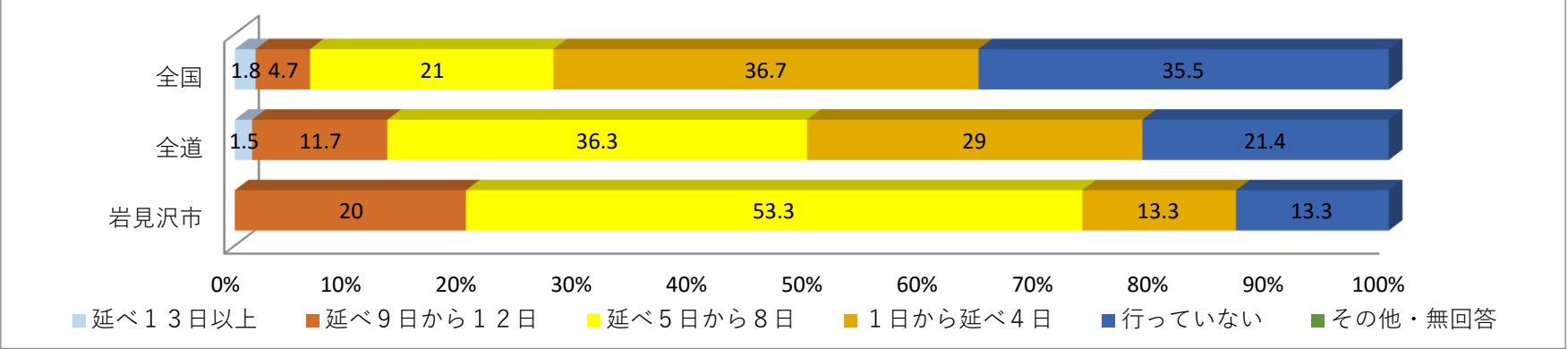
2 3. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか



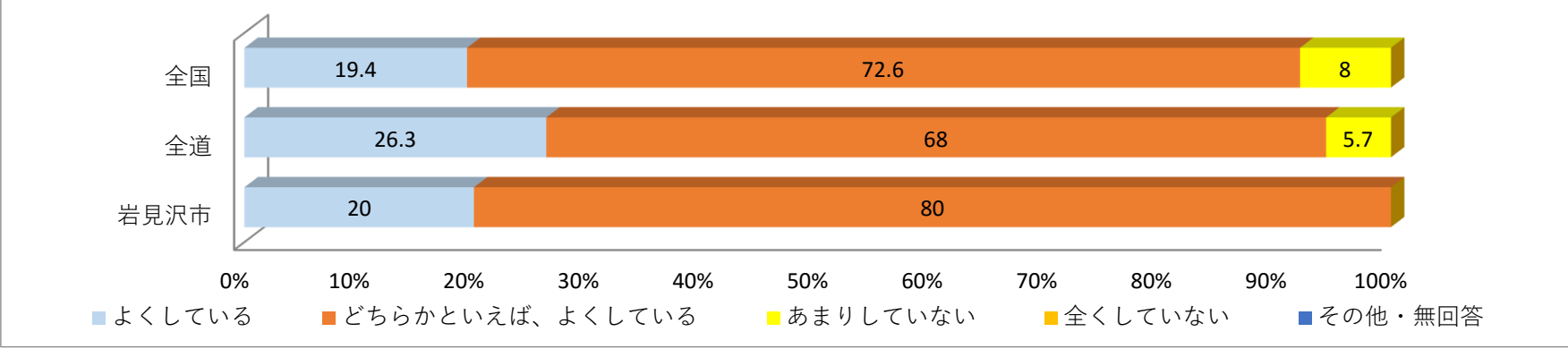
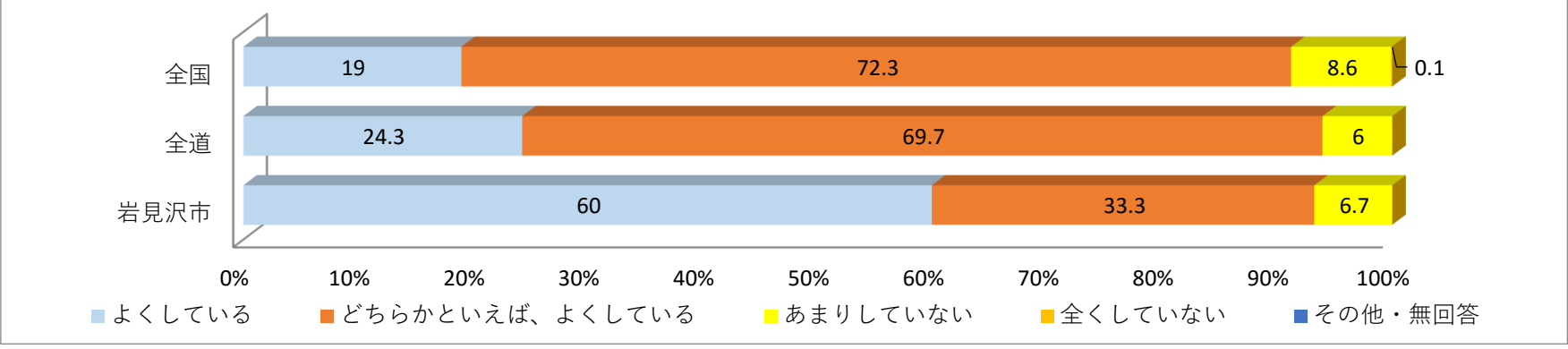
24. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、土曜日を利用した補的な学習サポートを実施しましたか



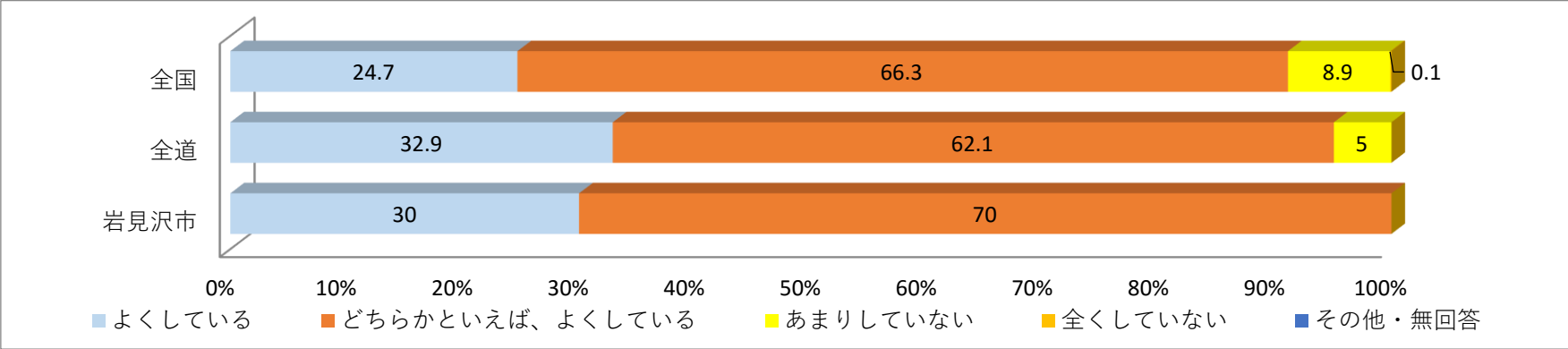
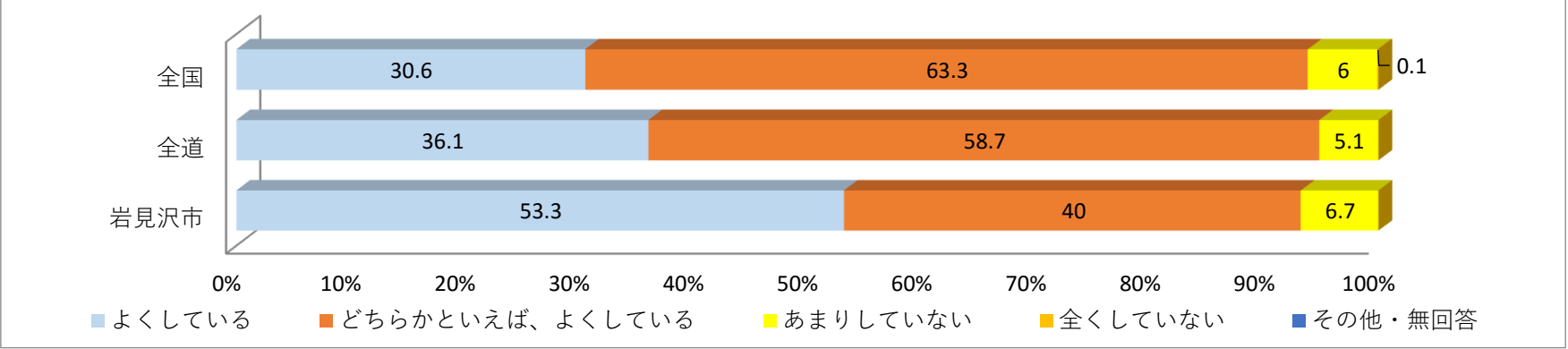
25. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、長期休業日を利用した補的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）



26. 指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか

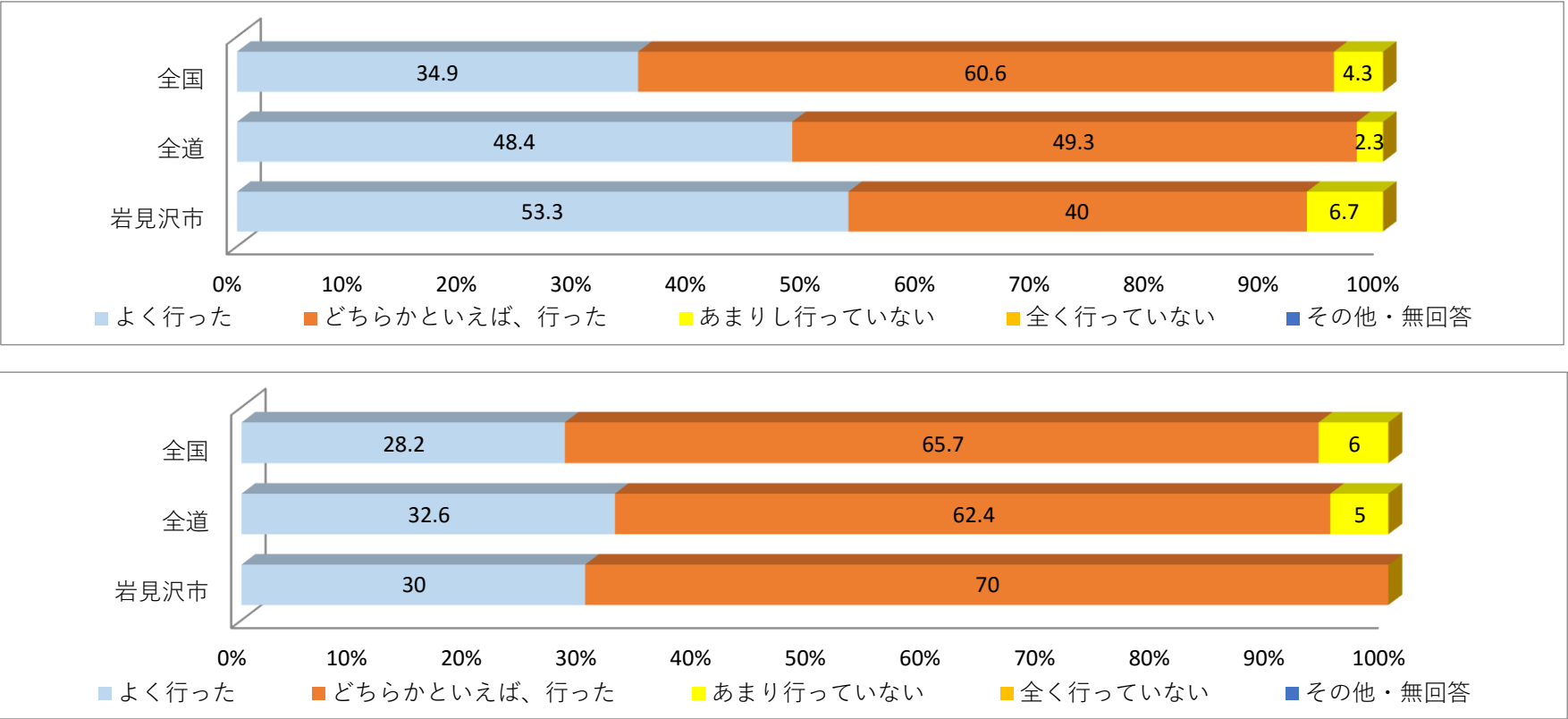


27. 指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか

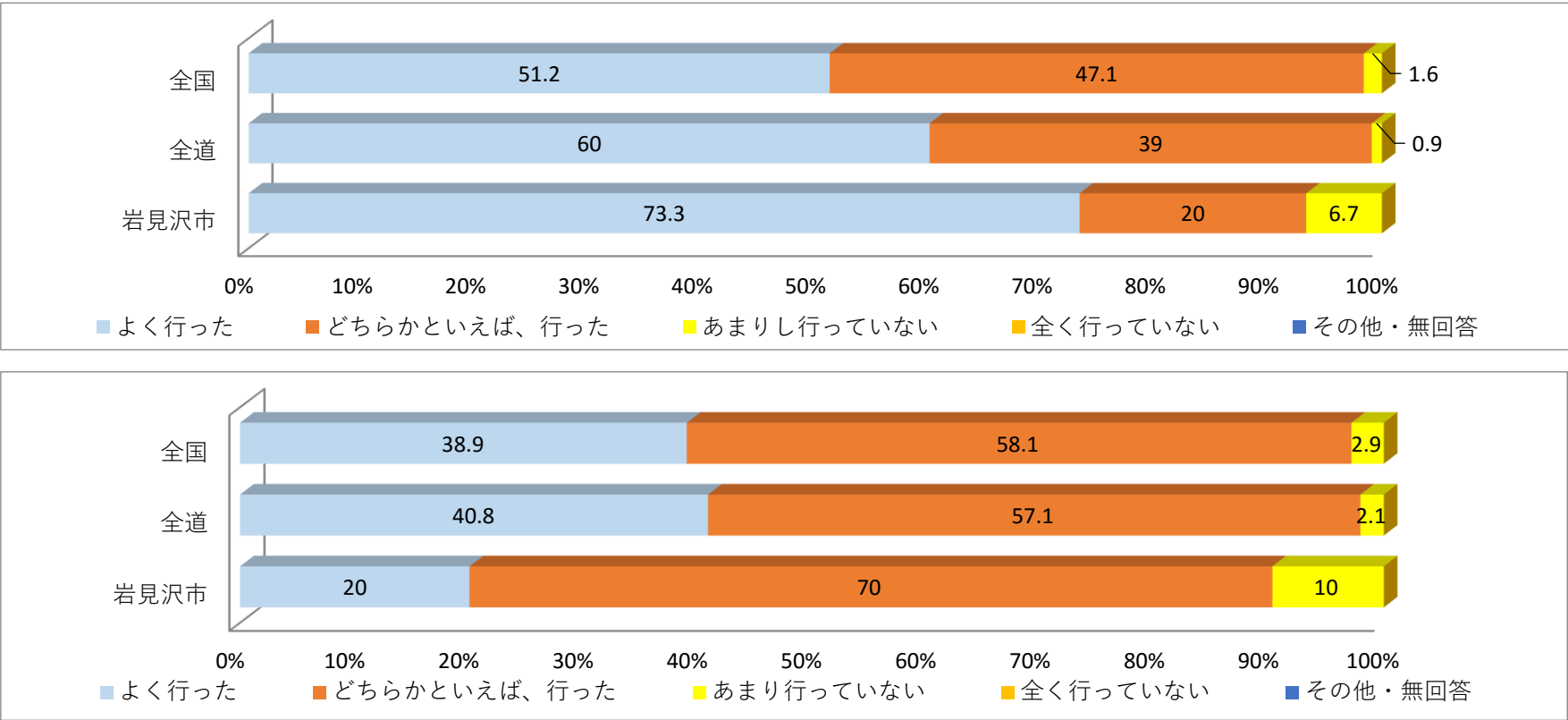


4. 指導方法

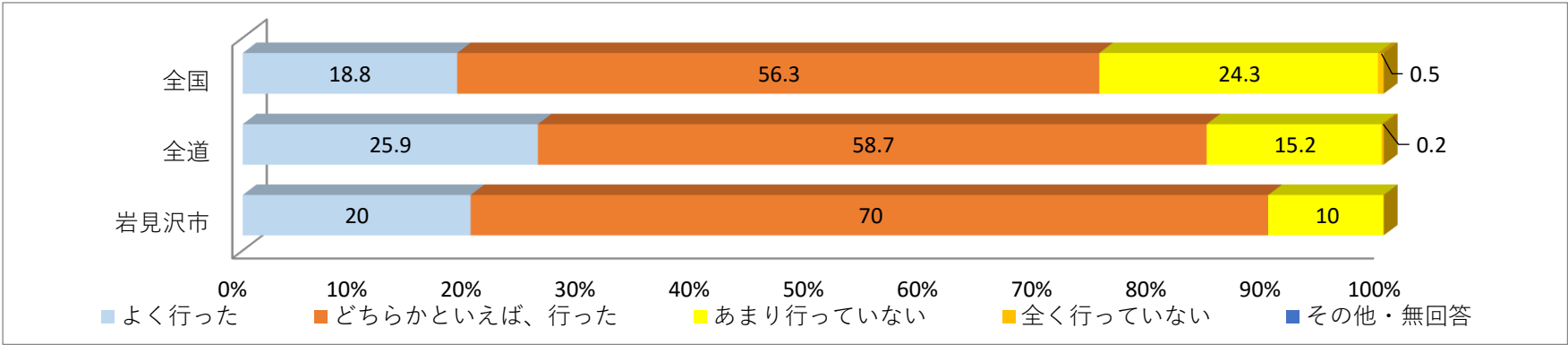
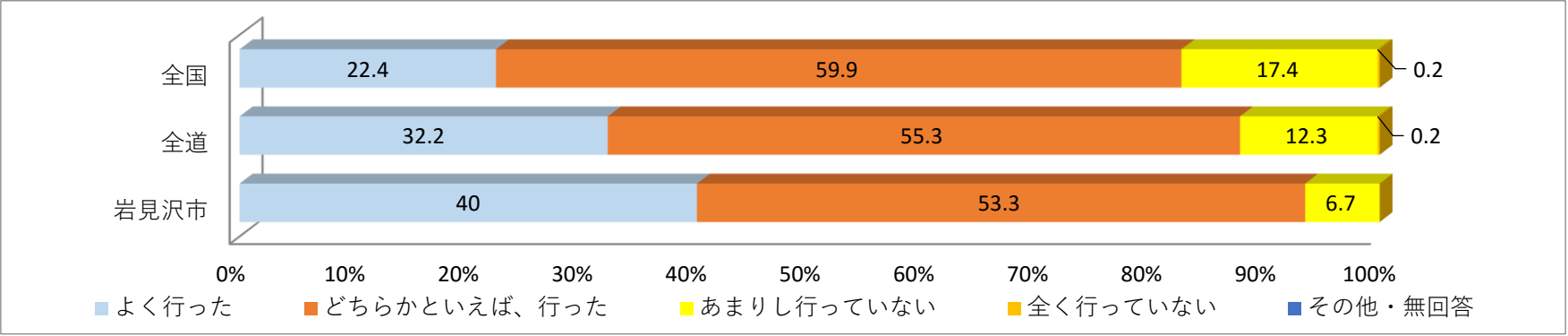
36. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり，思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



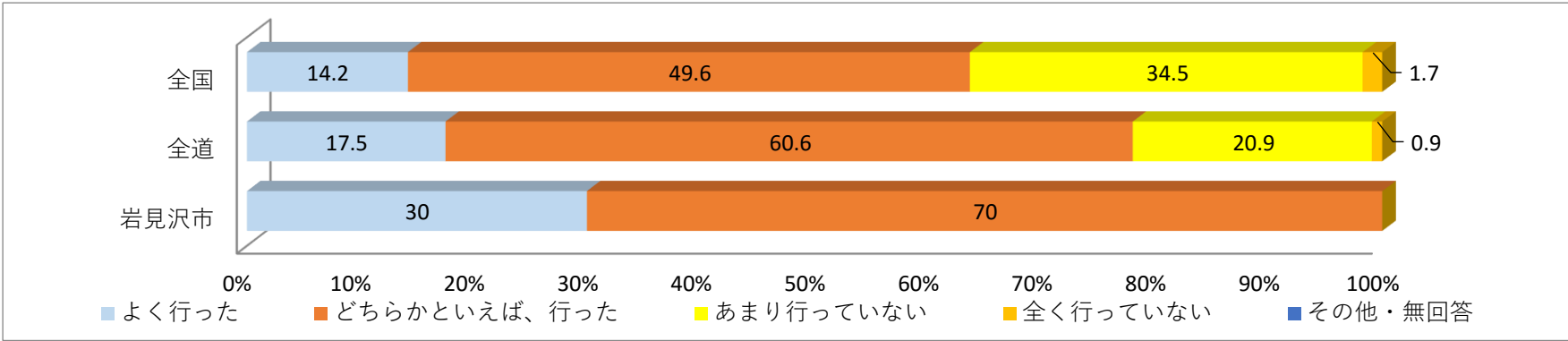
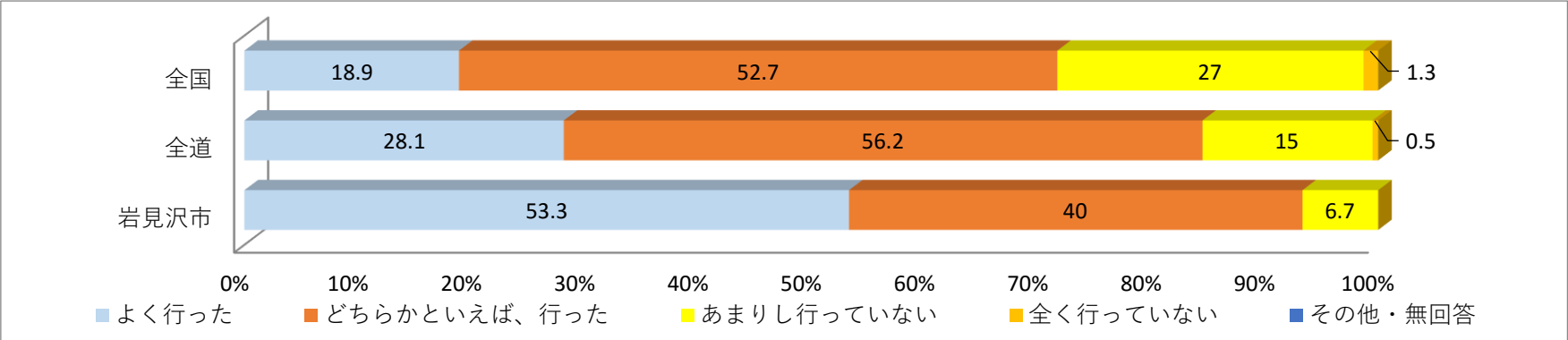
37. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



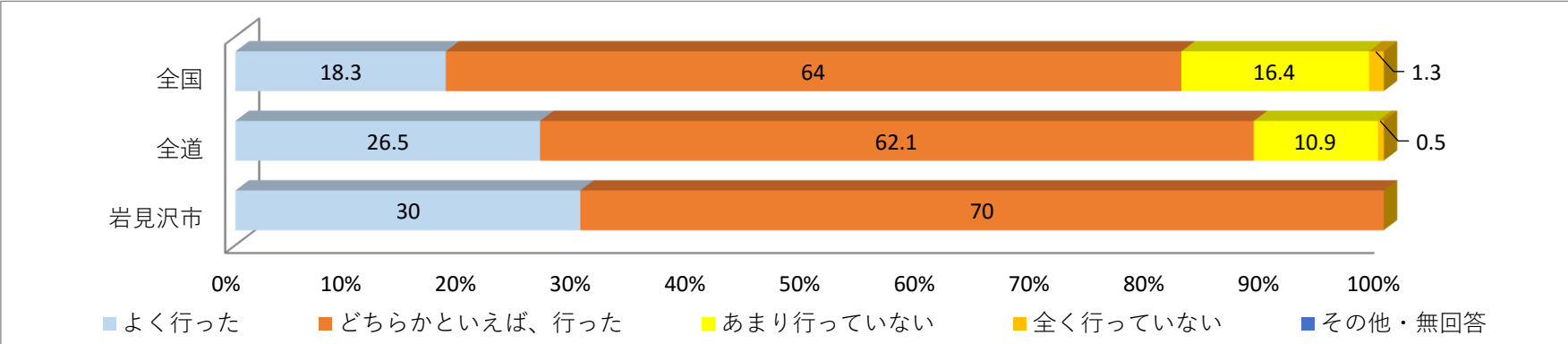
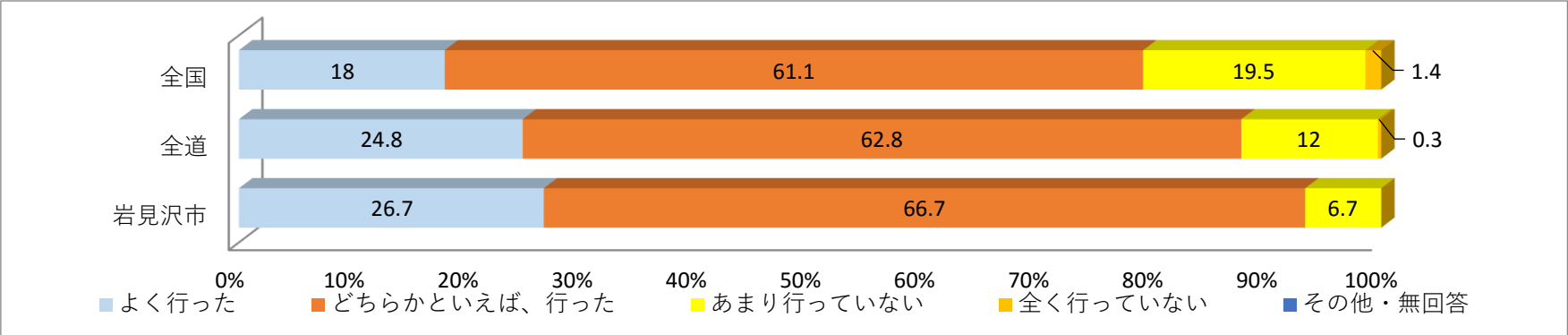
4 1. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



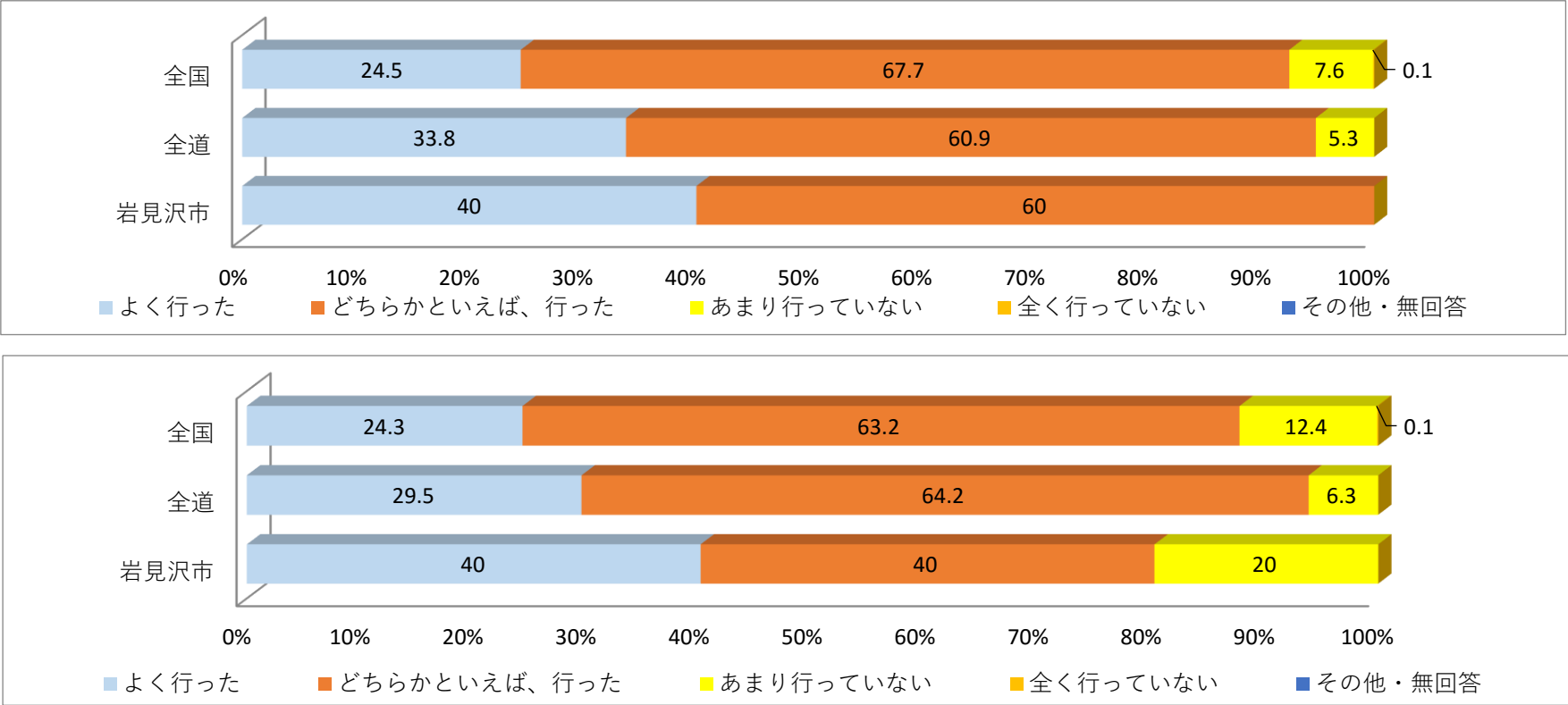
5 2. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか



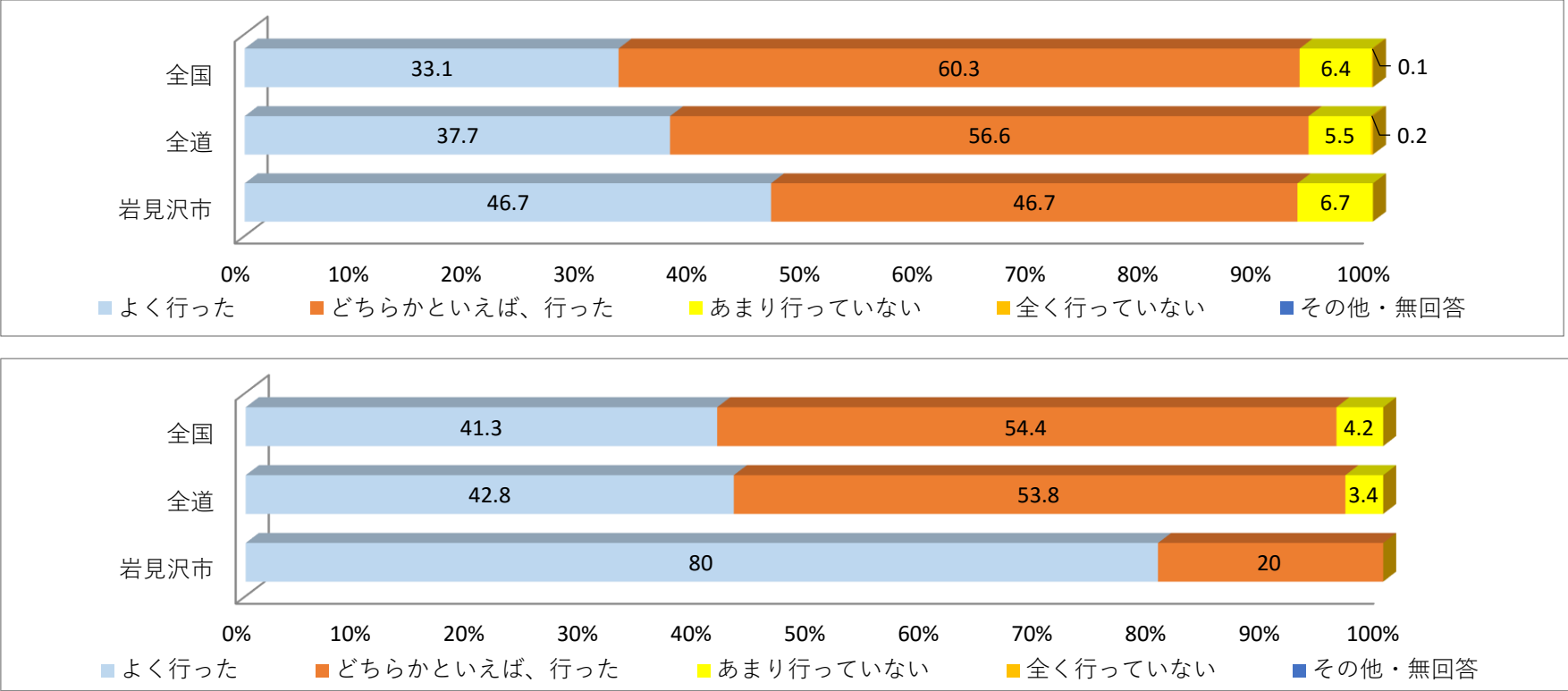
6 4. 調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



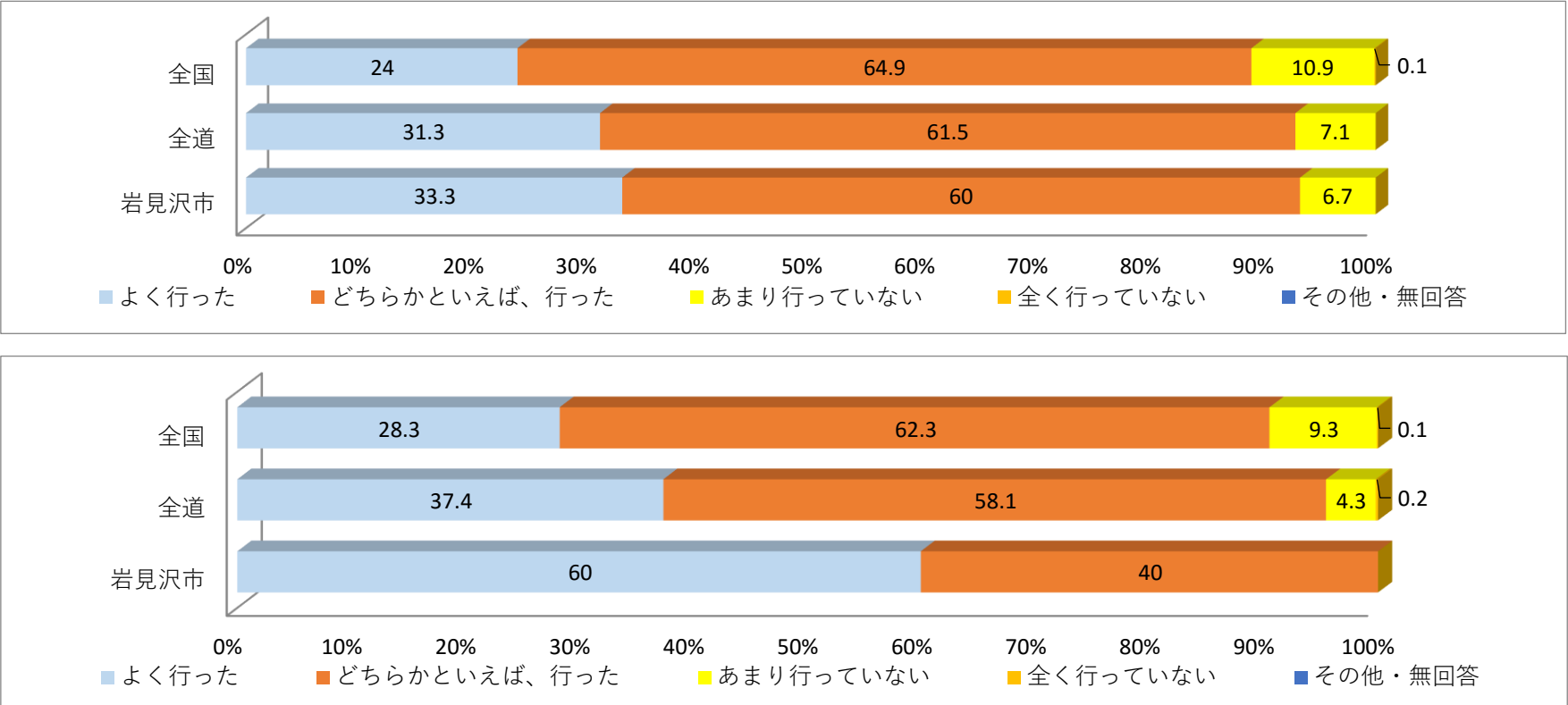
66. 調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



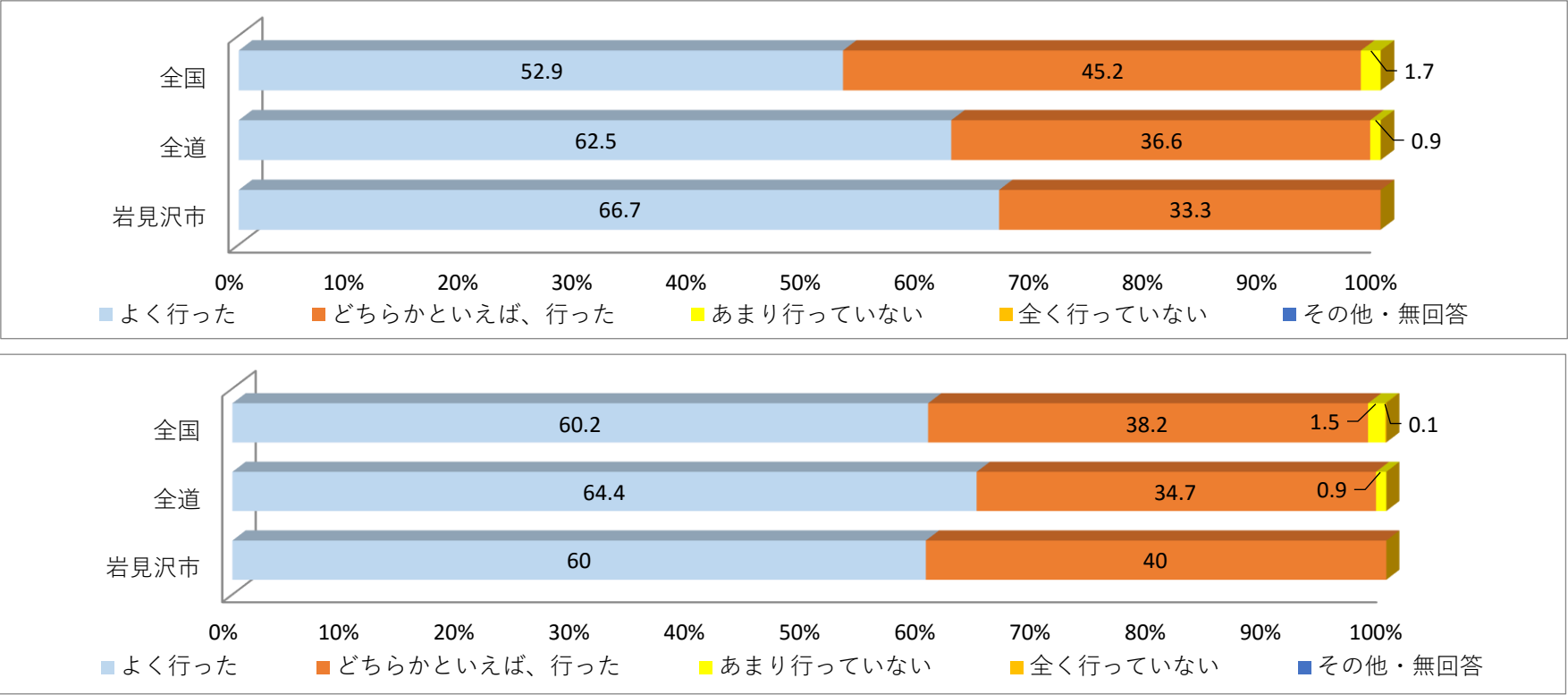
67. 調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか



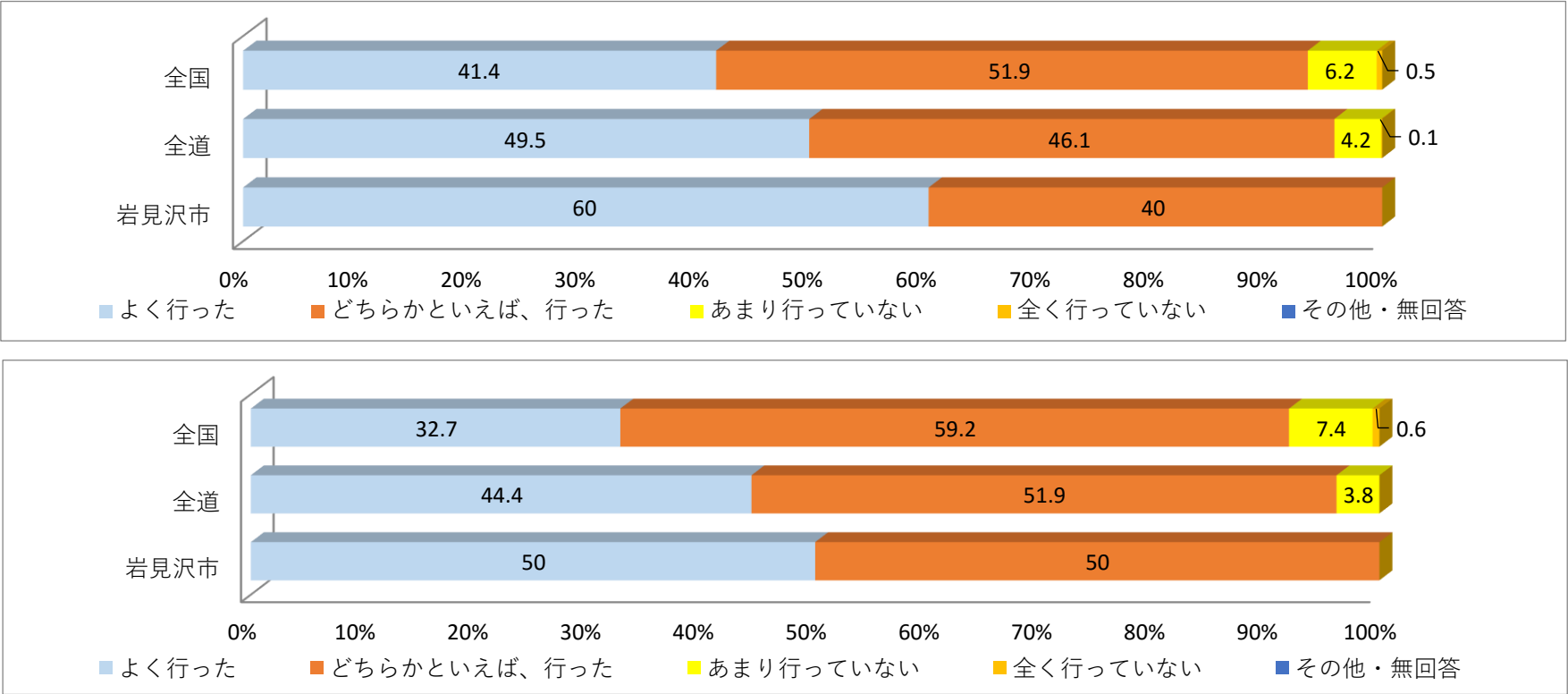
68. 調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか



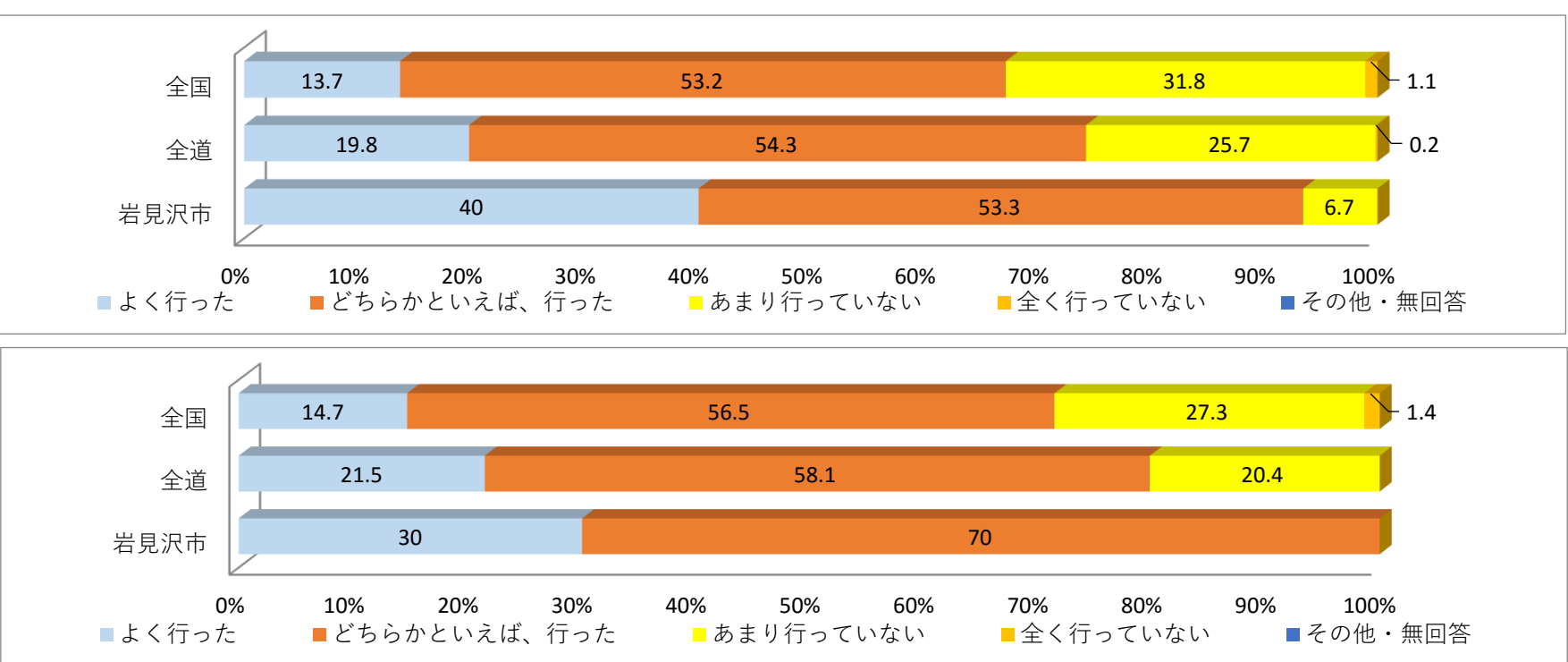
69. 調査対象学年の児童（生徒）に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



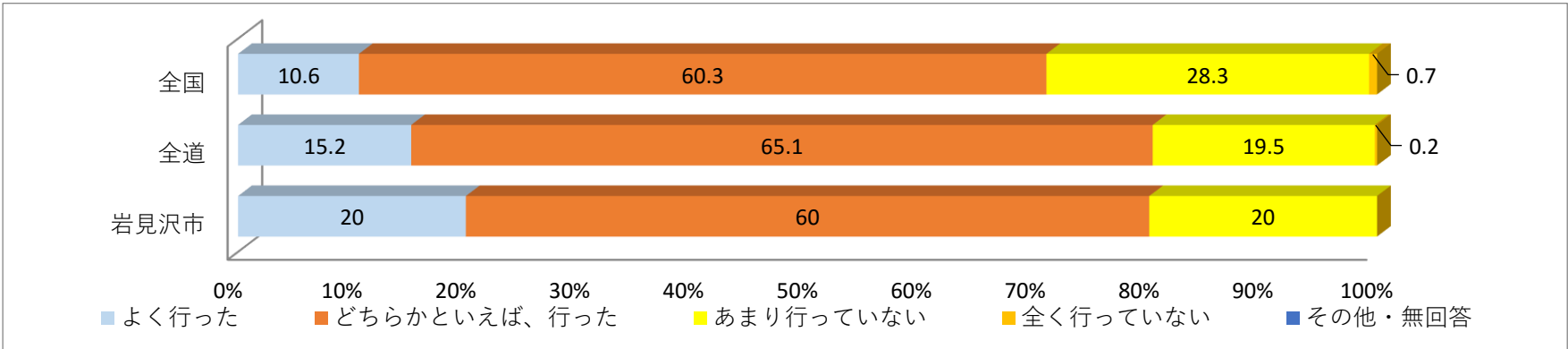
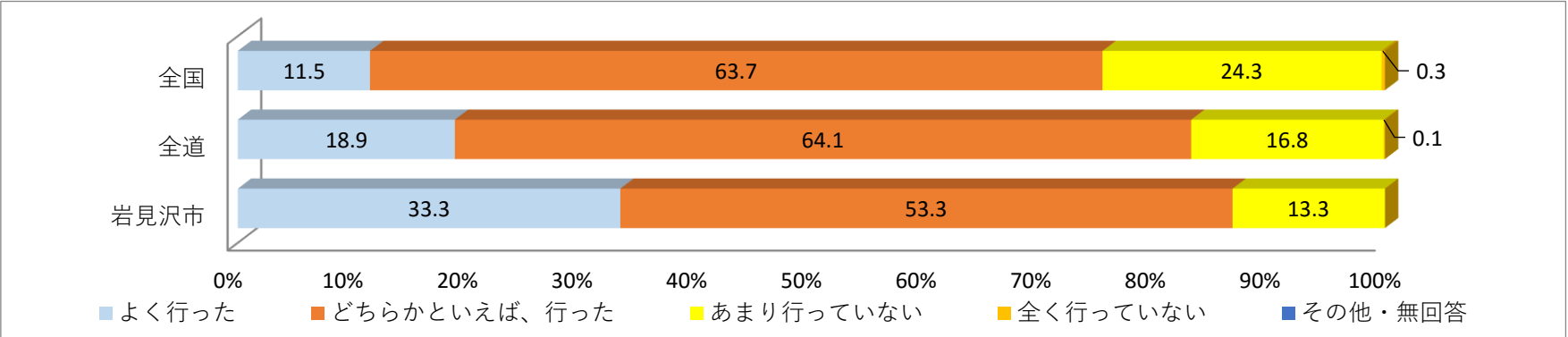
70. 調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



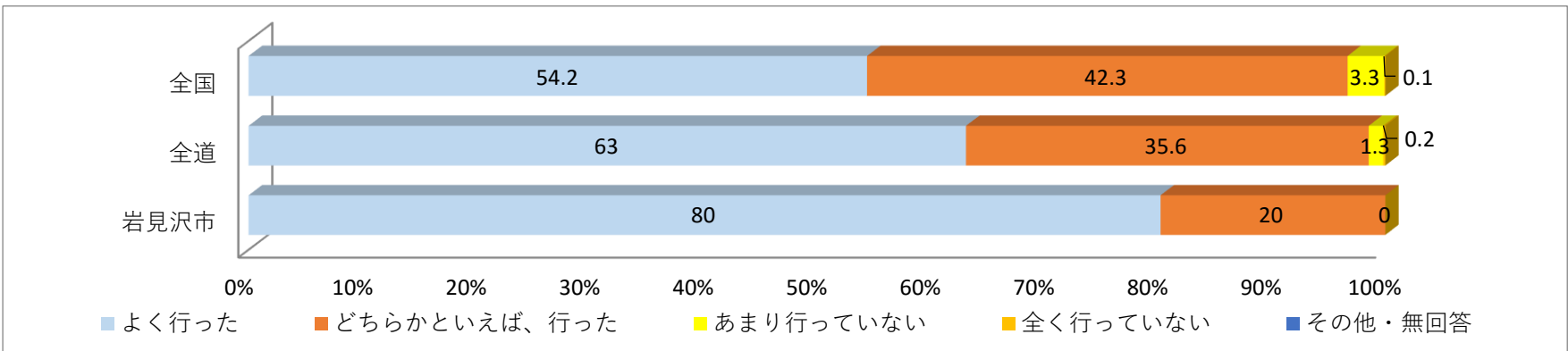
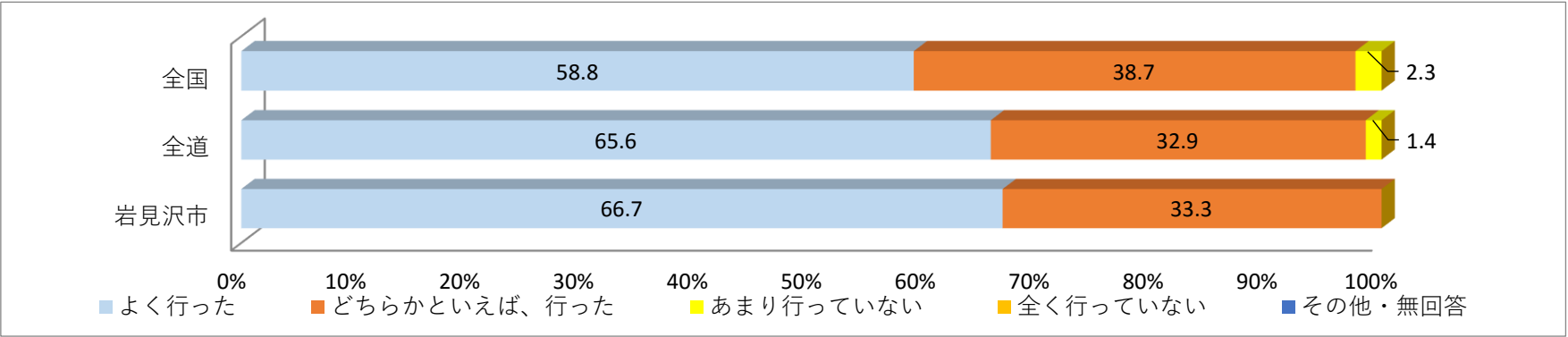
71. 調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



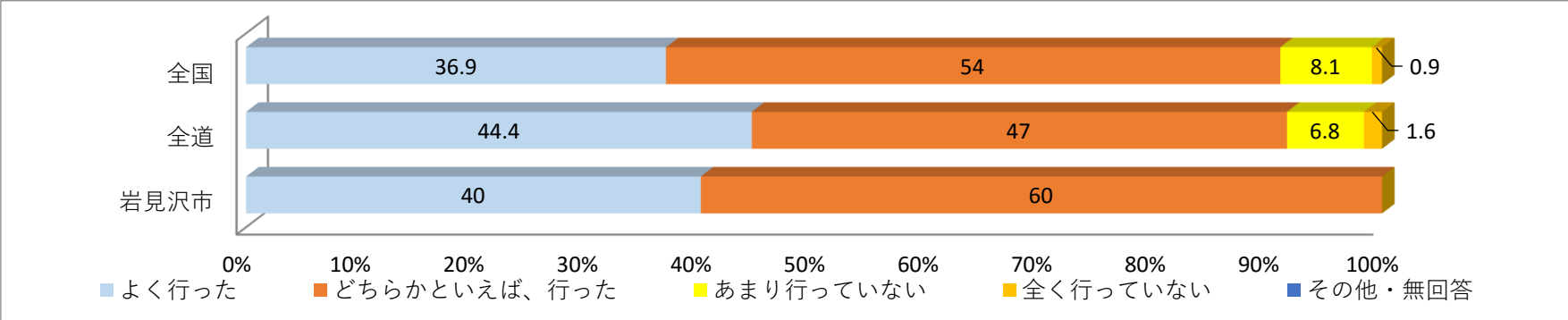
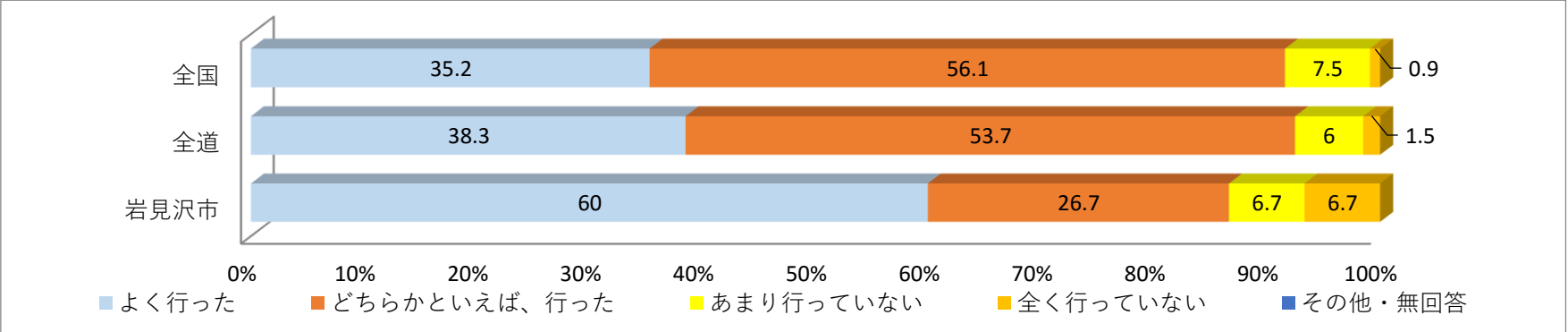
7 2. 調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



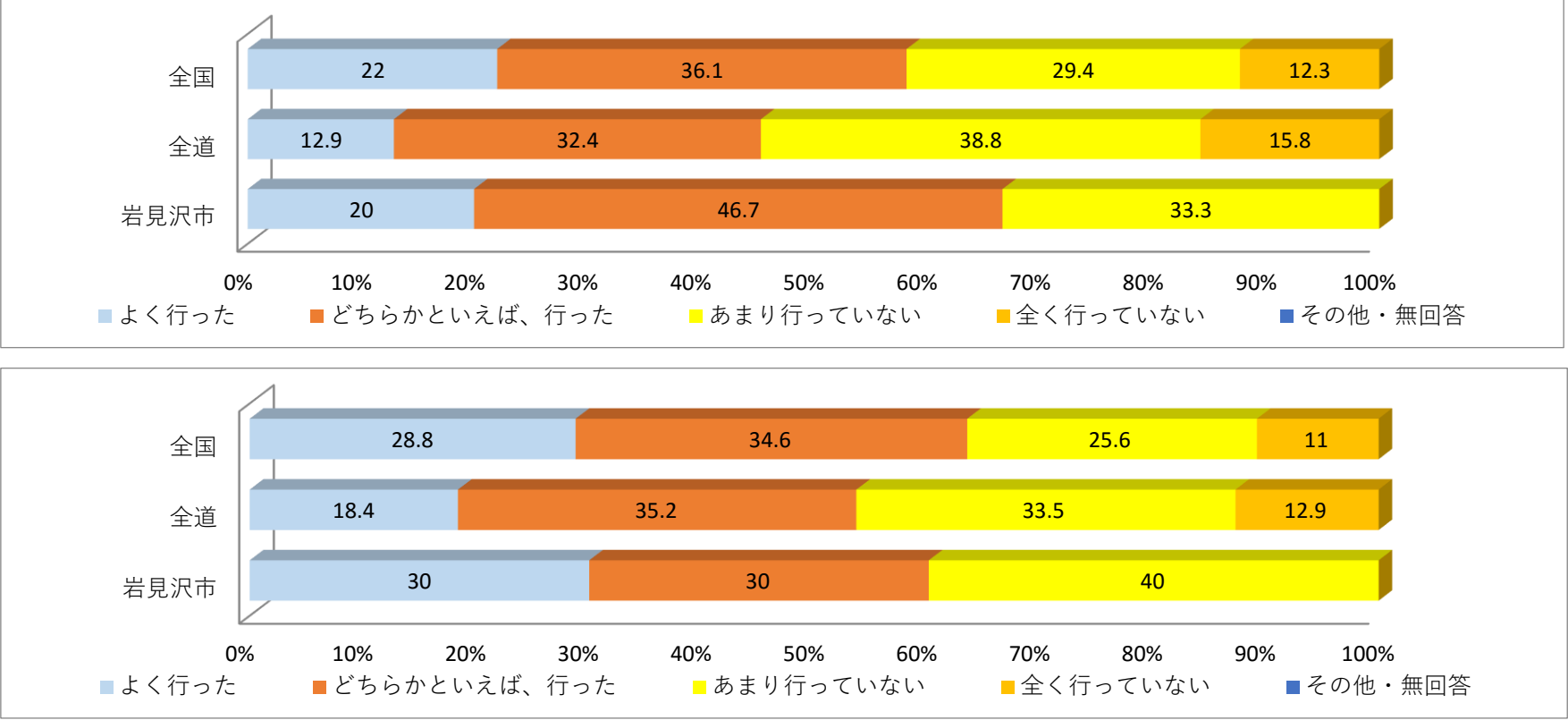
7 3. 調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



7 5. 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童（生徒）に対する授業の中で、児童（生徒）の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか（中は7 4）

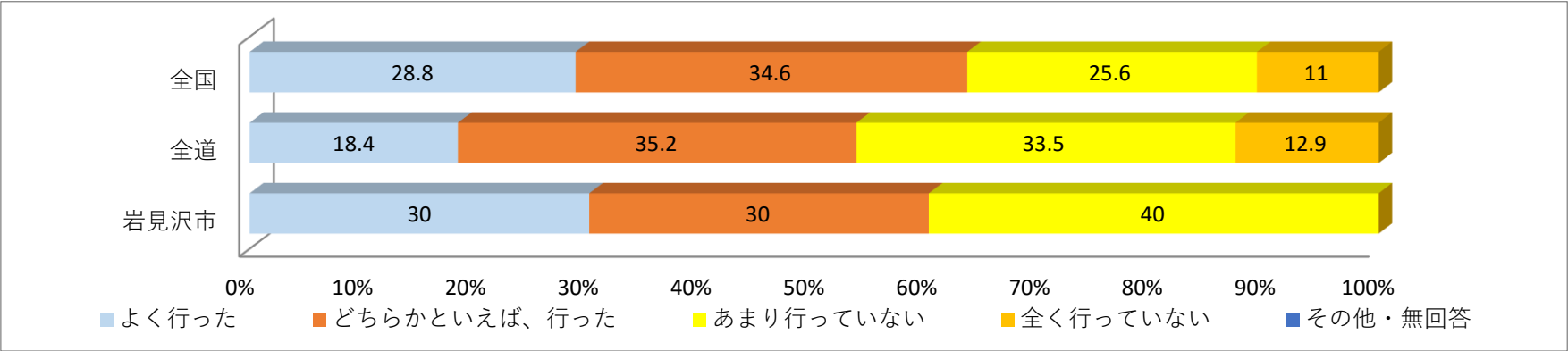
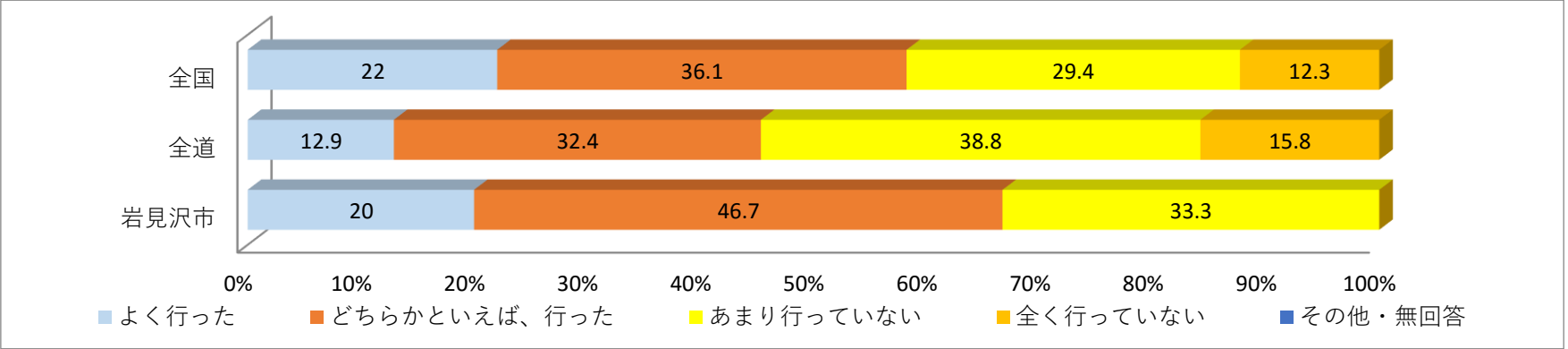


76. 前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、教育目標を共有する取組を行いましたか（中は75）

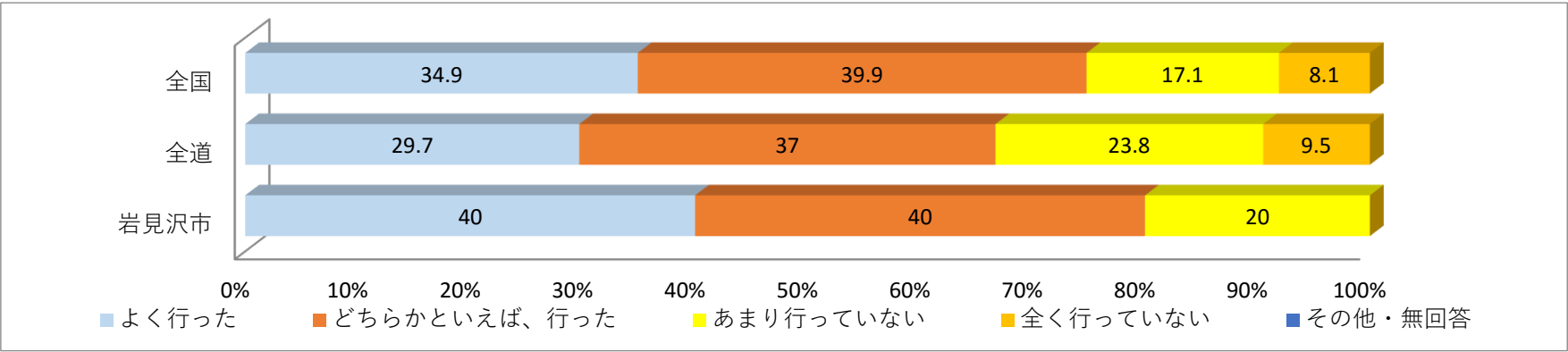
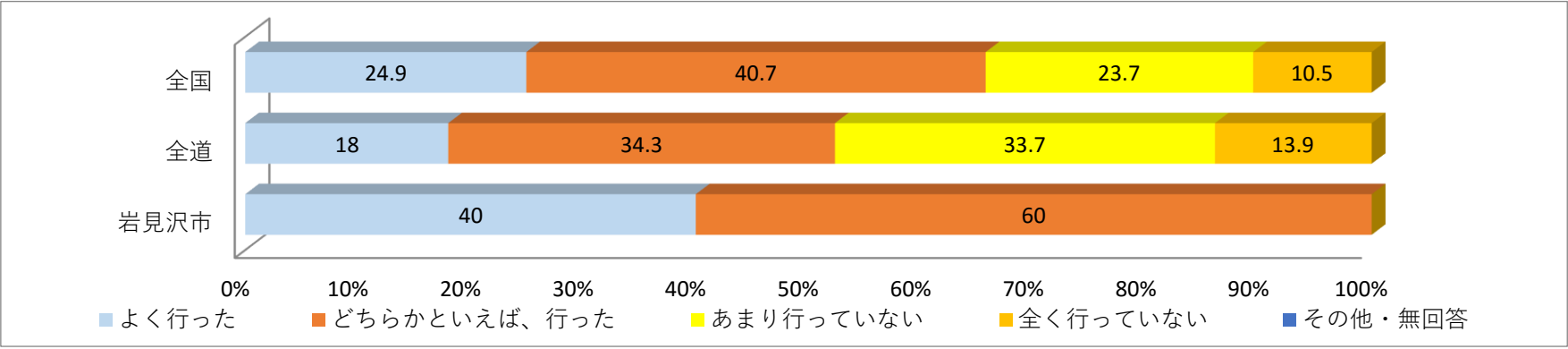


5. 小中連携・地域人材等の活用

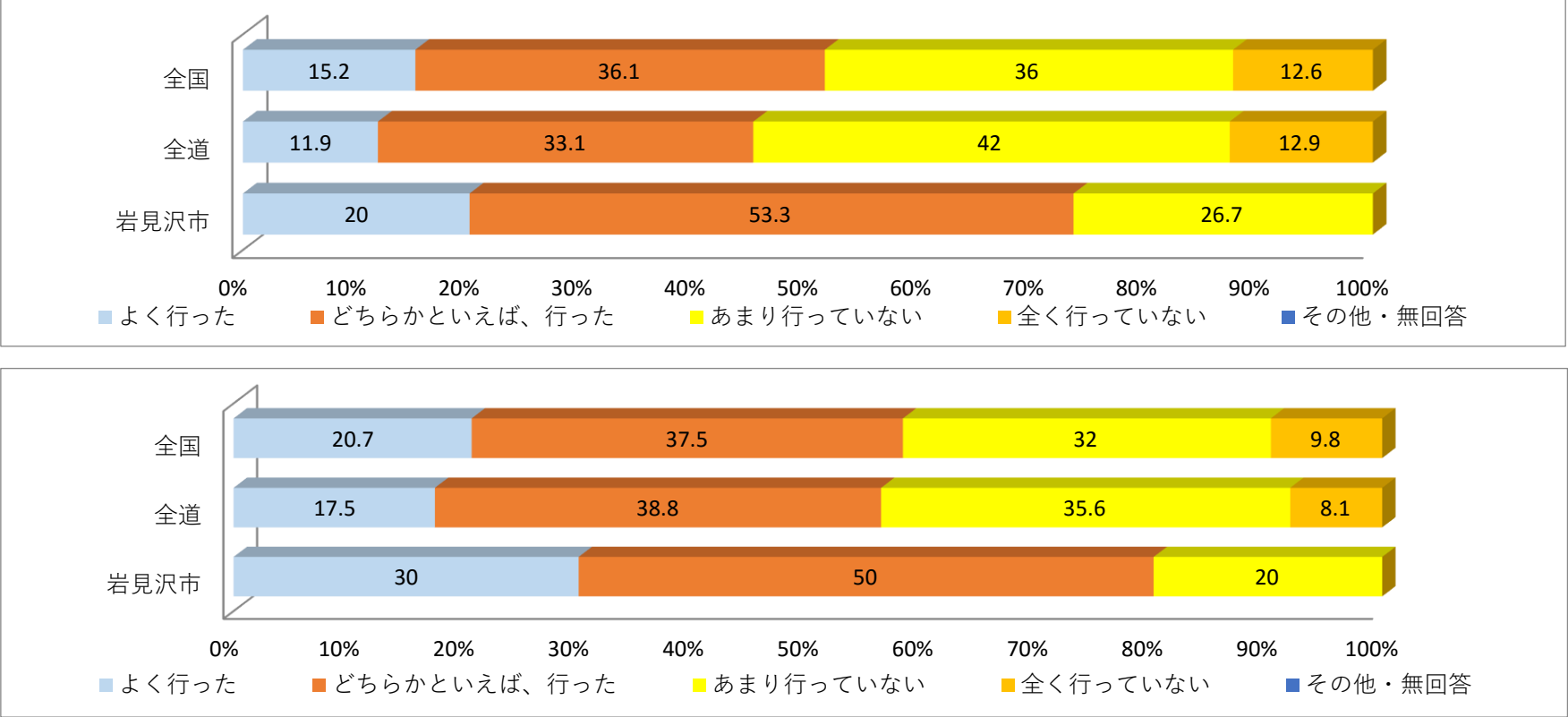
76. 前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、教育目標を共有する取組を行いましたか（中は75）



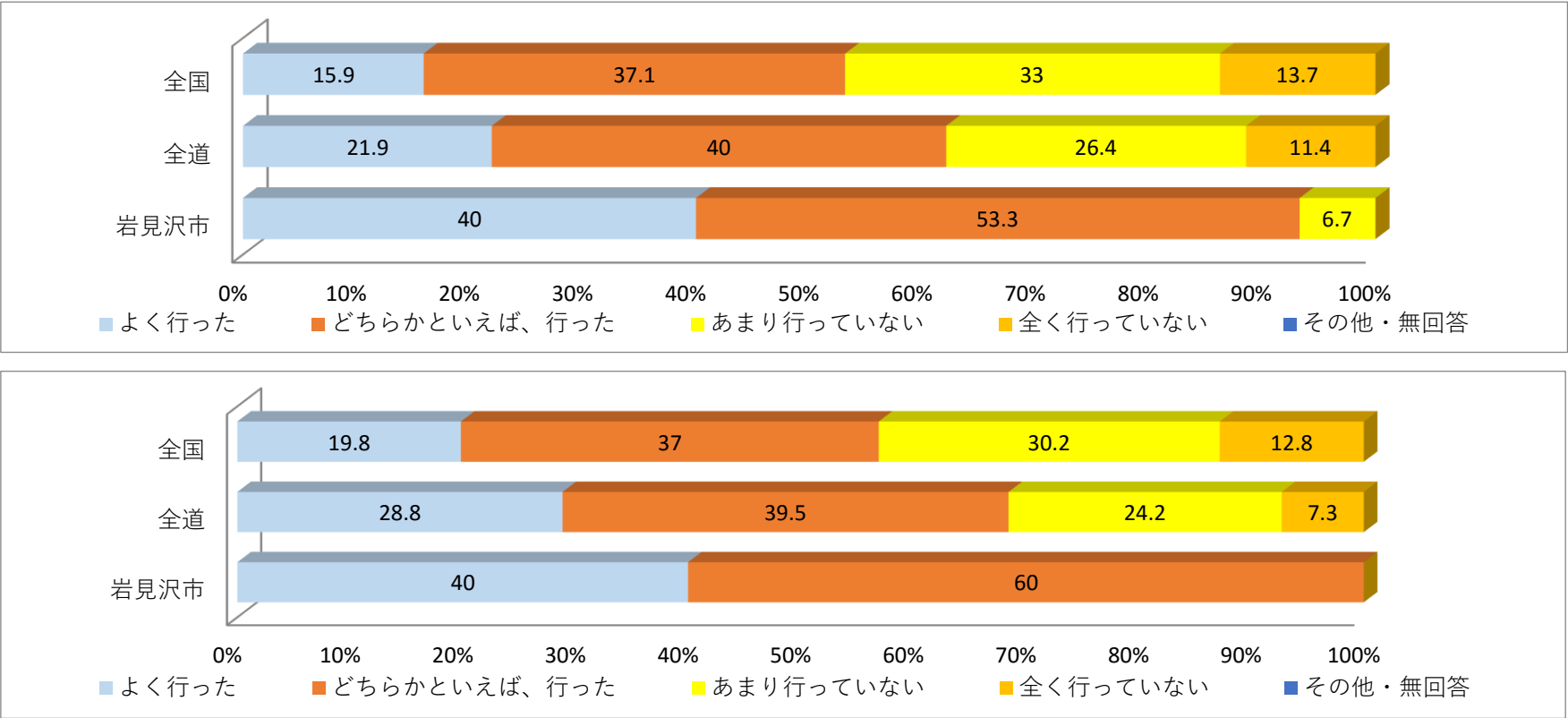
77. 前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか（中は76）



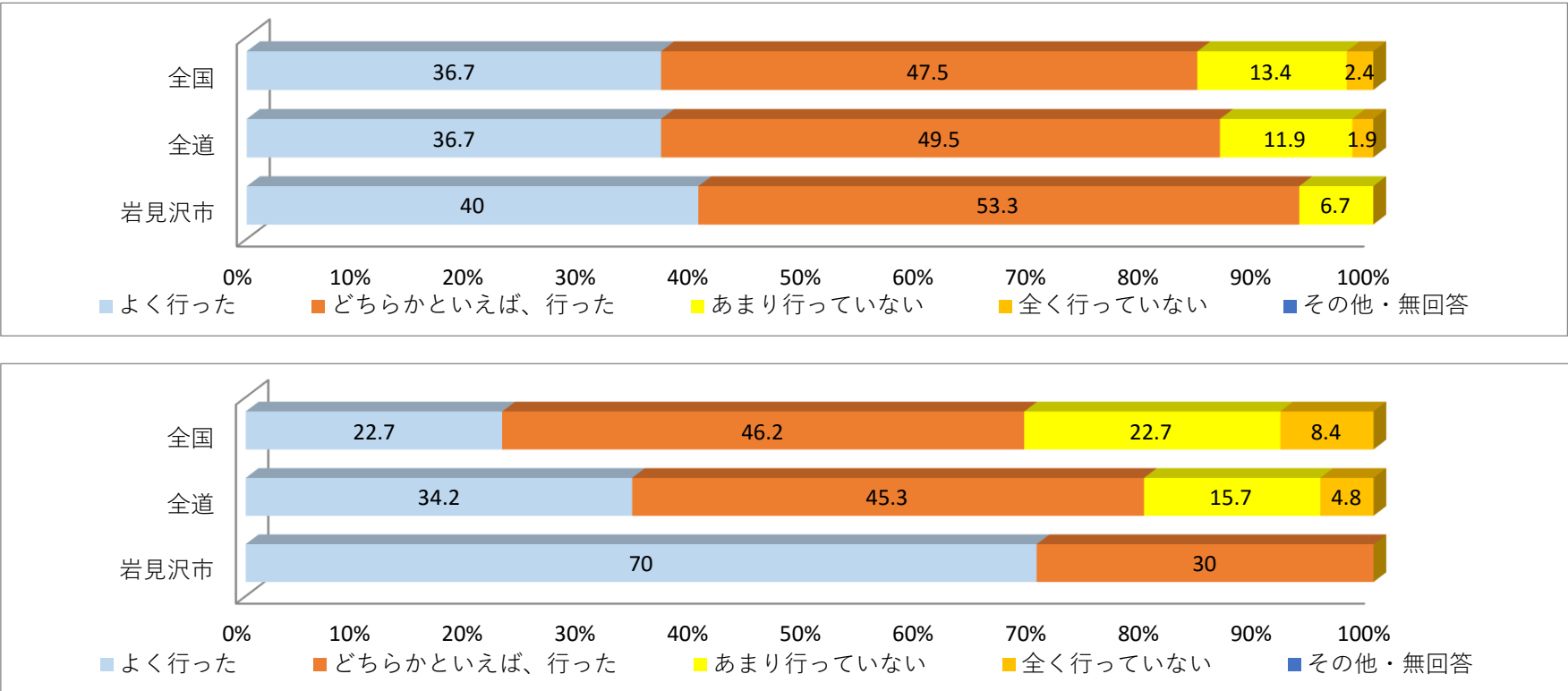
78. 前年度までに、近隣等の小学校（中学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか（中は77）



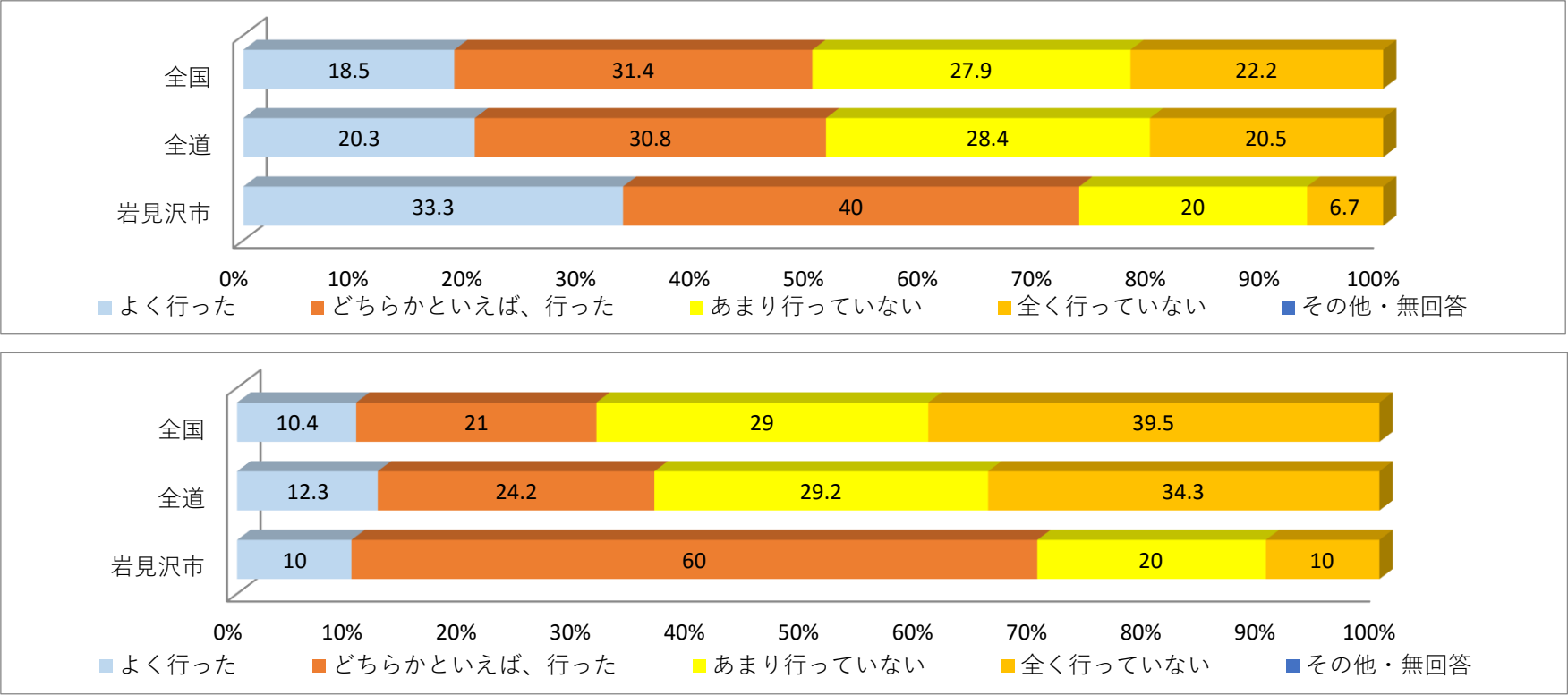
79. 平成28年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校（中学校）と成果や課題を共有しましたか（中は78）



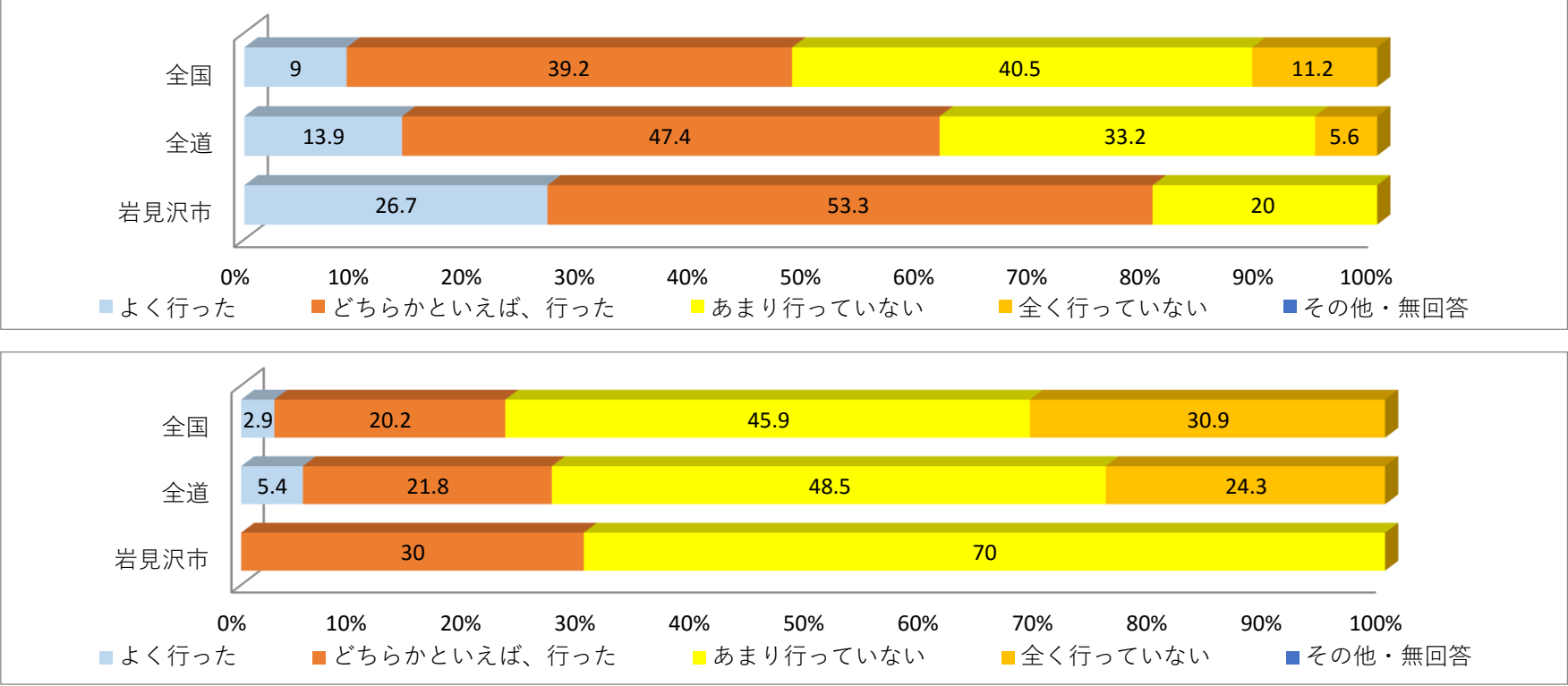
80. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか（中は79）



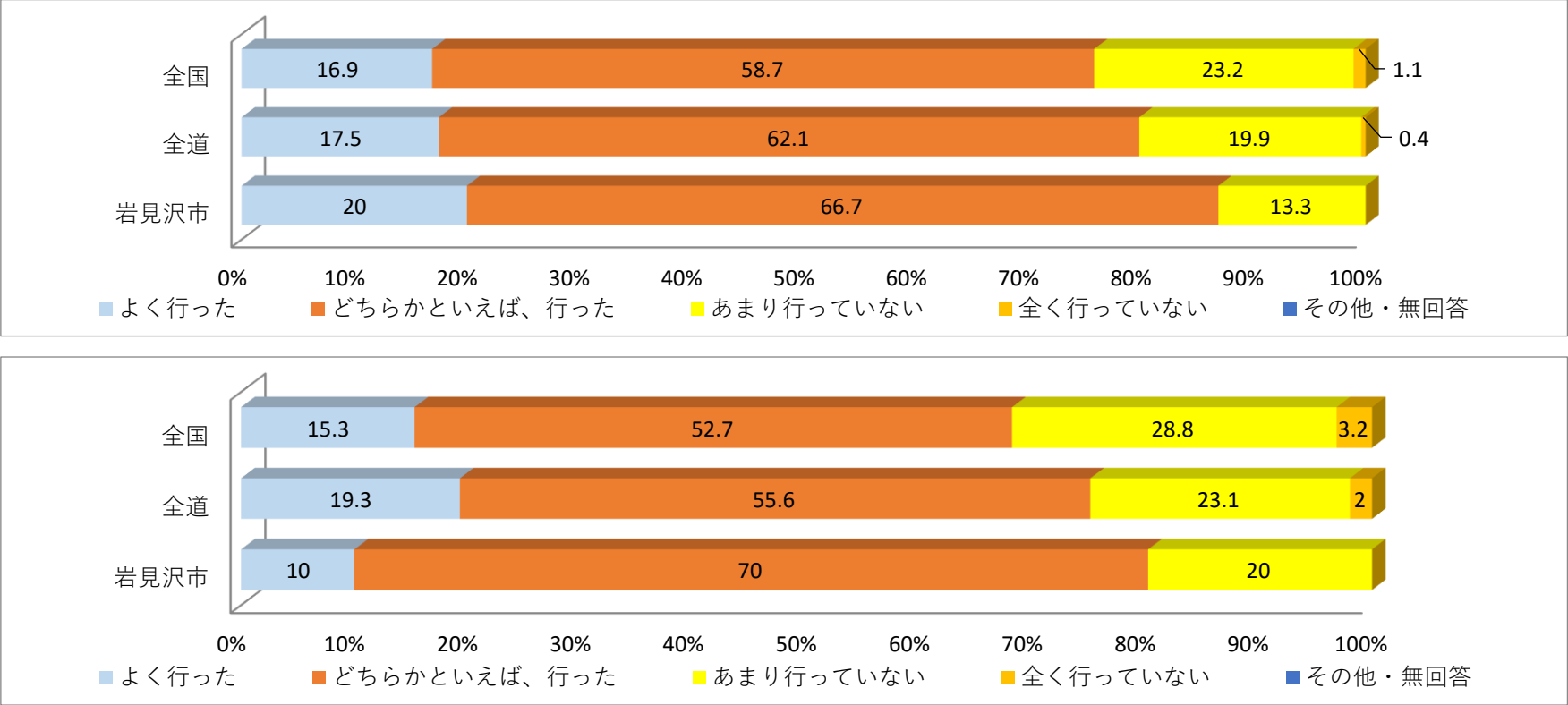
8 1. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか（中は8 0）



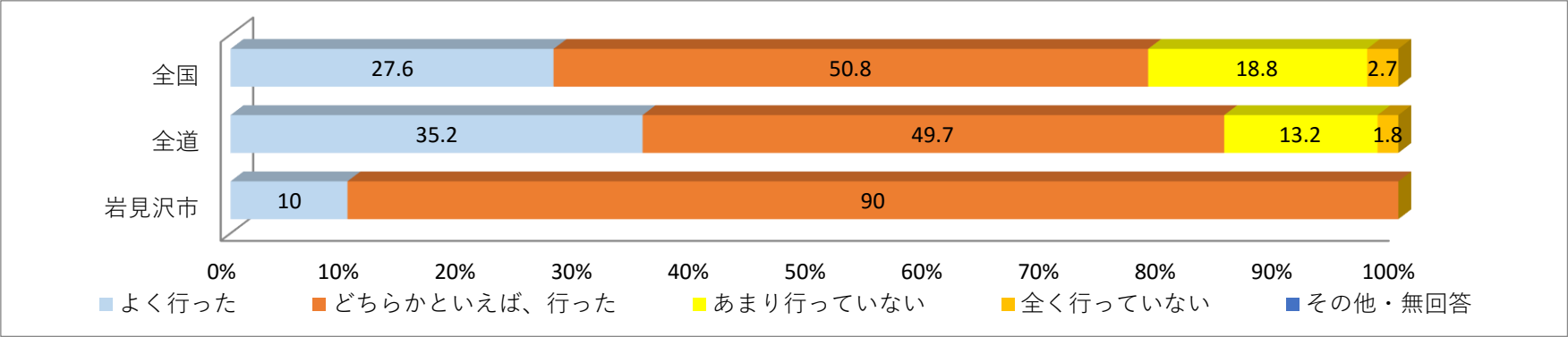
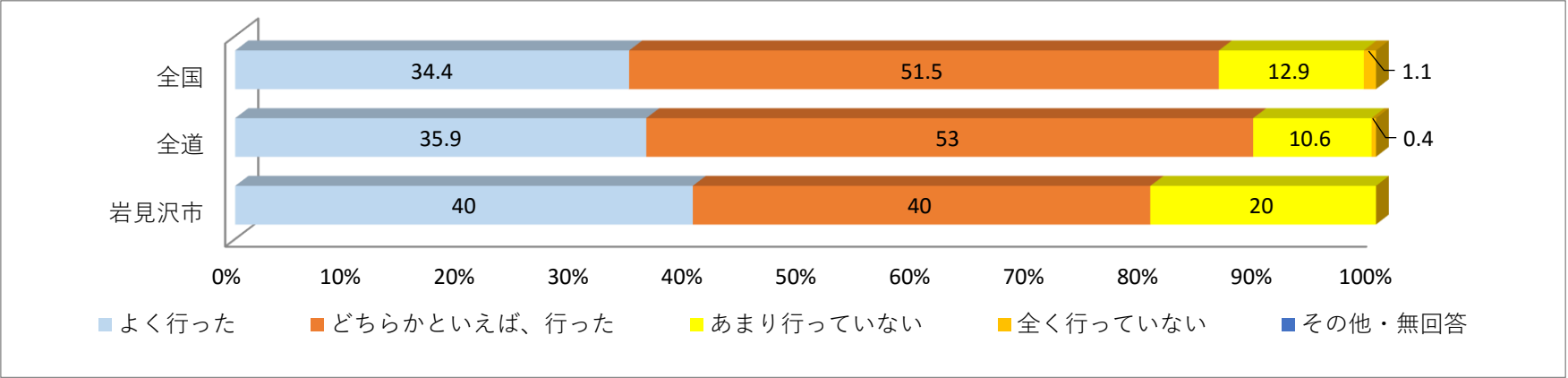
8 2. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、博物館や科学館，図書館を利用した授業を行いましたか（中は8 1）



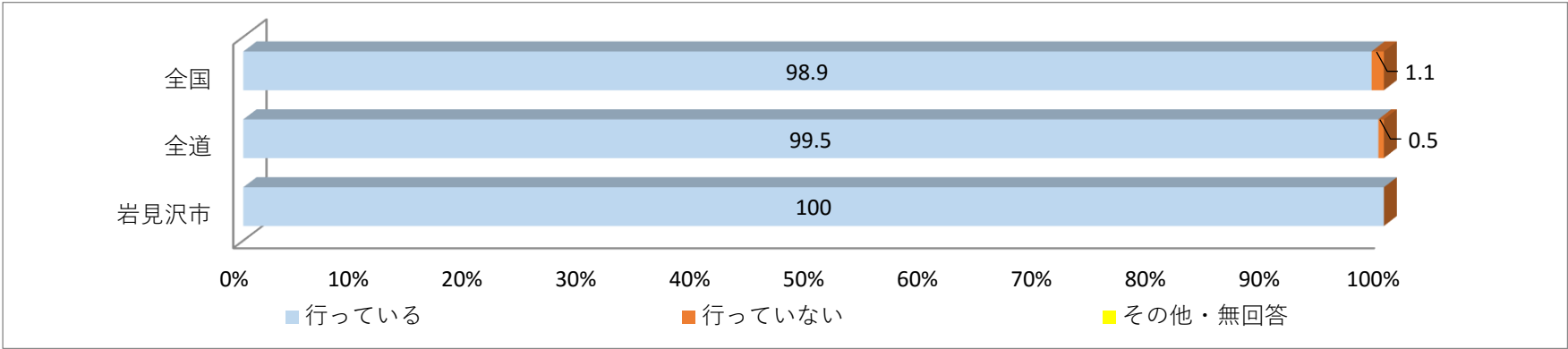
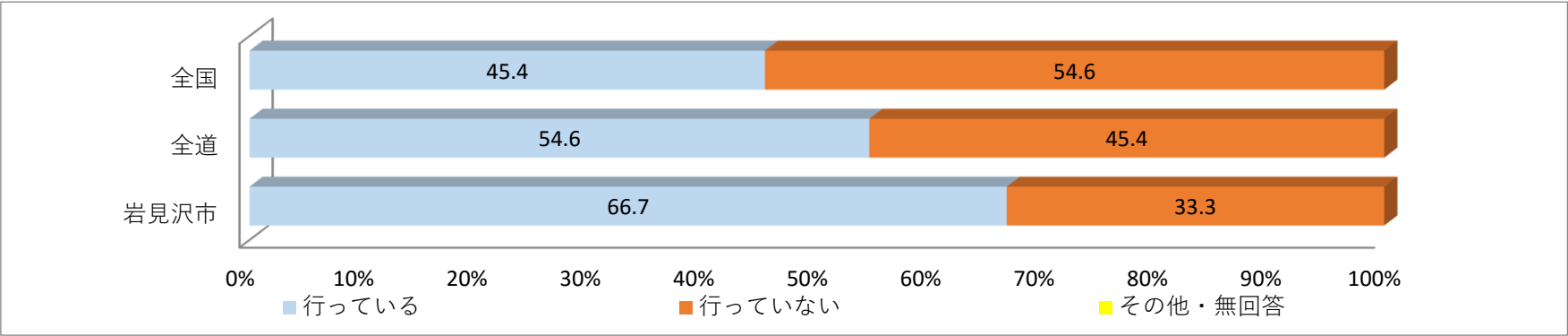
8 3. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行いましたか（中は8 2）



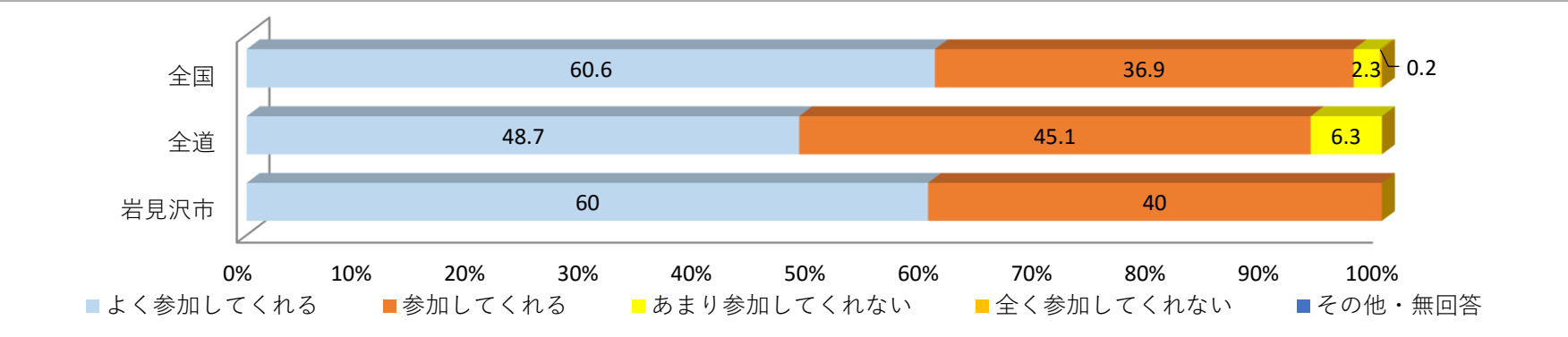
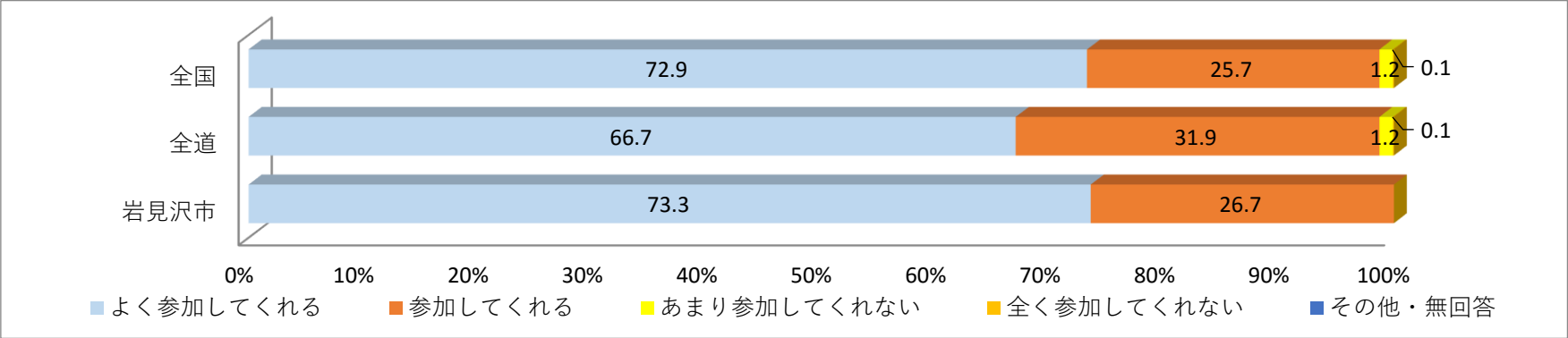
84. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか（中は83）



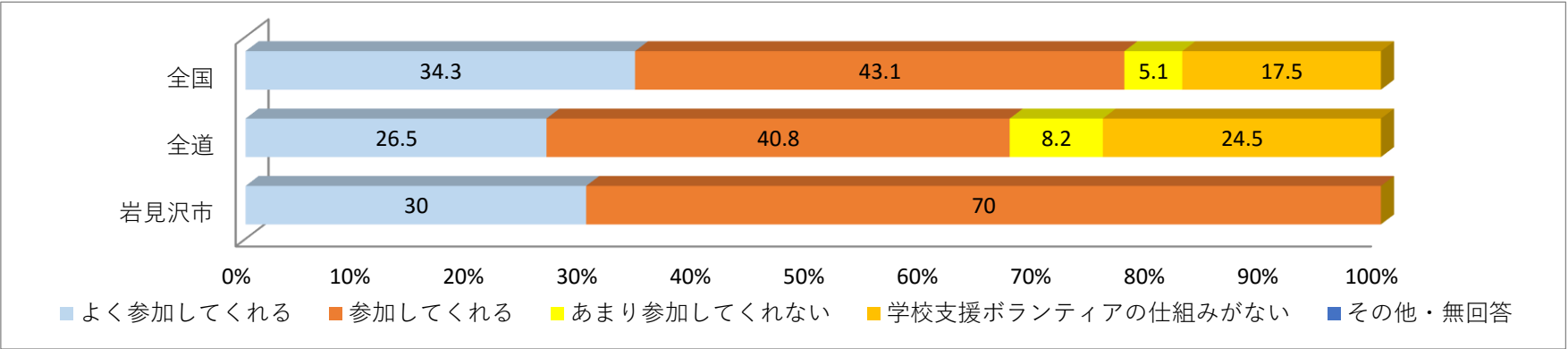
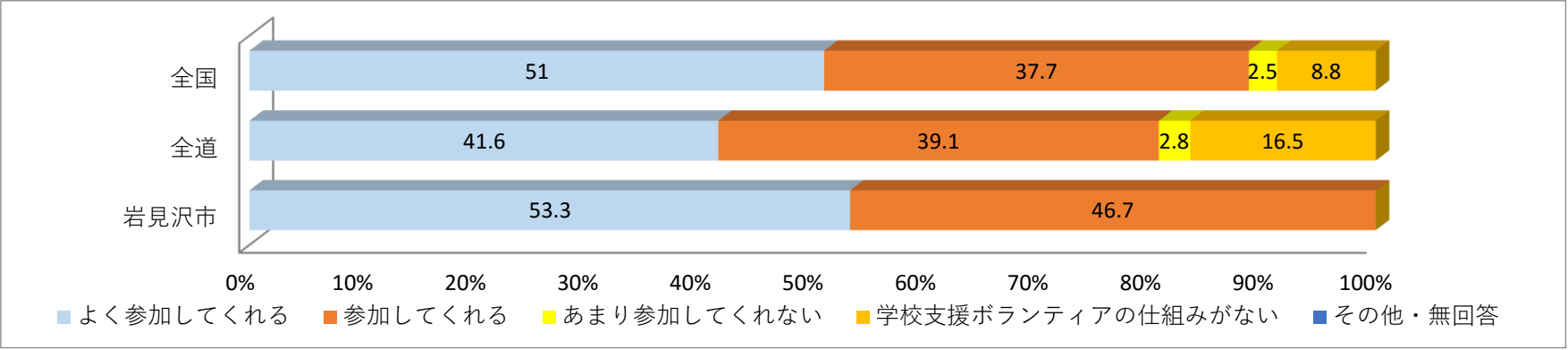
86. 職場見学や職場体験活動を行っていますか（中は84）



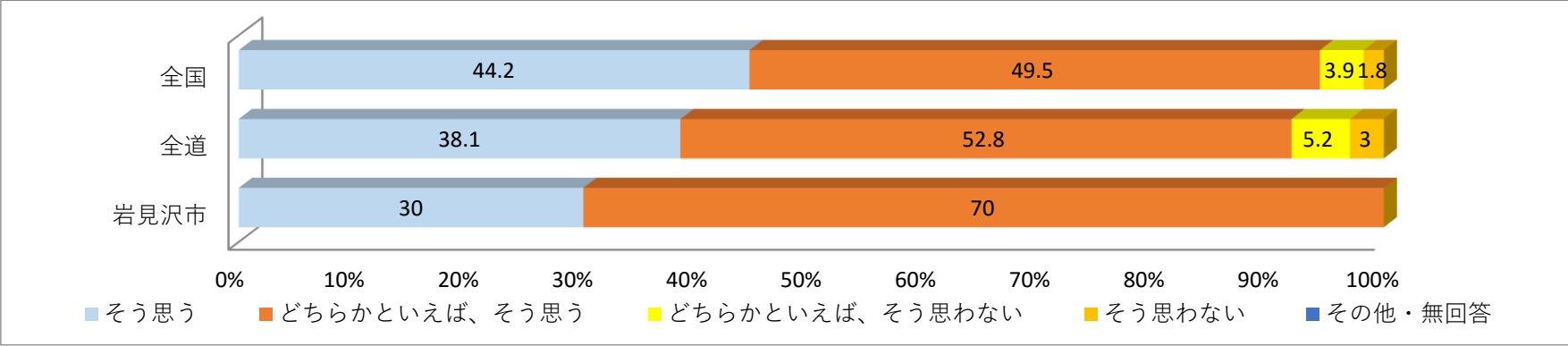
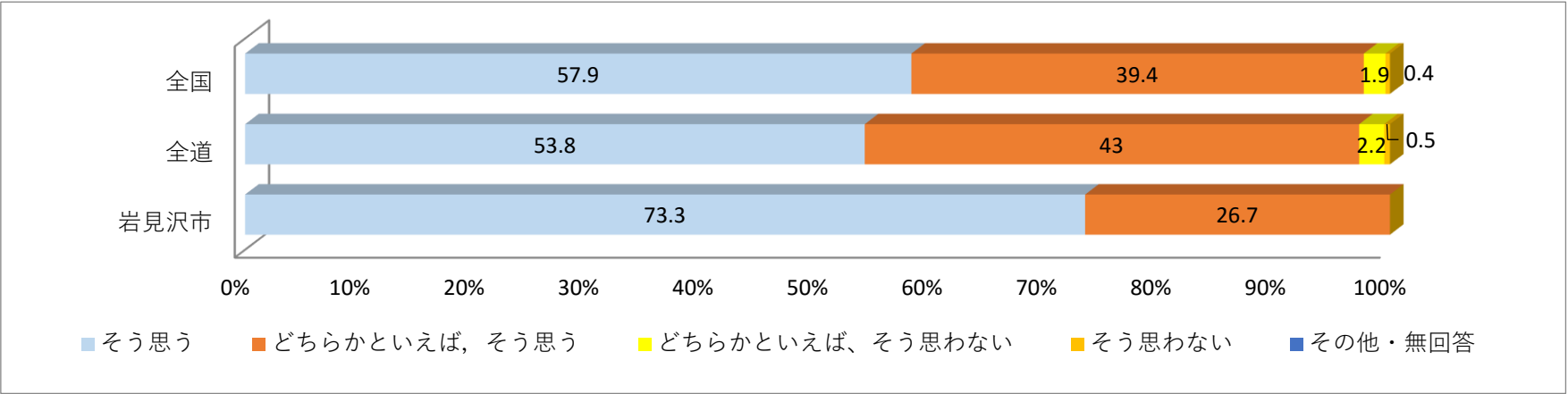
87. PTAや地域の人が学校の諸活動（学校の美化，登下校の見守り，学校行事の支援など）にボランティアとして参加してくれますか（中は85）



88. 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人为学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか（中は86）

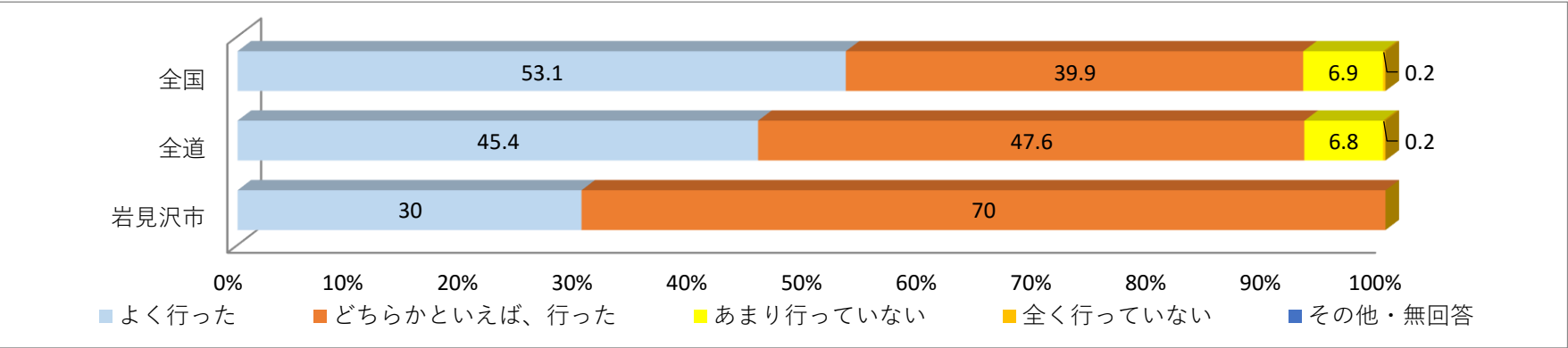
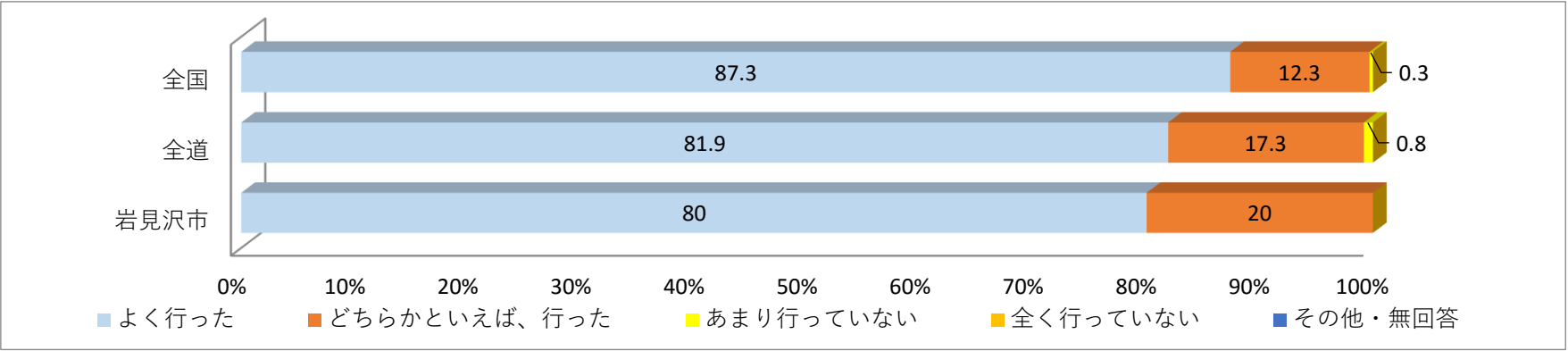


89. 保護者や地域の人为学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか（中は87）

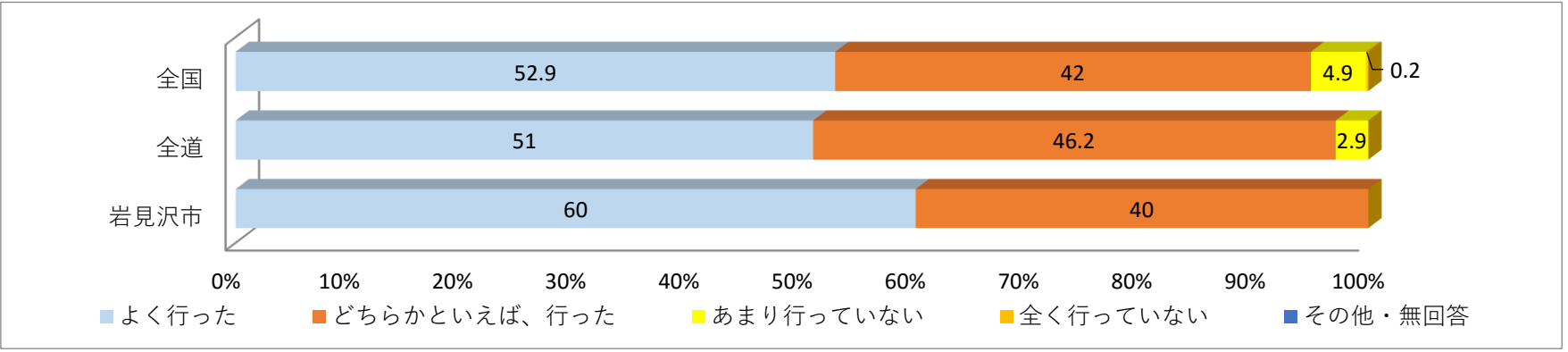
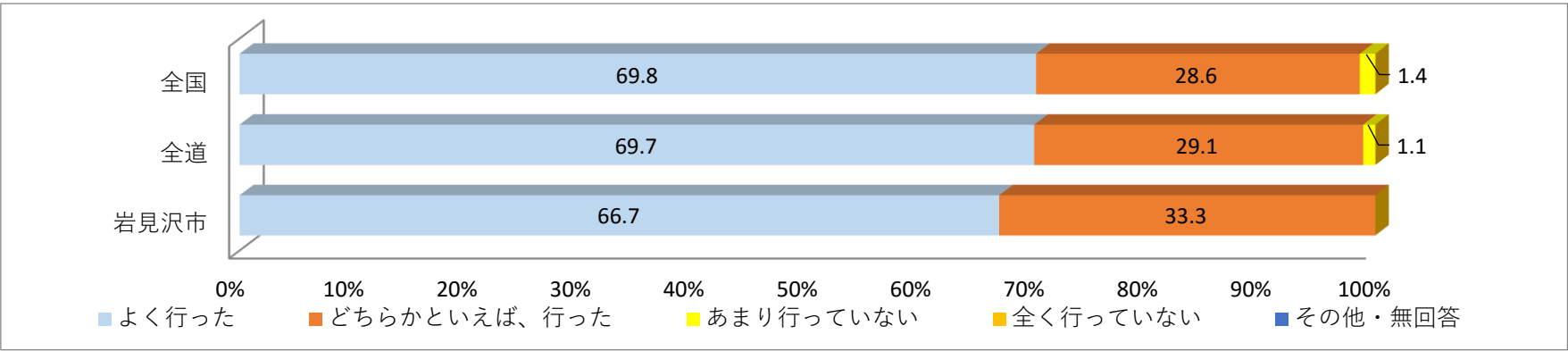


6. 家庭学習

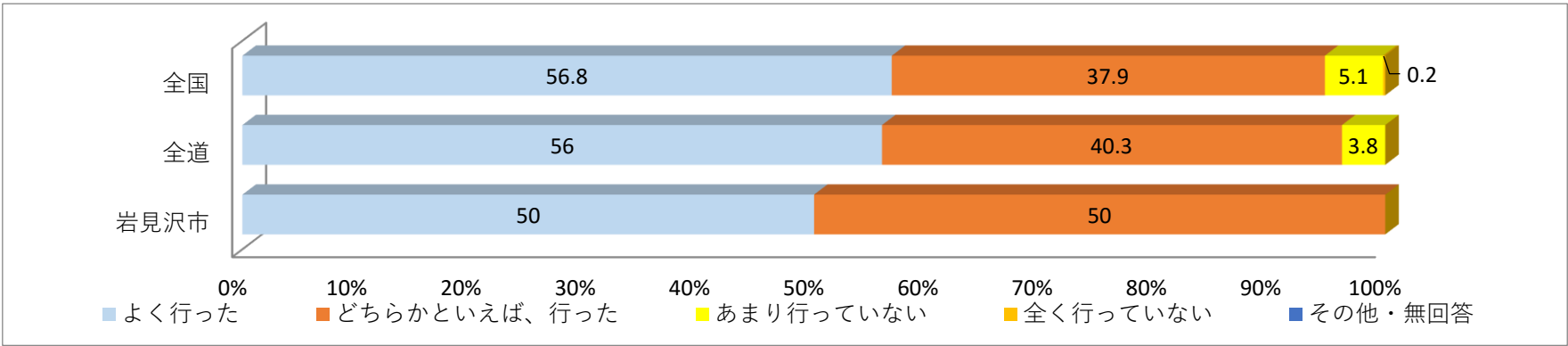
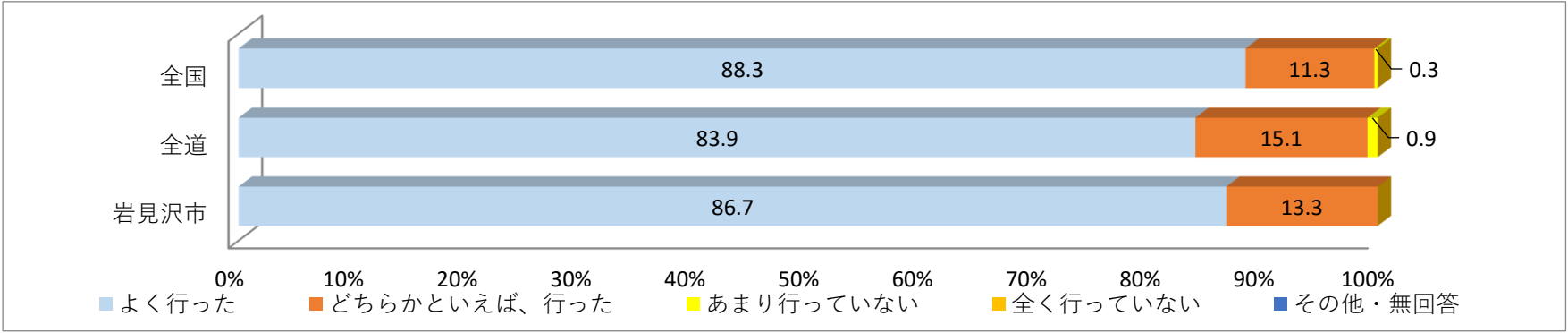
90. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか（中は88）



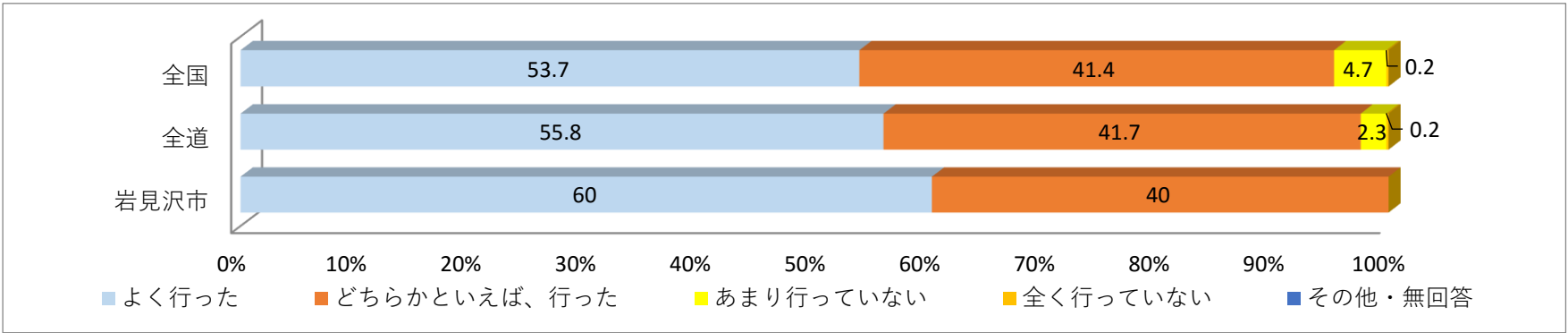
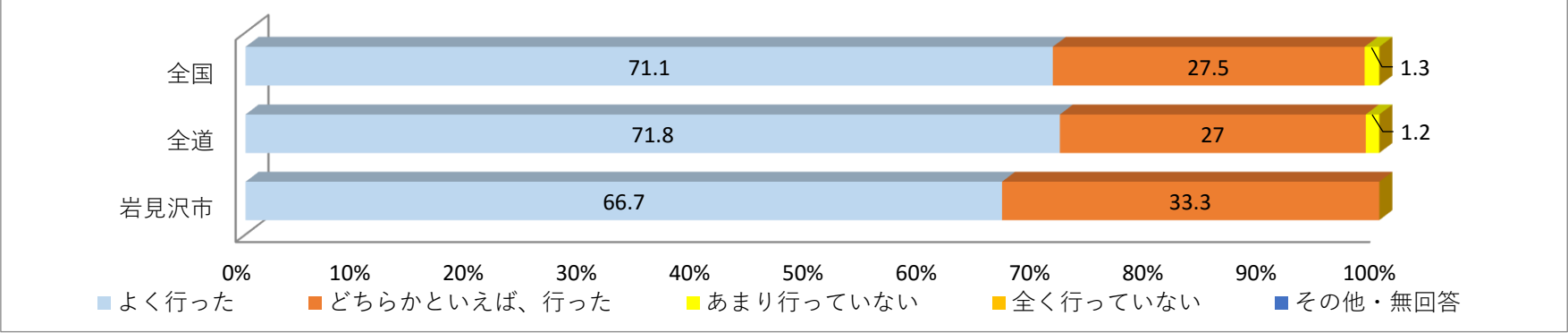
91. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、国語の指導として、児童（生徒）に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか（中は89）



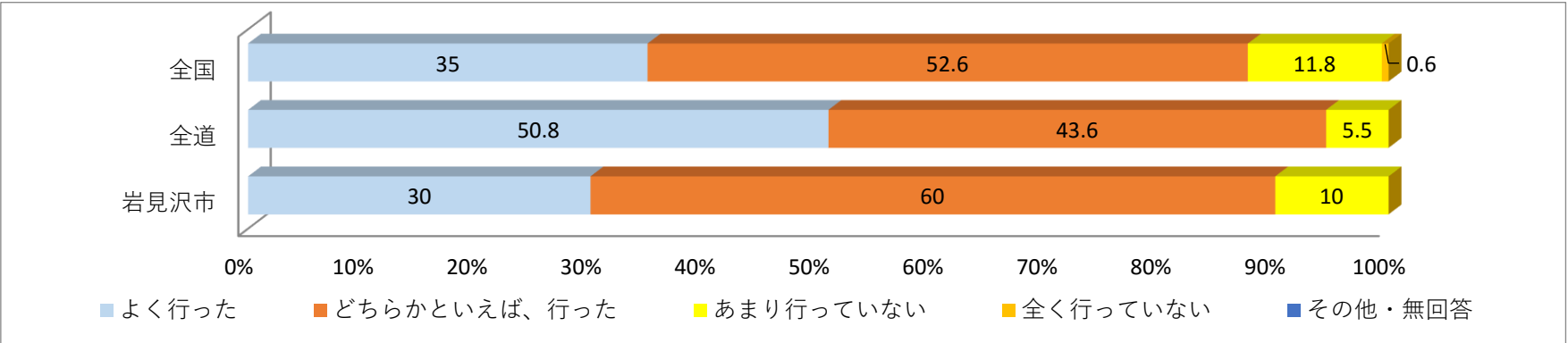
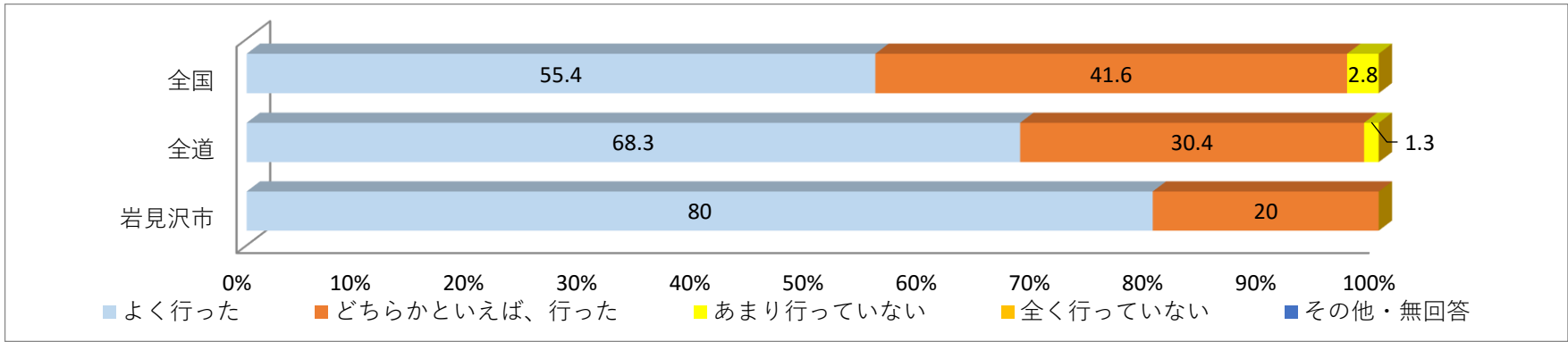
92. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか（中は90）



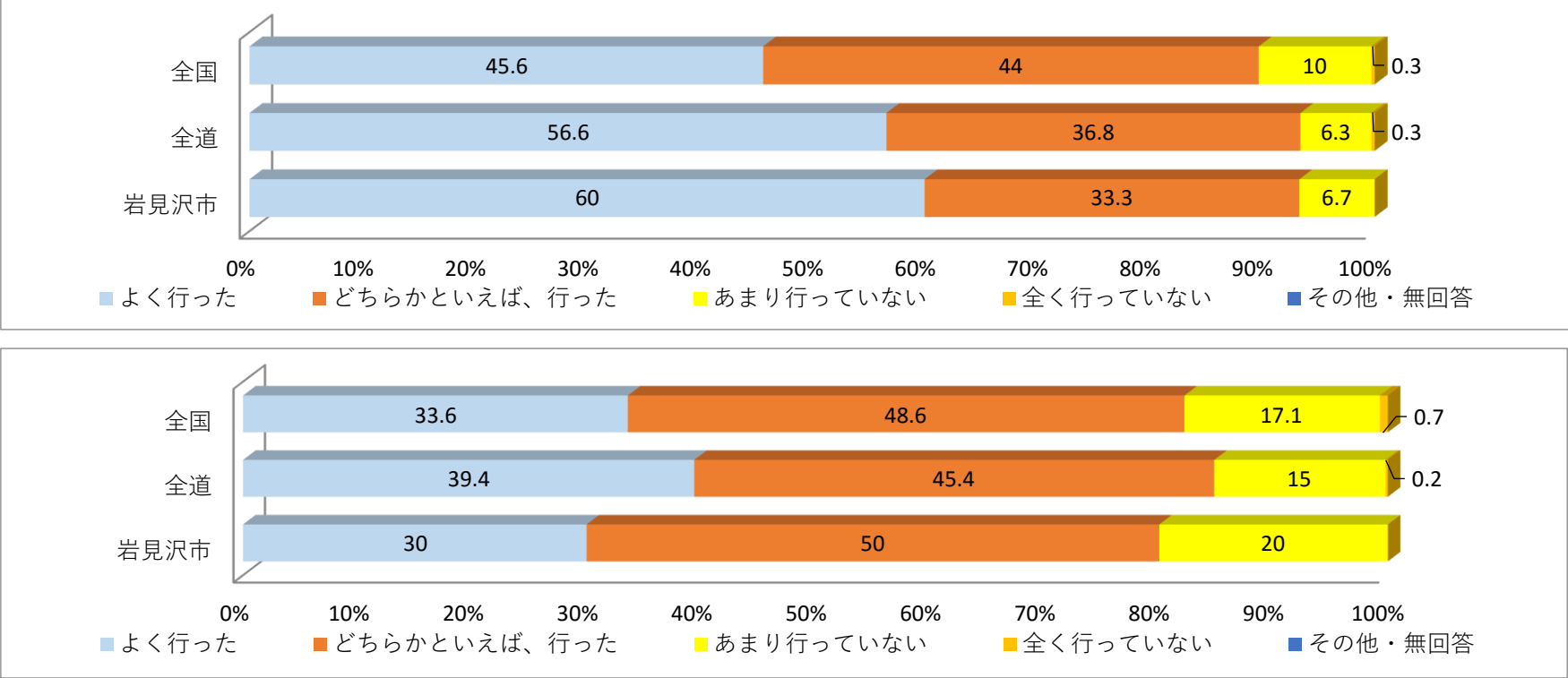
93. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、児童（生徒）に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか（中は91）



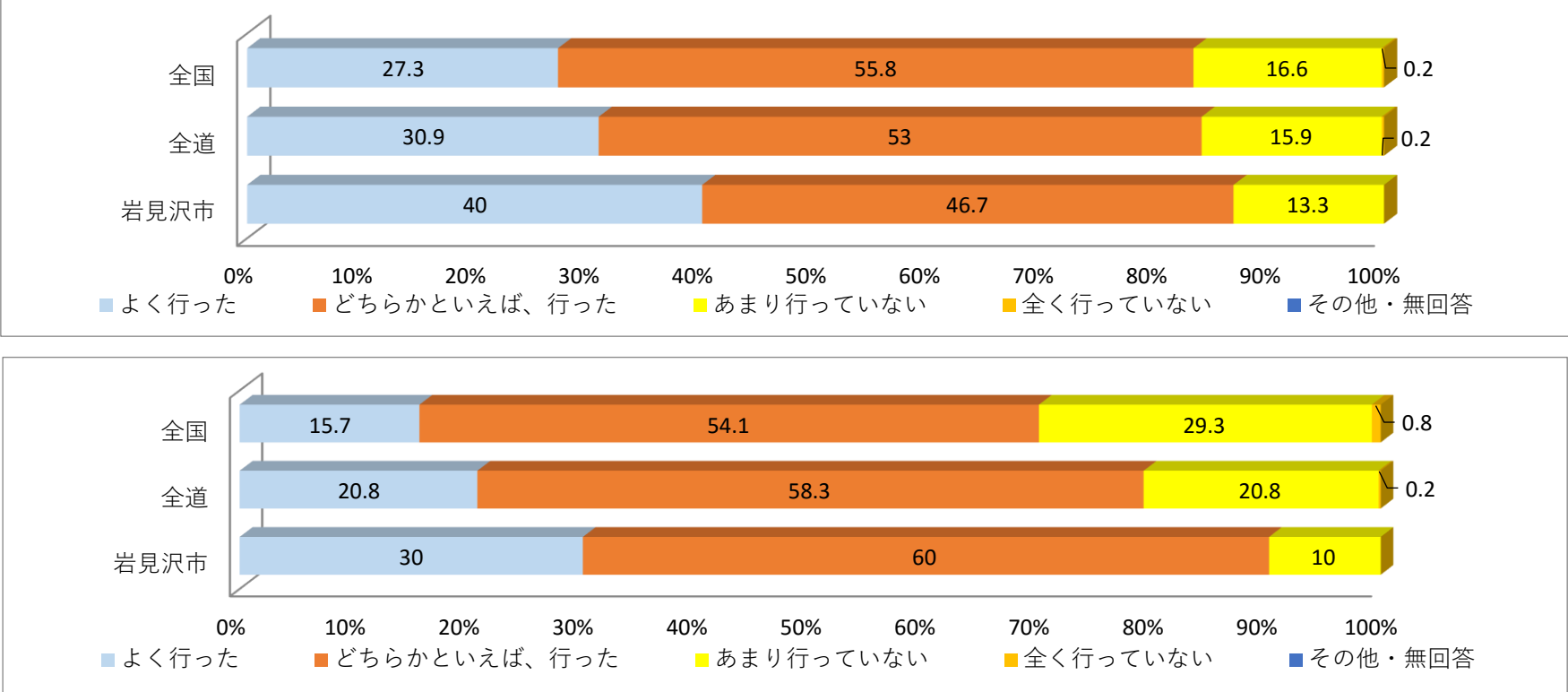
94. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、保護者に対して児童（生徒）の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）（中は92）



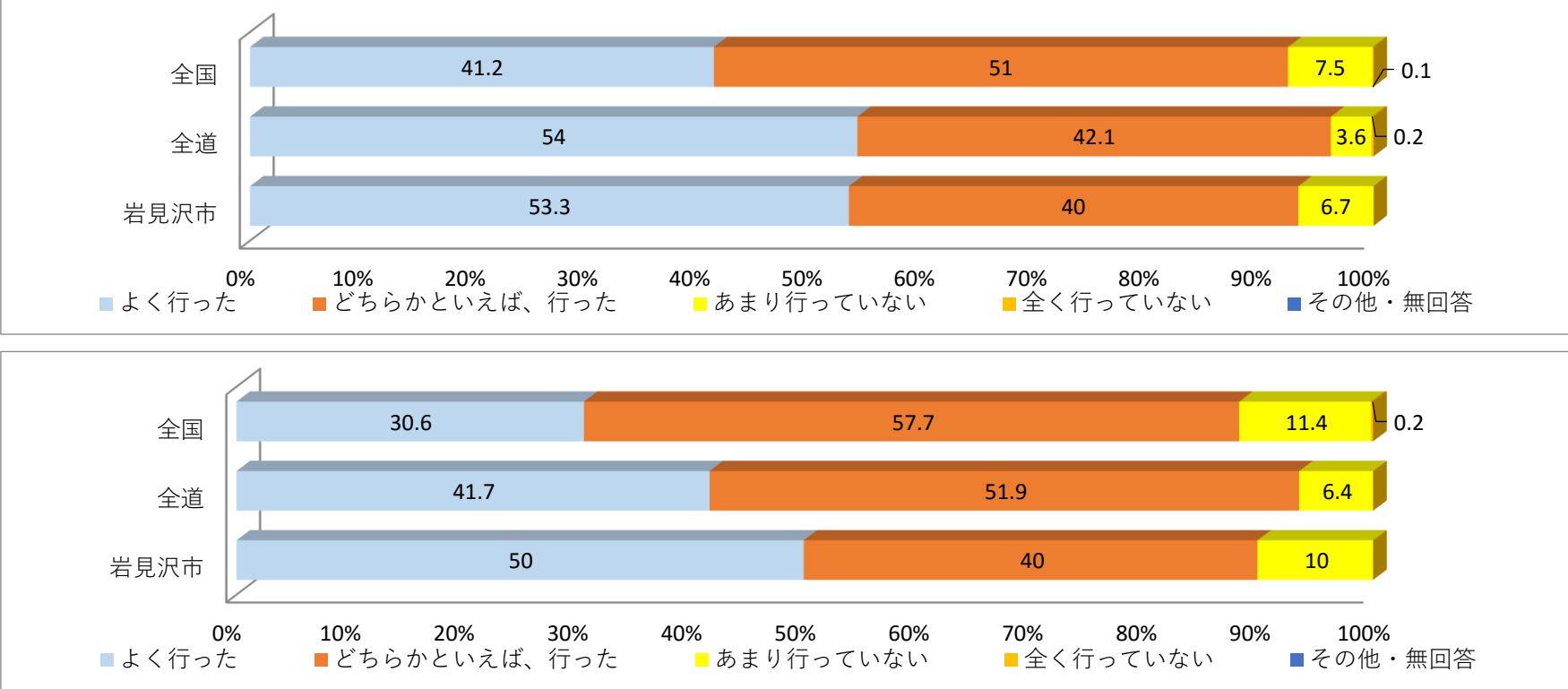
95. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）（中は93）



96. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）（中は94）

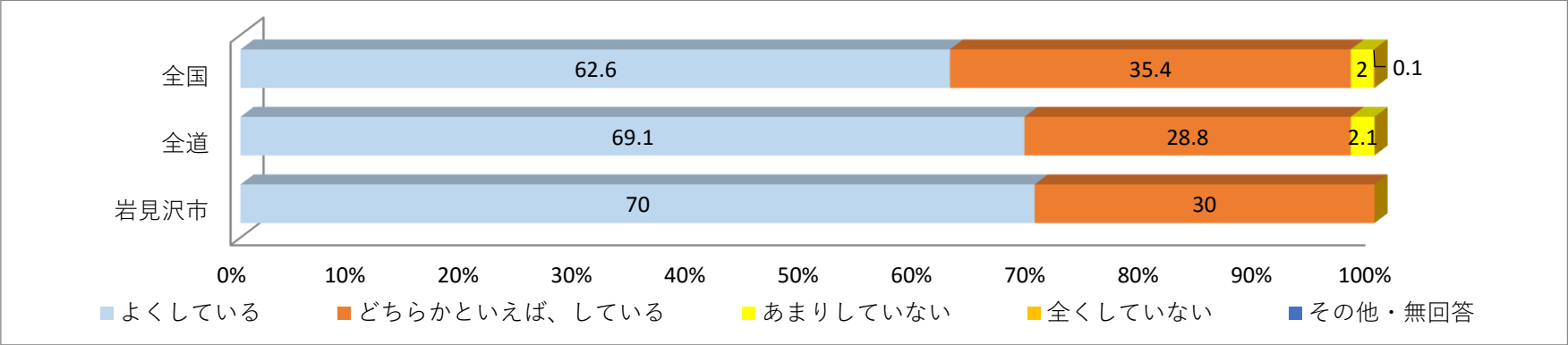
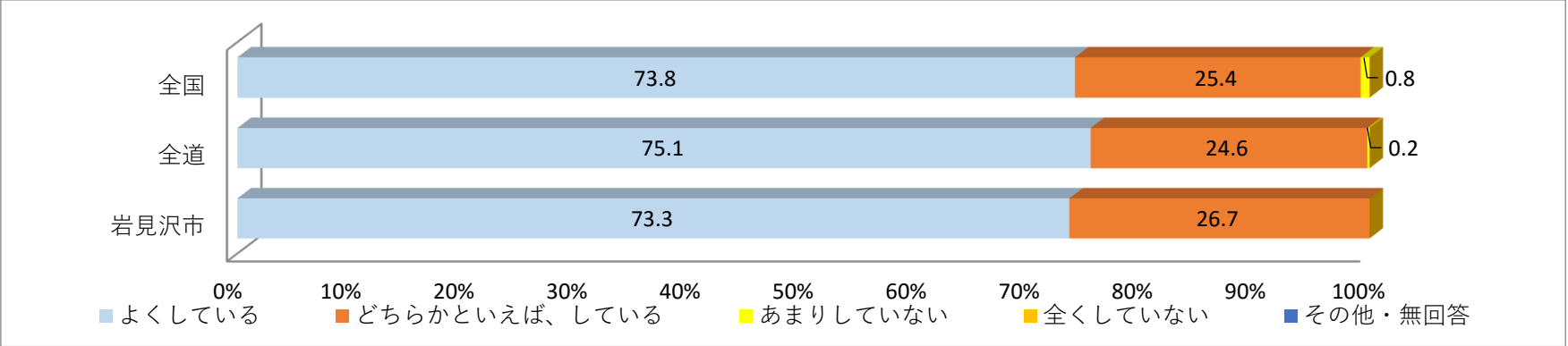


97. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）（中は95）

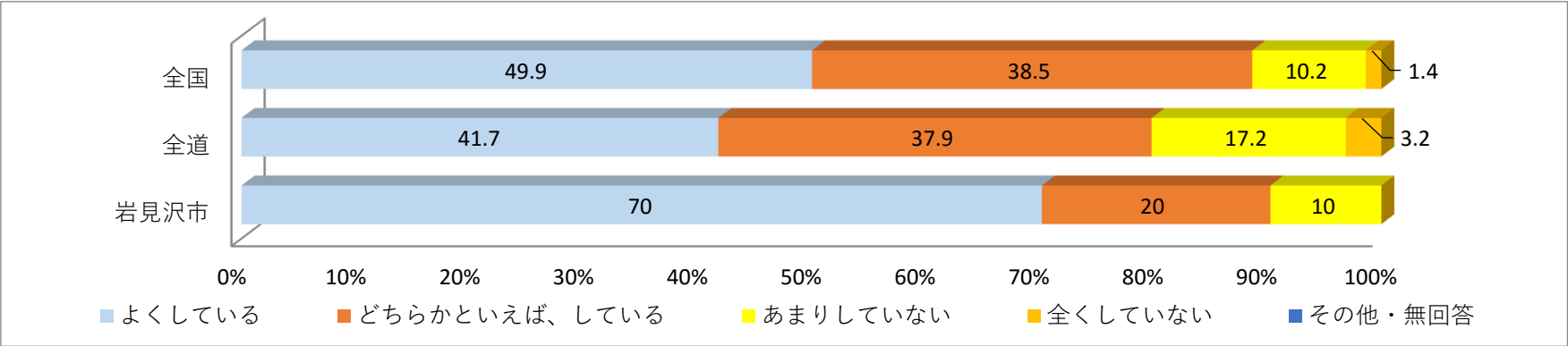
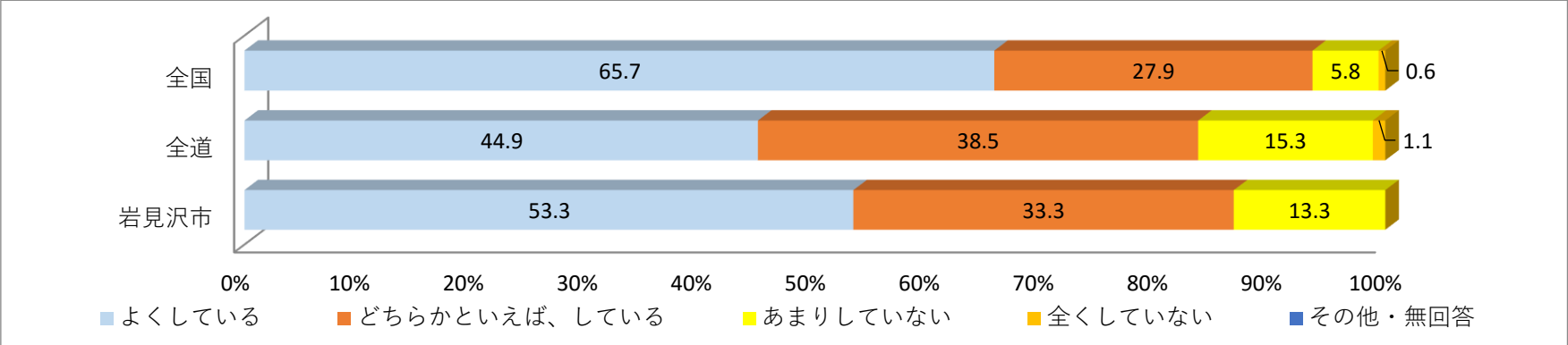


7. 教職員の資質能力の向上

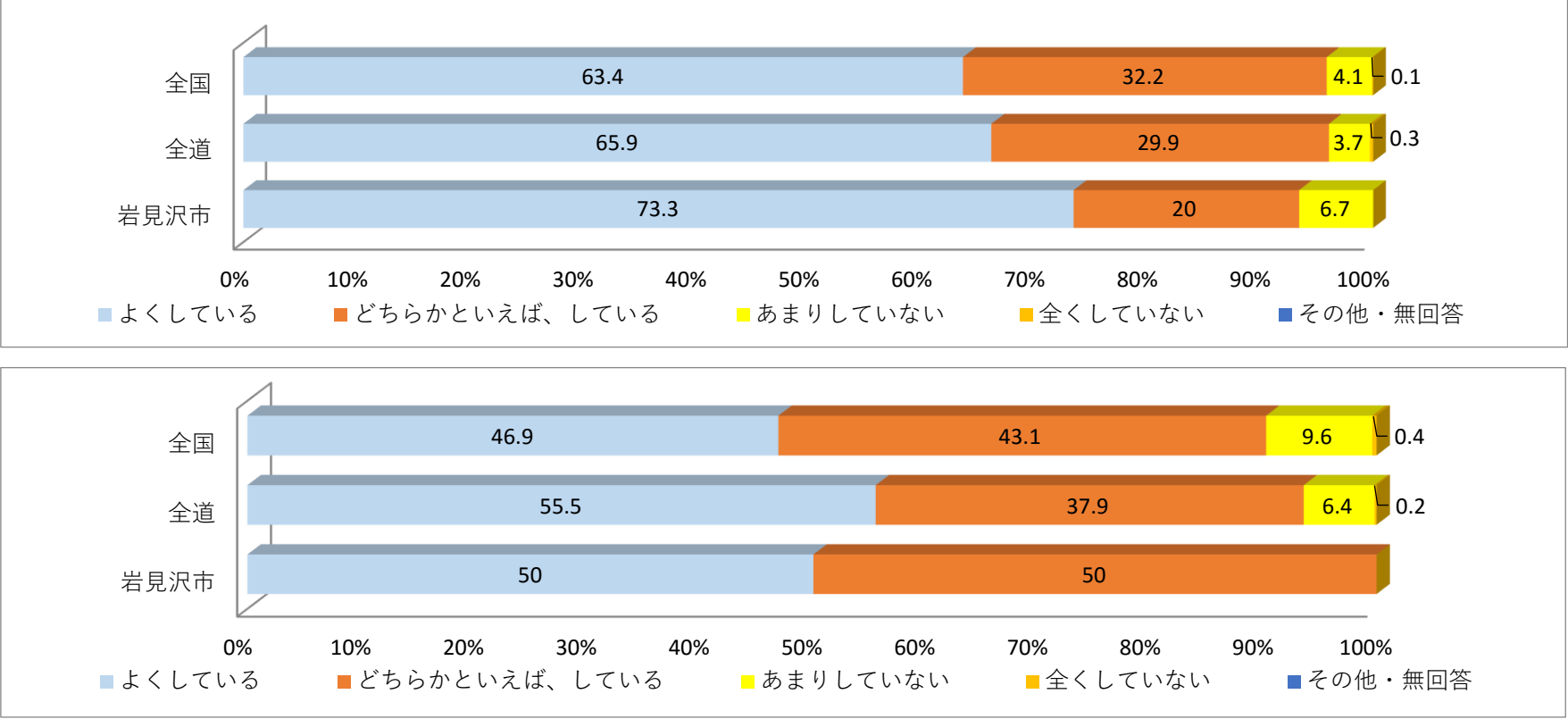
98. 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか（中は96）



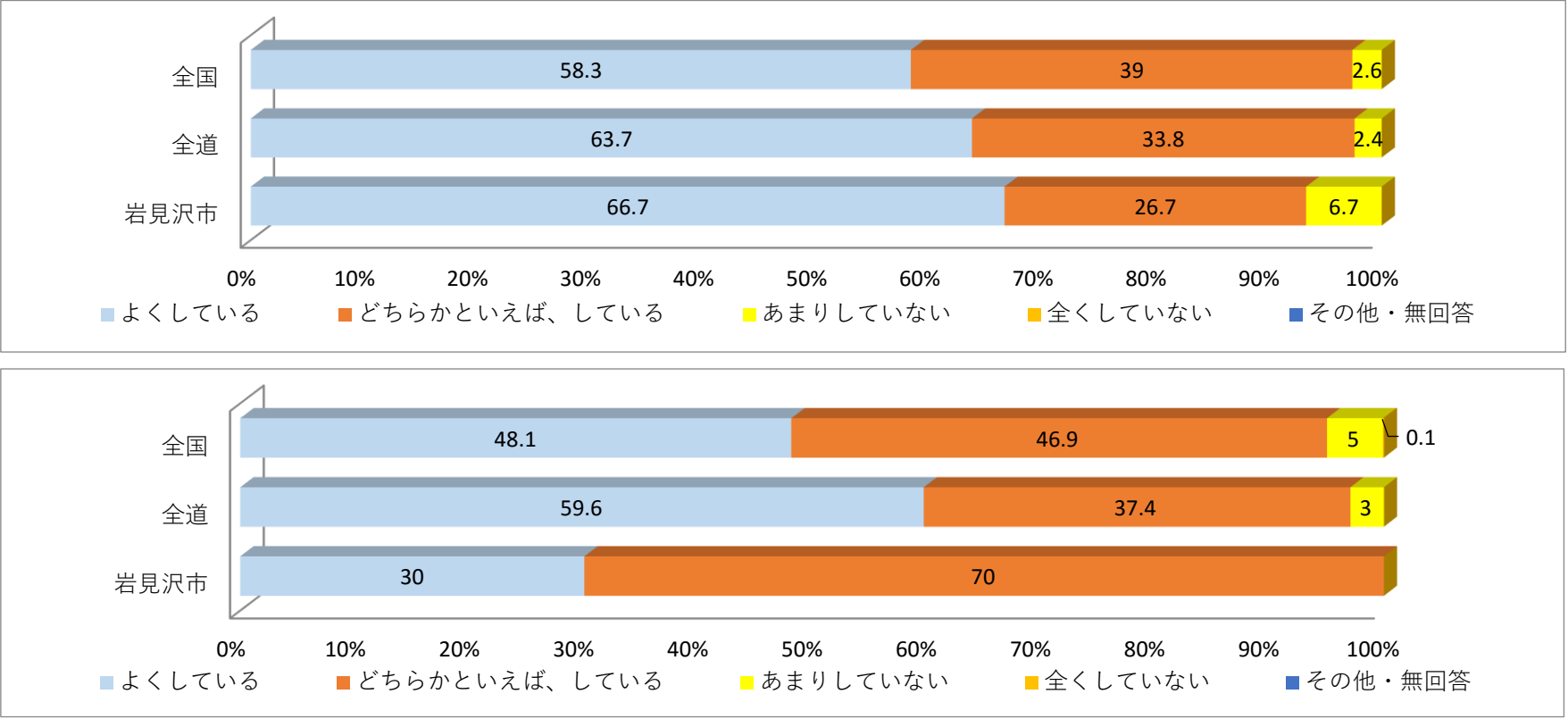
99. 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか（中は97）



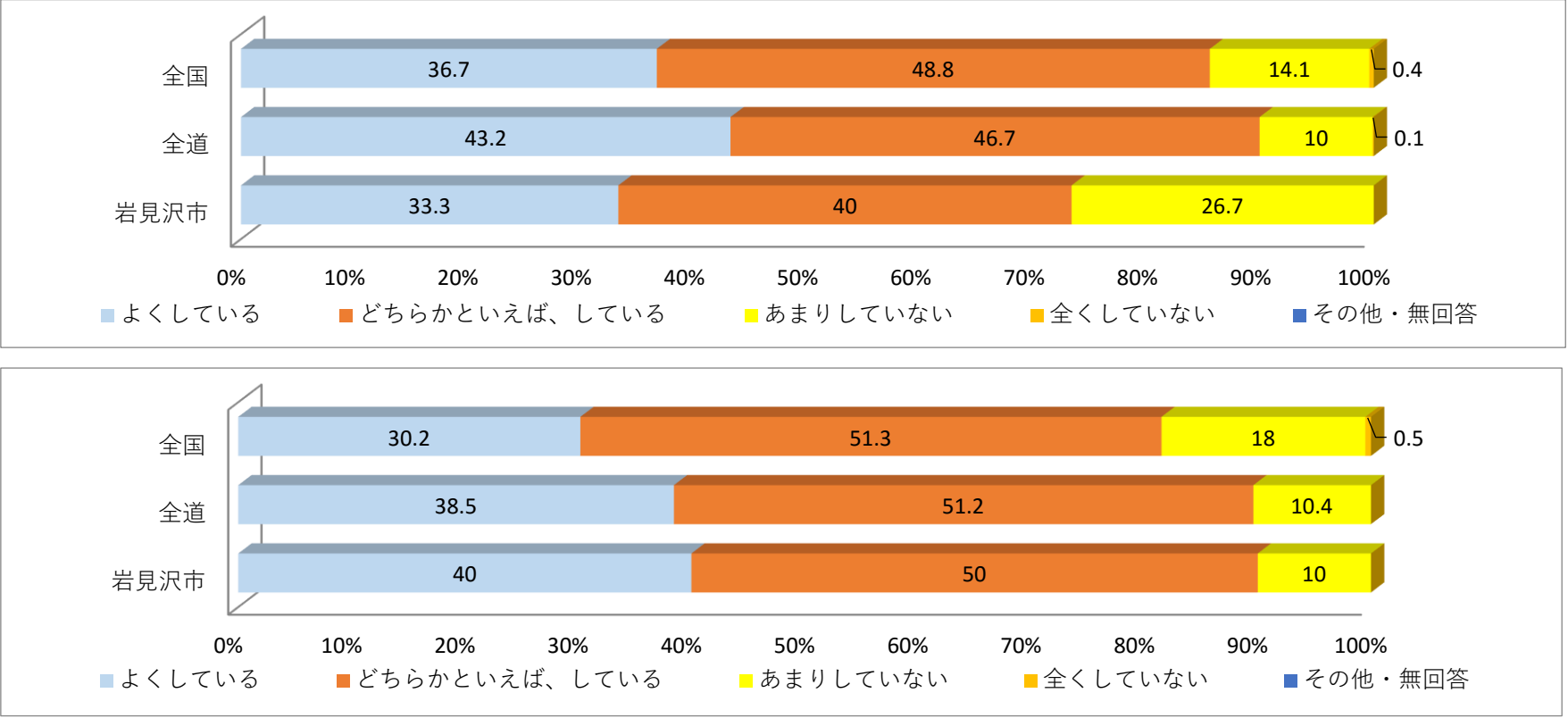
100. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか（中は98）



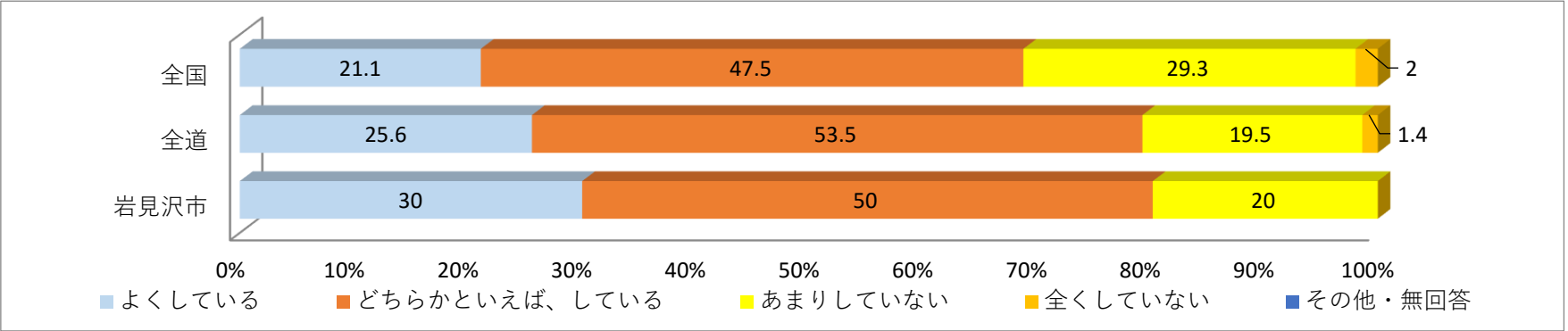
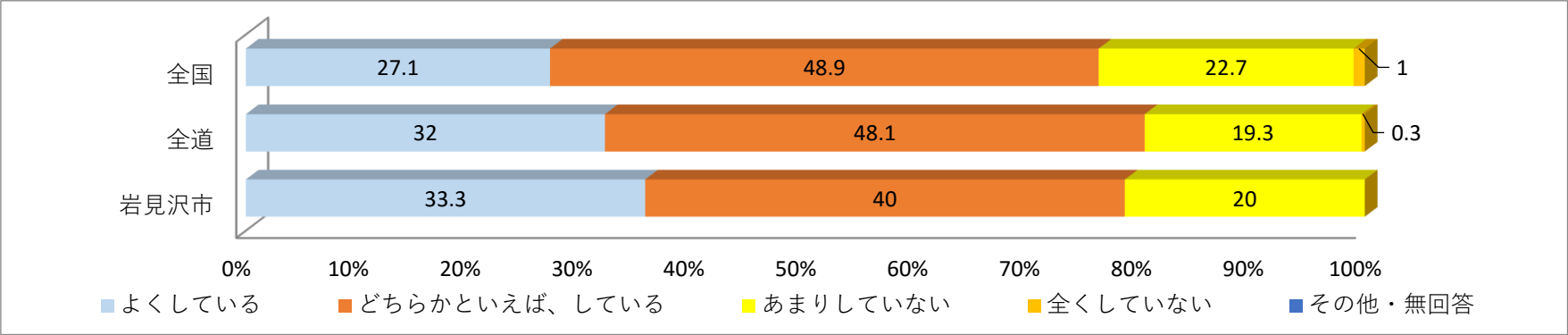
101. 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか（中は99）



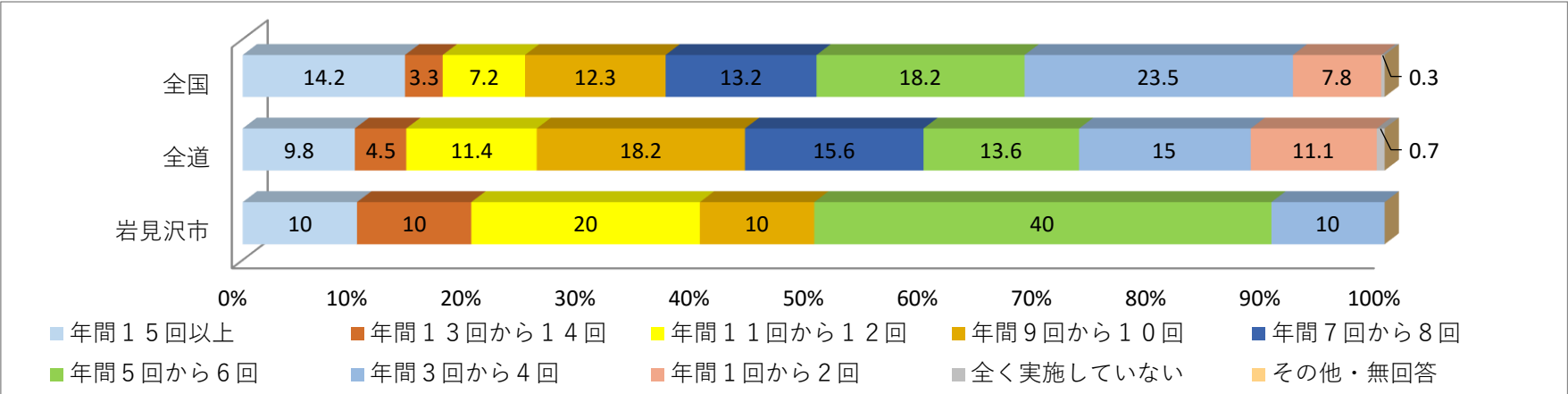
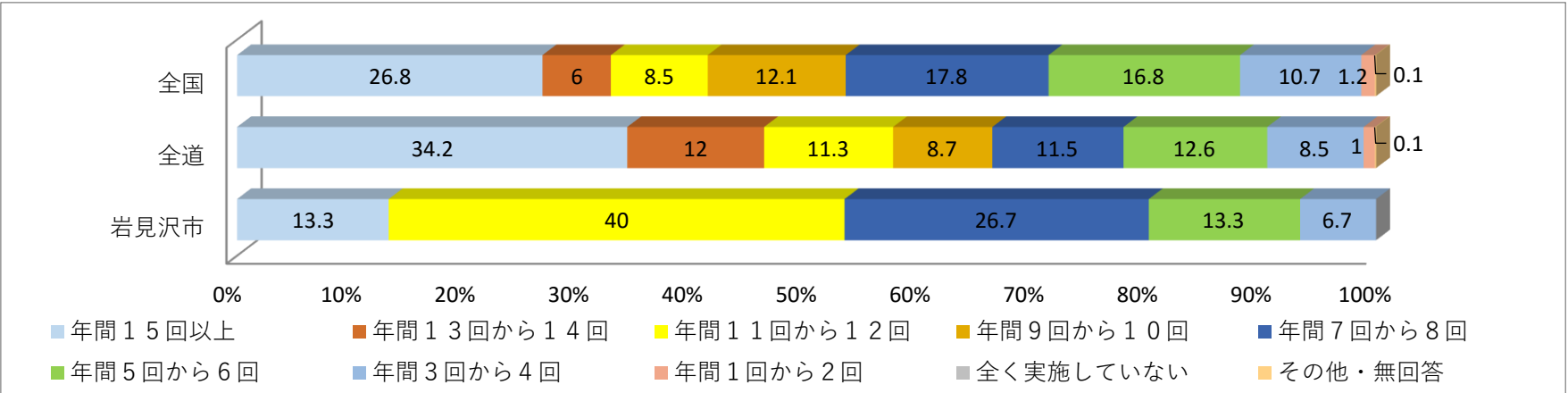
102. 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか（中は100）



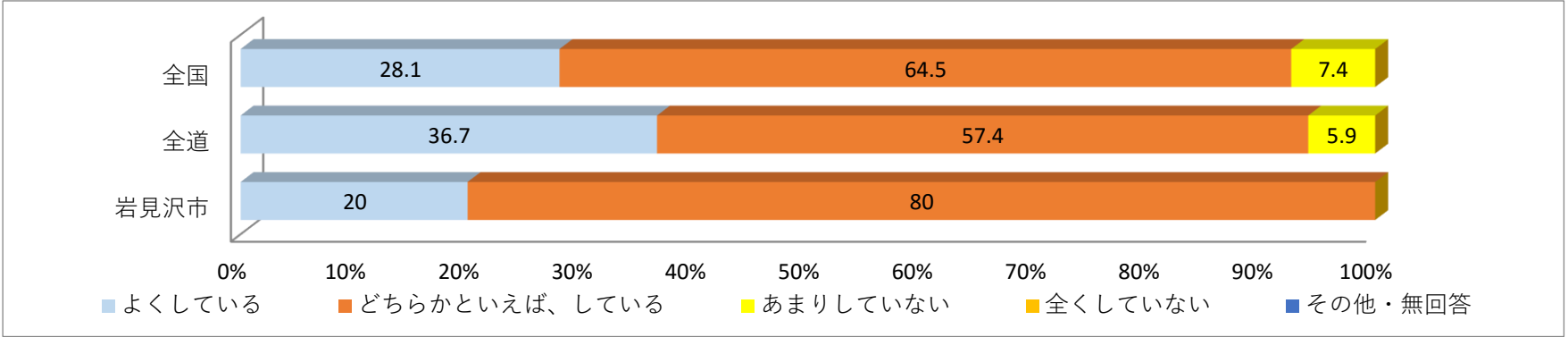
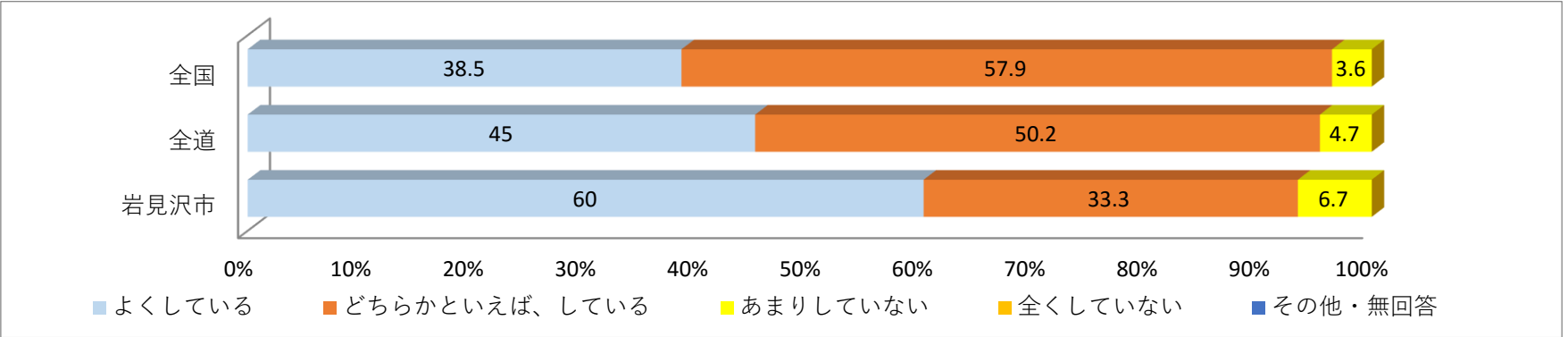
103. 児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか（中は101）



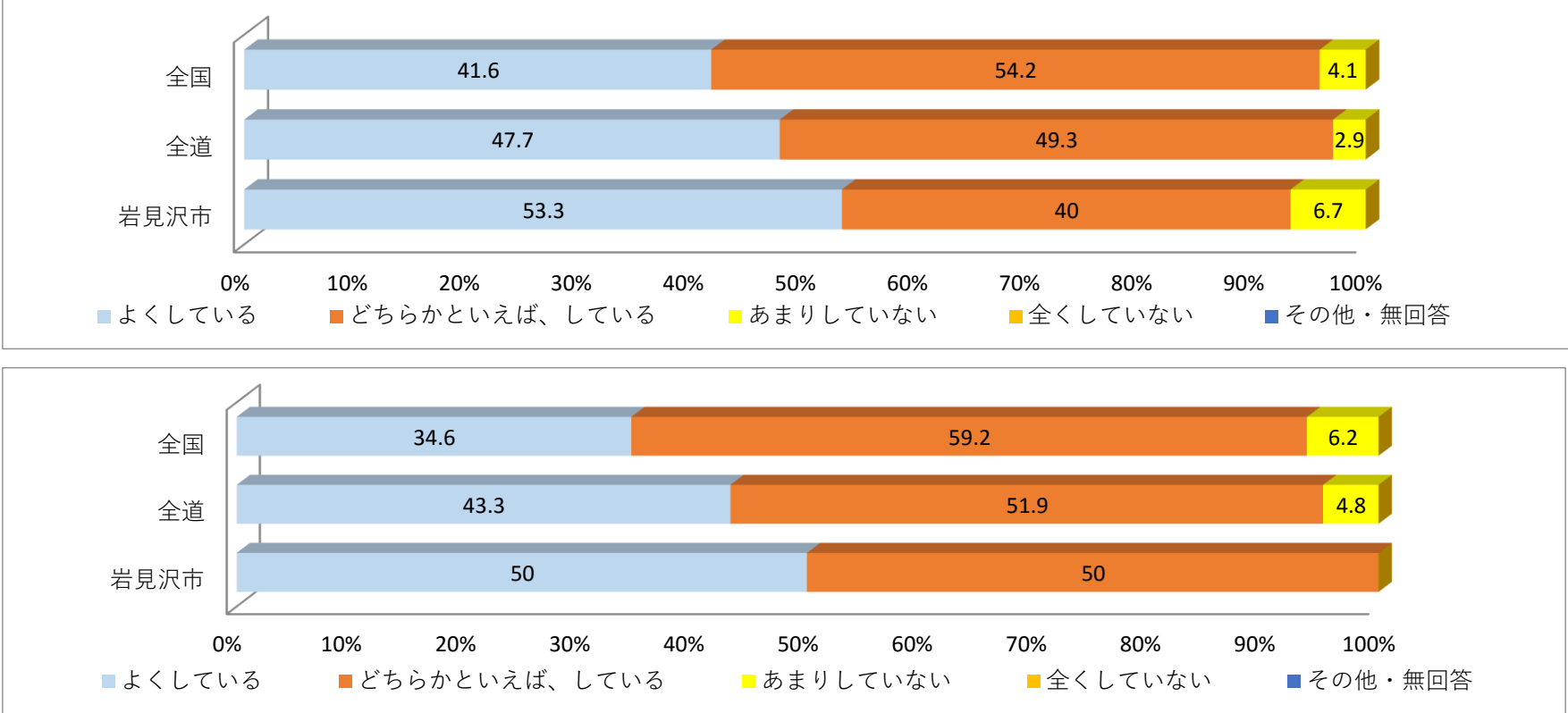
104. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか（中は102）



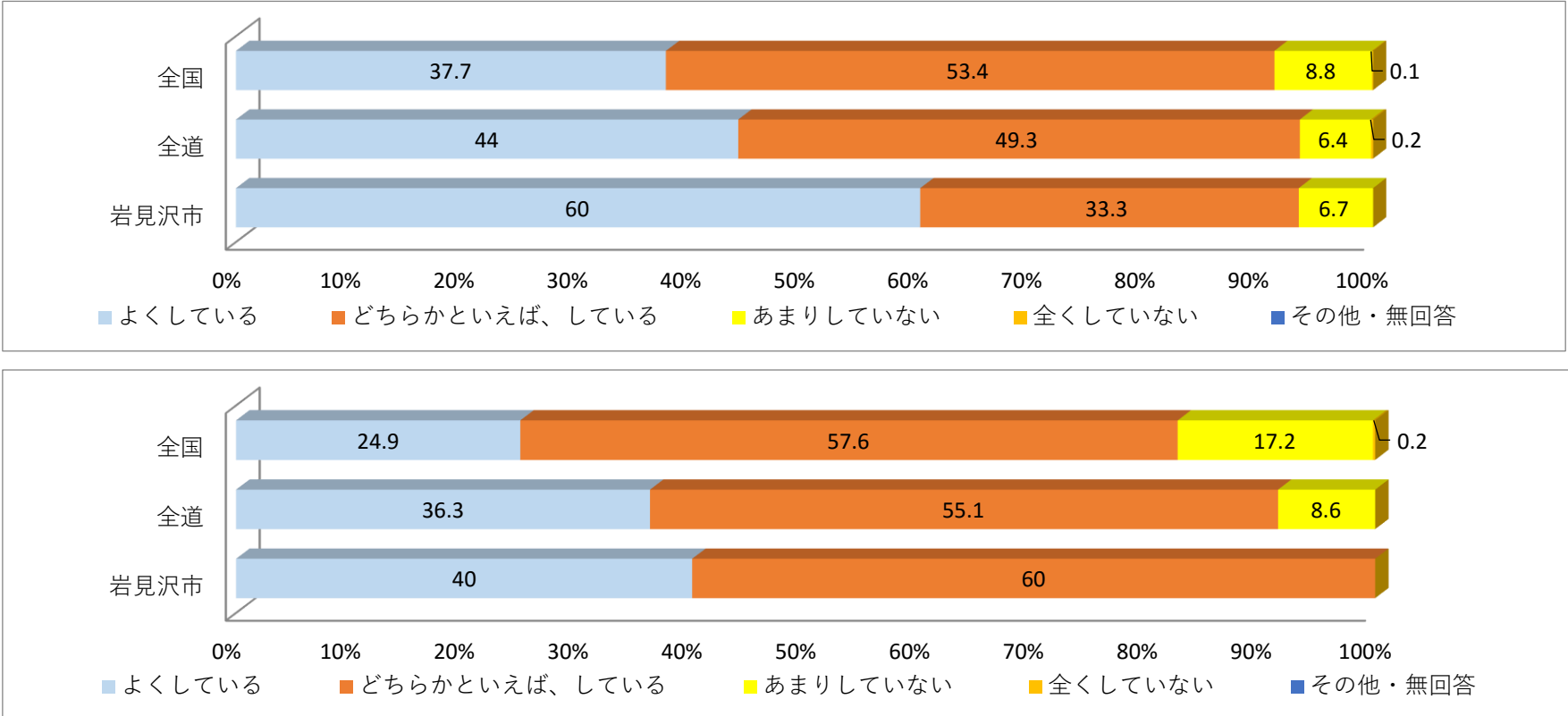
105. 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか（中は103）



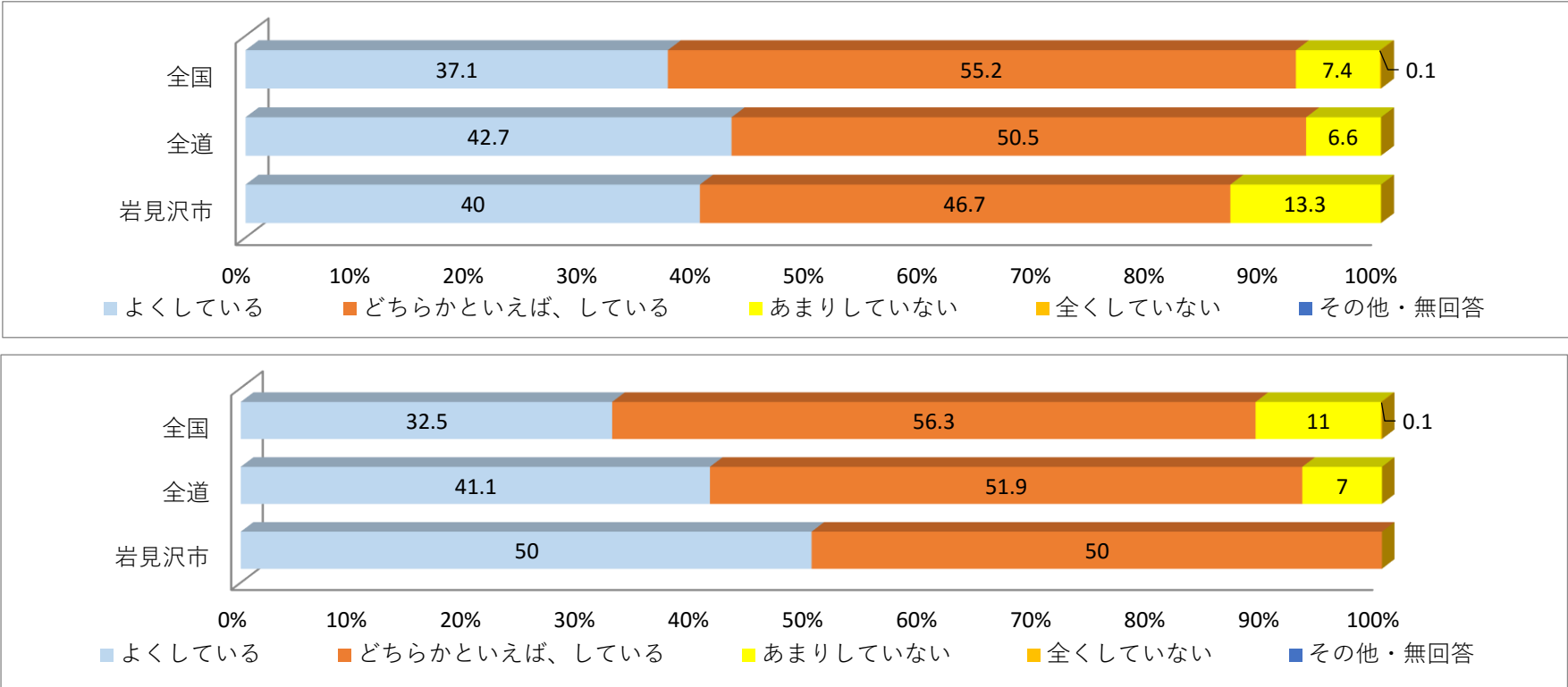
106. 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか（中は104）



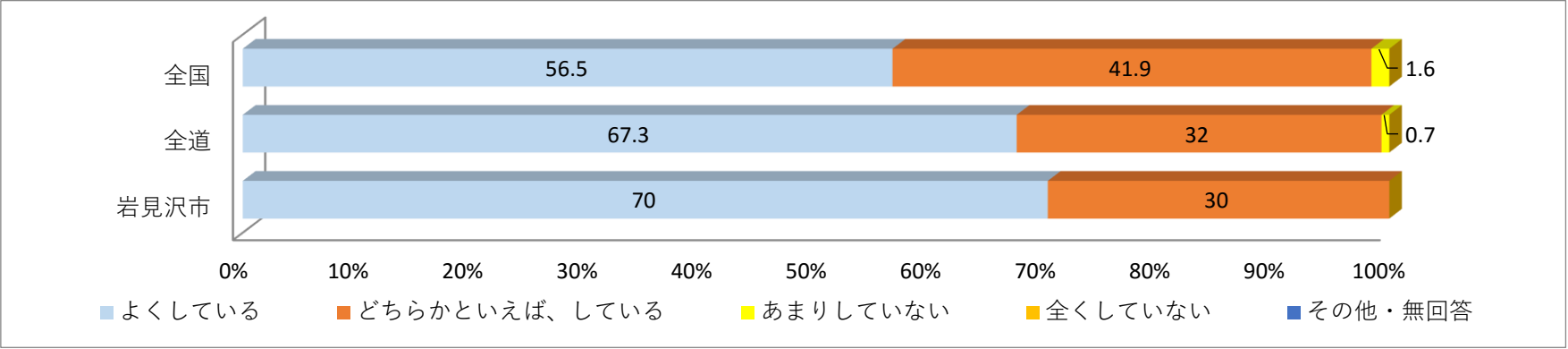
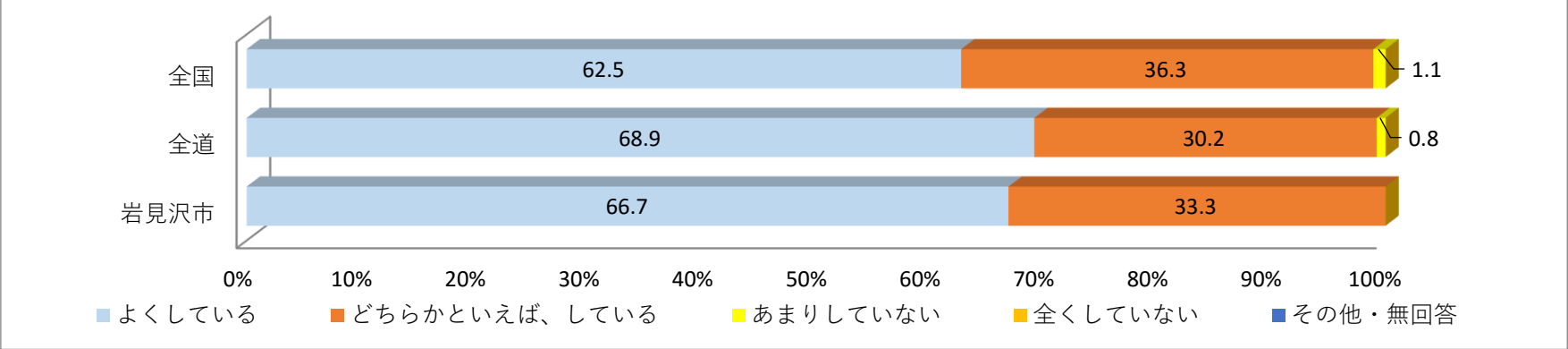
107. 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか（中は105）



108. 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか（中は106）

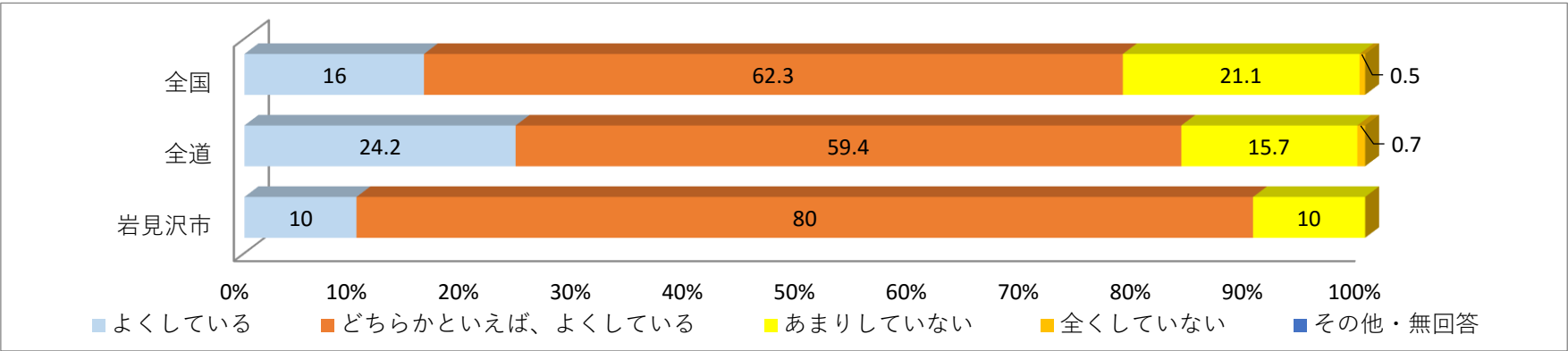
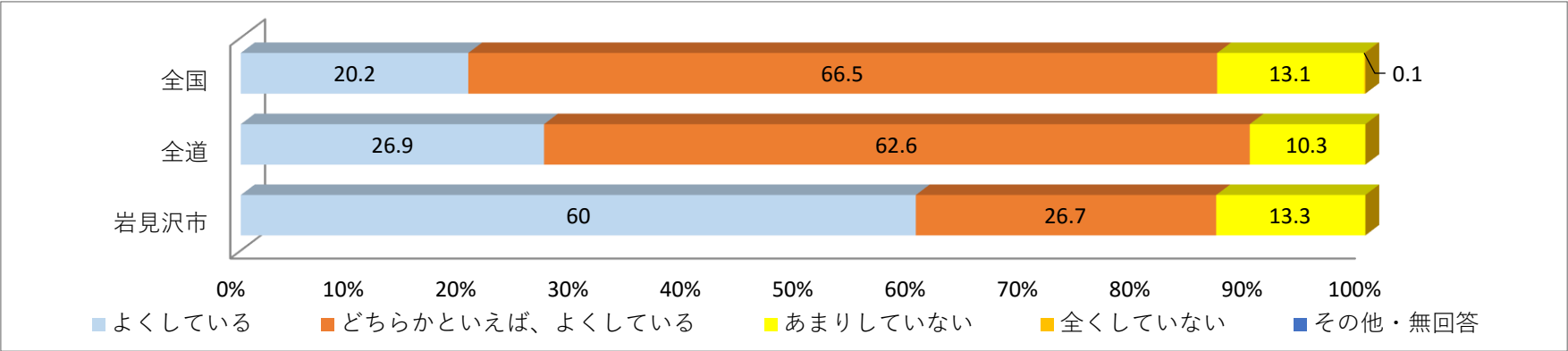


109. 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか（中は107）

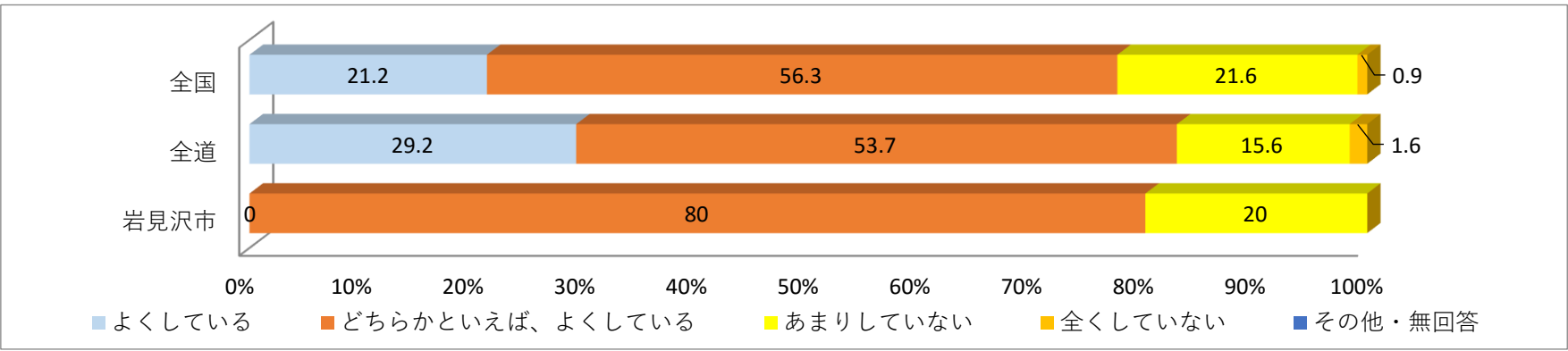
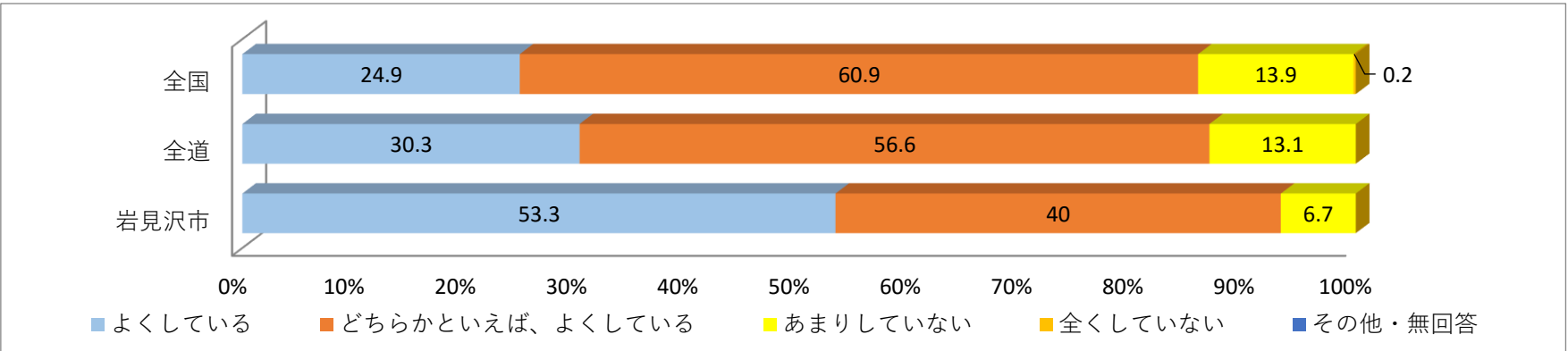


8. マネジメント

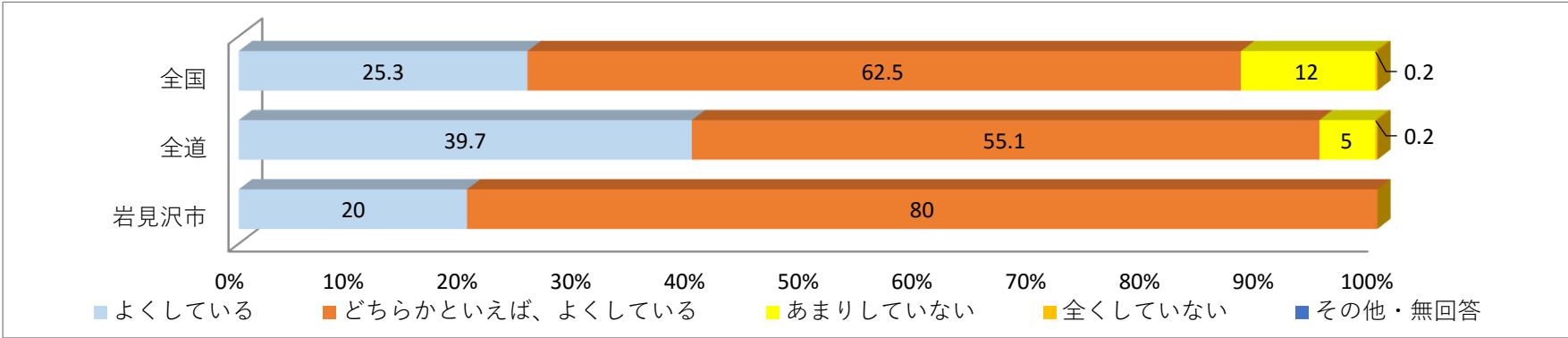
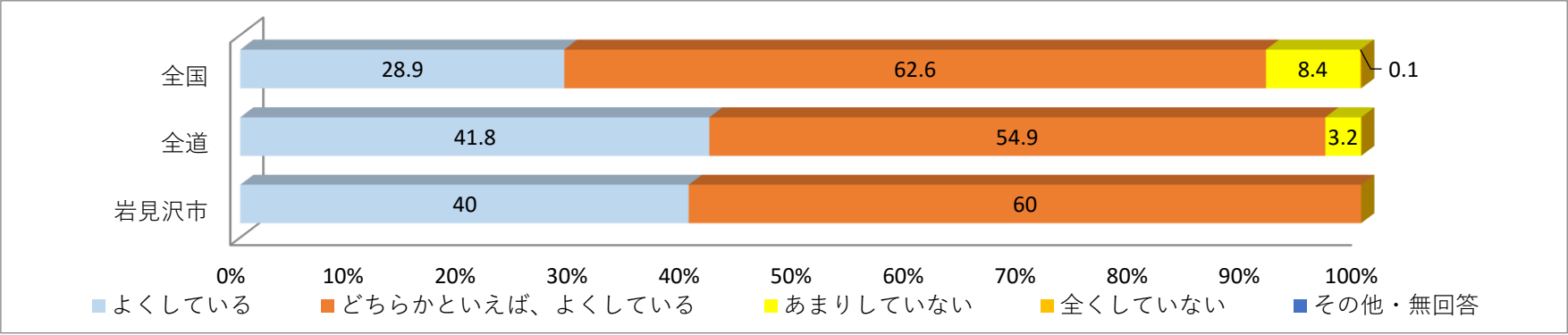
28. 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



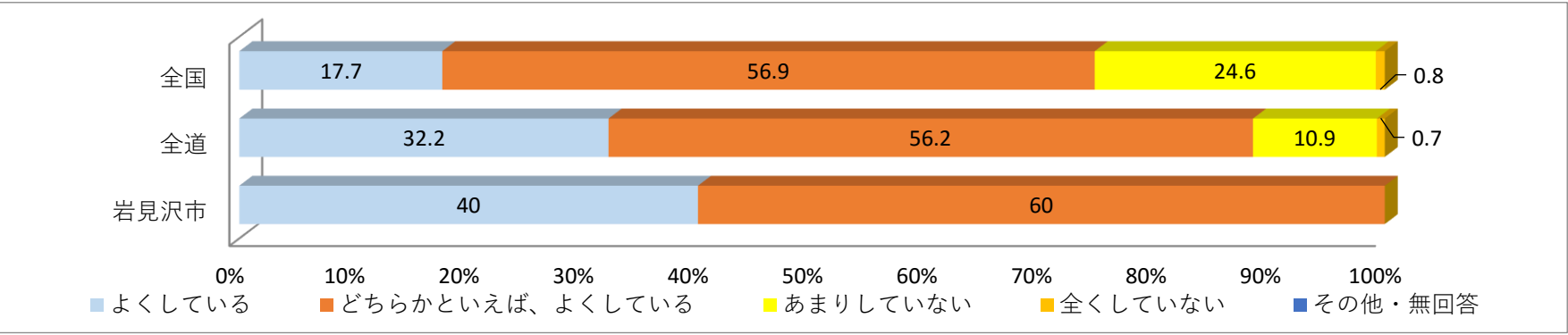
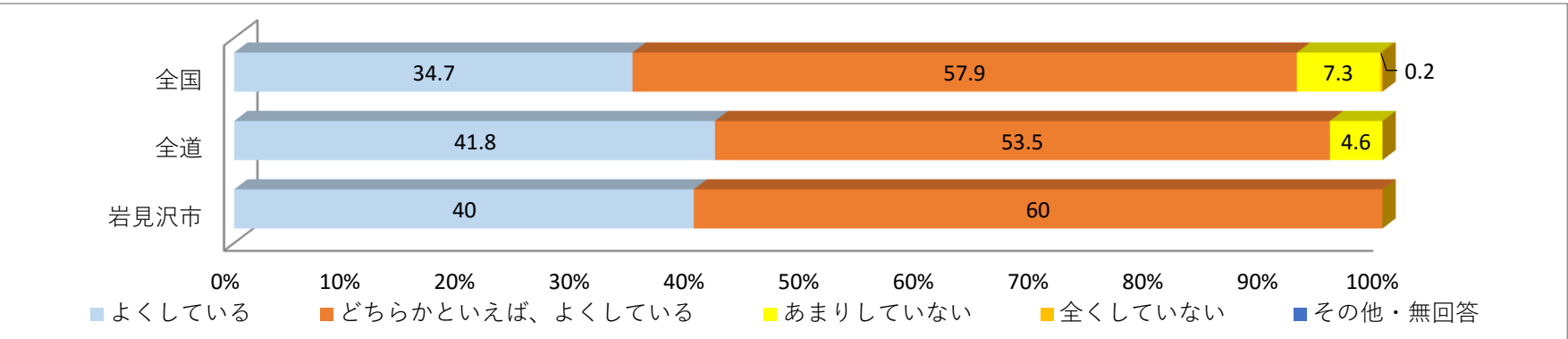
29. 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか



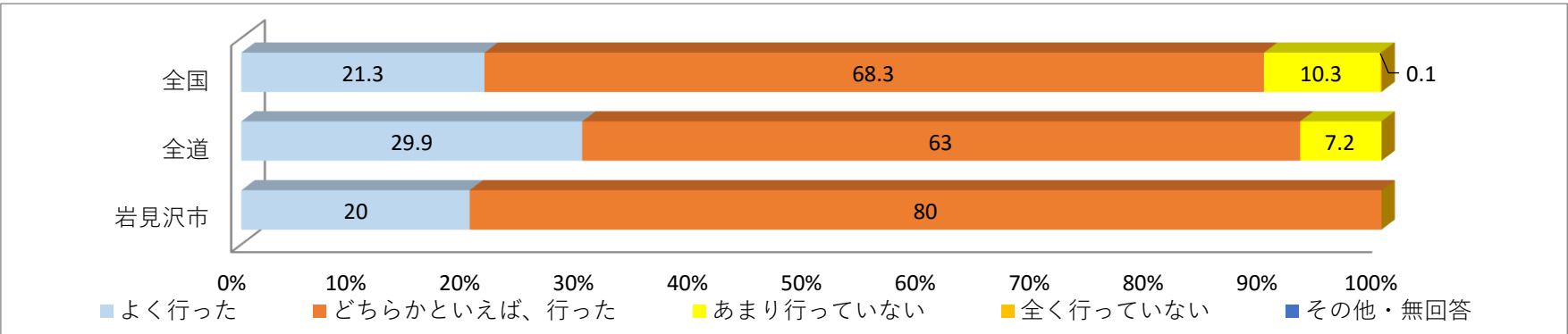
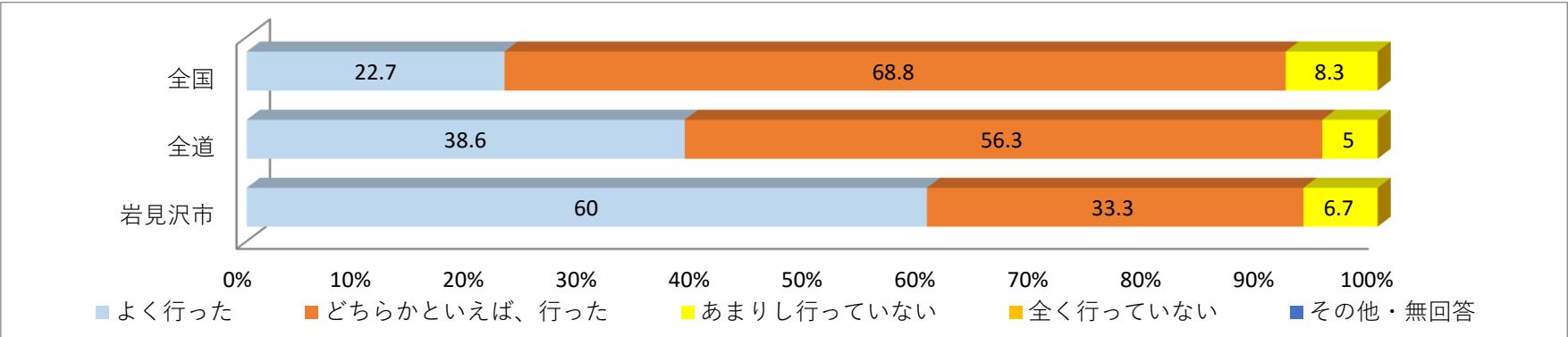
30. 児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



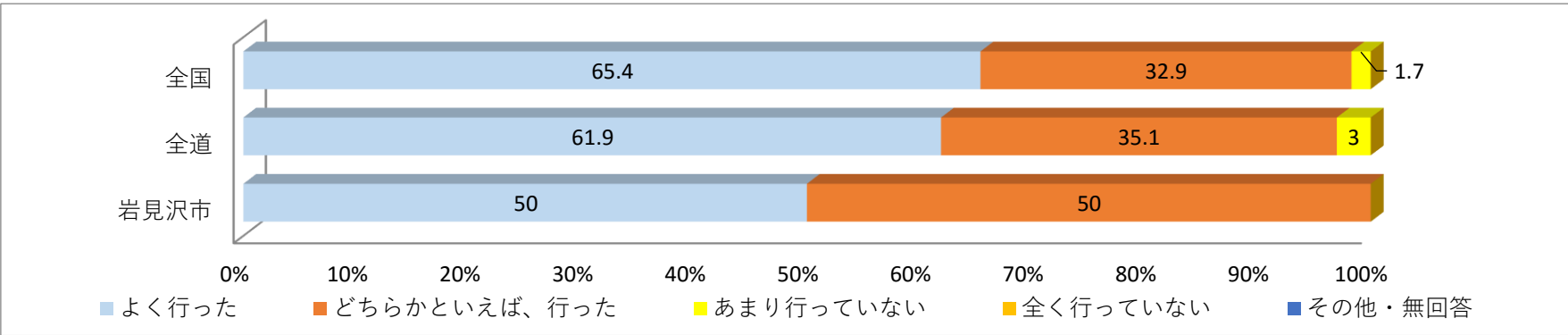
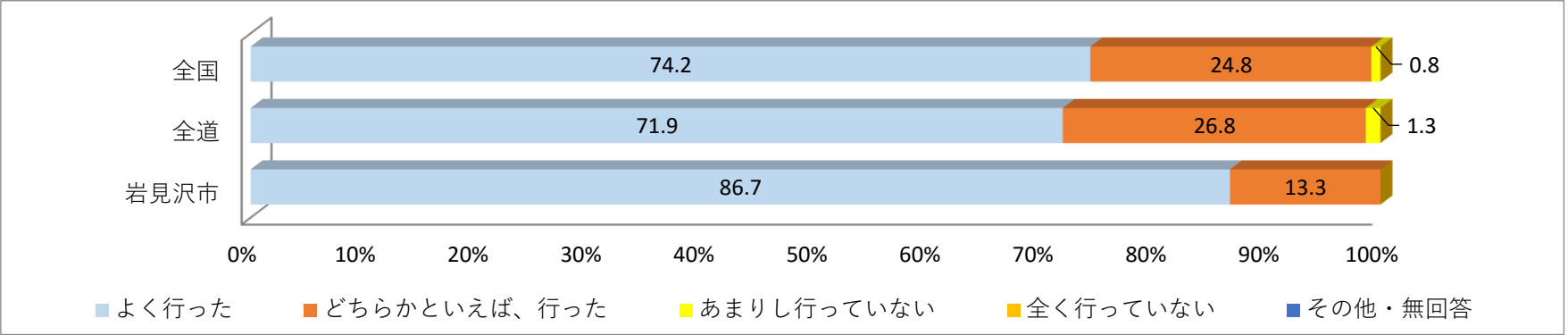
31. 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



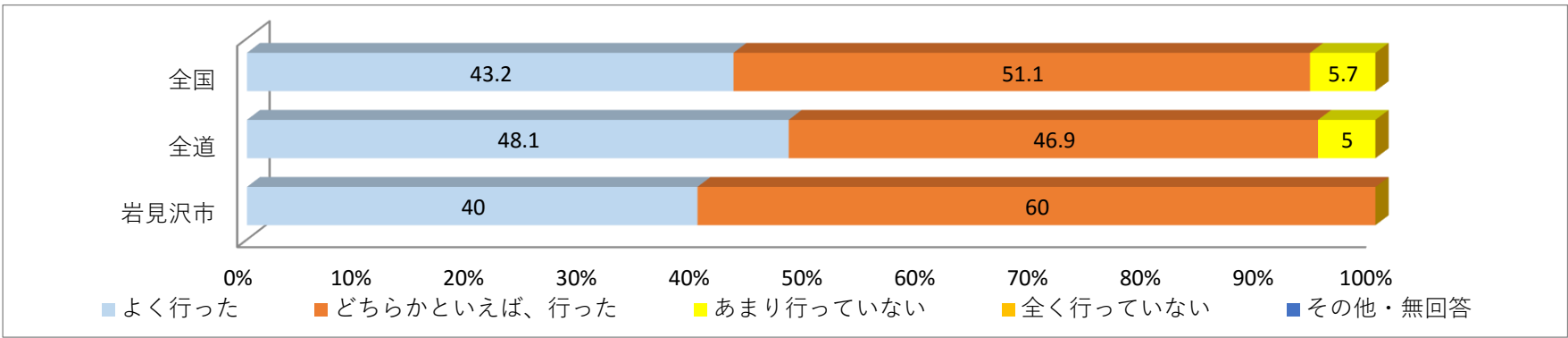
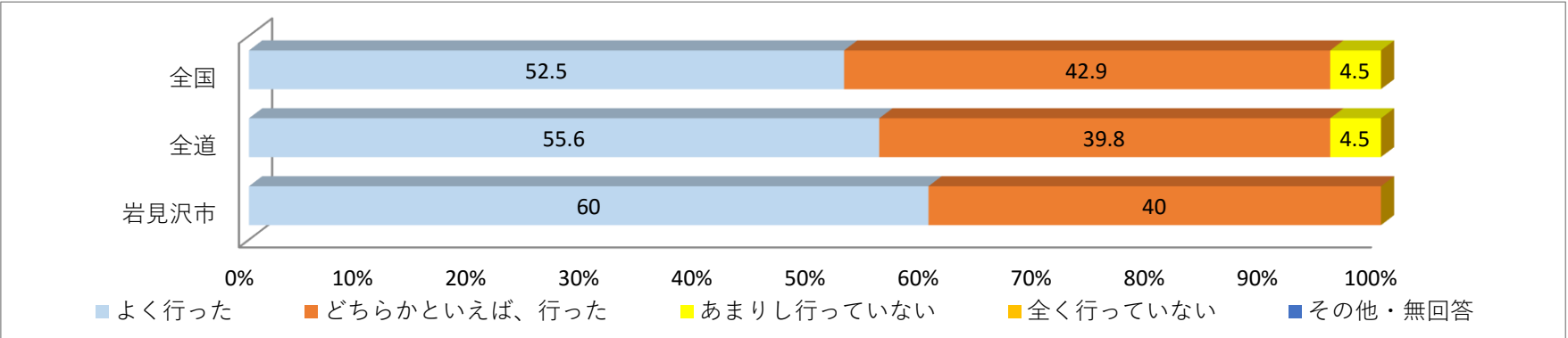
32. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



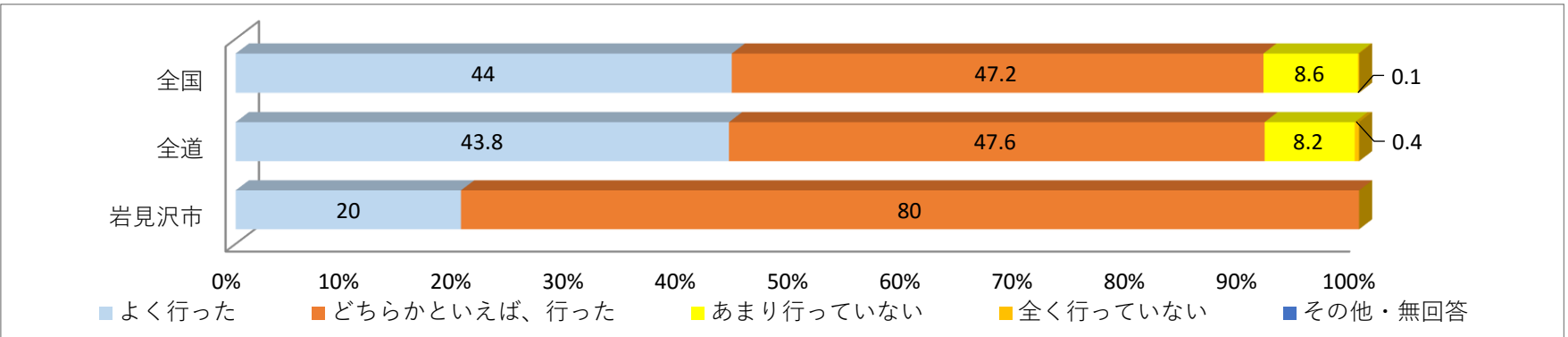
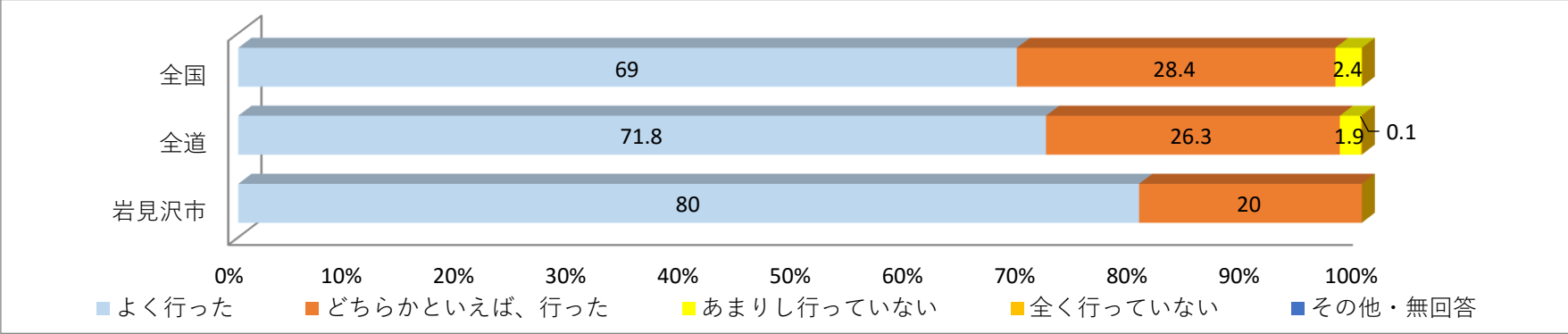
33. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか



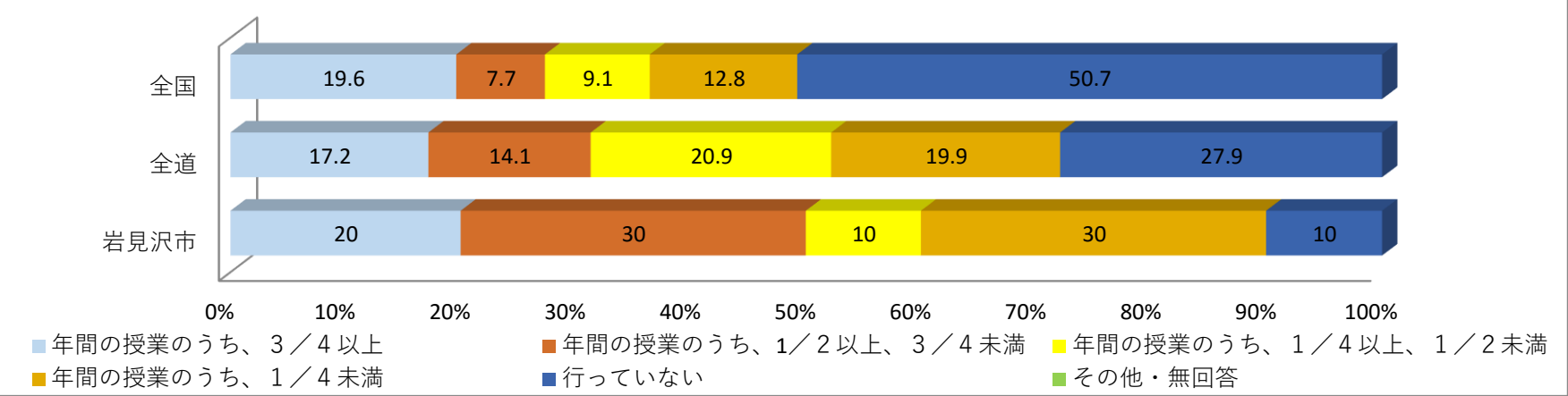
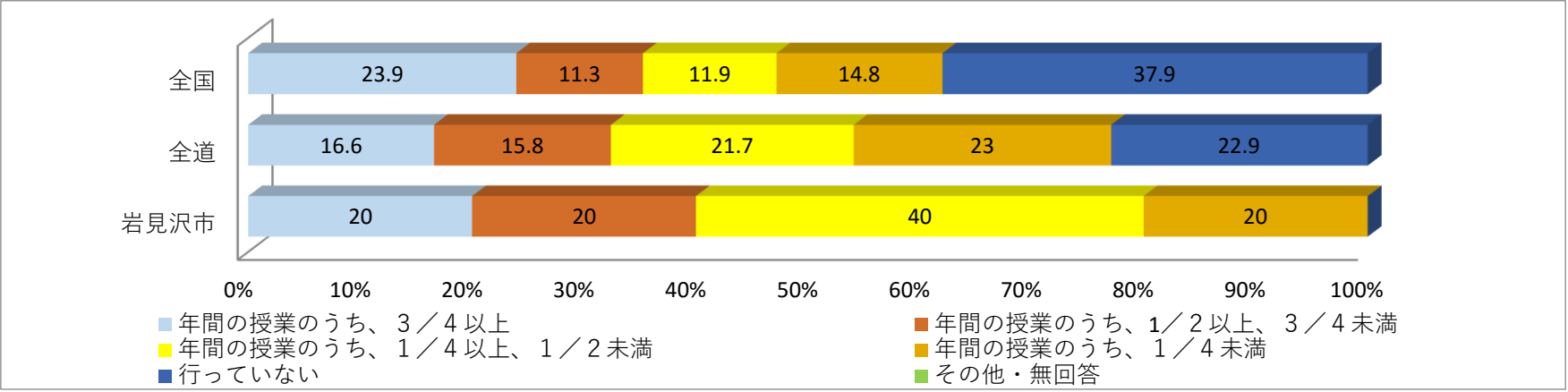
34. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



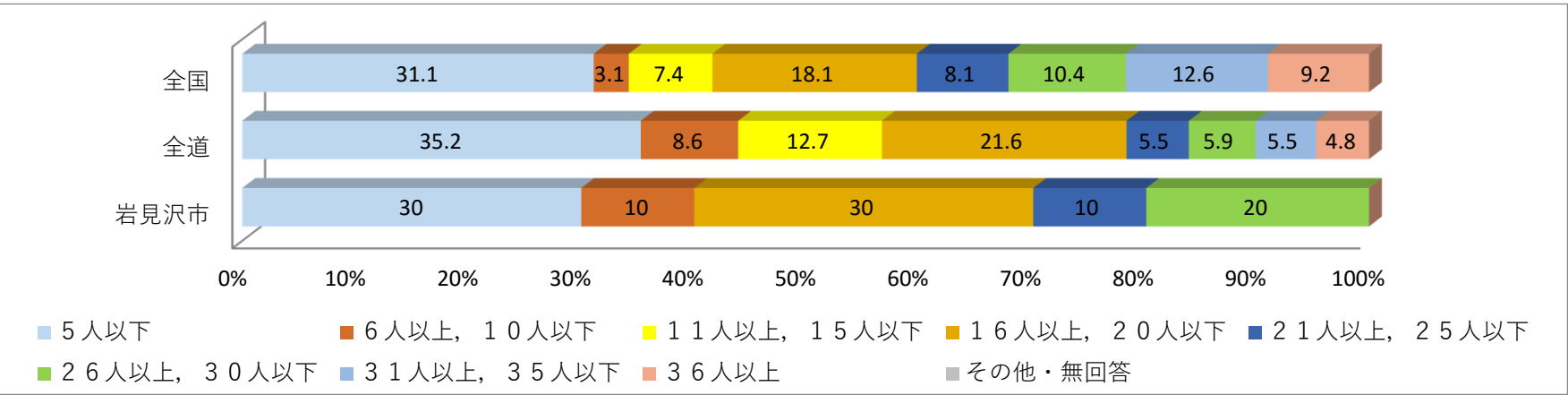
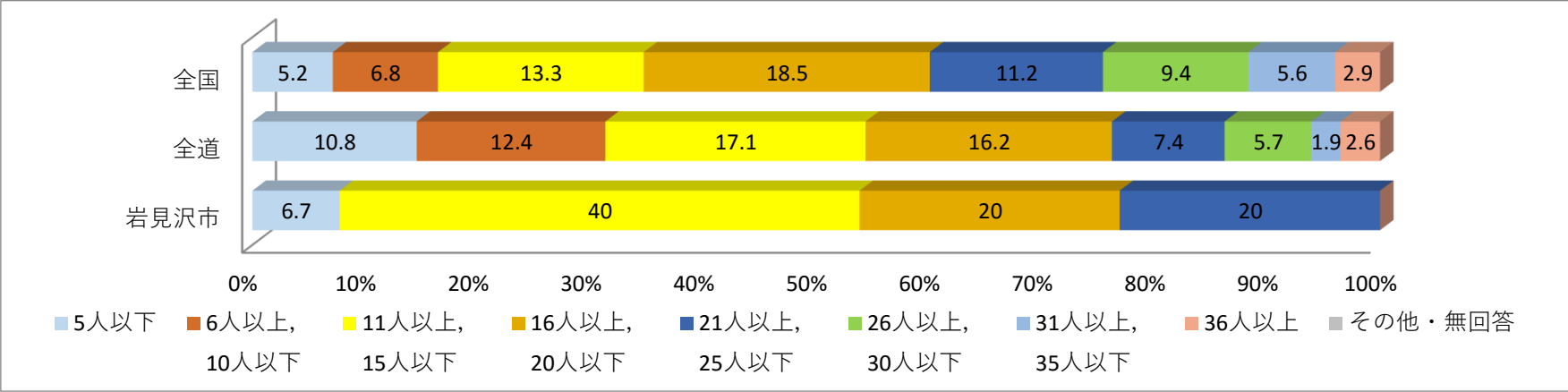
38. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか



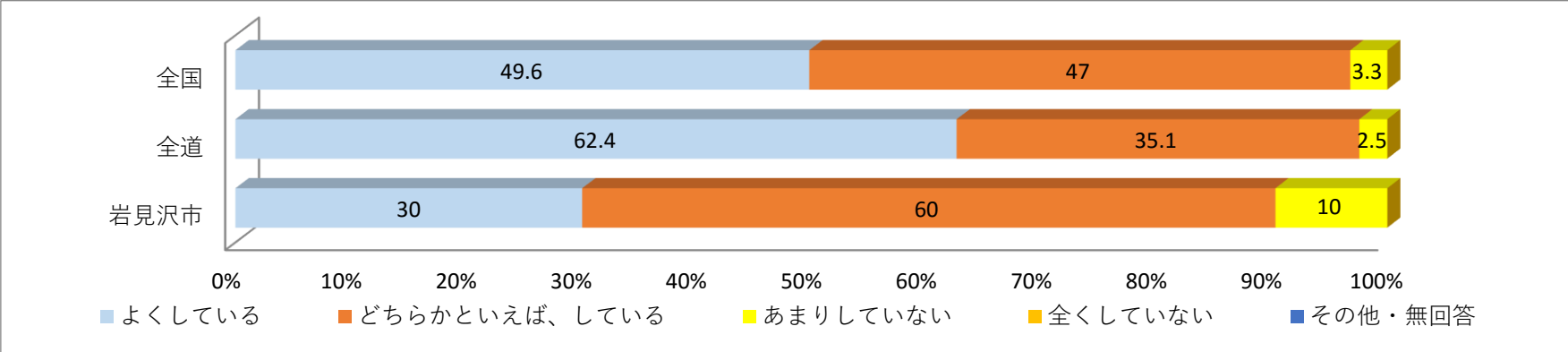
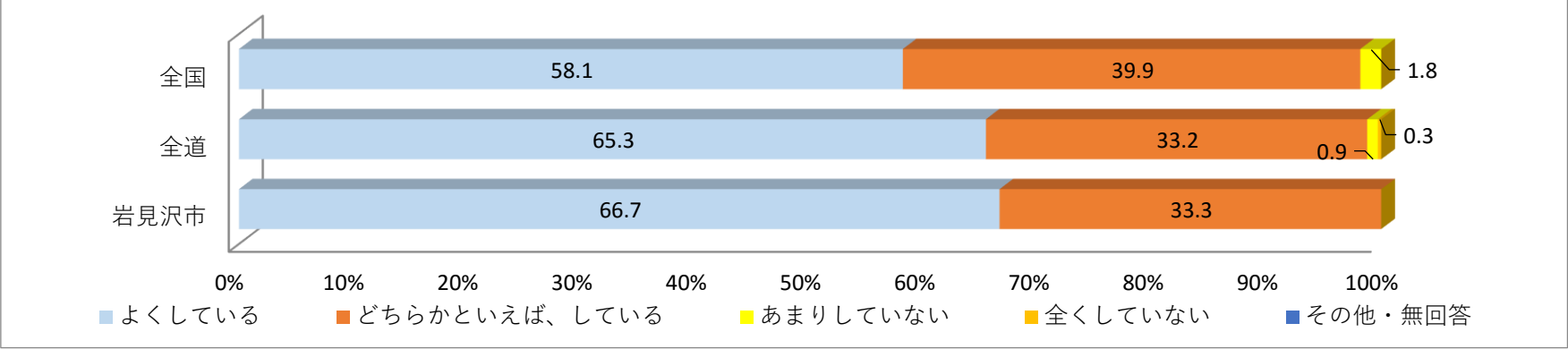
60. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか



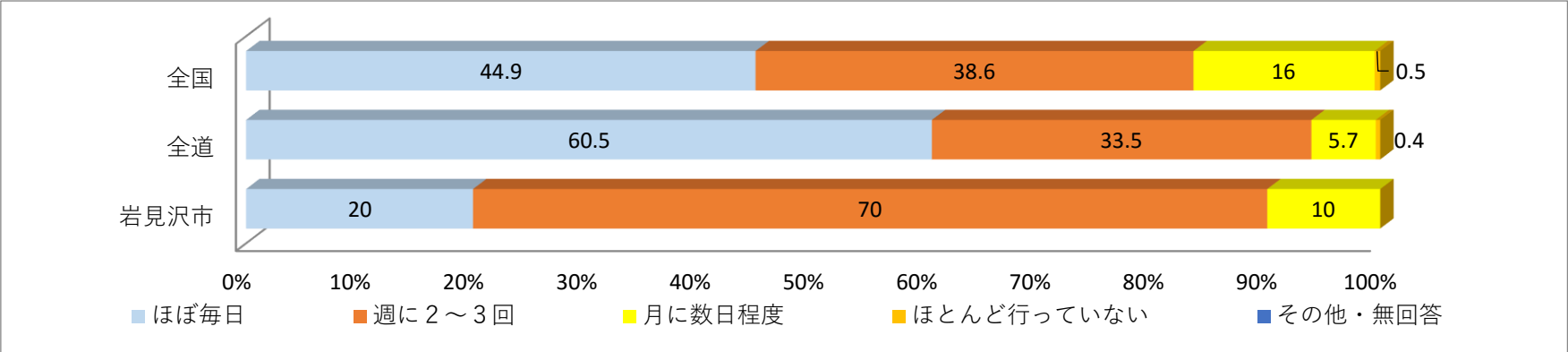
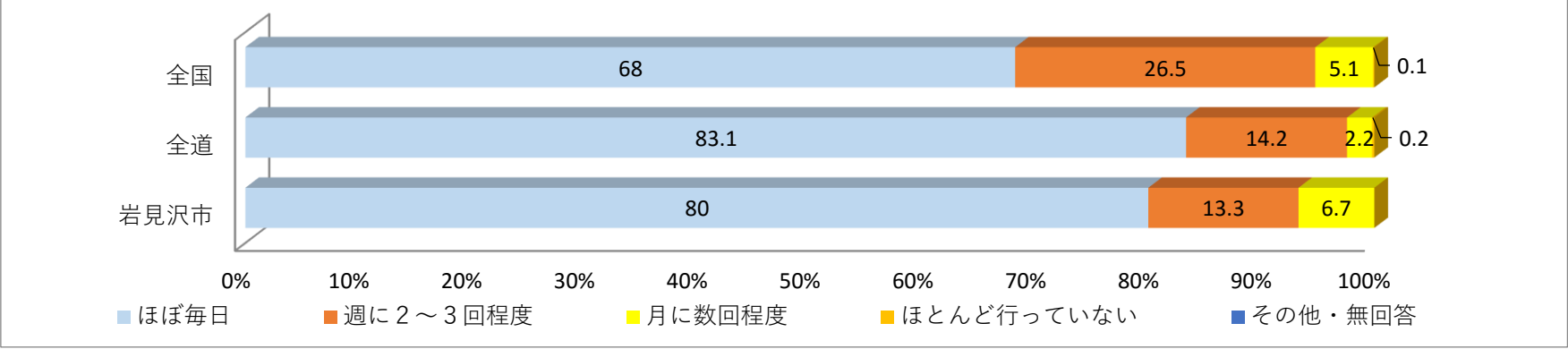
63. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、算数（数学）の授業において、前年度の学年で、年間を通じておよそ何人の集団で指導しましたか



110. 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか（中は108）



111. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか（中は109）



Ⅳ 調査結果の分析より

本調査結果報告書は「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の評価の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の検証・改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証・改善サイクルを確立し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ことを目的に実施された全国学力・学習状況調査について、岩見沢市の児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、まとめ、報告するものである。

調査結果の解釈に当たっては「その結果が、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意」した上で、岩見沢市の学力の全体的な傾向や児童生徒質問紙・学校質問紙の特徴的な事項、並びに改善に向けた取組について記載することとした。

1 学力調査結果の全体的な傾向について

《小学校》

経年変化では、平均正答率で算数 A が上昇傾向にあり、全国平均と同様になった。また、国語 B 以外の全ての科目で全道平均を上回った。

国語 A においては、「①読むこと」、「①伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「②言語についての知識・理解・技能」、「②話す・聞く能力」、「②読む能力」、「③短答式」で全道・全国平均を上回った。

算数 A においては、「①量と測定」、「②数量や図形についての知識・理解」を除く全ての観点で全国及び全道平均を上回った。

《中学校》

経年変化では、年度による若干の差はあるが、平均正答率は上昇傾向にあり、国語 A と国語 B は全国平均とほぼ同様、数学 A と数学 B は全国平均を上回った。

国語 A においては、「①書くこと」、「①読むこと」、「②書く能力」、「②「読む能力」、「③短答式」で、全道平均を上回っているものの、全国平均を下回った。

国語 B においては、「①話すこと・聞くこと」、「①読むこと」、「②話す・聞く能力」、「②読む能力」、「③選択式」、「③短答式」で全国平均と同様、またはそれ以上に上回った。

数学 A においては、領域、評価の観点、問題形式の全てで全国平均を上回った。

数学 B においては、「①数と式」、「②数学的な見方や考え方」、「③記述式」以外の領域、評価の観点、問題形式で全国平均を上回った。

2 学習状況調査結果（児童生徒質問紙）の特徴的な事項について

(1) 基本的な生活習慣等に関して、「朝食を毎日食べていますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて、小学生は2.9ポイント、中学生は1.2ポイント下回った。「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生では0.1ポイント上回り、中学生では2.4ポイント下回った。「同じくらいの時刻に起きていますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1.7ポイント、中学生は0.6ポイント下回った。

(2) 自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識等に関して、「物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2.2ポイント、中学生は0.8ポイント下回った。「学校の規則を守っていますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2.2ポイント、中学生は0.3ポイント下回った。

「自分には、良いところがあると思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2. 1ポイント、中学生は2ポイント下回った。

(3) 塾・家庭・放課後学習等に関して、「家の人と学校での出来事について話しますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1. 8ポイント下回り、中学生は0. 9ポイント上回った。「家の人と将来について話すことがありますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1. 5ポイント下回り、中学生は2. 3ポイント上回った。「家の人は授業参観や運動会などの行事に来ますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2. 3ポイント、中学生は15. 7ポイント下回った。

(4) 主体的・対話的な学びに関して、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は4. 1ポイント、中学生は5. 8ポイント上回った。「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2. 6ポイント下回り、中学生は0. 4ポイント上回った。「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は5ポイント、中学生は2. 9ポイント下回った。

(5) 学習時間等に関して、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という設問では、「1時間以上」の回答が、全国に比べて小学生は9. 2ポイント、中学生は6. 6ポイント下回った。「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2. 6ポイント、中学生は1ポイント上回った。

(6) 学校生活等に関して、「学校に行くのは楽しいと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1. 9ポイント、中学生は4. 8ポイント下回った。「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は0. 2ポイント、中学生は、2. 2ポイント下回った。「学校で好きな授業はありますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は0. 2ポイント下回り、中学生は2. 5ポイント上回った。「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1. 5ポイント、中学生は0. 2ポイント下回った。

(7) 学習状況に関して、「前年度までに受けた授業の中で目標が示されていたと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は2. 4ポイント、中学生は0. 8ポイント上回った。「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は3ポイント、中学生は2. 5ポイント上回った。

(8) 地域・社会、外国に対する興味関心に関して、「今住んでいる地域の行事に参加しますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は6. 1ポイント、中学生は8ポイント下回った。「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は6. 5ポイント、中学生は4. 3ポイント下回った。「新聞を（週1回以上）読んでますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は1. 9ポイント、中学生0. 3ポイント上回った。「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」という設問では、肯定的な回答が、全国に比べて小学生は9. 1ポイント、中学生は2. 2ポイント下回った。

注1 各設問のほとんどの選択肢に「その他」、「無回答」があったが、1%以下の回答率だったので表示していない。また、上記以外の選択肢でも1%以下の回答率については表示していない場合がある。

注2 学校質問紙については、調査対象校が、小学校15校、中学校10校で、資料となるデータが少ないので、調査結果の報告のみとする。

3 学力向上に向けたこれまでの取組について

岩見沢市教育委員会と各小・中学校は、子どもたちの学力向上に向けて、以下のような取組を推進・展開してきた。

(1) 「学校改善プラン」の策定・実施

岩見沢市内の全小・中学校で標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた「学校改善プラン」を策定・実施

(2) 「学校力」向上の取組

学校としての組織的な取組に基づく、より質の高い教育活動を展開

① 授業スタイルの統一

- ・指導過程の基本型の確立
- ・板書、ノート指導、教室掲示等の統一
- ・学習規律の統一

② 数値目標の設定と評価

③ 教育課程の改善

(3) 小中連携による9年間を見通した学力の保障

① 中学校区別学力向上担当者会議の開催

- ・標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果の交流
- ・小学校卒業時と中学校入学後の成績の比較検討
- ・小・中学校で統一した学力向上の取組の実施

② 小・中学校相互の授業参観、交換授業の実施

(4) 学習サポートの実施

放課後、長期休業期間等を利用した補充的な学習サポートの実施（ボランティアの活用）

(5) 指導方法の工夫・改善

チームティーチング、少人数指導、習熟度別指導などを小・中学校全校で実施

(6) 「朝（昼）読書」の推進

学習の基礎となる読書習慣の確立のため、全小・中学校で実施

(7) 生活習慣の改善「早寝・早起き・朝ごはん」「家庭での5つの約束」の奨励

(8) 教育研究所の取組

① 「確かな学力の育成」を図る授業づくり～部会研究事業

- ・小学校社会科副読本の活用を図った授業づくり
- ・ICT活用を図った授業づくり

- ・各教科等の特質を踏まえた言語活動の充実を図った授業づくり
- ・少人数指導等指導形態の工夫による授業づくり
- ・各教科等の指導と評価の一体化を図った授業づくり
- ② 教職員の資質向上のための研修事業
 - ・「岩見沢の教育を語る」研修講座
 - ・教育大学と連携した研修講座、出前授業・協力授業
 - ・授業実践等を通じた研修講座
 - ・市町教委連携研修講座
- ③ 調査研究
 - ・全国学力・学習状況調査の結果の分析と改善の方策の立案
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の分析と改善の方策の立案
 - ・家庭学習調査の実施と結果の分析、家庭学習の啓発

(9) 「みらい広がる学校活動支援事業」の活用

「みらい広がる学校活動支援事業」は、各学校がそれぞれの教育現場の実状に合った事業を自ら企画・立案し、それに対して補助金を交付する事業（学校支援ボランティアを小・中学校へ派遣）

- ① 学習サポートボランティア
- ② 武道、水泳、スキー外部指導者
- ③ 教科、道徳、キャリア教育等の外部講師
- ④ 読み聞かせボランティア
- ⑤ e-ラーニング：豊中（千歳科学技術大学との連携による自学システム）

(10) 学力向上対策事業の推進

- ① 土曜学習会「S スタディ」の実施（中学生対象）
- ② 土曜キッズ英会話の実施（小学校5・6年生対象、ALT の活用）
- ③ 囲碁授業の実施（小学校5校、総合的な学習の時間、日本棋院との連携）

4 更なる改善に向けて

(1) 徹底した「日常授業の改善」の取組

各学校において「日常授業の改善」を組織的な学校改善の中核として位置付け、徹底して取り組んでいくことが重要である。

- ① 「教えて考えさせる」授業の学校全体での展開
 - ・思考とアウトプットの活動（書く、説明する、話し合う）が明確な授業
 - ・「ねらい」とねらいに正対した「まとめ」が明確な授業
 - ・「振り返り」を書くことによる自らの思考過程を客観視できる授業
- ② 「ピア・サポート」による「傾聴・受容・共感」の学校風土の醸成（児童生徒はもとより教師の教育観、指導観の転換）
- ③ 日常授業の中で「ピア・サポート」を実践することへの意識転換
- ④ 学習規律、教室環境などの統一（ユニバーサルデザイン）

(2) 学力向上の取組の一層の推進

各学校において、検証改善サイクルによる学力向上の組織的な取組に継続的に取り組んでいくことが重要である。

- ① 教育課程の工夫・改善
- ② 学力の数値目標の設定と評価

- ③ 練習問題（ドリル）の徹底による習熟の深化
- ④ 朝・放課後学習や長期休業中の学習等の学習の場の提供
- ⑤ 宿題・家庭学習の充実による学習習慣の定着

（３）小中連携による学力向上の取組の確実な実行

小・中学校の教職員が、義務教育９年間を見通して子どもたちに学力を身に付けさせるために連携強化を図ることが重要である。

- ① 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果の交流
- ② 小学校卒業時と中学校入学後の成績の比較検討
- ③ 小・中学校で統一した学力向上の取組の実施

（４）子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識等を育てる取組の推進

学校生活において自己有用感や規範意識を高める取組を推進し、子どもたちの「学びに向かう力」を高めることが重要である。

- ① 規範意識が高い児童生徒ほど自尊感情が高いという研究結果を踏まえた、教職員の共通理解に基づく学校のきまりを守る指導の継続
- ② 授業や行事等の教育活動で、児童生徒に自信をもたせたり、達成感を味わわせたり、自分のよさに気付かせたりする活動の意図的な計画
- ③ 生徒指導の機能を生かした「わかる」授業づくりの継続
- ④ 子どもが自分のよさに気付く道徳科の授業づくりの深化・充実
- ⑤ 「hyper-QU よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」を活用した実態把握、ピア・サポートによる支持的風土の醸成

（５）子どもたちの基本的な生活習慣の定着

学校、家庭、地域が一体となり子どもたちの基本的な生活習慣を定着させることは、「学力向上」において欠くことができない。

「家庭での５つの約束」の徹底

〈家庭での５つの約束〉

- ア 早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身につけよう
- イ 次の日の学習準備をしよう
- ウ 家庭学習を毎日しよう
 - ・帰宅後の学習習慣を身に付ける
 - ・宿題、予習、復習をする
- エ 読書に親しもう
- オ 家族との会話を大切にしよう

（６）「家庭力」「地域力」の更なる向上

夜遅くまで起きている子ども、ゲームをする時間やスマートフォンの使用時間が長い子どもの増加、家族と話す時間の減少等、生活習慣に関する「新たな課題」への対策が必要である。

- ① 家庭における、子どもが社会性や自律性を身に付け、自らの生活習慣を改善しようとする姿勢の醸成
- ② 地域子ども会、地域行事、関係機関、PTA 等との連携により子どもたちの地域や社会への関心を高める地域ぐるみの子育て推進体制の構築